

# 必修問題

## 目標 I 看護の社会的側面および倫理的側面について基本的な知識を問う。

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
1 健康の定義と理解	A 健康の定義	a 世界保健機関 (WHO) の定義	健康と社会・生活 4章1節 健康とは：WHOの健康の定義 (p.78) 看護学概論 3章1節5項 WHOの定義 (p.81-82)
		b ウェルネスの概念	看護学概論 3章1節6項 ウェルネス (ダンの定義) (p.82)
	B 健康に関する指標	a 総人口	高齢者の健康と障害 1章1節3項 人口の高齢化 (p.13-15)
		b 年齢別人口	高齢者の健康と障害 1章1節3項 人口の高齢化 (p.13-15)
		c 労働人口	健康と社会・生活 3章2節3項 女性のライフコースの変化 (p.62), 4節2項 育児機能 (p.69)
		d 将来推計人口	健康と社会・生活 1章6節4項 高齢化 (p.23-24)
		e 世帯数	社会福祉と社会保障 4章1節4項 子育て支援・少子化対策に関する施策 (p.88), 4節5項 地域における高齢者保健福祉の課題 (p.127) 高齢者の健康と障害 2章1節2項 高齢者がいる家族 (p.63-65)
		f 婚姻、家族形態	健康と社会・生活 3章1節3項 家族の個人化と多様化 (p.58-59) 社会福祉と社会保障 4章1節4項 子育て支援・少子化対策に関する施策 (p.86-87) 母性看護実践の基本 2章2節3項 その他の統計 (p.36) 情緒発達と精神看護の基本 5章3節1項 結婚 (p.82-84), 2項 子育て (p.84-85)
		g 出生と死亡の動向	母性看護実践の基本 2章2節1項 出生に関する統計 (p.31-32), 2項 死亡に関する統計 (p.33-35) 健康と社会・生活 1章6節4項 高齢化 (p.23-24) / 3章4節2項 育児機能 (p.69) / 8章6節1項 世界の人口動態 (p.141-142) 公衆衛生 4章6節1項 既存資料の利用 (p.70-73) 社会福祉と社会保障 4章1節4項 子育て支援・少子化対策に関する施策 (p.86-87)
		h 死因の概要	看護学概論 3章2節4項 医療と政策 (p.85) / 4章2節 小児期から成人期の概念 (p.96, 98, 100), 3節1項 老年期 (p.101) 成人看護学概論 2章3節 成人各期の健康問題 (p.37-40) 高齢者の健康と障害 1章1節4項 健康指標からみた高齢者の理解 (p.19-20)
		i 平均余命、平均寿命	公衆衛生 4章6節 統計情報の収集と見方 (p.75-76) / 1章1節2項 どうしてこんなによくなったのか (p.14) 高齢者の健康と障害 1章1節4項 健康指標からみた高齢者の理解 (p.15-16)
		C 受療状況	a 有訴者の状況
	b 有病率、罹患率		公衆衛生 4章1節2項 集団の特徴を表す方法 (健康指標) と使い方 (p.56-57)
	c 受療行動、受療率		成人看護学概論 2章3節 成人各期の健康問題 (p.36-37) 高齢者の健康と障害 1章1節4項 健康指標からみた高齢者の理解 (p.16-19)
	d 入院期間		看護学概論 11章2節1項 継続看護 (p.225) / 12章2節4項 クリニカルパス (p.239)
	e 外来受診の状況		公衆衛生 9章1節2項 歯科疾患の特徴と現状 (p.150) 高齢者の健康と障害 1章1節4項 健康指標からみた高齢者の理解 (p.16-19)

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
2 健康に影響する要因	A 生活行動・習慣	a 食事と栄養	臨床栄養学 1章2節 栄養とは (p.12-43) / 2章2節 食事摂取基準 (p.66-97) 基礎看護技術 13章1節 食事・栄養の意義 (p.264-265), 3節 食事と栄養に関する基礎知識 (p.269-275)
		b 排泄	基礎看護技術 14章1節 排尿・排便の意義 (p.290)
		c 活動と運動、レクリエーション	臨床栄養学 3章2節 運動と栄養 (p.104-111) 基礎看護技術 10章1節 活動・運動の意義 (p.192)
		d 休息と睡眠	基礎看護技術 11章1節 休息・睡眠の意義 (p.220-221), 2節 休息・睡眠の生理学的メカニズム (p.221-226)
		e 清潔と衣生活	基礎看護技術 12章1節 清潔の意義 (p.236)
		f 喫煙、嗜好品	公衆衛生 8章4節2項 喫煙 (p.142), 6項 アルコール (p.144-145)
		g ストレス	看護学概論 2章4節2項 ストレスと適応の基本概念 (p.67-69) 情緒発達と精神看護の基本 2章2節3項 ストレスとストレスサー (p.35-37), 4項 適応と不適応 (p.37-39) / 4章1節 ライフサイクルとストレス (p.60), 2節 ライフサイクル各期における特徴と危機 (p.60-71)
		h メンタルヘルス	公衆衛生 15章2節7項 健康管理 (p.247-248) 小児の発達と看護 2章4節4項 学童によくみられる健康問題 (p.143), 5節4項 思春期の人々によくみられる健康問題 (p.154-155) 情緒発達と精神看護の基本 1章1節 こころの健康とは (p.12), 3節 社会の変化とメンタルヘルス (p.18-19) / 5章2節 現代社会とこころの問題 (p.76-81)
		i ライフスタイル	健康と社会・生活 2章7節 ライフスタイル・生活様式と保健・医療・看護 (p.41-47)
		j 性行動	成人看護学概論 10章2節1項 リプロダクティブ・ヘルスの指標の国際比較 (p.170), 2項 望まない妊娠 (p.171), 3項 性感染症 (p.171-172) 小児の発達と看護 2章5節4項 思春期の人々によくみられる健康問題 (p.157-158) 母性看護実践の基本 3章6節1項 性行動 (p.61-62) / 4章4節1項 性感染症 (p.78-79), 2項 受胎調節と家族計画 (p.79-82)
	B 生活環境	a 水質、大気、土壌	公衆衛生 16章3節 大気汚染 (p.265-268), 5節 地球環境の問題 (p.270-272), 6節 水道 (p.272-276), 8節 放射線・放射能 (p.282-285)
		b 食品衛生	公衆衛生 16章2節 食品保健 (p.261-265)
		c 住環境	公衆衛生 16章7節 居住環境 (p.277-281)
	C 社会環境	a 職業と疾病	公衆衛生 15章3節 職業性疾病の概要 (p.248-251) 成人看護学概論 8章1節 職業性疾病および業務上疾病 (p.146), 2節 職業性疾病の予防と対応 (p.147-151)
b 労働環境、雇用形態		健康と社会・生活 1章6節 現代社会の特徴と社会変動 (p.20-26) / 2章7節1項 ライフスタイルと社会経済 (p.42-43) 公衆衛生 15章2節1項 労働衛生行政の歴史と現状 (p.239-240) 成人看護学概論 2章2節2項 社会における役割 (p.34-35)	
c ワーク・ライフ・バランス		健康と社会・生活 3章2節3項 女性のライフコースの変化 (p.62-63) 成人看護学概論 4章2節2項 生活の場 (p.77-84)	
d 母性保護		健康と社会・生活 3章4節2項 育児機能 (p.69-71) 母性看護実践の基本 2章3節2項 女性の保護および就労に関する法律 (p.38-39)	
3 看護で活用する社会保障	A 医療保険制度の基本	a 医療保険の種類	社会福祉と社会保障 7章2節3項 医療保険制度のしくみ (p.173-183) 医療関係法規 14章1節 図14-1 (p.268)
		b 国民皆保険	社会福祉と社会保障 7章2節3項 医療保険制度のしくみ (p.173) 看護学概論 10章2節2項 医療サービスの場 (p.203)
		c 国民医療費	看護学概論 3章2節4項 医療と政策 (p.85) / 10章4節 保健・医療・福祉におけるケア提供の経済 (p.211)

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所	
3 看護で活用する 社会保障	A 医療保険制度の基本	d 高齢者医療制度	社会福祉と社会保障 7章2節4項 高齢者医療制度 (p.183-185) 医療関係法規 14章3節 高齢者医療確保法 (p.274-277) 高齢者の健康と障害 2章3節3項 高齢者の医療の確保に関する法律に基づく制度 (p.81-82)	
		e 給付の内容	社会福祉と社会保障 7章2節3項 医療保険制度のしくみ (p.176-182) 医療関係法規 14章1節 健康保険法 (p.269-271), 2節 国民健康法 (p.273-274), 3節 高齢者医療確保法 (p.276-277), 6節 国家公務員共済組合法 (p.282-284), 7節 地方公務員等共済組合法 (p.285-287), 8節 船員法 (p.288)	
	B 介護保険制度の基本	a 保険者	社会福祉と社会保障 7章3節2項 介護保険制度のしくみ (p.189-190) 医療関係法規 10章2節 介護保険法 (p.171) 高齢者の健康と障害 2章3節4項 介護保険制度 (p.82)	
		b 被保険者	社会福祉と社会保障 7章3節2項 介護保険制度のしくみ (p.190-191) 医療関係法規 10章2節 介護保険法 (p.179) 健康危機状況／セルフケアの再獲得 5章4節2項 介護保険制度 (p.246) 高齢者の健康と障害 2章3節4項 介護保険制度 (p.82)	
		c 給付の内容	社会福祉と社会保障 7章3節2項 介護保険制度のしくみ (p.193-196) 医療関係法規 10章2節 介護保険法 (p.182-186) 高齢者の健康と障害 2章3節4項 介護保険制度 (p.82-86)	
		d 要介護・要支援の認定	社会福祉と社会保障 7章3節2項 介護保険制度のしくみ (p.191-193) 医療関係法規 10章2節 介護保険法 (p.181-182, 185) 健康危機状況／セルフケアの再獲得 5章4節2項 介護保険制度 (p.246) 高齢者の健康と障害 2章3節4項 介護保険制度 (p.82-83)	
		e 地域支援事業	公衆衛生 7章2節1項 高齢者の保健医療に関わる法律とその内容 (p.124) 社会福祉と社会保障 7章3節3項 介護保険制度の課題 (p.199) 医療関係法規 10章2節 介護保険法 (p.187-188) 高齢者の健康と障害 2章3節4項 介護保険制度 (p.85)	
	4 看護における倫理	A 基本的人権の擁護	a 個人の尊厳	看護学概論 1章3節 看護実践のための基準 (p.31)／9章1節4項 法の形からの分類 (p.173) 看護研究 7章1節 倫理とは何か (p.126-127)
			b 患者の権利	看護学概論 6章5節2項 倫理的判断に必要な基本的知識 (看護倫理で活用する判断基準) (p.136) 基礎看護技術 2章4節2項 看護と人権 (p.35) 看護研究 7章3節1項 五つの権利 (p.130-132) 臨床看護総論 3章6節3項 医療実践における倫理：医療者としての責務と患者の権利 (p.157-158)
c 自己決定権と患者の意思			看護学概論 6章1節 看護倫理とは (p.126) 看護研究 7章3節1項 五つの権利 (p.130) 臨床看護総論 3章6節3項 医療実践における倫理：医療者としての責務と患者の権利 (p.157-158)	
d インフォームド・コンセント			看護学概論 1章3節4項 指針・ガイドライン (p.35)／6章2節3項 看護研究における倫理 (p.128) 基礎看護技術 2章4節3項 インフォームドコンセントと看護者の役割 (p.35) 看護研究 7章3節2項 人権擁護の方法 (p.132-133) 医療安全 1章1節2項 医療安全に関わる動向 (p.13)	
e ノーマライゼーション			健康危機状況／セルフケアの再獲得 4章3節1項 依存と自立の概念 (p.194-195)／5章2節3項 社会生活レベルのセルフケア再獲得への支援 (p.233-234) リハビリテーション看護 2章6節 ノーマライゼーション (p.40-41)	
f 情報管理 (個人情報保護)			医療関係法規 17章4節 個人情報保護法 (p.330-331) 看護学概論 12章1節2項 マネジメントの対象となる資源 (p.232) 基礎看護技術 7章1節3項 安全管理対策 (p.141-142)	

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
4 看護における倫理	B 倫理原則	a 自律尊重	看護学概論 6章5節2項 倫理的判断に必要な基本的知識（看護倫理で活用する判断基準）(p.134-135) 看護管理 4章1節3項 倫理的葛藤 (p.117-118) 在宅療養を支える技術 1章1節5項 訪問の手順・倫理と心構え (p.16)
		b 善行	看護学概論 6章5節2項 倫理的判断に必要な基本的知識（看護倫理で活用する判断基準）(p.134-135) 看護管理 4章1節3項 倫理的葛藤 (p.117-118) 在宅療養を支える技術 1章1節5項 訪問の手順・倫理と心構え (p.16)
		c 公正、正義	看護学概論 6章5節2項 倫理的判断に必要な基本的知識（看護倫理で活用する判断基準）(p.134-135) 看護管理 4章1節3項 倫理的葛藤 (p.117-118) 在宅療養を支える技術 1章1節5項 訪問の手順・倫理と心構え (p.16)
		d 誠実、忠誠	看護学概論 6章5節2項 倫理的判断に必要な基本的知識（看護倫理で活用する判断基準）(p.134-135) 在宅療養を支える技術 1章1節5項 訪問の手順・倫理と心構え (p.16)
		e 無危害	看護学概論 6章5節2項 倫理的判断に必要な基本的知識（看護倫理で活用する判断基準）(p.134-135) 看護管理 4章1節3項 倫理的葛藤 (p.117-118) 在宅療養を支える技術 1章1節5項 訪問の手順・倫理と心構え (p.16)
	C 看護師等の役割	a 説明責任	看護学概論 1章2節5項 エビデンスに基づく看護 (p.29-30) 基礎看護技術 2章4節3項 インフォームドコンセントと看護師の役割 (p.35) 看護管理 4章1節1項 看護実践倫理 (p.111-112)
		b 倫理的配慮	看護学概論 6章2節2項 看護実践における倫理 (p.127), 3項 看護研究における倫理 (p.127-128) 看護研究 7章3節 研究において擁護されるべき権利 (p.130-134)
		c 権利擁護〈アドボカシー〉	看護学概論 6章5節2項 倫理的判断に必要な基本的知識（看護倫理で活用する判断基準）(p.134) リハビリテーション看護 3章2節2項 障害者のアドボカシー (p.50) 看護管理 4章1節1項 看護実践倫理 (p.110-111)
		d エンパワメント	成人看護学概論 6章3節1項 エンパワメントモデル (p.116-117), 2項 エンパワメント・アプローチのプロセス (p.117-119), 3項 医学モデルとエンパワメントモデルの実際 (p.120-121) リハビリテーション看護 2章7節 エンパワメント (p.42)
	5 看護に関わる基本的法律	A 保健師助産師看護師法	a 保健師助産師看護師の定義
b 保健師助産師看護師の業務			医療関係法規 3章1節 保健師助産師看護師法 (p.30-33) 看護学概論 1章2節3項 看護実践のための教育の準備 (p.27) / 9章2節1項 保健師助産師看護師法 (p.181-183) 看護管理 8章1節3項 保健師助産師看護師法 (p.201) 医療安全 1章2節2項 看護師の法的規定 (p.21), 3項 看護業務の変遷と安全管理 (p.22-26)
c 保健師助産師看護師の義務（守秘義務、業務従事者届出の義務、臨床研修等を受ける努力義務）			医療関係法規 3章1節 保健師助産師看護師法 (p.30, 31, 33) 看護学概論 9章2節1項 保健師助産師看護師法 (p.181, 183) 看護管理 8章1節3項 保健師助産師看護師法 (p.203) 医療安全 1章2節2項 看護師の法的規定 (p.21-22)
d 養成制度			医療関係法規 3章1節 保健師助産師看護師法 (p.30) 看護学概論 1章2節3項 看護実践のための教育の準備 (p.25-28) 看護管理 8章1節3項 保健師助産師看護師法 (p.202)

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
5 看護に関わる基本的法律	B 看護師等の人材確保の促進に関する法律	a 基本方針	医療関係法規 3章3節 看護師等の人材確保の促進に関する法律 (p.35-36) 看護管理 8章1節4項 看護師等の人材確保の促進に関する法律 (p.203)
		b ナースセンター	医療関係法規 3章3節 看護師等の人材確保の促進に関する法律 (p.36) 看護管理 8章1節4項 看護師等の人材確保の促進に関する法律 (p.204)

**目標Ⅱ 看護の対象および看護活動の場と看護の機能について基本的な知識を問う。**

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所	
6 人間の特性	A 人間と欲求	a 基本的欲求	看護学概論 2章1節3項 動機付けられる存在（ニードをもつ存在）(p.60-61) ヘルスアセスメント 6章1節1項 マズローの基本的欲求の理論 (p.258)	
		b 社会的欲求	看護学概論 2章1節3項 動機付けられる存在（ニードをもつ存在）(p.60-61)	
	B 対象の特性	a QOL	看護学概論 6章3節1項 個人のもつ価値 (p.129) 成人看護学概論 5章3節6項 Quality of Life (QOL) (p.100-101) リハビリテーション看護 2章5節 QOL : quality of life (p.39)	
		b ニーズ	看護学概論 2章3節1項 対象理解と看護アセスメントの枠組み（視点）(p.63-64) / 5章3節1項 ニード理論 (p.106-107), 4節2項 ヘンダーソン (p.111-112), 3項 オレム (p.112-114), 4項 ウィーデンバック (p.114-116)	
		c 健康や疾病に対する意識	看護学概論 2章3節2項 健康障害とその影響 (p.64-66) 成人看護学概論 5章1節 主要な健康観 (p.94-96), 4節 保健行動と健康観 (p.102-104) 健康危機状況 / セルフケアの再獲得 1章1節1項 成人にとっての健康とは (p.14-15)	
		d 疾病・障害の受容	看護学概論 2章4節4項 ストレスを軽減させる看護活動 (p.76-77) リハビリテーション看護 6章1節1項 障害受障後の心理社会的反応 (p.162-163), 2項 自己概念と障害受容 (p.163-165)	
	7 人間のライフサイクル各期の特徴と生活	A 胎児期	a 形態的発達と異常	臨床生化学 7章 先天性代謝異常 (p.132-136) 病態生理学 1章8節3項 先天異常の分類 (p.82-85), 4項 先天異常の発生頻度 (p.85) 運動機能障害 5章4節2項 主な疾患 (p.75-76) 小児の疾患と看護 2章 遺伝性疾患・染色体異常 (p.30-46) / 3章1節 新生児マスキリング対象疾患 (newborn mass screening) (p.48-49), 9節 性分化疾患 (disorder of sex development : DSD) (p.64-66) / 7章1節 心室中隔欠損症 (p.144-146), 2節 心房中隔欠損症 (p.146-148), 3節 房室中隔欠損症 (p.149-151), 5節 ファロー四徴症 (p.154-156), 6節 完全大血管転位症 (p.156-158) / 8章4節 先天性水腎症 (congenital hydronephrosis) (p.168-170) / 10章3節 血友病 (hemophilia) (p.198-200) / 12章 外科疾患 (p.234-274) 母性看護実践の基本 3章1節5項 性分化疾患 (p.49) / 6章2節2項 胎盤形成と胎児の発育 (p.112-117) / 11章6節 妊娠期の感染症 (p.268) / 14章2節2項 外表奇形 (p.342), 3節1項 循環器疾患 (p.344-345), 2項 外科的疾患 (p.345-346), 5節 先天異常 (p.349-350) / 15章1節3項 胎児治療 (p.360-361)
			B 新生児・乳児期	a 発達の原則
		b 身体の発育	ヘルスアセスメント 4章2節2項 身体発育に関するアセスメント (p.214-219) 小児の発達と看護 2章2節2項 形態的成長・発達の特徴 (p.80-82), 3項 機能的発達の特徴 (p.82-88)	

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
7 人間のライフサイクル各期の特徴と生活	B 新生児・乳児期	c 運動能力の発達	運動機能障害 7章3節1項 小児の運動機能障害の特徴と代表的な疾患 (p.121-122) ヘルスアセスメント 4章2節3項 乳幼児の精神・運動機能の発達評価方法 (p.220) 小児の発達と看護 2章2節3項 機能的発達の特徴 (p.88-89)
		d 栄養	臨床栄養学 3章3節1項 乳幼児期 (p.112-115) 母性看護実践の基本 10章2節1項 母乳育児の恩恵 (p.229-230)
		e 親子関係	小児の発達と看護 1章5節4項 親子関係論 (p.67-70) / 2章2節6項 乳児のセルフケアの発達と看護 (p.95-96) 母性看護実践の基本 1章3節2項 母子に関連する理論 (p.20-24) 情緒発達と精神看護の基本 3章3節 母子関係の発展 (p.55-58) / 4章2節1項 乳幼児期 (0~6歳ごろ) (p.60-61)
	C 幼児期	a 身体の発育	ヘルスアセスメント 4章2節2項 身体発育に関するアセスメント (p.214-219)
		b 運動能力の発達	小児の発達と看護 2章3節7項 遊びの意義 (p.126)
		c 言語の発達	小児の発達と看護 2章3節1項 幼児期とは (p.102), 7項 遊びの意義 (p.126-128)
		d 社会性の発達	小児の発達と看護 2章3節2項 家族とその機能 (p.103-104), 7項 遊びの意義 (p.126-128) 情緒発達と精神看護の基本 4章2節1項 乳幼児期 (0~6歳ごろ) (p.61)
		e 基本的生活習慣の確立	運動機能障害 7章3節2項 運動機能障害がある小児の日常生活の観察 (p.122-123) 小児の発達と看護 2章3節3項 食行動 (p.104-111), 4項 排泄行動 (p.111-115), 5項 睡眠行動 (p.115-117), 6項 清潔行動 (p.117-120)
	D 学童期	a 運動能力の発達、体力の特徴	小児の発達と看護 2章4節2項 身体的成長 (p.131-133), 3項 機能的発達 (p.136-137)
		b 社会性の発達	小児の発達と看護 2章4節3項 機能的発達 (p.136) 情緒発達と精神看護の基本 4章2節2項 学童期 (6~12歳ごろ) (p.62-63)
		c 学習に基づく行動	小児の発達と看護 2章4節3項 機能的発達 (p.134-137)
	E 思春期	a 第二性徴	ヘルスアセスメント 4章1節1項 母性のアセスメントに必要な基礎知識 (p.200-201) 小児の発達と看護 2章5節2項 身体的成長 (p.147-150) 母性看護実践の基本 4章1節1項 身体的特徴 (p.66-67)
		b アイデンティティの確立	小児の発達と看護 2章5節1項 思春期とは (p.147) 母性看護実践の基本 4章1節2項 心理社会的特徴 (p.67-68) 情緒発達と精神看護の基本 4章2節4項 青年期 (18~25歳ごろ) (p.64-65)
		c 親からの自立	小児の発達と看護 2章5節3項 機能的発達 (p.151) 母性看護実践の基本 4章1節2項 心理社会的特徴 (p.67-68) 情緒発達と精神看護の基本 4章2節3項 思春期 (12~18歳ごろ) (p.63-64)
		d 異性への関心	小児の発達と看護 2章5節2項 身体的成長 (p.149) 母性看護実践の基本 4章1節2項 心理社会的特徴 (p.67-68) 情緒発達と精神看護の基本 4章2節3項 思春期 (12~18歳ごろ) (p.63-64)
	F 成人期	a 社会的責任と役割	成人看護学概論 2章2節 成人の役割 (p.32-35) 情緒発達と精神看護の基本 4章2節5項 成人期 (25~40歳ごろ) (p.65-67), 6項 中年期 (40~65歳ごろ) (p.67-69)
		b 生殖機能の成熟と衰退	母性看護実践の基本 4章2節2項 身体的特徴 (p.68-69) / 5章1節1項 身体的特徴 (p.96-97)
		c 基礎代謝の変化	臨床栄養学 3章3節4項 成人期 (p.121-122) ヘルスアセスメント 6章3節2項 栄養/代謝パターンのアセスメント (p.283-285)

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
7 人間のライフサイクル各期の特徴と生活	G 老年期	a 身体的機能の変化	臨床栄養学 3章3節6項 高齢期 (p.126-127) 運動機能障害 7章5節 高齢者の運動機能障害のアセスメント (p.126-127) 高齢者の健康と障害 1章5節1項 身体機能の生理的变化 (p.42-46)
		b 認知能力の変化	高齢者の健康と障害 1章5節2項 心理・精神機能の変化 (p.51-53)
		c 心理社会的変化	成人看護学概論 2章1節2項 成人各期の特徴 (p.31-32) 高齢者の健康と障害 1章5節2項 心理・精神機能の変化 (p.49-55) 情緒発達と精神看護の基本 4章2節7項 老年期 (65歳以上) (p.69-71)
8 看護の対象としての患者と家族	A 家族の機能	a 家族関係	健康危機状況／セルフケアの再獲得 2章5節1項 家族または重要他者との関係性 (p.104-109) 情緒発達と精神看護の基本 7章2節 家族をみる視点 (p.103-108) 地域療養を支えるケア 2章4節1項 家族とは (p.53-58)
		b 家族構成員	健康危機状況／セルフケアの再獲得 2章5節1項 家族または重要他者との関係性 (p.104-109) 地域療養を支えるケア 2章4節1項 家族とは (p.53)
		c 疾病が患者・家族に与える心理・社会的影響	健康危機状況／セルフケアの再獲得 2章5節2項 家族についてのアセスメント方法 (p.109-115) リハビリテーション看護 6章2節1項 障害のある人と家族 (p.167-169), 2項 障害に対する家族の心理社会的反応 (p.169-170) 緩和ケア 9章2節 緩和ケアを受ける患者の家族が体験する問題 (p.257-259) 情緒発達と精神看護の基本 7章4節 精神疾患と家族 (p.112-117)
	B 家族形態の変化	a 家族の多様性	健康と社会・生活 3章1節3項 家族の個人化と多様化 (p.58-59) 地域療養を支えるケア 2章4節1項 家族とは (p.53)
		b 構成員の変化	地域療養を支えるケア 2章4節1項 家族とは (p.53)
9 主な看護活動の場と看護の機能	A 看護活動の場と機能	a 病院	医療関係法規 12章2節 医療法 (p.245-246) 看護学概論 10章2節2項 医療サービスの場 (p.203) 臨床看護総論 3章1節2項 病院内で配属される部署 (p.104-105)
		b 診療所	医療関係法規 12章2節 医療法 (p.245) 看護学概論 10章2節2項 医療サービスの場 (p.203)
		c 助産所	医療関係法規 12章2節 医療法 (p.246) 医療安全 2章2節2項 日本助産師会 (p.45-47)
		d 訪問看護ステーション	看護学概論 10章3節3項 多職種で取り組む保健・医療・福祉 (p.209), 4節 保健・医療・福祉におけるケア提供の経済 (p.212) 地域療養を支えるケア 3章2節 在宅ケアを支える訪問看護ステーション (p.74-79) 看護管理 1章2節4項 看護師等の人材確保の促進に関する法律から今まで (p.23)
		e 介護保険施設	医療関係法規 10章2節 介護保険法 (p.175, 187) 地域療養を支えるケア 5章3節4項 介護保険制度 (p.160-161)
		f 地域包括支援センター	社会福祉と社会保障 2章3節4項 社会福祉と保健の連動の場と重要性 (p.52) / 4章4節5項 地域における高齢者保健福祉の課題 (p.128-129) 医療関係法規 10章2節 介護保険法 (p.188) 看護学概論 10章3節3項 多職種で取り組む保健・医療・福祉 (p.205, 207) 地域療養を支えるケア 4章3節2項 地域包括ケアと保健・医療・福祉の連携 (p.127-129)
		g 市町村	医療関係法規 12章1節 地域保健法 (p.244) 看護学概論 10章2節1項 保健サービスの場 (p.200-201)
		h 保健所	公衆衛生 2章3節 保健所の役割とその変化 (p.27-33) / 12章1節3項 保健所における健康危機管理の業務 (p.199-200) 医療関係法規 12章1節 地域保健法 (p.244) 看護学概論 10章2節1項 保健サービスの場 (p.200-201)

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
9 主な看護活動の場と看護の機能	A 看護活動の場と機能	i 学校	公衆衛生 14章2節3項 保健教育 (p.226-227) 医療関係法規 2章2節 学校保健安全法 (p.154)
		j 企業	公衆衛生 15章4節4項 産業看護活動の特徴 (p.253-255) 医療関係法規 15章4節 労働安全衛生法 (p.301)
	B 看護の機能と役割	a 訪問看護	看護学概論 序章3項 看護の広がり (p.14) / 10章3節3項 多職種で取り組む保健・医療・福祉 (p.209) 健康危機状況/セルフケアの再獲得 3章4節1項 訪問看護での健康危機状況 (p.139) 小児の発達と看護 3章8節4項 在宅療養を行う子どもと家族への看護 (p.278-280) 地域療養を支えるケア 1章2節2項 個人と家族を対象とする在宅看護 (p.20)
		b チーム医療	看護学概論 10章3節2項 チームの中における看護者のコーディネート機能 (p.205) / 11章1節1項 チームアプローチ (p.222-223) 臨床看護総論 3章6節1項 多職種の連携と協働に必要なこと (p.153-154), 1節3項 チーム医療の機会 (p.105-108) 健康危機状況/セルフケアの再獲得 5章3節1項 医療・福祉関連職種によるチームアプローチ (p.238-241) 看護管理 2章1節2項 医療機関の組織構造 (p.38-39) / 4章2節5項 医療安全とチーム医療, ノンテクニカルスキル (p.125), 3節3項 クリニカルインディケーター (p.132-133) 医療安全 1章1節2項 医療安全に関わる動向 (p.15)
		c 退院調整	看護学概論 11章2節5項 退院調整 (p.227-228) 精神障害と看護の実践 7章3節1項 在宅療養への調整とは (p.211-212)
		d 入院のオリエンテーション (入院相談)	周術期看護 1章 周術期に関連する基礎知識 (p.12) / 4章1節3項 ボディイメージの受容や心理的ストレスへの対処に向けた援助 (p.60-62) 高齢者看護の実践 3章5節3項 入院時のオリエンテーション (p.271)
		e 地域医療連携	地域療養を支えるケア 4章2節1項 在宅ケアにおける関係機関・関係職種 (p.118-120) 看護管理 3章2節2項 多職種連携の中での看護管理 (p.72-73)
		f 家族との調整	基礎看護技術 3章1節2項 患者と家族のセルフケアを支援する活動 (p.42-50) 地域療養を支えるケア 2章5節4項 介護力に応じた家族支援 (p.64)

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践

**目標Ⅲ 看護に必要な人体の構造と機能および健康障害と回復について基本的な知識を問う。**

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
10 人体の構造と機能	A 人体の基本的な構造と正常な機能	a 内部環境の恒常性	解剖生理学 1章3節 ホメオスタシス (恒常性) (p.25) 病態生理学 1章1節1項 体液の恒常性 (p.17-19) 内部環境調節機能障害/性・生殖機能障害 1章1節1項 ホメオスタシスと内分泌系, 腎・泌尿器系 (p.18-19)
		b 神経系	解剖生理学 13章 神経系 情報を収集して判断し, 伝達するしくみ (p.324-325) 脳・神経機能障害/感覚機能障害 【図解】 神経系 (p.10-11) ヘルスアセスメント 3章13節1項 神経系の構造と機能: アセスメントの根拠になる復習事項 (p.168-171)
		c 運動系	解剖生理学 11章 骨格系 体を支えるしくみ (p.276-277) / 12章 筋系 体を動かすしくみ (p.302-303) 運動機能障害 【図解】 骨格系・筋系 (p.10-15) ヘルスアセスメント 3章12節1項 筋・骨格系の構造と機能: アセスメントの根拠になる復習事項 (p.152-155) 基礎看護技術 10章2節1項 運動の神経支配と骨格筋の収縮 (p.192-193)
		d 感覚器系	解剖生理学 14章 感覚系 外部から情報を取り入れるしくみ (p.362-363) ヘルスアセスメント 3章5節1項 鼻・耳・口腔/咽頭の構造と機能: アセスメントの根拠になる復習事項 (p.70-73), 6節1項 眼の構造と機能: アセスメントの根拠になる復習事項 (p.80-82)



大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
10 人体の構造と機能	A 人体の基本的な構造と正常な機能	e 循環器系	<p><b>解剖生理学</b> 5章 循環器系 体のすみずみまで血液を送るしくみ (p.100-101)</p> <p><b>病態生理学</b> 1章2節1項 循環とは (p.31)</p> <p><b>呼吸機能障害／循環機能障害</b> 【図解】 循環器系 (p.14-15)／序章 呼吸・循環のしくみ (p.18-19)／6章1節1項 循環器と循環機能 (p.136-138)</p> <p><b>ヘルスアセスメント</b> 3章8節1項 心臓・血管系の構造と機能：アセスメントの根拠になる復習事項 (p.99-102)</p>
		f 血液、体液	<p><b>解剖生理学</b> 4章 血液 物質を運搬するしくみ (p.84-98)／8章1節3項 血液成分の調節 (p.202-210)</p> <p><b>病態生理学</b> 1章1節1項 体液の恒常性 (p.17-19)</p> <p><b>造血機能障害／免疫機能障害</b> 【図解】 血液 (p.10-11)</p> <p><b>呼吸機能障害／循環機能障害</b> 序章1節2項 呼吸と循環との関係 (p.18-19)</p> <p><b>内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害</b> 1章2節1項 体液を調節するしくみ (p.23)</p>
		g 免疫系	<p><b>解剖生理学</b> 15章 免疫系 異物を認識、記憶して排除するしくみ (p.392-393)</p> <p><b>病態生理学</b> 1章4節1項 免疫とは (p.45), 2項 免疫の働きと調節 (p.45-48)</p> <p><b>臨床微生物・医動物</b> 4章2節 感染防御機構の基礎 (p.188-194)</p> <p><b>造血機能障害／免疫機能障害</b> 【図解】 免疫系 (p.12-13)</p>
		h 呼吸器系	<p><b>解剖生理学</b> 6章 呼吸器系 酸素を取り入れて二酸化炭素を排出するしくみ (p.130-131)</p> <p><b>呼吸機能障害／循環機能障害</b> 【図解】 呼吸器系 (p.12-13)／序章 呼吸・循環のしくみ (p.18-19)／1章1節1項 呼吸器と呼吸機能 (p.22-25)</p> <p><b>ヘルスアセスメント</b> 3章7節1項 肺(呼吸器系)の構造と機能：アセスメントの根拠になる復習事項 (p.89-91)</p> <p><b>基礎看護技術</b> 15章2節 呼吸の生理学的メカニズム (p.316-318)</p>
		i 消化器系	<p><b>解剖生理学</b> 7章 消化器系 食物を摂取して消化・吸収し排泄するしくみ (p.160-161)</p> <p><b>ヘルスアセスメント</b> 3章10節1項 腹部(消化器系)の構造と機能：アセスメントの根拠になる復習事項 (p.128-131)</p> <p><b>基礎看護技術</b> 13章2節2項 消化・吸収の生理学的メカニズム (p.266-269)</p>
		j 栄養と代謝系	<p><b>解剖生理学</b> 9章 内分泌系 内部の環境を整えるしくみ (p.218-219)</p> <p><b>臨床生化学</b> 1章 代謝総論 (p.12-18)／5章 エネルギー代謝の統合と制御 (p.106-112)</p>
		k 泌尿器系	<p><b>解剖生理学</b> 8章 泌尿器系 尿をつくるしくみ (p.194-195)</p> <p><b>内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害</b> 【図解】 泌尿器系 (p.12-13)</p> <p><b>基礎看護技術</b> 14章2節 排尿・排便の生理学的メカニズム (p.290-292)</p>
		l 体温調節	<p><b>内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害</b> 1章3節1項 体温を調節するしくみ (p.28)</p> <p><b>解剖生理学</b> 3章3節 体熱産生と体温 (p.76-81)</p> <p><b>病態生理学</b> 2章40節 発熱・低体温 (p.294-306)</p> <p><b>基礎看護技術</b> 4章2節5項 体温 (p.76-77)／16章2節 体温調節 (p.340-343)</p>
		m 内分泌系	<p><b>解剖生理学</b> 9章 内分泌系 内部の環境を整えるしくみ (p.218-219)</p> <p><b>臨床生化学</b> 1章3節 ホルモンの作用と代謝の調節 (p.16-17)</p>
		n 性と生殖系	<p><b>解剖生理学</b> 10章 生殖系 子孫を残すしくみ (p.250-251)</p> <p><b>ヘルスアセスメント</b> 3章11節1項 生殖器(女性／男性)と肛門：アセスメントの根拠になる復習事項 (p.142-144)</p> <p><b>母性看護実践の基本</b> 3章2節 女性の生殖器 (p.49-53), 3節 男性の生殖器 (p.54-55), 4節 性分化のメカニズム (p.55-57), 5節 性周期 (p.57-61)</p>
o 妊娠・分娩・産褥の経過	<p><b>解剖生理学</b> 10章1節5項 妊娠と出産 (p.263-267)</p> <p><b>母性看護実践の基本</b> 6章2節3項 妊娠に伴う母体の変化 (p.117-123)／7章3節1項 分娩の経過 (p.161-165)／8章2節 産褥期における身体的変化 (p.187-193)</p>		

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
10 人体の構造と機能	A 人体の基本的な構造と正常な機能	p 遺伝	臨床生化学 2章5節 核酸とヌクレオチド (p.40-45) / 6章 遺伝情報 (p.114-130) 病態生理学 1章8節2項 先天異常の原因 (p.81-82)
		B 人間の死	a 死の三徴候
	b 死亡判定		緩和ケア 8章5節2項 死亡の確認と死亡診断書 (p.250-251) 基礎看護技術 22章5節2項 臨終後の身体的変化 (p.476)
	c 脳死		病態生理学 1章序論3項 人間の死 (p.14-16) 脳・神経機能障害 / 感覚機能障害 4章 コラム 脳死 (p.214) 緩和ケア 8章5節2項 死亡の確認と死亡診断書 (p.250-251)
	d 死の受容		基礎看護技術 22章3節 危篤・終末時の心理的变化 (p.470-472) 成人看護学概論 2章4節 成人と死 (p.40-42) 災害看護 5章8節1項 遺族に必要な支援 (p.142-144)
11 疾患と徴候	A 主要な症状と徴候	a 意識障害	病態生理学 2章24節 意識障害 (p.214-221) 呼吸機能障害 / 循環機能障害 8章2節4項 意識障害・失神 (p.202-203) 脳・神経機能障害 / 感覚機能障害 3章2節2項 意識障害 (p.142-146)
		b ショック	病態生理学 2章6節 ショック (p.128-135) 臨床薬理学 6章1節1項 ショック (アナフィラキシーとアナフィラキシー様反応) (p.144) 呼吸機能障害 / 循環機能障害 6章10節 末梢性の循環障害—ショック (p.182-186) 造血機能障害 / 免疫機能障害 3章3節2項 アナフィラキシーショック (p.138-141)
		c 高体温、低体温	病態生理学 2章40節 発熱・低体温 (p.294-306) 基礎看護技術 16章2節5項 体温の異常 (p.342-343) 内部環境調節機能障害 / 性・生殖機能障害 5章 体温調節機能の障害 (p.100-120)
		d 脱水	病態生理学 2章42節 脱水 (p.314-318) 内部環境調節機能障害 / 性・生殖機能障害 1章2節2項 水と電解質の異常とはどのような状態か (p.23-26) 高齢者看護の実践 1章1節2項 脱水 (p.19-23)
		e 黄疸	病態生理学 2章18節 黄疸 (p.183-186) 栄養代謝機能障害 3章2節1項 特徴的な症状とその看護 (p.124-127)
		f 頭痛	病態生理学 2章25節 頭痛 (p.222-227)
		g 咳嗽、喀痰	病態生理学 2章1節 咳嗽・喀痰・喀血 (p.102-108) 呼吸機能障害 / 循環機能障害 4章2節5項 咳・痰 (血痰・喀血) (p.93-94)
		h 吐血、喀血	病態生理学 2章1節 咳嗽・喀痰・喀血 (p.102-108), 13節 吐血・下血 (p.161-165) 呼吸機能障害 / 循環機能障害 4章2節5項 咳・痰 (血痰・喀血) (p.93-94)
		i チアノーゼ	病態生理学 2章5節 チアノーゼ (p.125-127) 呼吸機能障害 / 循環機能障害 4章2節1項 チアノーゼ (p.89) / 8章2節8項 チアノーゼ (p.205-206)
		j 呼吸困難	病態生理学 2章2節 呼吸困難 (p.109-115) 呼吸機能障害 / 循環機能障害 4章2節4項 呼吸困難 (p.91-92) / 8章2節7項 呼吸困難 (p.205) 緩和ケア 2章5節 呼吸困難の治療と看護 (p.96-103)
		k 胸痛	病態生理学 2章3節 胸痛 (p.116-118) 呼吸機能障害 / 循環機能障害 4章2節3項 胸痛 (p.90) / 8章2節6項 胸痛 (p.204-205)
		l 不整脈	病態生理学 2章4節 不整脈 (p.119-124) 呼吸機能障害 / 循環機能障害 6章7節 刺激伝導系の障害 (p.167-171) ヘルスアセスメント 3章8節4項 心電図によるアセスメント (p.110-114)

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
11 疾患と徴候	A 主要な症状と徴候	m 腹痛、腹部膨満	病態生理学 2章7節 腹痛 (p.136-139), 16節 腹部膨満 (p.175-178) 栄養代謝機能障害 3章2節1項 特徴的な症状とその看護 (p.118-124)
		n 悪心、嘔吐	病態生理学 2章12節 嘔気・嘔吐 (p.157-160) 栄養代謝機能障害 3章2節1項 特徴的な症状とその看護 (p.114-116) 緩和ケア 2章4節1項 嘔気・嘔吐の治療と看護 (p.81-84)
		o 下痢	病態生理学 2章15節 下痢 (p.171-174) 栄養代謝機能障害 3章3節1項 特徴的な症状とその看護 (p.138-140)
		p 便秘	病態生理学 2章14節 便秘 (p.166-170) 栄養代謝機能障害 3章3節1項 特徴的な症状とその看護 (p.140-141) 緩和ケア 2章4節4項 便秘の治療と看護 (p.89-91)
		q 下血	病態生理学 2章13節 吐血・下血 (p.161-165) 栄養代謝機能障害 3章2節1項 特徴的な症状とその看護 (p.116-118)
		r 乏尿、無尿、頻尿、多尿	病態生理学 2章43節1項 頻尿 (p.319), 44節 尿量異常 (p.322-324)
		s 浮腫	病態生理学 2章41節 浮腫 (p.307-313) 呼吸機能障害／循環機能障害 8章2節3項 浮腫 (p.201-202) 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 1章2節2項 水と電解質の異常とはどのような状態か (p.24) 緩和ケア 2章6節 リンパ浮腫の治療と看護 (p.104-110)
		t 貧血	病態生理学 2章19節 貧血 (p.187-192) 造血機能障害／免疫機能障害 1章1節 貧血 (p.16-25)
		u 睡眠障害	病態生理学 2章46節 睡眠障害 (p.329-336) 緩和ケア 3章5節 不眠の治療と看護 (p.162-168) 高齢者看護の実践 1章4節7項 睡眠障害 (p.108-115) 精神障害と看護の実践 1章11節 睡眠-覚醒障害 (p.63-68)
		v 感覚過敏・鈍麻	病態生理学 2章32節 視力障害 (p.255-260), 33節 難聴 (p.261-265), 35節 味覚障害 (p.270-273), 36節 嗅覚障害 (p.274-277), 37節 しびれ (p.278-283) 脳・神経機能障害／感覚機能障害 5章4節 皮膚 (体性感覚) の障害と患者の看護 (p.246-254)
		w 運動麻痺	病態生理学 2章27節 運動麻痺 (p.233-238) 脳・神経機能障害／感覚機能障害 1章1節2項 大脳の機能とその障害 (p.18-20), 3節2項 脳幹の機能とその障害 (p.24-25), 6節2項 脳神経の機能とその障害 (p.33-34), 8節2項 脳の動脈の機能とその障害 (p.39)／3章2節3項 片麻痺 (p.146-153), 4項 運動失調, 不随意運動 (p.154-158), 12項 顔面神経麻痺 (p.188-190)
		x けいれん	病態生理学 2章26節 痙攣とてんかん (p.228-232) 脳・神経機能障害／感覚機能障害 3章1節9項 てんかん患者 (p.126-129) 小児の発達と看護 3章2節3項 痙攣時のアセスメントと看護 (p.195-197) 小児の疾患と看護 11章2節 熱性けいれん (p.216-218)
		y 気分〈感情〉障害	公衆衛生 10章3節2項 気分障害 (p.179-180) 疾病と治療 14章2節1項 疾病の概念 (p.348), 2項 診断と治療 (p.348-351) 精神障害と看護の実践 1章1節2項 主な精神症状 (p.16), 4項 精神疾患の診断と分類 (p.17-19), 4節 抑うつ障害と双極性障害 (p.30) 高齢者看護の実践 2章2節1項 高齢者のうつ病の背景と特徴 (p.230-232)
	B 主要な疾患による健康障害と基本的な回復過程	a 生活習慣病	臨床生化学 4-2章10節 脂肪細胞と生活習慣病 (p.87) 病態生理学 2章8節1項 原因と分類 (p.140) 栄養代謝機能障害 2章1節6項 脂肪肝 (p.77)／4章1節6項 脂肪肝患者の看護 (p.163) 成人看護学概論 7章2節 生活習慣病の発生要因と対応 (p.137-138) セルフマネジメント 7章1節 糖尿病に関する知識 (p.102-108)

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所	
11 疾患と徴候	B 主要な疾患による健康障害と基本的な回復過程	b がん	病態生理学 1章7節8項 がんの臨床・看護 (p.79-80) 緩和ケア 2章1節 身体症状概論 (p.46-49), 2節 疼痛の治療と看護 (p.50-75)	
		c 感染症	臨床微生物・医動物 2章 宿主の臓器・組織別にみる感染症と病原体 (p.34-103) / 3章 宿主の因子が影響する感染症と病原体 (p.106-178) / 4章1節 感染症と臨床微生物・医動物 (p.182-187)	
		d 精神疾患	精神障害と看護の実践 1章 精神症状と精神疾患 (p.15-87) 臨床看護総論 3章4節7項 精神療法 (p.135-136)	
		e 小児の疾患	小児の疾患と看護 2章 遺伝性疾患・染色体異常 (p.30-46) / 3章 代謝・内分泌疾患 (p.48-66) / 4章 免疫・アレルギー・膠原病 (p.68-85) / 5章 感染症 (p.88-118) / 7章 循環器疾患 (p.144-160) / 8章 腎・泌尿器疾患 (p.162-176) / 9章 消化器疾患 (p.178-192) / 10章 血液・腫瘍疾患 (p.194-212) / 11章 神経・筋・精神疾患 (p.214-232) / 12章 外科疾患 (p.234-274) 呼吸機能障害 / 循環機能障害 6章4節1項 心臓の形態異常とはどのような状態か (p.152-153) 運動機能障害 5章4節 先天性および幼児・小児に特有の運動機能障害とその疾患・治療 (p.75-76)	
		f 高齢者の疾患	高齢者の健康と障害 4章6節1項 高齢者に起こりやすい疾患の特徴 (p.200-203) 高齢者看護の実践 1章6節 呼吸・循環機能障害を支える看護 (p.145-174), 7節 その他高齢者に特徴的な症状・疾患を支える看護 (p.175-199) / 2章1節1項 認知症の病態と要因 (p.202-204) 精神障害と看護の実践 1章13節 神経認知障害 (p.74-80)	
	C 基本的な臨床検査値の評価	a 血液学検査値	ヘルスアセスメント 6章3節2項 栄養 / 代謝パターンのアセスメント (p.279) 解剖生理学 4章1節 血液の機能と成分 (p.84-87) 病態生理学 2章22節3項 アセスメント (p.208-209) 小児の疾患と看護 10章 血液・腫瘍疾患 (p.194-212)	
		b 血液生化学検査	ヘルスアセスメント 6章3節2項 栄養 / 代謝パターンのアセスメント (p.279) 病態生理学 2章10節3項 アセスメント (p.149-150) 呼吸機能障害 / 循環機能障害 1章4節2項 肺循環障害に伴う症状とその検査 (p.47-48)	
		c 免疫血清学検査	ヘルスアセスメント 6章3節2項 栄養 / 代謝パターンのアセスメント (p.279) 臨床微生物・医動物 2章8節 皮膚に発疹が出現するウイルス感染症とリケッチア感染症 (p.92-96)	
		d 尿検査	ヘルスアセスメント 6章3節2項 栄養 / 代謝パターンのアセスメント (p.279) 臨床微生物・医動物 2章5節1項 尿路感染症の種類と病原体, 尿検査 (p.74-76) 疾病と治療 4章16節2項 急性膵炎—診断と治療 (p.121), 5項 慢性膵炎—診断と治療 (p.123)	
	12 薬物の作用とその管理	A 主な薬物の作用と副作用 (有害事象)	a 抗感染症薬	臨床微生物・医動物 6章2節1項 抗感染症薬 (p.225-233) 臨床薬理学 5章1節 細菌感染症 (p.124-131), 2節 ウイルス感染症 (p.132-134)
			b 抗癌薬	臨床薬理学 4-4章4節 抗がん薬と免疫抑制薬の作用 (p.103-104) 臨床薬理学 3章1節 がん使用する薬 (p.68-88) 造血機能障害 / 免疫機能障害 2章3節1項 急性白血病患者の観察とアセスメント (p.86-88) 緩和ケア 2章8節2項 化学療法に伴う苦痛の緩和 (p.118-124) 医療安全 7章4節1項 抗がん薬の曝露 (p.190-193)
			c 強心薬、抗不整脈薬	臨床薬理学 2章5節 不整脈 (p.48-49) / 6章2節1項 循環改善のために使用する薬 (p.145-146) 呼吸機能障害 / 循環機能障害 2章2節2項 呼吸性アシドーシスを伴う代表的疾患と検査・治療 (p.67-69) / 8章3節6項 生活指導 (p.212-214)
			d 狭心症治療薬	臨床薬理学 2章3節 狭心症 (p.42-43)

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
12 薬物の作用とその管理	A 主な薬物の作用と副作用 (有害事象)	e 抗血栓薬	臨床薬理学 2章4節 心筋梗塞 (p.44-47)
		f 降圧薬、昇圧薬	臨床薬理学 2章2節 高血圧 (p.37-42)
		g 利尿薬	臨床薬理学 2章2節 高血圧 (p.37-42)
		h 消化性潰瘍治療薬	臨床薬理学 8章1節1項 消化性潰瘍治療薬 (p.184-190)
		i 下剤	臨床薬理学 8章1節5項 瀉下薬 (下剤) (p.195-200)
		j 抗アレルギー薬	臨床薬理学 7章1節4項 抗アレルギー薬 (p.168-169)
		k 副腎皮質ステロイド薬	臨床薬理学 7章1節3項 ステロイド (吸入・注射) (p.165-168) / 資料8. ステロイド (p.260-263) 呼吸機能障害/循環機能障害 4章3節3項 呼吸器関連の服薬指導 (p.99-100) 造血機能障害/免疫機能障害 4章1節1項 膠原病患者の観察とアセスメント (p.154-157) 運動機能障害 3章4節1項 関節の薬物療法 (p.53-54)
		l 糖尿病治療薬	臨床薬理学 2章8節 糖尿病 (p.54-60) セルフマネジメント 7章1節4項 糖尿病の治療 (p.105-107)
		m 中枢神経作用薬	臨床薬理学 4章1節 中枢神経系の働きと薬 (p.90-91), 2節 抗てんかん薬 (p.91-95), 3節 パーキンソン病治療薬 (p.96-102) / 7章2節1項 鎮咳薬 (p.169-171) / 8章1節3項 制吐薬, 鎮吐薬 (p.191-195) 精神障害と看護の実践 3章2節 薬物療法 (p.109-119)
		n 麻薬	臨床薬理学 1章1節3項 医薬品の分類 (p.15) 健康危機状況/セルフケアの再獲得 2章1節3項 苦痛緩和の方法 (p.61-62) 緩和ケア 2章2節3項 がん疼痛の治療と看護 (p.58-70), 4項 がん疼痛を有する患者の看護 (p.70-72)
	o 消炎鎮痛薬	臨床微生物・医動物 6章2節6項 症状の緩和 (p.237) 運動機能障害 3章4節1項 関節の薬物療法 (p.53-54) 健康危機状況/セルフケアの再獲得 2章1節3項 苦痛緩和の方法 (p.61-62) 緩和ケア 2章2節3項 がん疼痛の治療と看護 (p.61)	
	B 薬物の管理	a 禁忌	臨床薬理学 1章3節2項 医薬品添付文書の読み方 (p.26-28)
		b 保存方法	臨床薬理学 1章3節3項 処方から投与まで (p.28-34)
c 薬理効果に影響する要因		基礎看護技術 19章3節5項 薬剤の効果 (薬効) に影響を与える要因 (p.403-404)	

#### 目標Ⅳ 看護技術に関する基本的な知識を問う。

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
13 看護における基本技術	A コミュニケーション	a 言語的コミュニケーション	基礎看護技術 2章1節5項 コミュニケーションの種類とその概要 (p.20-21), 6項 言語的コミュニケーション (p.21-22), 4節3項 インフォームドコンセントと看護者の役割 (p.35-37) 看護学概論 7章1節4項 コミュニケーションのタイプ (p.150-151), 3節3項 カウンセラーとしての役割 (p.154-155) ヘルスアセスメント 2章3節3項 問診技法 (p.25-26) セルフマネジメント 3-4章2節2項 言語コミュニケーションと非言語コミュニケーション (p.74)
		b 非言語的コミュニケーション	基礎看護技術 2章1節5項 コミュニケーションの種類とその概要 (p.20-21), 7項 非言語的コミュニケーション (p.22-25), 4節3項 インフォームドコンセントと看護者の役割 (p.35-37) 看護学概論 7章1節4項 コミュニケーションのタイプ (p.150-151), 3節3項 カウンセラーとしての役割 (p.154-155) ヘルスアセスメント 2章3節3項 問診技法 (p.25-26) セルフマネジメント 3-4章2節2項 言語コミュニケーションと非言語コミュニケーション (p.74)
		c 面接技法	看護学概論 7章3節3項 カウンセラーとしての役割 (p.155), 4節1項 問題を明確化して看護ケアを行う (p.156) ヘルスアセスメント 2章3節2項 有効な問診のための心掛け (p.24-25)

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所	
13 看護における基本技術	A コミュニケーション	c 面接技法	<b>基礎看護技術</b> 2章2節 看護場面での効果的なコミュニケーション技術 (p.25-28), 3節2項 ロールプレイ (p.30-31), 4節1項 援助過程とコミュニケーション (p.33-35) / 3章2節 カウンセリング (p.54-61)	
		B 看護過程		
		a 情報収集、アセスメント	<b>基礎看護技術</b> 9章2節1項 アセスメントとは (p.166-167), 2項 アセスメントの技術 (p.167-170), 3項 アセスメントの例 (事例紹介) (p.170-183) <b>看護学概論</b> 8章1節3項 看護過程; 五つのステップの順序と定義 (p.163-164), 2節1項 看護過程の五つの要素を正確に理解する (p.165) <b>ヘルスアセスメント</b> 1章3節1項 ヘルスアセスメントにおけるフィジカルアセスメント (p.14) / 7章2節 事例を用いた記録方法と看護計画 (p.322-343)	
		b 計画立案	<b>基礎看護技術</b> 9章4節1項 目標の設定 (p.184-185), 2項 計画の立案 (p.185-186) <b>看護学概論</b> 8章2節3項 記録の書き方 (p.167) <b>ヘルスアセスメント</b> 7章2節2項 ゴードンの11の機能的健康パターンを用いた情報の整理 (p.335-337), 3項 ヘンダーソンの14の構成要素を用いた情報の整理 (p.342-343)	
		c 実施	<b>基礎看護技術</b> 9章5節 実施 (p.186) <b>看護学概論</b> 8章1節2項 看護過程発展の歴史 (p.162), 3項 看護過程; 五つのステップの順序と定義 (p.163), 2節3項 記録の書き方 (p.167) <b>ヘルスアセスメント</b> 7章2節4項 実施・評価 (p.343)	
		d 評価	<b>基礎看護技術</b> 9章6節 評価 (p.186-187) <b>看護学概論</b> 8章1節3項 看護過程; 五つのステップの順序と定義 (p.163) <b>ヘルスアセスメント</b> 7章2節4項 実施・評価 (p.343)	
		e 記録方式	<b>基礎看護技術</b> 9章7節 看護記録の作成と管理 (p.187-190) <b>看護学概論</b> 1章3節4項 指針・ガイドライン (p.35-36) / 8章2節3項 記録の書き方 (p.167) <b>ヘルスアセスメント</b> 7章2節 事例を用いた記録方法と看護計画 (p.322-343)	
	C フィジカルアセスメント	a バイタルサインの測定	<b>基礎看護技術</b> 4章2節6項 バイタルサインの測定 (p.77-80) <b>ヘルスアセスメント</b> 2章5節 バイタルサインの測定 (p.31-41)	
		b 意識レベルの評価	<b>基礎看護技術</b> 4章2節1項 意識 (p.65-68) <b>病態生理学</b> 2章24節3項 アセスメント (p.217-219) <b>ヘルスアセスメント</b> 2章5節2項 バイタルサインの測定 (p.31-32)	
		c 呼吸音聴取	<b>基礎看護技術</b> 4章2節2項 呼吸 (p.68-70), 4節1項 フィジカルアセスメントテクニック (p.82-83), 3項 フィジカルアセスメントのチェックリスト (p.89) <b>ヘルスアセスメント</b> 2章4節4項 聴診: auscultation (p.29-30) / 3章7節2項 肺の問診および視診, 触診, 打診, 聴診 (p.91-96)	
		d 腸蠕動音聴取	<b>ヘルスアセスメント</b> 2章4節4項 聴診: auscultation (p.29-30) / 3章10節2項 腹部 (消化器系) の問診および視診, 聴診, 打診, 触診 (p.132-139) <b>基礎看護技術</b> 4章4節1項 フィジカルアセスメントテクニック (p.82-83), 3項 フィジカルアセスメントのチェックリスト (p.91)	
		e 運動機能の観察	<b>運動機能障害</b> 6章3節1項 関節のアセスメント (p.97-105) / 7章1節2項 日常生活の観察 (p.116-118) / 8章2節1項 基本的動作と日常生活活動の障害 (p.152-156) <b>ヘルスアセスメント</b> 3章12節2項 筋・骨格系の問診, 視診, 触診 (p.156-165)	
	14 日常生活援助技術	A 食事	a 食事の環境整備、食事介助	<b>基礎看護技術</b> 13章5節2項 経口栄養の援助 (p.279-283) <b>栄養代謝機能障害</b> 3章1節1項 特徴的な症状とその看護 (p.96-107) <b>地域療養を支えるケア</b> 6章1節 食の援助 (p.188-194)
			b 誤嚥の予防	<b>基礎看護技術</b> 7章5節 誤嚥・窒息の予防策 (p.147-148) <b>医療安全</b> 5章2節5項 誤嚥 (p.147-148) <b>病態生理学</b> 2章11節4項 ケア (p.155-156)

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所	
14 日常生活援助技術	A 食事	b 誤嚥の予防	臨床栄養学 4章4節 嚥下障害のある人のための食事 (p.153-156) 栄養代謝機能障害 3章1節1項 特徴的な症状とその看護 (p.96-107)	
		B 排泄	a 床上排泄	基礎看護技術 14章5節1項 床上での排尿・排便の援助 (p.298-300), 2項 尿失禁・便失禁のある患者のおむつを用いた援助 (p.301-302)
	b 導尿		基礎看護技術 14章5節6項 導尿 (p.306-310)	
	c 浣腸		基礎看護技術 14章5節7項 浣腸 (p.310-312)	
	d 摘便		基礎看護技術 14章5節8項 摘便 (p.312-313) 地域療養を支えるケア 6章4節3項 援助の実際と技術(2) (p.210-211)	
	e 失禁のケア		基礎看護技術 14章5節2項 尿失禁・便失禁のある患者のおむつを用いた援助 (p.301-302) 病態生理学 2章43節4項 尿失禁 (p.320-321) 栄養代謝機能障害 3章3節1項 特徴的な症状とその看護 (p.138-146)	
	C 活動と休息	a 体位、体位変換	基礎看護技術 8章1節 安楽な体位 (p.152-159) / 10章5節1項 体位変換 (p.200-204)	
		b 運動	基礎看護技術 10章3節1項 活動・運動の内容 (p.195-196) 運動機能障害 7章1節2項 日常生活の観察 (p.116-118) 脳・神経機能障害/感覚機能障害 3章2節4項 運動失調, 不随意運動 (p.154-158) リハビリテーション看護 5章3節2項 運動機能障害のアセスメント (p.95-101), 3項 日常生活への影響 (p.101)	
		c 移動、移送	基礎看護技術 10章5節4項 移動・移送 (p.213-217)	
		d ボディメカニクス	基礎看護技術 8章2節 ボディメカニクス (p.160-163)	
		e 廃用症候群の予防	健康危機状況/セルフケアの再獲得 2章2節1項 身体機能悪化の予期 (p.76) 災害看護 5章4節 高齢者に必要な支援と看護 (p.115-118)	
		f 睡眠	基礎看護技術 11章1節2項 睡眠 (p.220-221), 2節3項 睡眠の分類と役割 (p.222-224), 4項 睡眠の調節 (p.224-226) 病態生理学 2章46節2項 病態生理 (p.329-331) 高齢者看護の実践 1章4節6項 睡眠 (p.100-107)	
		D 清潔	a 入浴	基礎看護技術 12章2節2項 入浴と生体の反応 (p.238-239), 5節3項 入浴の介助 (p.245-247) 地域療養を支えるケア 6章2節2項 援助の実際と技術 (p.196-198)
	b 清拭		基礎看護技術 12章2節5項 清拭洗剤と皮膚の反応 (p.239), 5節6項 全身清拭 (p.252-254) 地域療養を支えるケア 6章2節2項 援助の実際と技術 (p.196-198)	
	c 口腔ケア		基礎看護技術 12章5節4項 口腔ケア (p.248-249) 地域療養を支えるケア 6章2節2項 援助の実際と技術 (p.196-198)	
	d 洗髪		基礎看護技術 12章2節4項 頭皮のケア (p.239), 5節5項 洗髪 (p.250-251) 地域療養を支えるケア 6章2節2項 援助の実際と技術 (p.196-198)	
	e 部分浴		基礎看護技術 12章5節8項 手浴・足浴 (p.256-257) 地域療養を支えるケア 6章2節2項 援助の実際と技術 (p.196-198)	
	f 陰部洗浄		基礎看護技術 12章5節7項 陰部洗浄 (p.255)	
	g 整容		基礎看護技術 12章5節2項 整容 (p.245)	
	h 寝衣交換		基礎看護技術 12章5節9項 寝衣交換 (p.258-261)	
	15 患者の安全・安楽を守る看護技術	A 療養環境	a 病室環境	基礎看護技術 5章2節2項 病室の環境と病床の整備 (p.98-100) 医療安全 9章3節1項 環境調整技術に伴うリスクと安全 (p.229-230)

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所	
15 患者の安全・安楽を守る看護技術	A 療養環境	b 共有スペース	基礎看護技術 5章2節1項 快適さを保つ構造：プライバシーを保つアメニティ (p.96-98)	
		c 居住スペース	基礎看護技術 5章2節1項 快適さを保つ構造：プライバシーを保つアメニティ (p.96-98), 2項 病室の環境と病床の整備 (p.98-100)	
	B 医療安全対策	a 転倒・転落の防止	基礎看護技術 7章2節2項 転倒・転落の予防策 (p.143-144) 医療安全 5章2節4項 転倒転落 (p.137-146) / 6章2節3項 在宅看護における介護事故とその対応 (p.172-173) / 9章3節1項 環境調整技術に伴うリスクと安全 (p.229-230) 運動機能障害 8章3節2項 転倒の予防 (p.162-163)	
		b 誤薬の防止	基礎看護技術 7章4節 誤薬の予防策 (p.146-147) / 19章4節1項 安全で確実な与薬のための知識・技術・態度 (p.405-406) 医療安全 5章2節1項 誤薬 (p.123-133) / 6章2節2項 在宅看護における医療事故とその対応 (p.168-172) 臨床薬理学 1章3節3項 処方から投与まで (p.28-34)	
		c 患者誤認の防止	医療安全 5章2節2項 患者取り違え (誤認) (p.135-136) 周術期看護 5章2節1項 患者確認 (p.76-77) 看護学概論 9章3節4項 安全管理に関する厚生労働省等の取り組み (p.189)	
		d 誤嚥・窒息の防止	基礎看護技術 7章5節 誤嚥・窒息の予防策 (p.147-148) 医療安全 5章2節5項 誤嚥 (p.147-148) 病態生理学 2章12節4項 ケア (p.159-160) リハビリテーション看護 5章4節2項 摂食・嚥下障害のアセスメント (p.104-108) 小児看護技術 2章4節4項 その他の事故防止：誤嚥, 外傷, 窒息など (p.50-51) 地域療養を支えるケア 6章1節2項 援助の実際と技術 (p.189-190)	
		e 情報伝達と共有・管理	基礎看護技術 7章1節3項 安全管理対策 (p.140-142) 看護管理 3章5節 情報の管理 (p.94-98) 医療安全 5章2節10項 電子カルテ等情報伝達時のトラブル (p.161-163)	
	C 感染防止対策	a 標準予防策〈スタンダードプリコーション〉	基礎看護技術 6章6節1項 スタンダードプリコーション (標準予防策) (p.131) 医療安全 7章2節1項 標準予防策 (スタンダードプリコーション) とは (p.184) 病態生理学 1章5節3項 交叉感染を防ぐ基礎理論 (p.57-61) 臨床微生物・医動物 4章1節3項 感染成立の3要因と感染予防の基本 (p.186-187) 地域療養を支えるケア 6章6節2項 感染症への対応 (p.222-223)	
		b 手洗い	基礎看護技術 6章4節2項 手指衛生 (p.117-119) 医療安全 7章2節2項 標準予防策の内容と実際 (p.184-185)	
		c 無菌操作	基礎看護技術 6章4節4項 無菌操作 (p.120-123) 医療安全 9章3節11項 感染予防の技術に伴うリスクと安全 (p.236)	
		d 滅菌と消毒	基礎看護技術 6章4節6項 滅菌と消毒 (p.126-128) 臨床薬理学 5章5節 消毒薬 (p.137-140)	
		e 針刺し・切創の防止	基礎看護技術 6章4節7項 その他の援助技術 (p.129-130) 医療安全 5章2節3項 針刺し (p.136-137) / 7章2節3項 針刺し・切創による感染防護策 (p.185-186)	
		f 感染性廃棄物の取り扱い	基礎看護技術 19章7節1項 感染予防 (医療廃棄物の取り扱い) (p.429-430) / 6章4節7項 その他の援助技術 (p.128-130) 医療関係法規 16章3節 廃棄物処理法 (p.318) 医療安全 7章2節5項 使用済み器材の適切な廃棄処理 (p.187)	
	16 診療に伴う看護技術	A 栄養補給	a 経管・経腸栄養法	基礎看護技術 13章5節3項 経管栄養の援助 (p.284-287) 臨床栄養学 4章5節1項 経管栄養法 (p.157-159) 医療安全 9章3節2項 食事の援助技術に伴うリスクと安全 (p.230) 地域療養を支えるケア 6章1節2項 援助の実際と技術 (p.190-192)



大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
16 診療に伴う看護技術	A 栄養補給	b 経静脈栄養法	基礎看護技術 13章5節4項 高カロリー輸液, 中心静脈栄養 (p.287-288) 臨床栄養学 4章5節2項 中心静脈栄養法 (p.159-160) 地域療養を支えるケア 6章1節2項 援助の実際と技術 (p.193-194)
		B 薬物療法	a 与薬方法
	C 輸液・輸血管理	b 薬効・副作用 (有害事象) の観察	基礎看護技術 19章4節2項 与薬法 (p.407-409) 臨床薬理学 1章3節3項 処方から投与まで (p.28-34)
		a 刺入部位の観察	基礎看護技術 19章5節3項 注射の実際 (p.423-425)
		b 輸液ポンプ、シリ ンジポンプ	基礎看護技術 19章5節3項 注射の実際 (p.418-419) 医療安全 5章2節8項 医療機器のトラブル (p.152-157)
		c 点滴静脈内注射	基礎看護技術 19章5節3項 注射の実際 (p.418-425)
	D 採血	d 輸血	基礎看護技術 19章6節2項 輸血の実際 (p.427-429) 医療安全 5章2節 コラム 輸血 (p.134)
		a 穿刺部位	基礎看護技術 18章3節8項 血液検査 (p.382-384)
	E 電法	b 採血方法	基礎看護技術 18章3節8項 血液検査 (p.382-384)
		a 電法の種類と適応	基礎看護技術 16章3節 電法 (p.343-345), 4節 電法の実際 (p.346-351)
		b 温電法	基礎看護技術 16章4節1項 温電法 (p.346-349)
	F 呼吸管理	c 冷電法	基礎看護技術 16章4節2項 冷電法 (p.349-351)
		a 酸素療法の原則	基礎看護技術 15章5節4項 酸素療法 (p.331-336)
		b 酸素ポンプ	基礎看護技術 15章5節4項 酸素療法 (p.331-336)
		c 酸素流量計	基礎看護技術 15章5節4項 酸素療法 (p.331-336)
		d 鼻腔カニューラ	基礎看護技術 15章5節4項 酸素療法 (p.331-336)
		e 酸素マスク	基礎看護技術 15章5節4項 酸素療法 (p.331-336) 呼吸機能障害 / 循環機能障害 4章4節4項 人工呼吸療法 (p.106-110)
		f ネブライザー	基礎看護技術 15章5節3項 吸入療法 (p.328-331) 呼吸機能障害 / 循環機能障害 4章4節1項 吸入療法 (p.102-104)
		g 口腔内・鼻腔内吸引	基礎看護技術 18章4節3項 吸引 (p.392-395) / 15章5節3項 吸入療法 (p.328-331)
		h 気管内吸引	基礎看護技術 15章5節3項 吸入療法 (p.330-331) / 18章4節3項 吸引 (p.392-395)
		i 体位ドレナージ	基礎看護技術 15章5節2項 痰を嚙出させる方法 (p.324-328) 呼吸機能障害 / 循環機能障害 4章4節4項 人工呼吸療法 (p.106-110)
	G 救命救急処置	a 気道の確保	基礎看護技術 21章3節1項 心肺蘇生 (p.453-457), 3項 気道異物除去 (p.459-460) 災害看護 8章3節2項 災害時の外傷初期診療 (p.203-207)
		b 人工呼吸	基礎看護技術 21章3節1項 心肺蘇生 (p.453-457) 呼吸機能障害 / 循環機能障害 4章4節4項 人工呼吸療法 (p.106-110)
		c 胸骨圧迫	基礎看護技術 21章3節1項 心肺蘇生 (p.453-457)
		d 直流除細動器	基礎看護技術 21章3節2項 除細動 (p.457-458)
		e 自動体外式除細動器 (AED)	基礎看護技術 21章3節2項 除細動 (p.457-458) 健康危機状況 / セルフケアの再獲得 1章3節2項 救命救急治療を必要とする状況 (p.39-40)

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
16 診療に伴う看護技術	G 救命救急処置	f 止血法	基礎看護技術 21章4節 応急処置 (p.460-462) 災害看護 8章3節2項 災害時の外傷初期診療 (p.203-207), 3項 代用品を利用した応急処置 (p.207-208)
		g 体温管理	基礎看護技術 21章4節 応急処置 (p.462) 災害看護 8章3節2項 災害時の外傷初期診療 (p.207)
		h トリアージ	基礎看護技術 21章2節 救急時における看護者の役割 (p.451) 看護学概論 13章7節 災害看護に必要な知識と技術 (p.254-256) 災害看護 3章2節4項 トリアージと法律上の問題 (p.57-58) / 8章2節 トリアージ: Triage (p.199-202) 健康危機状況/セルフケアの再獲得 1章3節2項 救命救急治療を必要とする状況 (p.40-41)
	H 皮膚・創傷の管理	a 包帯法	基礎看護技術 20章4節2項 包帯法 (p.442-447)
		b 創傷管理	基礎看護技術 20章4節1項 創傷処置 (p.440-442) 臨床看護総論 3章4節4項 創傷処置 (p.133-134)
		c 褥瘡の予防・処置	基礎看護技術 20章3節 褥瘡の管理 (p.438-440) 臨床薬理学 9章7節 皮膚障害 (p.230-232) 医療安全 5章2節7項 皮膚障害 (p.149-152) 臨床微生物・医動物 3章5節2項 褥瘡感染 (p.139-144) ヘルスアセスメント 4章3節6項 高齢者を対象としたフィジカルアセスメント (p.232-233) 地域療養を支えるケア 6章8節1項 褥瘡の予防とケア (p.225-227)

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践

# 人体の構造と機能

**目標Ⅰ** 正常な人体の構造と機能について基本的な理解を問う。

**目標Ⅱ** フィジカルアセスメントおよび日常生活の営みを支える看護に必要な人体の構造と機能について基本的な理解を問う。

**目標Ⅲ** 疾病の成り立ちを知る前提となる人体の構造と機能について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所	
1 細胞と組織	A 細胞の構造	a 細胞膜と細胞質	解剖生理学 2章1節1項 細胞の構造 (p.30, 32-34) 臨床生化学 2章1節 細胞 (p.20-22)	
		b 核	解剖生理学 2章1節1項 細胞の構造 (p.30-32) 臨床生化学 2章1節3項 細胞小器官 (p.22)	
		c 細胞小器官と細胞骨格	解剖生理学 2章1節1項 細胞の構造 (p.30-39) 臨床生化学 2章1節3項 細胞小器官 (p.20-22)	
	B 遺伝子と遺伝情報	a ゲノムと遺伝子	臨床生化学 6章1節 DNA：遺伝情報を担う物質 (p.114-116), 5節 遺伝子の変化 (p.126-129)	
		b タンパク合成	臨床生化学 6章1節 DNA：遺伝情報を担う物質 (p.114-116), 3節 DNAからRNAへの転写：遺伝情報の読み取り (p.118-121), 4節 RNAからタンパク質への翻訳：遺伝情報の解読 (p.122-126)	
	C 細胞分裂	a 染色体の複製と有糸分裂	解剖生理学 2章1節2項 細胞の機能 (p.44-49) 臨床生化学 6章1節2項 遺伝情報の保存と発現 (p.115-116), 2節 DNAの複製：遺伝情報のコピー (p.116-118)	
		b 減数分裂	解剖生理学 2章1節2項 細胞の機能 (p.47-49)	
	D 組織	a 上皮組織	解剖生理学 2章2節1項 上皮組織 (p.52-55)	
		b 支持組織	解剖生理学 2章2節2項 支持組織 (p.55-60)	
		c 筋組織	解剖生理学 2章2節3項 筋組織 (p.60)	
		d 神経組織	解剖生理学 2章2節4項 神経組織 (p.61)	
	E 細胞内情報伝達	a イオンチャネル型受容体	臨床薬理学 資料3. 薬の働くしくみ (p.247) 解剖生理学 2章1節1項 細胞の構造 (p.33) 臨床生化学 2章1節3項, plus α 「受容体」 (p.21)	
		b 代謝調節型受容体	臨床薬理学 資料3. 薬の働くしくみ (p.247) 解剖生理学 13章4節6項 自律神経系 (p.354) 臨床生化学 2章1節3項, plus α 「受容体」 (p.21)	
	2 生体リズムと内部環境の恒常性	A 生体リズム	a 概日リズム〈サーカディアンリズム〉	解剖生理学 13章5節 生体のリズム (p.358-360) ヘルスアセスメント 6章3節5項 睡眠/休息パターンのアセスメント (p.298-300) 基礎看護技術 11章2節1項 生体リズム (p.221), 4項 睡眠の調節 (p.224-225)
			b 体内時計	ヘルスアセスメント 6章3節5項 睡眠/休息パターンのアセスメント (p.298-300) 基礎看護技術 11章2節4項 睡眠の調節 (p.224-225) 病態生理学 2章46節2項 病態生理 (p.329-331)
B 内部環境の恒常性		a 細胞外液	解剖生理学 8章1節3項 血液成分の調節 (p.202-210) 内部環境調節機能障害/性・生殖機能障害 1章1節 内部環境調節機能 (p.18-22)	
		b 恒常性維持機構	解剖生理学 1章3節 ホメオスタシス (恒常性) (p.25) 内部環境調節機能障害/性・生殖機能障害 1章1節 内部環境調節機能 (p.18-22)	

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
3 神経系	A 神経細胞と神経組織	a 神経細胞と情報伝達	解剖生理学 13章2節2項 ニューロン (p.327-333)
		b 神経膠細胞	解剖生理学 13章2節1項 神経膠細胞 (p.327)
	B 中枢神経系の構造と機能	a 大脳	解剖生理学 13章3節1項 大脳 (p.334-339) 脳・神経機能障害／感覚機能障害 1章1節 大脳 (p.16-20)
		b 視床、視床下部	解剖生理学 13章3節2項 間脳 (p.339-340) 脳・神経機能障害／感覚機能障害 1章2節 間脳 (視床・視床下部・松果体) (p.20-22)
		c 中脳、橋、延髄	解剖生理学 13章3節3項 脳幹 (p.340-341) 脳・神経機能障害／感覚機能障害 1章3節 脳幹 (中脳・橋・延髄、脳幹網様体) (p.23-25)
		d 小脳	解剖生理学 13章3節4項 小脳 (p.341-342) 脳・神経機能障害／感覚機能障害 1章4節 小脳 (p.25-27)
		e 脊髄	解剖生理学 13章3節5項 脊髄 (p.343-344) 脳・神経機能障害／感覚機能障害 1章5節 脊髄 (p.28-32)
		f 姿勢反射	解剖生理学 12章2節5項 脊髄反射と運動単位 (p.311)／13章2節3項 反射 (p.333-334)
		g 髄膜と脳室	解剖生理学 13章3節6項 中枢神経系を保護する組織 (p.344-346) 脳・神経機能障害／感覚機能障害 1章7節 髄膜・脳室 (p.36-37)
		h 脳脊髄液の循環	解剖生理学 13章3節6項 中枢神経系を保護する組織 (p.345) 脳・神経機能障害／感覚機能障害 1章7節2項 髄膜・脳室の機能とその障害 (p.37)
		i 感覚と運動の伝導路	解剖生理学 13章3節7項 伝導路 (p.346-347) 脳・神経機能障害／感覚機能障害 1章5節2項 脊髄の機能 (p.30-32) リハビリテーション看護 5章3節1項 運動機能のメカニズム (p.92-95)
		j 覚醒と睡眠	解剖生理学 13章5節1項 睡眠と覚醒 (p.358-359)
	C 末梢神経系の構造と機能	a 脳神経	解剖生理学 13章4節3項 脳神経 (p.349-350) 脳・神経機能障害／感覚機能障害 1章6節 脳神経 (p.33-34)
		b 脊髄神経	解剖生理学 13章4節4項 脊髄神経と神経叢 (p.351-352) 脳・神経機能障害／感覚機能障害 1章5節 脊髄 (p.28-32)
c 体性神経		解剖生理学 13章1節2項 機能に基づく分類 (p.326), 4節5項 体性神経系 (p.353)	
d 自律神経		解剖生理学 13章1節2項 機能に基づく分類 (p.326), 4節6項 自律神経系 (p.353-357)	
4 運動器系	A 骨格の構造と機能	a 骨	解剖生理学 11章1節 骨と骨格 (p.278-283)／2章2節2項 支持組織 (p.55-60) 運動機能障害 1章1節1項 骨の構造と種類 (p.19-20)
		b 軟骨	解剖生理学 2章2節2項 支持組織 (p.55-60)
		c 全身の骨の種類	解剖生理学 11章2節 頭蓋, 体幹の骨格 (p.284-289), 3節 体肢の骨格 (p.290-296) 運動機能障害 2章1節1項 脊椎の構造 (p.19-20, 33-34)
	B 関節の構造	a 関節の構造と種類	解剖生理学 11章4節1項 関節の構造 (p.297-298), 2項 関節の種類 (p.298-299) 運動機能障害 3章1節 関節の構造・機能と障害 (p.45-46)
	C 骨格筋の構造と機能	a 骨格筋	解剖生理学 12章1節1項 骨格筋 (p.304-305), 3節 身体の運動と骨格筋 (p.311-312), 4節 骨格筋の解剖生理 (p.312-320) 運動機能障害 4章1節1項 骨格筋の構造 (p.59-61)
		b 筋収縮の機構	解剖生理学 12章2節 筋の機能 (p.307-311) 運動機能障害 4章1節2項 筋の機能に関連する構造 (p.61)
		c 全身の筋の種類	解剖生理学 12章1節 筋の種類 (p.302-306), 4節 骨格筋の解剖生理 (p.312-320)

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所	
5 感覚器系	A 体性感覚	a 刺激と感覚受容	解剖生理学 14章1節 感覚の特徴 (p.364-365) 脳・神経機能障害／感覚機能障害 5章4節1項 皮膚 (体性感覚) の機能と障害 (p.246-248)	
		b 表在感覚	解剖生理学 14章5節1項 皮膚感覚と皮膚分節 (p.385-387) 脳・神経機能障害／感覚機能障害 5章4節1項 皮膚 (体性感覚) の機能と障害 (p.246-248), 3項 皮膚 (体性感覚) 機能の検査と観察・アセスメント (p.250-251)	
		c 深部感覚	解剖生理学 14章5節2項 深部感覚 (p.387-388) 脳・神経機能障害／感覚機能障害 5章4節3項 皮膚 (体性感覚) 機能の検査と観察・アセスメント (p.251-252)	
	B 視覚	a 眼球と眼球付属器の構造	解剖生理学 14章2節 視覚 (p.366-375) リハビリテーション看護 5章8節1項 視覚のメカニズム (p.139-141)	
		b 視力と視野	解剖生理学 14章2節1項 眼球の構造と機能 (p.366-369) リハビリテーション看護 5章8節1項 視覚のメカニズム (p.139-141)	
		c 明暗覚、色覚	解剖生理学 14章2節6項 色覚とその異常 (p.375) リハビリテーション看護 5章8節1項 視覚のメカニズム (p.140)	
		d 視覚の伝導路	解剖生理学 14章2節4項 視覚の伝導路 (p.373)	
		e 眼球運動	解剖生理学 14章2節3項 眼球の付属器 (p.370-372) 脳・神経機能障害／感覚機能障害 5章1節3項 視機能の検査と観察・アセスメント (p.221-222)	
		f 眼に関する反射	解剖生理学 14章2節5項 視覚の調節系 (p.373-375)	
	C 聴覚	a 外耳・中耳・内耳の構造	解剖生理学 14章3節1項 耳の全体構造 (p.376-378), 2項 聴覚器の構造と機能 (p.378-380) 脳・神経機能障害／感覚機能障害 5章2節1項 聴覚・平衡覚の機能と障害 (p.230)	
		b 聴力	解剖生理学 14章3節2項 聴覚器の構造と機能 (p.378-380) 脳・神経機能障害／感覚機能障害 5章2節2項 聴覚・平衡覚障害の症状と心身・日常生活への影響 (p.230-232), 3項 聴覚・平衡覚の検査と観察・アセスメント (p.232-235) リハビリテーション看護 5章9節1項 聴覚のメカニズム (p.146-148)	
	D 平衡感覚	a 平衡器官の構造	解剖生理学 14章3節3項 平衡覚器の構造と機能 (p.380-381)	
		b 平衡覚	解剖生理学 14章3節3項 平衡覚器の構造と機能 (p.380-381) 脳・神経機能障害／感覚機能障害 5章2節 聴覚・平衡覚の障害と患者の看護 (p.230-239)	
	E 味覚	a 味蕾	解剖生理学 14章4節2項 味覚と味蕾 (p.383-384) 脳・神経機能障害／感覚機能障害 5章3節1項 嗅覚・味覚の機能と障害 (p.240-241), 2項 嗅覚・味覚障害の症状 (p.241)	
	F 嗅覚	a 嗅上皮	解剖生理学 14章4節1項 嗅覚と嗅覚受容器 (p.382-383) 脳・神経機能障害／感覚機能障害 5章3節1項 嗅覚・味覚の機能と障害 (p.240-241), 2項 嗅覚・味覚障害の症状 (p.241)	
	G 内臓感覚	a 内臓感覚の受容器と機能	解剖生理学 14章6節 内臓感覚 (p.389)	
	6 循環器系	A 心臓の構造と機能	a 心臓	解剖生理学 5章1節 心臓 (p.102-110) 呼吸機能障害／循環機能障害 6章1節1項 循環器と循環機能 (p.136-138) リハビリテーション看護 5章2節1項 循環機能のメカニズム (p.84-86)
			b 刺激伝導系	解剖生理学 5章1節2項 心臓の機能 (p.107-110) 呼吸機能障害／循環機能障害 6章7節 刺激伝導系の障害 (p.167-171)
			c 心機能の調節	解剖生理学 5章1節2項 心臓の機能 (p.107-110)／13章4節6項 自律神経系 (p.353-357)
		B 血管系の構造と機能	a 動脈、静脈、毛細血管	解剖生理学 5章2節1項 血管の形態 (p.111-113), 2項 主要な動脈 (p.113-118), 3項 主要な静脈と門脈系 (p.118-119)
			b 血圧と血圧調節	解剖生理学 5章2節5項 血管の機能 (p.121-124)

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
6 循環器系	B 血管系の構造と機能	c 門脈系	解剖生理学 5章2節3項 主要な静脈と門脈系 (p.118-119)
		d 肺循環と体循環	解剖生理学 5章1節1項 心臓の構造 (p.101, 103, 105) 呼吸機能障害／循環機能障害 序章 呼吸・循環のしくみ (p.18-19)
		e 冠循環	解剖生理学 5章1節1項 心臓の構造 (p.106-107) 呼吸機能障害／循環機能障害 6章6節1項 冠血流障害 (虚心性心疾患) とはどのような状態か (p.160)
		f 脳循環	解剖生理学 5章2節2項 主要な動脈 (p.116-117) 脳・神経機能障害／感覚機能障害 1章8節 脳の血管 (p.38-39)
		g 胎児・胎盤の血液循環	解剖生理学 5章2節4項 胎児循環 (p.119-121)
		h 末梢循環の調節	解剖生理学 5章2節5項 血管の機能 (p.121-125)
	C リンパ系の構造と機能	a リンパ液、リンパ管、リンパ節	解剖生理学 5章4節 リンパ系 (p.126-128)
		b 胸管	解剖生理学 5章4節 リンパ系 (p.126-128)
7 血液	A 血液の成分と機能	a 血液の成分 (血球、血漿、血清)	解剖生理学 4章1節3項 血液の成分 (p.85-87)
		b 血液の働き	解剖生理学 4章1節2項 血液の働き (p.84-85), 2節 血球とその機能 (p.88-95)
		c 血液の物理化学的特性	解剖生理学 4章1節2項 血液の働き (p.84-85), 3項 血液の成分 (p.85-87), 2節 血球とその機能 (p.88-95)
		d 造血と造血因子	解剖生理学 4章1節3項 血液の成分 (p.86-87), 2節 血球とその機能 (p.88-95)
	B 止血機構	a 血液凝固	解剖生理学 4章2節3項 血小板と血液凝固および血栓の線溶 (線維素溶解) (p.93-95)
		b 線維素溶解	解剖生理学 4章2節3項 血小板と血液凝固および血栓の線溶 (線維素溶解) (p.93-95)
	C 血液型	a ABO式	解剖生理学 4章3節1項 ABO式血液型 (p.95-96)
		b Rh式	解剖生理学 4章3節2項 Rh式血液型 (p.95-96)
		c 不規則抗体	医療安全 5章2節1項 誤薬 (p.134)
	8 体液	A 体液の構成	a 体液の区分
b 体液の組成			解剖生理学 8章1節3項 血液成分の調節 (p.202-210) 病態生理学 1章1節1項 体液の恒常性 (p.17-19)
B 体液の調節		a 電解質バランス	解剖生理学 8章1節3項 血液成分の調節 (p.202-210) 病態生理学 1章1節2項 電解質の異常 (p.20-26) 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 1章2節1項 体液を調節するしくみ (p.23)
		b 酸塩基平衡	解剖生理学 8章1節3項 血液成分の調節 (p.202-210) 病態生理学 1章1節3項 酸塩基平衡の異常 (p.26-29) 呼吸機能障害／循環機能障害 2章1節1項 酸塩基平衡を保つ機能 (p.62-64) 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 1章2節1項 体液を調節するしくみ (p.23)
		c 浸透圧調節	解剖生理学 2章1節2項 細胞の機能 (p.39-43) 病態生理学 1章1節1項 体液の恒常性 (p.17-19) 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 1章1節2項 体液調節・体温調節とフィードバック (p.20-22)
9 生体の防御機構	A 非特異的生体防御機構	a 皮膚の構造と防御機構	解剖生理学 3章2節 皮膚 (p.69-75)／15章3節2項 自然免疫系から獲得免疫系への情報伝達 (p.404-405) 造血機能障害／免疫機能障害 4章3節1項 アレルギー性疾患患者の観察とアセスメント (p.173) ヘルスアセスメント 3章2節1項 皮膚・爪・髪 の構造と機能：アセスメントの根拠になる復習事項 (p.46-50) 基礎看護技術 20章1節1項 皮膚の構造と機能 (p.434-435)

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
9 生体の防御機構	A 非特異的生体防御機構	b 粘膜の構造と防御機構	解剖生理学 3章1節2項 粘膜 (p.67-69) / 15章3節2項 自然免疫系から獲得免疫系への情報伝達 (p.404-405)
		c 食細胞とサイトカイン	解剖生理学 15章3節1項 自然免疫系の攻撃のしくみ (p.403-404) 病態生理学 1章4節2項 免疫の働きと調節 (p.45-48)
		d 胸腺、脾臓、リンパ組織	解剖生理学 5章4節 リンパ系 (p.126-128) / 15章1節 免疫系のおおまかなしくみ (p.394-395) 病態生理学 2章21節1項 リンパ節の構造と機能 (p.200-201)
	B 特異的生体防御反応 (免疫系)	a 免疫系の細胞	解剖生理学 15章1節 免疫系のおおまかなしくみ (p.394-395, 410) 病態生理学 1章4節2項 免疫の働きと調節 (p.45-48) / 2章21節1項 リンパ節の構造と機能 (p.200-201) 造血機能障害 / 免疫機能障害 3章4節1項 免疫不全とはどのような状態か (p.148-149)
		b 抗原と抗体	解剖生理学 15章2節 獲得免疫系のしくみ (p.395-403) 病態生理学 1章4節2項 免疫の働きと調節 (p.45-48) 造血機能障害 / 免疫機能障害 3章4節1項 免疫不全とはどのような状態か (p.148-149)
		c 補体	解剖生理学 15章2節4項 抗体の産生と働き (p.400)
		d 液性免疫	解剖生理学 15章3節2項 自然免疫系から獲得免疫系への情報伝達 (p.404-405), 3項 液性免疫と細胞性免疫 (p.405, 410)
		e 細胞性免疫	解剖生理学 15章3節2項 自然免疫系から獲得免疫系への情報伝達 (p.404-405), 3項 液性免疫と細胞性免疫 (p.405, 410)
		f アレルギー反応	解剖生理学 4章2節2項 白血球 (p.91-93) / 15章5節 アレルギーと自己免疫疾患 (p.406-410) 造血機能障害 / 免疫機能障害 3章2節1項 アレルギーとはどのような状態か (p.112-118), 3節 アナフィラキシーショック・食物アレルギー・薬物アレルギー (p.135-145)
		g 組織適合性抗原 (HLA)	解剖生理学 4章3節4項 ヒト組織適合性白血球抗原 (p.97) / 15章3節2項 自然免疫系から獲得免疫系への情報伝達 (p.404-405)
10 呼吸器系	A 気道の構造と機能	a 鼻腔、咽頭、喉頭、気管、気管支	解剖生理学 6章1節1項 呼吸器系の役割 (p.132-133), 2項 鼻と鼻腔 (p.134-135), 3項 咽頭 (p.135-138), 4項 喉頭 (p.138-140), 5項 気管と主気管支 (p.140-141) 基礎看護技術 15章2節1項 気道 (p.316)
		b 発声	解剖生理学 6章1節4項 喉頭 (p.138-140)
	B 肺の構造	a 肺	解剖生理学 6章1節6項 肺 (p.141-147)
		b 胸膜腔と縦隔	解剖生理学 6章1節6項 肺 (p.141-147)
	C 呼吸	a 呼吸筋	解剖生理学 6章2節1項 換気 (p.147-152)
		b 換気	解剖生理学 6章2節1項 換気 (p.147-152) 呼吸機能障害 / 循環機能障害 1章1節1項 呼吸器と呼吸機能 (p.22-25)
		c ガス交換	解剖生理学 6章2節2項 外呼吸 (p.152), 1節6項 肺 (p.141-147)
		d 呼吸運動	解剖生理学 6章2節 呼吸のプロセス (p.147-155) 呼吸機能障害 / 循環機能障害 1章1節1項 呼吸器と呼吸機能 (p.22-25)
		e 呼吸調節	解剖生理学 6章3節 呼吸の調節 (p.155-158) 呼吸機能障害 / 循環機能障害 1章1節1項 呼吸器と呼吸機能 (p.22-25)
	11 消化器系	A 咀嚼・嚥下	a 歯・口腔・唾液腺の構造と機能
b 咽頭・喉頭の構造と機能			解剖生理学 7章3節1項 咽頭の構造と機能 (p.168-169) ヘルスアセスメント 3章5節1項 鼻・耳・口腔 / 咽頭の構造と機能: アセスメントの根拠になる復習事項 (p.70-73)
c 食道の構造と機能			解剖生理学 7章3節2項 食道の構造と機能 (p.169-170)

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
11 消化器系	A 咀嚼・嚥下	d 咀嚼	解剖生理学 7章2節3項 咀嚼 (p.167-168)
		e 嚥下	解剖生理学 7章3節3項 嚥下 (p.170-171)
	B 消化と吸収	a 胃の構造と機能	解剖生理学 7章4節1項 胃の構造と機能 (p.172-175) 臨床生化学 4-3章2節1項 胃での消化 (p.89-90)
		b 十二指腸の構造と機能	解剖生理学 7章4節2項 小腸の構造と機能 (p.175-177) 臨床生化学 4-3章2節2項 十二指腸での消化, 小腸での消化 (p.90)
		c 空腸・回腸の構造と機能	解剖生理学 7章4節2項 小腸の構造と機能 (p.175-177)
		d 結腸・虫垂の構造と機能	解剖生理学 7章6節1項 大腸の構造と機能 (p.189-191)
		e 直腸・肛門の構造と機能	解剖生理学 7章6節1項 大腸の構造と機能 (p.189-191), 2項 排便の機序 (p.191-192) 病態生理学 2章14節3項 排便のしくみ (メカニズム) (p.166) ヘルスアセスメント 3章11節1項 生殖器 (女性/男性) と肛門: アセスメントの根拠になる復習事項 (p.142-144)
		f 肝臓・胆道の構造と機能	解剖生理学 7章4節3項 肝臓の構造と機能 (p.178-181), 4項 胆嚢の構造と機能 (p.181-182)
		g 膵臓の構造と機能	解剖生理学 7章4節5項 膵臓の構造と機能 (p.183-185)
		h 三大栄養素の消化と吸収	解剖生理学 7章5節1項 糖質の消化と吸収 (p.185-186), 2項 脂肪の消化と吸収 (p.186-187), 3項 タンパク質の消化と吸収 (p.187-188) 臨床生化学 4-1章1節1項 糖質の種類と消化・吸収 (p.63-64) / 4-2章2節 脂質の消化・吸収と貯蔵 (p.76-77) / 4-3章2節 タンパク質の消化と吸収 (p.89-90)
		i 消化管運動と反射	解剖生理学 7章4節1項 胃の構造と機能 (p.172-175), 2項 小腸の構造と機能 (p.175-177), 4項 胆嚢の構造と機能 (p.181-182), 5項 膵臓の構造と機能 (p.183-185), 6節2項 排便の機序 (p.191-192) 病態生理学 2章14節3項 排便のしくみ (メカニズム) (p.166)
j 消化管ホルモン	解剖生理学 9章8節1項 消化管 (p.244)		
12 代謝系	A 栄養とエネルギー代謝	a 栄養所要量	臨床栄養学 2章2節1項 日本人の食事摂取基準 (2015年版) (p.66-74, 77-97) 基礎看護技術 13章3節2項 食事摂取基準 (p.270-274)
		b 基礎代謝	臨床栄養学 2章1節2項 エネルギー消費量 (p.53-59)
	B 物質代謝	a 同化作用と異化作用	臨床生化学 1章1節2項 異化と同化 (p.13-14), 2節 代謝とその制御 (p.15-16) 臨床栄養学 1章2節1項 栄養と栄養素 (p.12)
		b 酵素	臨床生化学 3章 酵素 (p.54-59)
		c 炭水化物の代謝	臨床生化学 4-1章 糖質代謝 (p.63-74) 臨床栄養学 1章2節2項 栄養素の分類 (p.22-23)
		d 脂肪の代謝	臨床生化学 4-2章 脂質代謝 (p.76-87) 臨床栄養学 1章2節2項 栄養素の分類 (p.17-22)
		e 蛋白質の代謝	臨床生化学 4-3章1節 タンパク質・アミノ酸の役割と概要 (p.89), 2節 タンパク質の消化と吸収 (p.89-90), 3節 アミノ酸の代謝 (p.90-94), 4節 アミノ酸のその他の使われ方 (p.94-95), 5節 アミノ酸代謝と先天性代謝異常 (p.95) 臨床栄養学 1章2節2項 栄養素の分類 (p.12-15)
		f ビリルビンの代謝	解剖生理学 7章4節3項 肝臓の構造と機能 (p.180-181) 臨床生化学 4-3章6節 ヘムの生合成とビリルビンの代謝 (p.95-97)
		g 核酸の代謝	臨床生化学 4-4章1節 ヌクレオチド代謝の役割と概要 (p.100), 2節 ヌクレオチドの合成 (p.100-101), 3節 ヌクレオチドの分解 (p.101-103)
		h ビタミン・ミネラルの代謝	解剖生理学 7章5節4項 ビタミンの吸収 (p.188) 臨床栄養学 1章2節2項 栄養素の分類 (p.12-43) / 3章2節5項 身体機能の調節に関わる栄養素 (p.108)

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践



大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
13 泌尿器系	A 尿の生成	a 腎臓の構造	解剖生理学 8章1節1項 腎臓の構造と機能 (p.196-200)
		b 糸球体濾過	解剖生理学 8章1節2項 尿の生成 (p.200-202)
		c 再吸収と分泌	解剖生理学 8章1節2項 尿の生成 (p.200-202)
	B 体液量の調節	a 抗利尿ホルモンの作用	解剖生理学 8章1節2項 尿の生成 (p.202), 3項 血液成分の調節 (p.202-210) 内部環境調節機能障害/性・生殖機能障害 1章2節1項 体液を調節するしくみ (p.23)/2章2節1項 下垂体の機能とその障害 (p.37-39)
		b レニン-アンジオテンシン-アルドステロン系	解剖生理学 8章1節1項 腎臓の構造と機能 (p.196-200), 3項 血液成分の調節 (p.202-210) 内部環境調節機能障害/性・生殖機能障害 2章5節1項 副腎機能の障害とはどのような状態か (p.51)
	C 排尿	a 尿管の構造と機能	解剖生理学 8章2節 尿管 (p.211)
		b 膀胱の構造と機能	解剖生理学 8章3節 膀胱 (p.212-213)
		c 尿道の構造と機能	解剖生理学 8章4節 尿道 (p.213)
		d 排尿反射	解剖生理学 8章5節 排尿の生理 (p.214-216)
	14 体温調節	A 体温	a 核心温度と外殻温度
B 体温の調節		a 熱放散と熱産生	解剖生理学 3章3節2項 熱の出納 (p.78-79) 内部環境調節機能障害/性・生殖機能障害 1章3節1項 体温を調節するしくみ (p.28-29)/5章1節1項 体温異常とはどのような状態か (p.100-101)
		b 体温調節中枢	解剖生理学 3章3節3項 体温調節 (p.79-81) 内部環境調節機能障害/性・生殖機能障害 1章1節2項 体液調節・体温調節とフィードバック (p.20-22)
15 内分泌系	A ホルモンの種類	a ホルモンの化学的性質	解剖生理学 9章1節2項 ホルモンの化学的性質と作用機序 (p.222-223) 臨床生化学 1章3節 ホルモンの作用と代謝の調節 (p.16-17) 内部環境調節機能障害/性・生殖機能障害 2章1節1項 内分泌機能の障害とはどのような状態か (p.32-34)
		b ホルモンの受容体	解剖生理学 9章1節 内分泌系とホルモン (p.220-223) 臨床生化学 1章3節 ホルモンの作用と代謝の調節 (p.16-17) 内部環境調節機能障害/性・生殖機能障害 2章1節1項 内分泌機能の障害とはどのような状態か (p.32-34)
	B ホルモン分泌の調節	a 調節ホルモン、拮抗ホルモン	解剖生理学 9章1節1項 内分泌系 (p.220-222)
		b フィードバック機構	解剖生理学 1章4節 フィードバック機構 (p.26-27)/9章1節1項 内分泌系 (p.220-222) 内部環境調節機能障害/性・生殖機能障害 1章1節2項 体液調節・体温調節とフィードバック (p.20-22)/2章2節1項 下垂体の機能とその障害 (p.37-39)
	C 内分泌器官の構造とホルモンの機能	a 視床下部	解剖生理学 9章2節1項 視床下部 (p.223) 脳・神経機能障害/感覚機能障害 1章2節2項 間脳の機能とその障害 (p.21-22)
		b 下垂体	解剖生理学 9章2節2項 下垂体 (p.224-228) 内部環境調節機能障害/性・生殖機能障害 2章2節1項 下垂体の機能とその障害 (p.37-39)
		c 松果体	解剖生理学 9章2節3項 松果体 (p.223, 228-229) 脳・神経機能障害/感覚機能障害 1章2節1項 間脳の構造 (p.20-21)
		d 甲状腺	解剖生理学 9章3節 甲状腺 (p.229-232)
		e 副甲状腺 (上皮小体)	解剖生理学 9章4節 上皮小体 (p.232-233)
		f 膵島	解剖生理学 9章5節1項 膵島の働き (p.233-236) 臨床生化学 4-1章6節 血糖の調節とホルモンの作用 (p.73-74)
		g 副腎皮質	解剖生理学 9章6節1項 副腎皮質 (p.236-239) 臨床生化学 4-1章6節2項 血糖値を上昇させるホルモン (p.74)

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所	
15 内分泌系	C 内分泌器官の構造とホルモンの機能	h 副腎髄質	解剖生理学 9章6節2項 副腎髄質 (p.239-241) 臨床生化学 4-1章6節2項 血糖値を上昇させるホルモン (p.74)	
		i 腎臓	解剖生理学 9章8節2項 腎臓 (p.245)	
		j 性腺	解剖生理学 9章7節 性腺 (p.241-243) 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 10章1節1項 加齢によるホルモンバランスの障害 (p.186-193)	
16 生殖器系	A 女性の生殖器系の構造と機能	a 卵巣	解剖生理学 10章1節1項 卵巣 (p.252-254)	
		b 卵管、子宮、腔	解剖生理学 10章1節2項 管腔系の構造 (p.254-256)	
		c 外陰部・会陰の構造	解剖生理学 10章1節3項 女性外生殖器の構造 (p.257-258)	
		d 性周期	解剖生理学 10章1節4項 性周期 (p.258-263)	
		e 妊娠、分娩、産褥	解剖生理学 10章1節5項 妊娠と出産 (p.263-267)	
		f 妊娠・分娩に伴う変化	解剖生理学 10章1節5項 妊娠と出産 (p.251, 263-267) 母性看護実践の基本 6章2節 妊娠の生理 (p.110-123)／7章2節 分娩の生理 (p.156-161), 3節1項 分娩の経過 (p.161-165)	
		g 乳房	解剖生理学 10章1節6項 乳腺 (p.267-268)	
	B 男性の生殖器系の構造と機能	a 精巣と精路	解剖生理学 10章2節1項 男性生殖器の構造 (p.270-272)	
		b 精子の形成	解剖生理学 10章2節3項 男性の生殖機能 (p.272-274)	
		c 精巣上体、精管、精囊、前立腺、陰茎	解剖生理学 10章2節1項 男性生殖器の構造 (p.270-272), 2項 男性の外生殖器の構造 (p.272)	
	C 受精と発生	a 受精	解剖生理学 10章1節5項 妊娠と出産 (p.251, 263-267)	
		b 着床	解剖生理学 10章1節5項 妊娠と出産 (p.251, 263-267) 母性看護実践の基本 6章2節1項 妊娠の成立 (p.110-112)	
		c 胎児の発生	解剖生理学 10章1節5項 妊娠と出産 (p.263-267) 母性看護実践の基本 6章2節2項 胎盤形成と胎児の発育 (p.112-117)	
	17 成長と老化	A 成長による変化	a 成長による組織・臓器の形態的变化	解剖生理学 3章2節4項 皮膚の成長と老化 (p.76)／4章4節 血液の発生 (p.98)／5章3節 心臓, 血管の成長と老化 (p.125)／7章7節 消化器系の成長と老化 (p.192-193)／8章6節 泌尿器系の成長と老化 (p.216)／9章9節1項 成長 (p.247)／10章1節7項 女性生殖器の成長と老化 (p.268-269), 2節4項 男性生殖器の成長と老化 (p.274)／11章1節6項 骨の成長 (p.282), 7項 骨の形成と改変 (p.283), 5節 骨格系の成長と老化 (p.301)／12章5節 筋系の成長と老化 (p.322)／13章4節7項 神経系の成長と老化 (p.357)／14章7節 感覚系の成長と老化 (p.390) ヘルスアセスメント 3章2節1項 皮膚・爪・髪 の構造と機能: アセスメントの根拠になる復習事項 (p.46-50) 成人看護学概論 2章1節2項 成人各期の特徴 (p.22-32)
			b 成長による臓器の機能的変化	解剖生理学 3章2節4項 皮膚の成長と老化 (p.76)／4章4節 血液の発生 (p.98)／5章3節 心臓, 血管の成長と老化 (p.125)／8章6節 泌尿器系の成長と老化 (p.216)／10章1節7項 女性生殖器の成長と老化 (p.268-269)／14章7節 感覚系の成長と老化 (p.390) 成人看護学概論 2章1節2項 成人各期の特徴 (p.22-32)
B 老化による変化		a 老化による組織・臓器の形態的变化	解剖生理学 3章2節4項 皮膚の成長と老化 (p.76)／5章3節 心臓, 血管の成長と老化 (p.125)／6章4節 呼吸器系の成長と老化 (p.158)／7章7節 消化器系の成長と老化 (p.192-193)／8章6節 泌尿器系の成長と老化 (p.216)／9章9節 内分泌系の成長と老化 (p.247-248)／10章1節7項 女性生殖器の成長と老化 (p.268-269), 2節4項 男性生殖器の成長と老化 (p.274)／11章1節7項 骨の形成と改変 (p.283), 8項 骨の老化 (p.283), 5節 骨格系の成長と老化 (p.301)／12章5節 筋系の成長と老化 (p.322)／13章4節7項 神経系の成長と老化 (p.357)／14章7節 感覚系の成長と老化 (p.390)／15章4節3項 感染症へのかかりやすさ (免疫能力の強弱) (p.405-406) ヘルスアセスメント 3章2節1項 皮膚・爪・髪 の構造と機能: アセスメントの根拠になる復習事項 (p.46-50) 成人看護学概論 2章1節2項 成人各期の特徴 (p.22-32)／3章3節1項 加齢による影響 (p.53-57)	
		b 老化による機能的変化	解剖生理学 3章2節4項 皮膚の成長と老化 (p.76)／4章4節 血液の発生 (p.98)／5章3節 心臓, 血管の成長と老化 (p.125)／8章6節 泌尿器系の成長と老化 (p.216)／10章1節7項 女性生殖器の成長と老化 (p.268-269)／14章7節 感覚系の成長と老化 (p.390) 成人看護学概論 2章1節2項 成人各期の特徴 (p.22-32)	
		c 老化による生活習慣の変化	解剖生理学 3章2節4項 皮膚の成長と老化 (p.76)／4章4節 血液の発生 (p.98)／5章3節 心臓, 血管の成長と老化 (p.125)／8章6節 泌尿器系の成長と老化 (p.216)／10章1節7項 女性生殖器の成長と老化 (p.268-269)／14章7節 感覚系の成長と老化 (p.390) 成人看護学概論 2章1節2項 成人各期の特徴 (p.22-32)	
		d 老化による社会生活の変化	解剖生理学 3章2節4項 皮膚の成長と老化 (p.76)／4章4節 血液の発生 (p.98)／5章3節 心臓, 血管の成長と老化 (p.125)／8章6節 泌尿器系の成長と老化 (p.216)／10章1節7項 女性生殖器の成長と老化 (p.268-269)／14章7節 感覚系の成長と老化 (p.390) 成人看護学概論 2章1節2項 成人各期の特徴 (p.22-32)	

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
17 成長と老化	B 老化による変化	b 老化による臓器の機能的変化	<p><b>解剖生理学</b> 3章2節4項 皮膚の成長と老化 (p.76)／5章3節 心臓、血管の成長と老化 (p.125)／6章4節 呼吸器系の成長と老化 (p.158)／7章7節 消化器系の成長と老化 (p.192-193)／8章6節 泌尿器系の成長と老化 (p.216)／9章9節2項 老化・加齢 (p.247-248)／10章1節7項 女性生殖器の成長と老化 (p.268-269)／11章5節 骨格系の成長と老化 (p.301)／13章4節7項 神経系の成長と老化 (p.357)／14章7節 感覚系の成長と老化 (p.390)／15章4節3項 感染症へのかかりやすさ (免疫能力の強弱) (p.405-406)</p> <p><b>病態生理学</b> 1章6節1項 細胞の傷害と適応 (p.62)</p> <p><b>成人看護学概論</b> 2章1節2項 成人各期の特徴 (p.22-32)／3章3節1項 加齢による影響 (p.53-57)</p>

# 疾病の成り立ちと回復の促進

## 目標Ⅰ 健康から疾病を経て回復に至る過程について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
1 健康の維持増進	A 疾病の予防・早期発見	a 健康診断、健康診査	公衆衛生 15章2節7項 健康管理 (p.245-248) 成人看護学概論 3章3節 身体機能の変化を分析する視点 (p.53-64)
		b 予防接種	臨床微生物・医動物 3章3節2項 小児の予防接種 (p.125-127) ／5章1節 ワクチン接種と血清療法 (p.196-201)
		c 健康教育	公衆衛生 5章4節 健康教育の意義と活用 (p.88-89) 基礎看護技術 3章1節4項 看護における指導技術 (p.52-53) 成人看護学概論 6章3節 おとなの学びの目標 (p.116-121)
2 疾病の成立と疾病からの回復	A 疾病の要因	a 内因、外因	病態生理学 1章 病理病態論 (p.11-96) 成人看護学概論 3章3節 身体機能の変化を分析する視点 (p.53-64)
		b 生活習慣	成人看護学概論 3章3節3項 生活習慣・生活行動による影響 (p.59-64)／7章1節 生活習慣と健康障害との関連 (p.130-136)
		c ストレス	成人看護学概論 9章1節 生活ストレスと健康障害 (p.156-157), 2節 成人の生活ストレス (p.157-159)／15章1節 ストレスとは (p.226-230)
	B 生体の回復	a 回復過程	健康危機状況／セルフケアの再獲得 2章2節1項 身体機能悪化の予期 (p.69-73) 周術期看護 1章 周術期に関連する基礎知識 (p.14-15)
		b 回復に影響する身体的／心理・社会的要因	健康危機状況／セルフケアの再獲得 4章2節 セルフケアの低下と再獲得 (p.173-191)

## 目標Ⅱ 疾病の要因と生体反応について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
3 基本的な病因とその成り立ち	A 細胞の障害	a 萎縮、変性、肥大	病態生理学 1章6節2項 細胞の傷害・適応の分類 (p.62-70)
		b 壊死(ネクローシス)とアポトーシス	病態生理学 1章6節2項 細胞の傷害・適応の分類 (p.62-70), 7節2項 腫瘍とは (p.72-73)
		c 創傷と治癒	基礎看護技術 20章2節3項 創傷治癒の過程と形式 (p.436-437) 臨床看護総論 3章4節4項 創傷処置 (p.133-134) 周術期看護 2章2節3項 創傷治癒 (p.33-35)
	B 生体の障害	a 循環障害、臓器不全	病態生理学 1章2節2項 血行障害の分類 (p.31-37) 呼吸機能障害／循環機能障害 1章4節1項 肺循環障害とはどのような状態か (p.46-47)
		b 炎症、損傷	病態生理学 1章3節 炎症と修復 (p.39-44), 6節2項 細胞の傷害・適応の分類 (p.62-70) 周術期看護 2章2節2項 生体への損傷に伴う反応 (p.29-32)
		c 免疫異常、アレルギー	病態生理学 1章3節3項 炎症と修復に関わる細胞と体液性因子 (p.40-41), 4節3項 免疫疾患 (p.49-50) 造血機能障害／免疫機能障害 3章1節1項 自己免疫疾患とはどのような状態か (p.97-98), 2節1項 アレルギーとはどのような状態か (p.112-118) 疾病と治療 11章 自己免疫疾患, アレルギー疾患, 免疫不全 (p.304-316)

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
3 基本的な病因とその成り立ち	B 生体の障害	d 内分泌・代謝異常	病態生理学 1章9節 代謝異常 (p.89-96) 栄養代謝機能障害 4章 代謝機能の障害とその看護 (p.65-94) 疾病と治療 5章 代謝・栄養疾患 (p.146-154) / 7章 内分泌疾患 (p.194-208) 小児の疾患と看護 3章 代謝・内分泌疾患 (p.48-66)
		e 廃用症候群	疾病と治療 9章11節 廃用症候群 (p.260-261)
		f 老年症候群	運動機能障害 7章5節1項 運動機能障害のアセスメント (p.126-129) 高齢者の健康と障害 1章3節5項 高齢者の自立を妨げる要因 (p.30-33)
		g 遺伝子異常、先天異常	臨床生化学 6章5節 遺伝子の変化 (p.126-129) / 7章 先天性代謝異常 (p.132-136) 病態生理学 1章8節 先天異常 (p.81-88) 小児の疾患と看護 2章 遺伝性疾患・染色体異常 (p.30-46)
		h 腫瘍	病態生理学 1章7節 腫瘍と過形成 (p.72-80)
		i 中毒、放射性障害	臨床薬理学 6章3節 医薬品に関連した中毒の治療に使用する薬 (p.147-148) 臨床微生物・医動物 2章3節 消化器系感染症 (p.51-61) 公衆衛生 16章2節 食品保健 (p.261-265), 8節 放射線・放射能 (p.282-285) 災害看護 2章1節4項 特殊災害 (p.32-33)
	C 感染	a 人と病原体の関わり	臨床微生物・医動物 1章2項 身の回りの微生物 (p.28-30) 基礎看護技術 6章3節 感染症を成立させる要素と成立過程 (p.111-116)
		b ウイルス	病態生理学 1章5節 感染 (p.53-61) 臨床微生物・医動物 1章1項 臨床微生物・医動物の特徴 (p.24-28) / 2章 宿主の臓器・組織別にみる感染症と病原体 (p.34-103) / 3章 宿主の因子が影響する感染症と病原体 (p.106-178) 疾病と治療 13章 感染症 (p.336-342) 小児の疾患と看護 5章 感染症 (p.88-118)
		c 細菌	病態生理学 1章5節 感染 (p.53-61) 臨床微生物・医動物 1章1項 臨床微生物・医動物の特徴 (p.24-28) / 2章 宿主の臓器・組織別にみる感染症と病原体 (p.34-103) / 3章 宿主の因子が影響する感染症と病原体 (p.106-178) 小児の疾患と看護 5章 感染症 (p.88-118)
		d 真菌	病態生理学 1章5節 感染 (p.53-61) 臨床微生物・医動物 1章1項 臨床微生物・医動物の特徴 (p.24-28) / 2章 宿主の臓器・組織別にみる感染症と病原体 (p.34-103) / 3章 宿主の因子が影響する感染症と病原体 (p.106-178) 小児の疾患と看護 5章 感染症 (p.88-118)
		e 薬剤耐性 (AMR) (多剤耐性菌)	臨床薬理学 5章1節1項 基本事項 (p.124-125) 臨床微生物・医動物 3章10節 薬剤耐性菌 (p.168-178)

**目標Ⅲ 疾病に対する診断・治療について基本的な理解を問う。**

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
4 疾病に対する医療	A 疾病の診断の基本と方法	a 医療面接 (問診)、身体診察 (視診・触診・聴診・打診)	ヘルスアセスメント 2章3節 問診 (p.24-26), 4節 視診, 触診, 打診, 聴診 (p.27-30)
		b 検体検査	基礎看護技術 18章2節 身体計測 (p.371-375), 3節7項 尿・便・喀痰検査 (p.380-382), 8項 血液検査 (p.382-384), 9項 穿刺法 (p.384-388) 健康危機状況 / セルフケアの再獲得 2章2節2項 身体機能悪化への対応方法 (p.77-80)
		c 生体機能検査	基礎看護技術 18章3節6項 心電図検査 (p.378-380), 10項 核医学検査 (p.388-389), 11項 基礎代謝検査 (p.389), 12項 呼吸機能検査 (p.389-390)
		d 画像検査	基礎看護技術 18章3節1項 X線単純撮影検査 (p.375), 2項 超音波検査 (p.375-376), 3項 CT検査 (p.376), 4項 MRI検査 (p.376-377)

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
4 疾病に対する医療	A 疾病の診断の基本と方法	e 内視鏡検査	基礎看護技術 18章3節5項 内視鏡検査 (p.377-378)
		f 心理・精神機能検査	精神障害と看護の実践 2章2節 心理検査 (p.97-102)
	B 疾病に対する薬物療法	a 与薬方法	臨床薬理学 1章3節 医薬品の適正な使用に向けて (p.24-34) 基礎看護技術 19章1節 与薬とは (p.400), 4節 与薬のための援助技術 (p.405-409)
		b 薬物動態 (吸収、分布、代謝、排泄)	臨床薬理学 1章2節2項 体内における薬の動き (薬物動態) (p.20-22) 基礎看護技術 19章3節2項 薬剤の吸収・分布・代謝・排泄 (p.402-403)
		c 薬効	臨床薬理学 1章2節 医薬品の作用原理とその影響 (p.19-21) 基礎看護技術 19章3節3項 薬剤の主作用と副作用 (p.403)
		d 薬理作用と副作用 (有害事象)	臨床薬理学 1章2節1項 薬理作用の原理 (p.19-20), 4項 好ましくない副作用 (薬物有害反応) (p.23-24), 5項 相互作用 (p.24) 基礎看護技術 19章3節3項 薬剤の主作用と副作用 (p.403), 4項 薬剤相互作用 (p.403)
	C 疾病に対する薬物療法以外の治療	a 手術、麻酔	周術期看護 2章2節 侵襲とは (p.25-29) / 3章1節1項 手術方法 (p.50-51)
		b 放射線治療	病態生理学 1章7節5項 がんの治療 (p.77-78) 臨床看護総論 3章4節6項 放射線治療 (p.134-135) 緩和ケア 2章8節3項 放射線療法に伴う苦痛の緩和 (p.124-127)
		c 輸血	臨床薬理学 6章6節 血液製剤 (p.156) 基礎看護技術 19章6節 輸血のための援助技術 (p.426-429)
		d リハビリテーション、運動療法	臨床看護総論 3章4節12項 リハビリテーション療法 (p.140-141) 運動機能障害 7章8節1項 理学療法, 作業療法 (p.136-137) 健康危機状況 / セルフケアの再獲得 5章2節 セルフケア再獲得を支援する方法 (p.217-237) リハビリテーション看護 1章1節 リハビリテーションとは何か (p.12-13)
		e 食事療法	臨床栄養学 5章 疾患別の食事療法 (p.164-194)
		f 臓器移植、再生医療	内部環境調節機能障害 / 性・生殖機能障害 7章1節2項 透析療法・腎移植と看護 (p.131-138) 健康と社会・生活 9章5節 再生医療の発展と生命倫理 (p.154-155) 臨床看護総論 3章4節5項 人工臓器・臓器移植 (p.134) 周術期看護 18章 臓器移植を必要とする人の手術 (p.271-278)
		g 人工臓器・透析	内部環境調節機能障害 / 性・生殖機能障害 7章1節2項 透析療法・腎移植と看護 (p.131-138)
		h 精神療法	疾病と治療 14章2節2項 診断と治療 (p.350-351) 臨床看護総論 3章4節7項 精神療法 (p.135-136) 精神障害と看護の実践 3章3節 精神療法 (p.120-124)
	D 医療による健康被害	a 薬害 (化学物質)	医療安全 7章4節 医療品への曝露 (p.190-195)
		b ウイルス性肝炎	臨床微生物・医動物 2章4節 肝炎 (p.62-70) 医療安全 7章1節1項 血液・体液を介する感染 (p.182)
		c 院内感染	医療安全 7章2節 感染に対する標準予防策と感染経路別予防策 (p.184-187)
		d 針刺し事故	医療安全 5章2節3項 針刺し (p.136-137)

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
5 呼吸機能	A 呼吸器系の疾患の病態と診断・治療	a 炎症性疾患（気管支炎、肺炎、間質性肺炎、胸膜炎）	呼吸機能障害／循環機能障害 1章6節 呼吸器系におけるその他の障害—呼吸器感染症 (p.54-57) 疾病と治療 3章1節 肺炎、間質性肺炎 (p.56-59) 小児の疾患と看護 6章6節 急性気管支炎／急性細気管支炎 (p.132-136), 7節 肺炎 (p.136-142)
		b 気管支喘息	呼吸機能障害／循環機能障害 1章2節3項 換気障害を引き起こす主な疾患と治療 (p.32-34)／2章2節2項 呼吸性アシドーシスを伴う代表的疾患と検査・治療 (p.68-69) 造血機能障害／免疫機能障害 3章2節3項 気管支喘息 (p.122-126) 疾病と治療 3章3節 気管支喘息 (p.62-64) 小児の疾患と看護 6章5節 小児気管支喘息 (p.130-132)
		c 慢性閉塞性肺疾患 (COPD)	呼吸機能障害／循環機能障害 1章2節3項 換気障害を引き起こす主な疾患と治療 (p.30-32)／2章2節2項 呼吸性アシドーシスを伴う代表的疾患と検査・治療 (p.67-68) 疾病と治療 3章4節 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) (p.65-68)
		d 肺循環障害 (肺高血圧、肺塞栓症)	呼吸機能障害／循環機能障害 1章4節 肺循環障害 (p.46-50) 周術期看護 6章6節 肺血栓塞栓症、深部静脈血栓症 (p.102-104) 災害看護 2章2節2項 災害関連死の発生機序 (p.34-35)
		e 肺結核	臨床微生物・医動物 2章2節 結核 (p.42-50) 疾病と治療 3章2節 肺結核症 (p.60-62)
		f 気胸	呼吸機能障害／循環機能障害 1章5節3項 代表的な胸部外傷と治療 (p.52), 2節3項 換気障害を引き起こす主な疾患と治療 (p.38) 疾病と治療 3章6節 気胸 (p.73-76)
		g 腫瘍 (肺癌、中皮腫)	呼吸機能障害／循環機能障害 1章2節3項 換気障害を引き起こす主な疾患と治療 (p.35-37) 疾病と治療 3章5節 肺癌 (p.69-72)
6 循環機能	A 心臓の疾患の病態と診断・治療	a 先天性心疾患 (心房中隔欠損症、心室中隔欠損症、動脈管開存症、Fallot (ファロー) 四徴症)	呼吸機能障害／循環機能障害 6章4節1項 心臓の形態異常とはどのような状態か (p.152-153) 疾病と治療 2章7節 ファロー四徴症 (TOF) (p.50-52), 8節 心房中隔欠損症 (ASD) (p.52-53) 小児の疾患と看護 7章1節 心室中隔欠損症 (p.144-146), 2節 心房中隔欠損症 (p.146-148), 3節 房室中隔欠損症 (p.149-151), 4節 動脈管開存症 (p.152-153), 5節 ファロー四徴症 (p.154-156), 6節 完全大血管転位症 (p.156-158)
		b 虚血性心疾患 (狭心症、急性冠症候群)	呼吸機能障害／循環機能障害 6章6節1項 冠血流障害 (虚血性心疾患) とはどのような状態か (p.160) 疾病と治療 2章1節 狭心症 (p.34-36), 2節 急性心筋梗塞 (AMI) (p.36-40) 周術期看護 10章1節 狭心症 (p.140-144)
		c 心筋症 (肥大型心筋症、拡張型心筋症)	呼吸機能障害／循環機能障害 6章2節3項 心筋障害を引き起こす主な疾患と治療 (p.141-143) 疾病と治療 2章4節 心筋症 (p.44-46)
		d 心不全 (急性心不全、慢性心不全)	病態生理学 1章2節 血行障害 (p.31-38) 呼吸機能障害／循環機能障害 6章1節2項 循環機能障害の分類 (p.139), 4節2項 心臓の形態異常による症状とその検査 (p.153-154) 疾病と治療 2章5節 心不全 (p.46-48)
		e 心タンポナーデ	呼吸機能障害／循環機能障害 6章5節1項 心膜の異常とはどのような状態か (p.157-158) 疾病と治療 2章2節2項, plus a 「心タンポナーデ」 (p.38)
		f 不整脈 (上室性頻脈性不整脈、心室性頻脈性不整脈、徐脈性不整脈)	病態生理学 2章4節 不整脈 (p.119-124) 呼吸機能障害／循環機能障害 6章7節1項 刺激伝導系の障害とはどのような状態か (p.167-168), 3項 刺激伝導系の障害を引き起こす主な疾患と治療 (p.170-171)
		g 炎症性疾患 (感染性心内膜炎、心筋炎、収縮性心膜炎)	呼吸機能障害／循環機能障害 6章3節3項 弁機能の障害を引き起こす主な疾患と治療 (p.150-151)

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所	
6 循環機能	A 心臓の疾患の病態と診断・治療	h 弁膜症（大動脈弁疾患、僧帽弁疾患）	呼吸機能障害／循環機能障害 6章3節1項 弁機能の障害とはどのような状態か (p.144-145), 3項 弁機能の障害を引き起こす主な疾患と治療 (p.147-151) 疾病と治療 2章3節 心臓弁膜症 (p.41-44) 周術期看護 10章2節 心臓弁膜症 (p.144-151)	
		B 血管系の疾患の病態と診断・治療	a 大動脈瘤、大動脈解離	呼吸機能障害／循環機能障害 6章9節3項 血管の障害を引き起こす主な疾患と治療 (p.176-180) 疾病と治療 2章6節 大動脈解離 (p.48-50) 周術期看護 10章3節 大動脈解離 (p.151-156)
			b 閉塞性動脈硬化症	呼吸機能障害／循環機能障害 6章9節3項 血管の障害を引き起こす主な疾患と治療 (p.178-179) 周術期看護 10章4節 閉塞性動脈硬化症 (p.157-161)
			c 控減症候群	運動機能障害 1章2節4項 その他の疾患 (p.24) 災害看護 2章1節2項 自然災害 (p.27-31)
	C 血圧異常の病態と診断・治療	d 下肢静脈瘤、深部静脈血栓症	病態生理学 1章2節2項 血行障害の分類 (p.31-38) 呼吸機能障害／循環機能障害 6章9節3項 血管の障害を引き起こす主な疾患と治療 (p.179-180) 災害看護 2章2節 災害関連死 (p.34-35)	
		a 動脈硬化症	呼吸機能障害／循環機能障害 6章9節1項 血管の障害とはどのような状態か (p.176) 疾病と治療 2章1節1項 疾病の概念 (p.34) 臨床生化学 4-2章8節2項 リポタンパク質の役割 (p.85)	
		b 本態性高血圧	病態生理学 1章6節2項 細胞の傷害・適応の分類 (p.66) 臨床薬理学 2章2節 高血圧 (p.37) 高齢者看護の実践 1章6節3項 高血圧 (p.151-155) 解剖生理学 5章2節5項 血管の機能 (p.121-122)	
		c 二次性高血圧	高齢者看護の実践 1章6節3項 高血圧 (p.155) 病態生理学 1章6節2項 細胞の傷害・適応の分類 (p.66)	
	D ショックの病態と診断・治療	d 起立性低血圧	高齢者の健康と障害 4章5節1項 高齢者の血圧 (p.194-195)	
		a 心原性ショック	病態生理学 2章6節 ショック (p.128-135) 呼吸機能障害／循環機能障害 6章10節3項 代表的なショックと治療 (p.185)	
		b 出血性ショック	病態生理学 2章6節 ショック (p.128-135) 呼吸機能障害／循環機能障害 6章10節3項 代表的なショックと治療 (p.184)	
		c 血流分布異常性ショック	病態生理学 2章6節 ショック (p.128-135) 呼吸機能障害／循環機能障害 6章10節3項 代表的なショックと治療 (p.182-184)	
	7 栄養の摂取・消化・吸収・代謝機能	A 口腔、咽頭の疾患の病態と診断・治療	a 炎症性疾患（咽頭炎、扁桃炎）	栄養代謝機能障害 1章1節1項 口腔疾患 (p.21) 小児の疾患と看護 6章2節 扁桃炎 (p.123-125)
			b う歯、歯周病	栄養代謝機能障害 1章1節2項 歯科疾患 (p.21-22) 公衆衛生 9章1節2項 歯科疾患の特徴と現状 (p.149-151), 2節 う蝕予防と歯周疾患予防 (p.155-157)
			c 腫瘍（舌癌、咽頭癌）	栄養代謝機能障害 1章1節3項 頭頸部腫瘍 (p.22-23) 周術期看護 14章2節 舌癌 (p.225-229)
		B 上部消化管の疾患の病態と診断・治療	a 炎症性疾患（逆流性食道炎、急性胃炎、慢性胃炎、ヘリコバクターピロリ感染症）	栄養代謝機能障害 1章1節4項 食道疾患 (p.25-27), 2節1項 胃・十二指腸疾患 (p.31-37) 疾病と治療 4章1節 胃食道逆流症 (p.78-79), 4節 胃炎 (p.86-88)
b 潰瘍性疾患（胃潰瘍、十二指腸潰瘍）			栄養代謝機能障害 1章2節1項 胃・十二指腸疾患 (p.31-32) 疾病と治療 4章5節 胃・十二指腸潰瘍 (p.89-91) 小児の疾患と看護 9章1節 胃・十二指腸潰瘍 (p.178-180)	
c 腫瘍（食道癌、胃癌）			栄養代謝機能障害 1章1節4項 食道疾患 (p.27-30), 2節1項 胃・十二指腸疾患 (p.34-36) 疾病と治療 4章2節 食道癌 (p.80-82), 6節 胃癌 (p.92-95) 周術期看護 11章1節 食道癌 (p.164-169), 2節 胃癌 (p.170-175)	

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保険制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践



大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所	
7 栄養の摂取・消化・吸収・代謝機能	C 下部消化管の疾患の病態と診断・治療	a 炎症性疾患（潰瘍性大腸炎、Crohn〈クローン〉病、虫垂炎、痔瘻）	栄養代謝機能障害 1章3節 排便機能障害と疾患 (p.52-64) 疾病と治療 4章18節 急性虫垂炎 (p.126-128), 20節 潰瘍性大腸炎 (p.133-135), 21節 クローン病 (p.136-138) 小児の疾患と看護 9章2節 急性虫垂炎 (p.181-182), 3節 炎症性腸疾患 (p.183-185)	
		b イレウス	栄養代謝機能障害 1章2節2項 腸疾患 (p.37-40) 疾病と治療 4章19節 イレウス (p.129-133) 周術期看護 6章3節 術後腸閉塞（術後イレウス）(p.96-98)	
		c 腫瘍（大腸ポリープ、結腸癌、直腸癌）	栄養代謝機能障害 1章3節 排便機能障害と疾患 (p.52-57) 疾病と治療 4章22節 大腸ポリープ、大腸ポリポシス (p.138-140), 23節 大腸癌 (p.141-143) 周術期看護 11章3節 大腸癌 (p.176-180), 4節 直腸癌 (p.180-183)	
		d 排便障害（便秘、下痢）	病態生理学 2章14節 便秘 (p.166-170), 15節 下痢 (p.171-174)	
	D 肝臓・胆嚢・膵臓の疾患の病態と診断・治療	a 炎症性疾患（肝炎、胆管炎、膵炎）	栄養代謝機能障害 1章2節3項 胆道疾患 (p.40-46), 4項 膵疾患 (p.46-47) / 2章1節1項 肝炎 (p.66-68) 疾病と治療 4章7節 ウイルス性肝炎 (p.95-100), 8節 劇症肝炎 (p.100-102), 13節 胆嚢炎, 急性胆嚢炎 (p.113-115), 16節 膵炎 (p.120-124) 小児の疾患と看護 9章5節 肝炎 (p.187-190)	
		b 肝硬変	栄養代謝機能障害 2章1節2項 肝硬変 (p.68-70) 疾病と治療 4章11節 肝硬変 (p.107-109)	
		c 腫瘍（肝癌、胆嚢癌、胆管癌、膵癌）	栄養代謝機能障害 1章2節3項 胆道疾患 (p.43-46), 4項 膵疾患 (p.48-50) / 2章1節3項 肝癌 (p.70-73), 2節2項 インスリンノーマ (p.84-85) 疾病と治療 4章12節 肝細胞癌 (p.110-113), 15節 胆嚢癌 (p.118-120), 17節 膵癌 (p.124-126) 周術期看護 11章5節 肝臓癌 (p.184-191), 6節 膵臓癌 (p.191-197)	
		d 脂肪肝、アルコール性肝炎	栄養代謝機能障害 2章1節6項 脂肪肝 (p.77) 疾病と治療 4章9節 非アルコール性脂肪性肝障害 (NAFLD) (p.102-104), 10節 アルコール性肝障害 (p.105-106)	
		e 胆石症	栄養代謝機能障害 1章2節3項 胆道疾患 (p.40-46) 疾病と治療 4章14節 胆石症 (p.115-118)	
	E 腹壁・腹膜・横隔膜の疾患の病態と診断・治療	a 鼠径ヘルニア	小児の疾患と看護 12章8節 鼠径ヘルニア (p.252-254)	
		b 腹膜炎	病態生理学 2章17節 腹水 (p.179-182) 栄養代謝機能障害 3章2節1項 特徴的な症状とその看護 (p.114-129) 小児の疾患と看護 9章2節 急性虫垂炎 (p.181-183)	
		c 横隔膜ヘルニア、吃逆	栄養代謝機能障害 3章2節1項 特徴的な症状とその看護 (p.118-121) 小児の疾患と看護 12章1節 先天性横隔膜ヘルニア (p.234-236) 母性看護実践の基本 14章3節2項 外科的疾患 (p.346)	
	8 内部環境調節機能	A 内分泌系の疾患の病態と診断・治療	a 間脳・下垂体疾患	内部環境調節機能障害 / 性・生殖機能障害 2章2節2項 下垂体機能の障害を引き起こす主な疾患・症状と治療 (p.39-43) / 10章1節2項 女性性腺機能障害 (p.193-199) 脳・神経機能障害 / 感覚機能障害 2章2節3項 主な脳腫瘍の種類と検査・治療 (p.54-55) 疾病と治療 7章4節 クッシング症候群 (p.202-205)
			b 甲状腺疾患（甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症、甲状腺炎）	内部環境調節機能障害 / 性・生殖機能障害 2章3節2項 甲状腺機能の障害を引き起こす主な疾患・症状と治療 (p.44-48) 疾病と治療 7章1節 バセドウ病 (p.194-197), 2節 橋本病 (p.198-199) 小児の疾患と看護 3章5節 甲状腺機能亢進症 (p.56-58), 6節 先天性甲状腺機能低下症 (p.58-60)
			c 副甲状腺（上皮小体）疾患	内部環境調節機能障害 / 性・生殖機能障害 2章4節2項 副甲状腺機能の障害を引き起こす主な疾患・症状と治療 (p.48-50)

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所	
8 内部環境調節機能	A 内分泌系の疾患の病態と診断・治療	d 副腎皮質・髄質疾患	内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 2章5節2項 副腎機能の障害を引き起こす主な疾患・症状と治療 (p.51-52) 疾病と治療 7章3節 アジソン病 (p.200-202), 4節 クッシング症候群 (p.202-205), 5節 アルドステロン症 (p.205-208) 小児の疾患と看護 3章7節 21水酸化酵素欠損症 (p.60-62)	
		e 腫瘍(下垂体腫瘍、甲状腺癌)	内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 2章2節2項 下垂体機能の障害を引き起こす主な疾患・症状と治療 (p.39-40), 3節2項 甲状腺機能の障害を引き起こす主な疾患・症状と治療 (p.46) 周術期看護 16章1節 甲状腺癌 (p.246-250)	
	B 代謝異常の疾患の病態と診断・治療	a メタボリックシンドローム、肥満症	臨床生化学 4-2章10節 脂肪細胞と生活習慣病 (p.87) 病態生理学 2章8節 肥満 (p.140-143) 栄養代謝機能障害 4章3節1項 脂質代謝障害のある患者の看護 (p.179-182) 疾病と治療 5章3節 メタボリックシンドローム (p.152-154)	
		b 糖尿病	臨床生化学 5章2節1項 糖尿病 (p.108-111) 病態生理学 1章9節1項 糖質代謝の異常 (p.89-92) 栄養代謝機能障害 2章2節1項 糖尿病 (p.79-84) 疾病と治療 5章1節 糖尿病 (DM) (p.146-150)	
		c 脂質異常症	臨床生化学 4-2章9節 脂質異常症(高脂血症) (p.86) 病態生理学 1章9節2項 脂質代謝の異常 (p.92-93) 栄養代謝機能障害 2章3節1項 脂質代謝障害と疾患 (p.87-89) 疾病と治療 5章3節 メタボリックシンドローム (p.152-154)	
		d 高尿酸血症、痛風	臨床生化学 4-4章3節 ヌクレオチドの分解 (p.103-104) 病態生理学 1章9節4項 核酸・ビタミンなどの代謝異常 (p.94-96) 栄養代謝機能障害 2章3節3項 尿酸代謝異常と疾患 (p.91-93) 疾病と治療 5章2節 痛風 (p.150-152)	
		e ビタミン欠乏症	病態生理学 1章9節4項 核酸・ビタミンなどの代謝異常 (p.94-96) 臨床栄養学 1章2節2項 栄養素の分類 (p.12-43)	
	C 体液調節の疾患の病態と診断・治療	a 水・電解質の異常(脱水、浮腫、低ナトリウム血症、高カリウム血症)	病態生理学 1章1節2項 電解質の異常 (p.20-29) 臨床栄養学 1章2節2項 栄養素の分類 (p.34-43) 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 1章2節2項 水と電解質の異常とはどのような状態か (p.23-26)	
		b 酸塩基平衡の異常(アシドーシス、アルカローシス)	病態生理学 1章1節3項 酸塩基平衡の異常 (p.26-29) 呼吸機能障害／循環機能障害 2章1節2項 酸塩基平衡の障害の分類 (p.64) 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 1章2節3項 酸塩基平衡の異常とはどのような状態か (p.26-27)	
	9 造血機能	A 血液・造血器の疾患の病態と診断・治療	a 貧血(鉄欠乏性貧血、巨赤芽球性貧血、溶血性貧血、骨髄異形成症候群、二次性貧血)	病態生理学 2章19節 貧血 (p.187-192) 造血機能障害／免疫機能障害 1章1節 貧血 (p.16-26) 小児の疾患と看護 10章1節 未熟児貧血／鉄欠乏性貧血／溶血性貧血 (p.194-196)
			b 白血球減少症	造血機能障害／免疫機能障害 1章2節1項 白血球減少とはどのような状態か (p.28-29)
			c 出血性疾患(血栓性血小板減少性紫斑病(TTP)、免疫性血小板減少性紫斑病(ITP)、播種性血管内凝固(DIC))	病態生理学 2章20節 出血傾向 (p.193-199) 造血機能障害／免疫機能障害 1章4節1項 凝固・線溶系の異常とはどのような状態か (p.38-46) 疾病と治療 1章1節 血友病 (p.12-14), 5節 播種性血管内凝固症候群(DIC) (p.27-30)
d 腫瘍(白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫)			造血機能障害／免疫機能障害 1章5節1項 造血器の腫瘍とはどのような状態か (p.47-63) 疾病と治療 1章2節 白血病 (p.15-19), 3節 悪性リンパ腫 (p.19-22), 4節 多発性骨髄腫(MM) (p.23-27) 小児の疾患と看護 10章4節 白血病 (p.200-203), 5節 悪性リンパ腫 (p.203-204)	
10 免疫機能	A 自己免疫疾患の病態と診断・治療	a 全身性エリテマトーデス(SLE)	造血機能障害／免疫機能障害 3章1節2項 自己免疫疾患に含まれる主な疾患・症状・検査・治療 (p.101-103) 疾病と治療 11章2節 全身性エリテマトーデス(SLE) (p.306-308)	

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所	
10 免疫機能	A 自己免疫疾患の病態と診断・治療	b 関節リウマチ	造血機能障害／免疫機能障害 3章1節2項 自己免疫疾患に含まれる主な疾患・症状・検査・治療 (p.103-104) 運動機能障害 3章2節 関節の運動機能障害を起こす代表的疾患 (p.47) 疾病と治療 11章1節 関節リウマチ (RA) (p.304-306)	
		c Sjögren (シェーグレン) 症候群	造血機能障害／免疫機能障害 3章1節2項 自己免疫疾患に含まれる主な疾患・症状・検査・治療 (p.105-106)	
	B アレルギー性疾患の病態と診断・治療	a 花粉症 (アレルギー性鼻炎)	造血機能障害／免疫機能障害 3章2節2項 花粉症 (アレルギー性鼻炎) (p.118-121)	
		b 蕁麻疹	病態生理学 2章22節2項 病態生理 (p.205-209) 造血機能障害／免疫機能障害 3章2節5項 蕁麻疹 (p.131-132)	
		c 接触皮膚炎	造血機能障害／免疫機能障害 3章2節6項 接触皮膚炎 (p.132-133)	
		d アナフィラキシーショック	呼吸機能障害／循環機能障害 6章10節3項 代表的なショックと治療 (p.182-186) 造血機能障害／免疫機能障害 3章3節 アナフィラキシーショック・食物アレルギー・薬物アレルギー (p.135-146)	
	C 免疫低下に関連する疾患の病態と診断・治療	a 敗血症	病態生理学 2章6節 ショック (p.128-135) 臨床微生物・医動物 6章2節4項 敗血症の治療 (p.235-237)	
		b ヒト免疫不全ウイルス (HIV) 感染症	造血機能障害／免疫機能障害 3章4節2項 免疫不全を起こす主な疾患・症状・検査・治療 (p.149-150)／4章5節 免疫不全 (HIV感染症) 患者の看護 (p.192-200) 疾病と治療 11章3節 後天性免疫不全症候群 (AIDS) (p.308-312) セルフマネジメント 13章1節 エイズ (AIDS) の理解 (p.200-202)	
	11 神経機能	A 中枢神経系の疾患の病態と診断・治療	a 脳血管障害 (脳内出血、くも膜下出血、脳梗塞、もやもや病)	脳・神経機能障害／感覚機能障害 2章1節 脳血管障害 (p.42-50), 11節 小脳の疾患 (p.88-92) 疾病と治療 10章2節 高血圧性脳出血 (p.270-273), 3節 くも膜下出血 (p.273-276), 4節 虚血性脳血管疾患 (p.277-282)
			b 頭蓋内圧亢進症	脳・神経機能障害／感覚機能障害 3章2節1項 頭蓋内圧亢進症 (p.136-142)
			c 変性疾患 (Parkinson (パーキンソン) 病、筋萎縮性側索硬化症 (ALS))	脳・神経機能障害／感覚機能障害 2章7節 神経変性疾患 (p.71-73) 疾病と治療 10章6節 パーキンソン病 (p.286-290)
			d 脱髄疾患 (多発性硬化症)	脳・神経機能障害／感覚機能障害 2章8節 免疫性神経疾患 (p.74-79)
e 認知症 (Alzheimer (アルツハイマー) 病、血管性認知症、Lewy (レビー) 小体型認知症)			脳・神経機能障害／感覚機能障害 2章9節 認知症 (p.80-83) 疾病と治療 10章8節 アルツハイマー病 (p.295-298)	
f 感染症 (脳炎、髄膜炎)			脳・神経機能障害／感覚機能障害 2章5節 中枢神経系感染症 (p.64-66) 疾病と治療 10章5節 髄膜炎 (p.282-285)	
g 頭部外傷			脳・神経機能障害／感覚機能障害 2章3節 頭部外傷 (p.57-60)	
h 脊髄損傷			脳・神経機能障害／感覚機能障害 2章6節 脊椎・脊髄疾患 (p.67-69) 運動機能障害 2章2節1項 脊髄損傷 (p.35) 疾病と治療 9章7節 脊髄損傷 (p.249-252) 小児の疾患と看護 12章9節 二分脊椎／髄膜瘤 (p.254-257)	
i 機能的疾患 (てんかん)			脳・神経機能障害／感覚機能障害 2章10節 てんかん (p.84-87) 疾病と治療 10章9節 てんかん (p.299-302) 小児の疾患と看護 11章1節 てんかん (p.214-216)	
j 腫瘍 (脳腫瘍)			脳・神経機能障害／感覚機能障害 2章2節 脳腫瘍 (p.51-56), 11節 小脳の疾患 (p.88-90) 疾病と治療 10章1節 脳腫瘍 (p.264-269) 小児の疾患と看護 10章8節 脳腫瘍 (p.209-211)	

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
11 神経機能	B 末梢神経系の疾患の病態と診断・治療	a Guillain-Barré 〈ギラン・バレー〉症候群	脳・神経機能障害／感覚機能障害 2章12節3項 ギラン・バレー症候群 (p.96)
		b 圧迫性神経障害	脳・神経機能障害／感覚機能障害 2章12節2項 末梢神経障害を起こす疾患, 症状, 検査 (p.95) 運動機能障害 4章2節3項 末梢神経障害 (p.64-65)
		c 顔面神経麻痺 (Bell 〈ベル〉麻痺)	脳・神経機能障害／感覚機能障害 3章2節12項 顔面神経麻痺 (p.188-194)
		d 自律神経失調症	解剖生理学 13章4節6項 自律神経系 (p.353-357) 脳・神経機能障害／感覚機能障害 2章12節 末梢神経障害を起こす疾患 (p.93-96) 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 11章4節4項 更年期障害および自律神経失調症患者への看護 (p.274-278) 成人看護学概論 12章3節 更年期障害の症状 (p.193-197)
	C 感覚器系の疾患の病態と診断・治療	a 視覚障害 (白内障、緑内障、網膜剥離、網膜症)	脳・神経機能障害／感覚機能障害 5章1節 視覚の障害と患者の看護 (p.216-229) 疾病と治療 12章1節 白内障 (p.318-319), 2節 緑内障 (p.320-322), 3節 網膜剥離 (RD) (p.323-325) 周術期看護 14章1節 白内障 (p.222-224) 小児の疾患と看護 13章 眼疾患 (p.276-291)
		b 聴覚障害 (難聴、Ménière 〈メニエール〉病)	病態生理学 2章31節2項 病態生理 (p.250-252), 33節2項 病態生理 (p.261-262), 34節2項 病態生理 (p.266-267) 脳・神経機能障害／感覚機能障害 5章2節 聴覚・平衡覚の障害と患者の看護 (p.230-239) 疾病と治療 12章4節1項, plus a 「難聴」 (p.327), 6節 メニエール病 (p.332-334)
		c 嗅覚・味覚障害	病態生理学 2章35節2項 病態生理 (p.270-271), 36節2項 病態生理 (p.274-275) 脳・神経機能障害／感覚機能障害 5章3節 嗅覚・味覚の障害と患者の看護 (p.240-245) 疾病と治療 12章5節 副鼻腔炎 (p.329-331)
		d 皮膚障害 (湿疹、アトピー性皮膚炎、帯状疱疹、疥癬、蜂窩織炎)	病態生理学 2章22節2項 病態生理 (p.205-207) 造血機能障害／免疫機能障害 3章2節4項 アトピー性皮膚炎 (p.126-131) 疾病と治療 13章 感染症 (p.336-342) 小児の疾患と看護 4章1節 アトピー性皮膚炎 (p.68-69)／5章4節 麻疹 (p.96-98), 5節 風疹 (p.98-101), 6節 水痘 (p.101-103)
		a 骨折、脱臼、捻挫	運動機能障害 1章2節2項 骨折 (各論) (p.21-23), 4節1項 骨折の治療法 (p.26-28)／5章1節2項 スポーツ障害の疾患と治療 (p.70-72) 疾病と治療 9章2節 大腿骨近位部骨折 (p.236-239), 3節 腰椎圧迫骨折 (脊椎圧迫骨折) (p.239-242), 4節 骨折 (p.242-244), 5節 捻挫, 脱臼 (p.244-246) 小児の疾患と看護 12章11節 上腕骨顆上骨折 (p.260-263)
		b 骨粗鬆症	疾病と治療 9章1節 骨粗鬆症 (p.234-236), 3節 腰椎圧迫骨折 (脊椎圧迫骨折) (p.239-242)
c 腫瘍 (骨肉腫)	運動機能障害 1章2節3項 骨の腫瘍 (p.23-24), 4節3項 骨腫瘍の治療法 (p.28-29)		
d 変形性関節症	運動機能障害 3章2節 関節の運動機能障害を起こす代表的疾患 (p.47-51)		
e 腰痛症 (椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症)	病態生理学 2章38節 腰痛 (p.284-287) 脳・神経機能障害／感覚機能障害 2章6節 脊椎・脊髄疾患 (p.67-69) 運動機能障害 2章2節2項 脊椎変性疾患 (p.35-38) 疾病と治療 9章6節 椎間板ヘルニア (p.247-249), 8節 腰部脊柱管狭窄症 (p.253-255)		
f 炎症性疾患 (骨・骨髄炎、関節炎)	臨床微生物・医動物 3章5節2項 褥瘡感染 (p.139-141) 運動機能障害 3章2節 関節の運動機能障害を起こす代表的疾患 (p.47-51), 3節 関節の検査と援助 (p.52-53), 4節 関節の運動機能障害・疾患の治療 (p.53-55) 小児の疾患と看護 12章12節 単純性股関節炎 (p.263-264)		
12 運動機能	A 骨・関節の疾患の病態と診断・治療		

必修問題  
 人体の構造と機能  
 疾病の成り立ちと回復の促進  
 健康支援と社会保障制度  
 基礎看護学  
 成人看護学  
 老年看護学  
 小児看護学  
 母性看護学  
 精神看護学  
 在宅看護論  
 看護の統合と実践

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
12 運動機能	B 筋肉・神経筋接合部の疾患の病態と診断・治療	a 筋ジストロフィー	運動機能障害 4章2節1項 筋疾患 (p.64)
		b 重症筋無力症	造血機能障害／免疫機能障害 3章1節2項 自己免疫疾患に含まれる主な疾患・症状・検査・治療 (p.98-110) 脳・神経機能障害／感覚機能障害 2章8節 免疫性神経疾患 (p.74-79) 運動機能障害 4章2節2項 神経筋接合部の疾患 (p.64) 疾病と治療 10章7節 重症筋無力症 (MG) (p.291-294)
13 排泄機能	A 泌尿器系の疾患の病態と診断・治療	a 腎炎、慢性腎臓病	内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 3章1節2項 腎不全の分類と特徴 (p.69-73)／4章1節2項 尿路の機能障害の主な原因・疾患と治療 (p.90-91)／7章1節1項 腎機能低下に伴う症状のアセスメントと看護 (p.128-131) 疾病と治療 6章1節 ネフローゼ症候群 (p.156-160), 2節 腎炎 (p.160-165), 3節4項 慢性腎臓病－疾病の概念 (p.168-169), 5項 慢性腎臓病－診断と治療 (p.169-171) 小児の疾患と看護 8章6節 慢性腎障害 (p.172-174)
		b 炎症性疾患 (腎盂腎炎、膀胱炎)	疾病と治療 6章9節 腎盂腎炎 (p.186-188), 10節 膀胱炎 (p.188-190)
		c 腫瘍 (腎癌、尿管癌、膀胱癌)	内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 4章1節 尿路の機能障害と治療 (p.90-98) 疾病と治療 6章4節 腎癌 (腎細胞癌) (p.172-175), 5節 膀胱癌 (p.175-177)
		d 腎・尿路結石	内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 4章1節2項 尿路の機能障害の主な原因・疾患と治療 (p.92-93) 疾病と治療 6章8節 尿路結石 (p.183-185)
		e 排尿障害 (過活動膀胱、腹圧性尿失禁、夜尿症)	脳・神経機能障害／感覚機能障害 3章2節11項 排尿障害 (p.184-188) 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 4章 尿路の機能障害 (排尿障害・蓄尿障害) (p.90-98)／8章1節 尿路の機能障害の検査と看護 (p.150-152), 2節2項 心身・日常生活への影響と看護 (p.156-159)
		f 腎不全	内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 3章1節2項 腎不全の分類と特徴 (p.69-73) 疾病と治療 6章3節 腎不全 (p.165-171)
14 生殖機能	A 生殖器系の疾患の病態と診断・治療	a 女性生殖器の疾患 (子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣腫瘍)	内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 10章2節2項 女性生殖器の障害を引き起こす主な疾患 (p.200-210) 疾病と治療 8章1節7項 子宮筋腫－疾病の概念 (p.214), 8項 子宮筋腫－診断と治療 (p.214-215), 2節 子宮内膜症 (p.216-219), 3節 卵巣腫瘍 (p.219-225)
		b 乳腺の疾患 (乳腺炎、乳腺症)	内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 10章6節1項 乳腺の疾患は性・生殖機能にどのように影響するか (p.222) 母性看護実践の基本 13章3節2項 乳房のトラブル (p.320-322)
		c 男性生殖器の疾患 (前立腺炎、前立腺肥大)	内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 4章1節2項 尿路の機能障害の主な原因・疾患と治療 (p.93-95)／8章2節 尿路の機能障害の治療と看護 (p.154-159) 疾病と治療 6章6節 前立腺肥大症 (BPH) (p.178-180)
		d 腫瘍 (乳癌、子宮体癌、子宮頸癌、卵巣癌、前立腺癌)	内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 4章1節2項 尿路の機能障害の主な原因・疾患と治療 (p.95)／10章2節2項 女性生殖器の障害を引き起こす主な疾患 (p.200-210), 6節2項 乳腺の主な疾患 (p.222-227)／11章2節2項 治療と看護 (p.248-256) 疾病と治療 6章7節 前立腺癌 (p.180-183)／8章1節 子宮腫瘍 (p.210-213), 3節 卵巣腫瘍 (p.219-225), 4節 乳癌 (p.225-230)
		e 生殖機能障害 (月経異常、更年期障害)	内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 10章1節 性ホルモンの障害 (p.186-193) 母性看護実践の基本 4章3節 思春期・成熟期女性の健康問題と看護 (p.69-70)／5章2節1項 更年期障害 (p.98-100)
15 精神機能	A 精神・心身の疾患の病態と診断・治療	a 症状性を含む器質性精神障害 (Alzheimer〈アルツハイマー〉病、血管性認知症、Lewy〈レビー〉小体型認知症)、せん妄	脳・神経機能障害／感覚機能障害 2章9節 認知症 (p.80-83) 精神障害と看護の実践 1章13節 神経認知障害 (p.74-81)

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
15 精神機能	A 精神・心身の疾患の病態と診断・治療	b 精神作用物質使用による精神・行動の異常（アルコール依存症、覚醒剤・大麻精神病）	精神障害と看護の実践 1章12節 物質関連障害 (p.68-73)
		c 統合失調症	疾病と治療 14章1節 統合失調症 (p.344-347) 精神障害と看護の実践 1章3節 統合失調症 (p.25-29)
		d 気分〈感情〉障害（うつ病、双極性障害）	疾病と治療 14章2節 うつ病、抑うつ状態 (p.348-351) 精神障害と看護の実践 1章4節 抑うつ障害と双極性障害 (p.30-37)
		e 神経症性障害、ストレス関連障害（パニック障害、心的外傷後ストレス障害（PTSD）、適応障害）	精神障害と看護の実践 1章5節3項 パニック障害 (p.39), 7節 ストレス因関連障害 (p.46-50)
		f 生理的障害、身体的要因に関連した精神障害または行動症候群（摂食障害、不眠症、ナルコレプシー、睡眠時無呼吸症候群）	精神障害と看護の実践 1章10節 摂食障害 (p.58-62), 11節 睡眠－覚醒障害 (p.63-68) 呼吸機能障害／循環機能障害 1章7節 呼吸器系におけるその他の障害－睡眠時無呼吸症候群 (p.58-60)
		g 小児・青年期の精神・心身医学的疾患、成人の人格・行動障害	精神障害と看護の実践 1章2節 神経発達症：成人期の自閉症スペクトラム障害（ASD）(p.22-24), 8節 解離性障害 (p.50-53), 14節 パーソナリティ障害 (p.81-83) 小児の疾患と看護 11章6節 自閉スペクトラム症 (p.225-228), 7節 神経性やせ症 (p.229-231)

必  
修  
問  
題人  
体  
の  
構  
造  
と  
機  
能疾  
病  
の  
成  
り  
立  
ち  
と  
回  
復  
の  
促  
進健  
康  
支  
援  
と  
社  
会  
保  
障  
制  
度基  
礎  
看  
護  
学成  
人  
看  
護  
学老  
年  
看  
護  
学小  
児  
看  
護  
学母  
性  
看  
護  
学精  
神  
看  
護  
学在  
宅  
看  
護  
論看  
護  
の  
統  
合  
と  
実  
践

# 健康支援と社会保障制度

## 目標 I 社会生活を視点とした個人・家族・集団の機能や変化について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所	
1 社会・生活基盤と健康	A 生活単位の機能と変化	a 人口構造（少子高齢化、総人口の減少）	健康と社会・生活 1章6節4項 高齢化 (p.23) / 3章2節2項 少子高齢化社会とライフコース (p.60-61) 公衆衛生 7章1節2項 日本の高齢化の動向 (p.122) 社会福祉と社会保障 4章1節4項 子育て支援・少子化対策に関する施策 (p.86-91) 地域療養を支えるケア 1章1節2項 在宅看護の社会背景 (p.13-19)	
		b 家族、世帯	健康と社会・生活 3章1節 家族の現在 (p.56-59)	
		c 住居	社会福祉と社会保障 8章1節3項 住まい (p.214-216) 健康と社会・生活 2章1節2項 日常生活を構成するもの (p.31-34)	
	B ライフサイクル	a 出生	健康と社会・生活 3章1節1項 いま、家族に生じていること (p.56-57), 4節2項 育児機能 (p.68-70) 母性看護実践の基本 2章2節 母子保健統計 (p.31-35)	
		b 教育、養育	健康と社会・生活 1章3節 人間は社会の中で人間になる (p.15-16) / 3章3節2項 ライフステージと家族の課題 (p.64-67)	
		c 婚姻、離婚	健康と社会・生活 3章1節1項 いま、家族に生じていること (p.56-57) 成人看護学概論 4章2節3項 成人各期における生活の特徴 (p.84-89) 母性看護実践の基本 2章2節3項 その他の統計 (p.36)	
	C 労働と健康	a 就業構造	健康と社会・生活 1章6節1項 脱工業化 (p.20-21)	
		b 労働時間	健康と社会・生活 3章4節2項 育児機能 (p.71) 公衆衛生 15章2節6項 作業環境管理と作業の管理 (p.244) 看護管理 6章1節2項 働くことをめぐる法律や規則 (p.170) 小児の発達と看護 1章4節1項 子どもを取り巻く社会環境 (p.46-49)	
		c 余暇	成人看護学概論 4章2節2項 生活の場 (p.81-82) / 11章 余暇活動に伴う健康障害 (p.182-190)	
		d 健康診断と受療状況	公衆衛生 15章2節7項 健康管理 (p.245-248) 高齢者の健康と障害 1章1節4項 健康指標からみた高齢者の理解 (p.16-19)	
		e 労働基準法	公衆衛生 15章2節1項 労働衛生行政の歴史と現状 (p.239-240) 医療関係法規 15章1節 労働基準法 (p.294-296) 母性看護実践の基本 2章3節2項 女性の保護および就労に関する法律 (p.38) 看護管理 3章3節2項 労働の管理 (p.80-83) / 6章1節2項 働くことをめぐる法律や規則 (p.170)	
		f 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律〈育児・介護休業法〉	医療関係法規 15章2節 育児・介護休業法 (p.296-299) 母性看護実践の基本 2章3節2項 女性の保護および就労に関する法律 (p.39) 小児の発達と看護 2章2節7項 乳児のいる家族への看護 (p.98-99) 看護管理 3章3節2項 労働の管理 (p.80-83)	
	2 家族の機能やライフスタイルの変化	A 家族の機能	a 夫婦、親子	健康と社会・生活 3章1節 家族の現在 (p.56-59), 2節1項 ライフサイクルとライフコース (p.59-63)
			b 育児、介護	健康と社会・生活 3章4節2項 育児機能 (p.68-70), 3項 介護機能 (p.70-73), 4項 ケアの社会化 (p.73-74) 母性看護実践の基本 6章7節 出産と育児の準備 (p.149-152)

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
2 家族の機能やライフスタイルの変化	A 家族の機能	c 家事	健康と社会・生活 2章1節2項 日常生活を構成するもの (p.31-34) / 3章4節2項 育児機能 (p.68-70) 成人看護学概論 4章2節2項 生活の場 (p.82-84)
		B ライフスタイルの変化	a 雇用形態
	b 女性の労働	健康と社会・生活 3章2節3項 女性のライフコースの変化 (p.61-63), 4節1項 ケア機能とジェンダー (p.68), 2項 育児機能 (p.68-70)	
	c 少子化、晩婚化、晩産化	健康と社会・生活 1章6節4項 高齢化 (p.23-24) / 3章2節2項 少子高齢化社会とライフコース (p.60-61) 社会福祉と社会保障 4章1節4項 子育て支援・少子化対策に関する施策 (p.86-91)	
	d 地域活動への参加	健康と社会・生活 7章3節1項 地域性の再生産 (p.115-116), 6節5項 まちづくり運動論への展開 (p.124-126)	
e 家族観の多様化	健康と社会・生活 3章1節3項 家族の個人化と多様化 (p.58-59)		
3 社会の中の集団	A 集団の機能と変化	a 地域集団〈コミュニティ・グループ〉	健康と社会・生活 7章5節 地域集団の諸相 (p.119-121)
		b 集団心理	医療安全 3章1節2項 人間特性 (p.70-72)
		c グループダイナミクス	社会福祉と社会保障 3章1節5項 実践方法の中の諸技術 (p.63-64) 基礎看護技術 3章1節4項 看護における指導技術 (p.52-53)
	B 地域や職場における人間関係	a ソーシャルサポートネットワーク	健康と社会・生活 7章4節2項 サポートネットワーク (p.118-119)
		b フォーマルサポート、インフォーマルサポート	健康と社会・生活 6章3節 対立から協働へ：建設的な対立・葛藤解決の方法 (p.103-105)

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践

**目標Ⅱ 社会保障の理念、社会保険制度および社会福祉に関する法や施策について基本的な理解を問う。**

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
4 社会保障制度の基本	A 社会保障の理念と変遷	a 目的、機能	社会福祉と社会保障 2章1節 社会福祉・社会保障とは何か (p.22-33) リハビリテーション看護 3章3節 障害者を支える法律 (p.52-54)
		b 日本国憲法第25条	社会福祉と社会保障 2章1節5項 社会保障の法体系 (p.25-27) 医療関係法規 2章1節 日本国憲法 (p.17)
		c 人権、倫理	社会福祉と社会保障 2章1節 社会福祉・社会保障とは何か (p.22-33)
		d ノーマライゼーション	社会福祉と社会保障 2章1節3項 社会保障を支えるもの (p.24) / 4章2節 障害児・者と福祉 (p.98-110)
		e 情報公開、地方分権、参加	健康と社会・生活 7章3節2項 自治体としての地域社会 (p.116-117)
	B 社会保障制度	a 社会保障給付費	社会福祉と社会保障 2章1節 社会福祉・社会保障とは何か (p.30-33)
		b 社会保障制度改革	社会福祉と社会保障 2章2節 社会福祉・社会保障の歴史 (p.33-40) / 7章1節6項 公的年金制度の課題 (p.169-170), 2節5項 医療保険制度の課題 (p.185-187), 3節3項 介護保険制度の課題 (p.198-200), 4節3項 雇用保険制度の課題 (p.208) 看護管理 8章2節2項 少子高齢化による制度改革の必要性 (p.207-208)
		c 地域包括ケアシステム	社会福祉と社会保障 7章3節3項 介護保険制度の課題 (p.199-200) 地域療養を支えるケア 4章3節 地域包括ケアシステムと在宅ケア (p.123-133) 高齢者の健康と障害 2章5節 地域包括ケア (p.102-106) 看護管理 8章2節4項 医療政策・介護政策分野 (p.207-210)



大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
4 社会保障制度の基本	B 社会保障制度	d 社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）	リハビリテーション看護 3章3節1項 社会保障のしくみ (p.52)
5 社会保険制度の基本	A 社会保険の理念と変遷	a 目的、機能	社会福祉と社会保障 2章1節5項 社会保障の法体系 (p.25-27), 6項 社会保険と社会福祉 (p.28)
		b 国民皆保険・皆年金	社会福祉と社会保障 2章2節4項 国民皆保険・皆年金と社会保障制度の発展 (p.36-37) / 7章1節 年金制度 (p.164-170)
	B 医療保険制度	a 被用者保険	社会福祉と社会保障 7章2節3項 医療保険制度のしくみ (p.173-183) 医療関係法規 14章1節 図14-1 (p.268)
		b 国民健康保険	社会福祉と社会保障 7章2節 医療保険制度 (p.171-187) 医療関係法規 14章2節 国民健康保険法 (p.272-274)
		c 高齢者医療制度（高齢者の医療の確保に関する法律〈高齢者医療確保法〉）	公衆衛生 7章2節1項 高齢者の保健医療に関わる法律とその内容 (p.123) 社会福祉と社会保障 7章2節4項 高齢者医療制度 (p.183-185) 医療関係法規 14章3節 高齢者医療確保法 (p.274-277)
		d 国民医療費の動向	社会福祉と社会保障 2章1節 社会福祉・社会保障とは何か (p.28-33) / 7章2節5項 医療保険制度の課題 (p.185-187) 看護学概論 3章2節4項 医療と政策 (p.85-86)
		e 公費医療制度	社会福祉と社会保障 7章2節1項 医療保険制度と医療提供体制 (p.171) / 4章2節5項 自立支援医療 (p.103-105), 3節 難病対策 (p.111-119) 地域療養を支えるケア 2章1節1項 法制度からみた対象者 (p.38-39)
		f 診療報酬制度	社会福祉と社会保障 7章2節 医療保険制度 (p.171-187) 看護学概論 10章5節2項 診療報酬による評価 (p.213-217) 成人看護学概論 6章 コラム 診療報酬と医療 (p.127-128) 看護管理 7章2節2項 診療報酬制度 (p.192) 医療安全 2章1節3項 診療報酬における医療安全対策の評価 (p.38)
	C 介護保険制度	a 基本理念	社会福祉と社会保障 2章2節7項 介護保険と社会福祉基礎構造改革 (p.39-40) / 7章3節1項 介護保険制度の創設 (p.187-188) 医療関係法規 10章2節 介護保険法 (p.170)
		b 保険者、被保険者	社会福祉と社会保障 7章3節2項 介護保険制度のしくみ (p.188-198) 医療関係法規 10章2節 介護保険法 (p.171, 179) 高齢者の健康と障害 2章3節4項 介護保険制度 (p.82-86) 地域療養を支えるケア 5章3節4項 介護保険制度 (p.151-152) 健康危機状況／セルフケアの再獲得 5章4節2項 介護保険制度 (p.245-248)
		c 要介護・要支援の認定	社会福祉と社会保障 7章3節2項 介護保険制度のしくみ (p.188-198) 医療関係法規 10章2節 介護保険法 (p.181-182) 高齢者の健康と障害 2章3節4項 介護保険制度 (p.82-86) 地域療養を支えるケア 5章3節4項 介護保険制度 (p.151-162) 健康危機状況／セルフケアの再獲得 5章4節2項 介護保険制度 (p.245-248)
		d 保険給付と利用者負担	社会福祉と社会保障 7章3節2項 介護保険制度のしくみ (p.188-198) 医療関係法規 10章2節 介護保険法 (p.182-186) 高齢者の健康と障害 2章3節4項 介護保険制度 (p.82-86) 地域療養を支えるケア 5章3節4項 介護保険制度 (p.151-162) 健康危機状況／セルフケアの再獲得 5章4節2項 介護保険制度 (p.245-248)
		e ケアマネジメント	社会福祉と社会保障 3章1節5項 実践方法の中の諸技術 (p.65) / 4章4節5項 地域における高齢者保健福祉の課題 (p.127-130) / 7章3節2項 介護保険制度のしくみ (p.193) 地域療養を支えるケア 4章1節2項 ケアマネジメントの展開 (p.101-114) 健康危機状況／セルフケアの再獲得 5章4節2項 介護保険制度 (p.248)

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
5 社会保険制度の基本	C 介護保険制度	f 介護サービス	社会福祉と社会保障 7章3節 介護保険制度 (p.187-200) 医療関係法規 10章2節 介護保険法 (p.172-179) 高齢者の健康と障害 2章3節4項 介護保険制度 (p.82-86) 地域療養を支えるケア 5章3節4項 介護保険制度 (p.151-162)
		g 介護予防	社会福祉と社会保障 2章3節4項 社会福祉と保健の連動の場と重要性 (p.51-56) / 4章4節 高齢者と福祉 (p.122-130)
	D 年金制度	a 制度の体系	社会福祉と社会保障 7章1節1項 公的年金制度の意義としくみ (p.164), 3項 公的年金制度の概要 (p.166-167) 高齢者の健康と障害 2章3節5項 公的年金制度 (p.86-88)
		b 給付と費用負担	社会福祉と社会保障 2章1節7項 ライフサイクルからみた社会保障 (p.28-30) / 7章1節4項 公的年金制度の給付 (p.167-168), 5項 企業年金などの概要 (p.169) 医療関係法規 14章4節 国民年金法 (p.278-279), 5節 厚生年金保険法 (p.280-281)
	E B~D以外の社会保険制度	a 雇用保険	社会福祉と社会保障 7章4節 雇用保険制度 (p.200-208) 医療関係法規 14章10節 雇用保険法 (p.291-292)
		b 労働者災害補償保険法	公衆衛生 15章2節2項 労働災害や公務災害 (p.240) 医療関係法規 14章9節 労働者災害補償保険法 (p.289-291)
6 社会福祉に関する法や施策	A 社会福祉の理念と変遷	a 措置制度と利用契約制度	社会福祉と社会保障 2章2節7項 介護保険と社会福祉基礎構造改革 (p.39-40)
		b 利用者保護の制度	社会福祉と社会保障 3章2節2項 社会資源の活用方法を理解する (p.75-76) 地域療養を支えるケア 5章3節3項 高齢者保健福祉施策 (p.149-151)
	B 社会福祉に関わる機関と機能	a 福祉事務所	社会福祉と社会保障 4章1節3項 子ども・家庭福祉の実施体制 (p.85) 医療関係法規 10章4節 社会福祉法 (p.192-193)
		b 児童相談所	社会福祉と社会保障 4章1節3項 子ども・家庭福祉の実施体制 (p.84-85) 医療関係法規 9章1節 児童福祉法 (p.145)
		c 更生相談所	社会福祉と社会保障 2章3節1項 社会福祉サービスの体系と提供組織 (p.43-45) 医療関係法規 11章3節 身体障害者福祉法 (p.214), 4節 知的障害者福祉法 (p.217)
		d 社会福祉施設	社会福祉と社会保障 2章3節4項 社会福祉と保健の連動の場と重要性 (p.51-56)
		e 在宅サービスの実施機関	地域療養を支えるケア 3章2節 在宅ケアを支える訪問看護ステーション (p.74-79) 医療安全 6章1節 在宅看護の現状 (p.166-168)
	C 社会福祉における民間活動	a 民生委員、児童委員	公衆衛生 2章5節2項 地域組織活動 (p.36-38) 社会福祉と社会保障 4章1節3項 子ども・家庭福祉の実施体制 (p.84-86) 医療関係法規 9章1節 児童福祉法 (p.146) / 13章2節 民生委員法 (p.265)
		b 社会福祉協議会	社会福祉と社会保障 6章3節 社会福祉協議会 (p.159) 医療関係法規 10章4節 社会福祉法 (p.193)
		c ボランティア活動	健康と社会・生活 5章3節2項 ボランティアグループ (p.90), 3項 セルフヘルプグループ (p.90-91), 4項 NPOとNGO (p.91) 健康危機状況/セルフケアの再獲得 5章3節3項 ボランティア活動の活用 (p.243-244)
	D 生活保護に関する法や施策	a 基本理念と原則	社会福祉と社会保障 5章2節1項 生活保護の種類・範囲・方法 (p.136-140) 医療関係法規 13章1節 生活保護法 (p.260)
		b 扶助の種類と内容	社会福祉と社会保障 5章2節 生活保護における生活保障 (p.136-147) 医療関係法規 13章1節 生活保護法 (p.261-263) 高齢者の健康と障害 2章3節6項 生活保護制度 (p.88-89)
	E 障害者(児)に関する法や施策	a 障害者基本法	医療関係法規 11章1節 障害者基本法 (p.200-203) リハビリテーション看護 3章1節1項 障害者の定義 (p.48-49)

必  
修  
問  
題人  
体  
の  
構  
造  
と  
機  
能疾  
病  
の  
成  
り  
立  
ち  
と  
回  
復  
の  
促  
進健  
康  
支  
援  
と  
社  
会  
保  
障  
制  
度基  
礎  
看  
護  
学成  
人  
看  
護  
学老  
年  
看  
護  
学小  
児  
看  
護  
学母  
性  
看  
護  
学精  
神  
看  
護  
学在  
宅  
看  
護  
論看  
護  
の  
統  
合  
と  
実  
践

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
6 社会福祉に関する法や施策	E 障害者（児）に関する法や施策	a 障害者基本法	地域療養を支えるケア 1章1節2項 在宅看護の社会背景 (p.17-18) 健康危機状況／セルフケアの再獲得 資料2 障害者基本法 (p.320-323)
		b 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律〈障害者総合支援法〉	社会福祉と社会保障 4章2節 障害児・者と福祉 (p.98-110) 医療関係法規 11章2節 障害者総合支援法 (p.203-212) リハビリテーション看護 3章4節2項 障害者自立支援法から障害者総合支援法へ (p.54-58) 地域療養を支えるケア 5章4節4項 障害者総合支援法 (p.167-172)
		c 身体障害者福祉法	医療関係法規 11章3節 身体障害者福祉法 (p.212-216) リハビリテーション看護 3章2節1項 障害者の権利に影響する施策の変遷 (p.50)
		d 知的障害者福祉法	医療関係法規 11章4節 知的障害者福祉法 (p.216-217) リハビリテーション看護 3章1節1項 障害者の定義 (p.48-49)
		e 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律〈精神保健福祉法〉	公衆衛生 10章1節2項 精神保健福祉の歴史 (p.164-165) 医療関係法規 11章5節 精神保健福祉法 (p.217-229) 情緒発達と精神看護の基本 11章2節 精神保健福祉法の基本的な考え方 (p.170-173)
		f 発達障害者支援法	医療関係法規 11章7節 発達障害者支援法 (p.234-236) 地域療養を支えるケア 5章4節5項 発達障害者支援法 (p.172)
		g 障害者の雇用の促進等に関する法律〈障害者雇用促進法〉	社会福祉と社会保障 4章2節7項 障害者雇用および支援 (p.106-107) 医療関係法規 15章7節 障害者雇用促進法 (p.307-309)
		h 障害を理由とする差別の解消に関する法律〈障害者差別解消法〉	社会福祉と社会保障 4章2節8項 障害児・者施策の今後の課題 (p.109-110) 公衆衛生 10章1節2項 精神保健福祉の歴史 (p.164-165) 医療関係法規 11章1節, plus a 「障害者差別解消法」 (p.200)
		i 障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律〈障害者虐待防止法〉	医療関係法規 11章8節 障害者虐待防止法 (p.236-240) 地域療養を支えるケア 5章4節6項 障害者雇用促進法 (p.172-173)
		j 障害者基本計画	公衆衛生 10章1節2項 精神保健福祉の歴史 (p.164) 医療関係法規 11章1節 障害者基本法 (p.200-201) 地域療養を支えるケア 5章4節1項 障害者に対する施策の歴史 (p.163-164) 健康危機状況／セルフケアの再獲得 資料2 障害者基本法 (p.320-323)
F 児童に関する法や施策	a 児童福祉法	a 児童福祉法	社会福祉と社会保障 4章1節2項 子ども・家庭福祉の理念と目的 (p.80-84) 公衆衛生 6章1節2項 法律にみる目的 (p.102-103) 医療関係法規 9章1節 児童福祉法 (p.140-154) 小児の発達と看護 1章4節3項 小児に関する法律 (p.53-57)
		b 児童虐待の防止等に関する法律〈児童虐待防止法〉	社会福祉と社会保障 4章1節5項 児童虐待に関する施策 (p.91-95) 公衆衛生 6章5節2項 児童虐待の防止対策 (p.112) 医療関係法規 9章4節 児童虐待防止法 (p.158-161) 小児の発達と看護 1章4節3項 小児に関する法律 (p.53-57)
		c 母子及び父子並びに寡婦福祉法	医療関係法規 8章3節 母子及び父子並びに寡婦福祉法 (p.129-130)
G 高齢者に関する法や施策	a 老人福祉法	a 老人福祉法	社会福祉と社会保障 4章4節2項 高齢者保健福祉施策の目的と理念 (p.120-122), 3項 高齢者保健福祉施策の経緯 (p.122-125), 4項 現在の老人福祉法による高齢者支援 (p.125-127) 医療関係法規 10章1節 老人福祉法 (p.166-170)
		b 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律〈高齢者虐待防止法〉	社会福祉と社会保障 4章4節6項 高齢者の権利擁護と虐待防止 (p.130-133) 医療関係法規 10章5節 高齢者虐待防止法 (p.194-196) 高齢者の健康と障害 4章3節2項 高齢者虐待と身体拘束 (p.162-166)
		c 老人福祉計画	社会福祉と社会保障 4章4節4項 現在の老人福祉法による高齢者支援 (p.126) 医療関係法規 10章1節 老人福祉法 (p.169)

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
6 社会福祉に関する法や施策	H D～G以外の法や施策	a 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律〈DV防止法〉	社会福祉と社会保障 4章1節7項 新たな課題に対する施策 (p.96) 医療関係法規 8章4節 DV防止法 (p.130-134) 成人看護学概論 10章3節2項 二次介入：問題の明確化・発見 (p.175-178)
		b 次世代育成支援、少子化対策	社会福祉と社会保障 4章1節4項 子育て支援・少子化対策に関する施策 (p.86-91) 医療関係法規 9章5節 次世代育成支援対策推進法 (p.162), 6節 少子化社会対策基本法 (p.162-163) 小児の発達と看護 1章4節3項 小児に関する法律 (p.56-57)
		c 依存症対策（アルコール依存、薬物依存、病的賭博）	医療関係法規 17章9節 アルコール健康障害対策基本法 (p.335) 情緒発達と精神看護の基本 8章 嗜癖と依存 (p.120-128)

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保険制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践

**目標Ⅲ 公衆衛生の基本、保健活動の基盤となる法や施策および生活者の健康増進について基本的な理解を問う。**

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
7 健康と公衆衛生	A 公衆衛生の基本	a 公衆衛生の領域、活動の特徴	公衆衛生 2章 現在の公衆衛生システムと政策 (p.22-38) 地域療養を支えるケア 1章2節3項 集団を対象とする公衆衛生看護 (p.21-22)
		b 健康の概念に基づく公衆衛生	公衆衛生 3章1節 ヘルスプロモーションの考え方で、住民・患者支援の方法が変わる (p.46-48)
		c プライマリヘルスケア	地域療養を支えるケア 1章3節7項 ヘルスプロモーション (p.28-29) 公衆衛生 3章1節3項 ヘルスプロモーションとは (p.46-48)
		d ヘルスプロモーション	健康と社会・生活 10章3節2項 働きかけ(援助)の理論 (p.171-176), 4節3項 ヘルスプロモーションの位置付け (p.177-179) 公衆衛生 3章1節 ヘルスプロモーションの考え方で、住民・患者支援の方法が変わる (p.46-48) 成人看護学概論 19章 ヘルスプロモーション (p.270-275) 地域療養を支えるケア 1章3節7項 ヘルスプロモーション (p.28-29)
		e ポピュレーションアプローチ、ハイリスクアプローチ	公衆衛生 5章2節1項 高リスクアプローチ、集団アプローチ (p.82-83)
	B 疫学的方法に基づく公衆衛生	a 健康被害と母集団	公衆衛生 4章1節2項 集団の特徴を表す方法(健康指標)と使い方 (p.56-58), 3節4項 疫学に必要な統計(偶然) (p.66)
		b 疫学的因果関係の推定	公衆衛生 4章3節 リスクファクター (p.63-66) 看護研究 1章1節1項 研究とは何か (p.10-12) / 3章1節2項 根拠に基づく実践 (p.36)
		c 臨床疫学とエビデンス	公衆衛生 4章1節1項 集団の見方一人をみるのとどう違うのか (p.56) 看護研究 1章1節1項 研究とは何か (p.10-12) / 3章1節2項 根拠に基づく実践 (p.36)
	C 健康に関する指標に基づく公衆衛生	a 国勢調査	公衆衛生 4章6節1項 既存資料の利用 (p.70)
		b 人口静態	公衆衛生 4章6節1項 既存資料の利用 (p.70)
		c 出生	公衆衛生 4章6節1項 既存資料の利用 (p.70-75)
		d 死亡、死因	公衆衛生 4章6節1項 既存資料の利用 (p.70-75)
		e 死産、周産期死亡、乳児死亡	公衆衛生 1章1節1項 昔の日本はどんな国だったのか (p.14) / 4章6節1項 既存資料の利用 (p.70-75)
		f 平均余命、平均寿命	公衆衛生 1章1節2項 どうしてこんなによくなったのか (p.14-15) / 4章6節 統計情報の収集と見方 (p.70-76)
g 健康寿命		公衆衛生 8章3節1項 健康づくり対策 (p.132-136)	
h 受療状況、有病率、罹患率		公衆衛生 4章1節2項 集団の特徴を表す方法(健康指標)と使い方 (p.56-58)	

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所	
8 公衆衛生における感染症と対策	A 感染症の基本	a 感染症の成立要因	臨床微生物・医動物 4章1節3項 感染成立の3要因と感染予防の基本 (p.186-187) 公衆衛生 13章1節 感染症に関する基本的な知識 (p.206-208) 医療安全 7章1節 感染の危険を伴う病原体への曝露 (p.182-183)	
		b 感染症の流行	公衆衛生 1章3節2項 日本の公衆衛生の歴史 (p.17-18) / 13章1節4項 感染症の流行 (p.208-209), 3節 主な感染症の特徴と最近の動向 (p.214-220)	
		c 感染症の予防	公衆衛生 13章2節 感染症対策のシステム (p.209-213) 病態生理学 1章5節3項 交叉感染を防ぐ基礎理論 (p.57-61) 医療安全 7章2節 感染に対する標準予防策と感染経路別予防策 (p.184-187) 災害看護 4章6節2項 感染症サーベイランス (p.97-100)	
		d 予防接種	公衆衛生 13章2節5項 予防接種 (p.212-213) 臨床微生物・医動物 5章1節 ワクチン接種と血清療法 (p.196-201) 医療関係法規 7章4節 予防接種法 (p.115-119)	
		e 院内感染と予防、感染防御	公衆衛生 13章1節3項 感染症成立の3要件 (p.206-208) 医療安全 7章2節 感染に対する標準予防策と感染経路別予防策 (p.184-187) 基礎看護技術 6章8節 感染症発症時の対応 (p.134-135)	
		f 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律〈感染症法〉	公衆衛生 13章2節1項 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 (感染症法) (p.209-211) 医療関係法規 7章1節 感染症法 (p.98-111) 臨床微生物・医動物 4章1節2項 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 (感染症法) (p.183-186) 基礎看護技術 6章2節 感染症に関する法律 (p.108-110)	
	B 主要な感染症と動向	a 結核	公衆衛生 13章3節1項 結核 (p.214-216) / 14章2節4項 保健管理 (健康診断・事後措置・健康相談・保健指導・感染予防) (p.228) 臨床微生物・医動物 2章2節3項 結核の予防内服と治療 (p.49-50) 医療関係法規 7章1節 感染症法 (p.109-110)	
		b ヒト免疫不全ウイルス (HIV) 感染症、後天性免疫不全症候群 (AIDS)	公衆衛生 13章3節4項 エイズ・HIV感染症 (p.217) 臨床微生物・医動物 2章6節 性感染症 (p.78-86) 成人看護学概論 10章2節3項 性感染症 (p.171-172)	
		c 新型インフルエンザ	公衆衛生 13章3節3項 新型インフルエンザ (p.216-217) 医療関係法規 7章3節 新型インフルエンザ等対策特別措置法 (p.113-115)	
		d 薬剤耐性菌感染症	高齢者の健康と障害 4章6節2項 高齢者に起こりやすい疾患 (p.209)	
		e 人獣共通感染症	臨床微生物・医動物 3章1節 人獣共通感染症 (p.106-112)	
	9 公衆衛生における生活環境と問題への対策	A 地球環境	a 地球温暖化	公衆衛生 16章5節1項 地球温暖化 (p.270-271) 医療関係法規 16章1節 環境基本法 (p.312), 14節 地球温暖化対策の推進に関する法律 (p.321-322)
			b オゾン層の破壊	公衆衛生 16章5節3項 オゾン層破壊 (p.271-272) 医療関係法規 16章1節 環境基本法 (p.312)
			c アスベスト、放射性物質	公衆衛生 15章3節2項 物理的要因による健康障害 (p.249-250), 3項 化学的要因による健康障害 (p.250) / 16章3節 放射線・放射能 (p.282-285) 医療関係法規 15章6節 電離放射線障害防止規則 (p.306-307), 8節 石綿による健康被害の救済に関する法律 (p.309-310) 成人看護学概論 8章2節2項 化学的要因によるもの (p.148-149)
d 水質汚染			公衆衛生 16章6節4項 飲料水健康危機管理と法制度 (p.275) 医療関係法規 16章5節 水質汚濁防止法 (p.319)	
e 大気汚染			公衆衛生 16章3節 大気汚染 (p.265-268) 医療関係法規 16章4節 大気汚染防止法 (p.318)	
f 土壌汚染			医療関係法規 16章6節 土壌汚染対策法 (p.319)	

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
9 公衆衛生における生活環境と問題への対策	B 食品および家庭用品	a 食品安全確保対策	公衆衛生 16章2節 食品保健 (p.261-265)
		b 食品衛生管理制度	公衆衛生 16章2節 食品保健 (p.261-265) 医療関係法規 16章2節 食品衛生法 (p.313-314)
		c 食中毒の予防	公衆衛生 13章3節5項 ノロウイルス感染症 (p.217-218) 医療関係法規 16章2節 食品衛生法 (p.314) 臨床微生物・医動物 2章3節 消化器系感染症 (p.51-61)
		d 家庭用品の管理安全対策	公衆衛生 16章7節3項 家庭内事故と住環境 (p.280-281)
	C ごみ・廃棄物	a 一般廃棄物と産業廃棄物	公衆衛生 16章4節1項 廃棄物処理の歴史 (p.268-269) 医療関係法規 16章3節 廃棄物処理法 (p.315-318) 医療安全 7章2節5項 使用済み器材の適切な廃棄処理 (p.187)
		b 市町村と企業の責任	公衆衛生 16章4節1項 廃棄物処理の歴史 (p.268-269) 医療関係法規 16章3節 廃棄物処理法 (p.316)
	D 住環境	a バリアフリー	社会福祉と社会保障 8章1節3項 住まい (p.214-216) 高齢者の健康と障害 6章4節 住まい (p.260-276) リハビリテーション看護 6章4節2項 居住環境のアセスメント (p.175-176)
		b 室内環境と健康問題	公衆衛生 16章7節1項 室内空気質問題 (p.277-279)
10 保健活動の基盤となる法や施策	A 地域保健	a 地域保健法と施策	公衆衛生 2章3節1項 保健所の歴史 (p.27-28) 看護学概論 10章2節1項 保健サービスの場 (p.200-203) 医療関係法規 12章1節 地域保健法 (p.244)
		b 健康日本21	公衆衛生 1章3節2項 日本の公衆衛生の歴史 (p.17-18) / 2章3節4項 健康増進法 (p.32-33) / 3章3節3項 健康日本21とソーシャルキャピタル (p.52) / 8章3節1項 健康づくり対策 (p.132-136) 医療関係法規 12章4節, plus a 「健康日本21 (第二次)」 (p.256) 成人看護学概論 7章1節 生活習慣と健康障害との関連 (p.130-136)
		c 健康増進法	公衆衛生 2章3節4項 健康増進法 (p.32-33), 5節 民間や住民組織の役割 (p.35-38) / 7章2節1項 高齢者の保健医療に関する法律とその内容 (p.123-124) 医療関係法規 12章4節 健康増進法 (p.253-256)
	B 母子保健	a 母子保健法と施策	公衆衛生 6章1節 子どもを対象にした活動の目的・意義 (p.102-104) 医療関係法規 8章1節 母子保健法 (p.122-127) 母性看護実践の基本 2章3節1項 母子保健法 (p.38) 小児の発達と看護 1章4節3項 小児に関する法律 (p.54)
		b 母子健康手帳	公衆衛生 6章3節2項 保健指導など (p.107-108) 社会福祉と社会保障 4章1節6項 母子保健に関する施策 (p.95-96) 医療関係法規 8章1節 母子保健法 (p.123) 母性看護実践の基本 6章4節2項 妊婦と胎児のアセスメント (p.130-132)
		c 保健指導、訪問指導	公衆衛生 5章3節 家庭訪問の意義と活用 (p.86-88) / 6章3節2項 保健指導など (p.107-108) 社会福祉と社会保障 4章1節6項 母子保健に関する施策 (p.95-96) 医療関係法規 8章1節 母子保健法 (p.122-123)
		d 健康診査、健康教育	公衆衛生 5章3節3項 家庭訪問の対象 (p.87-88) / 6章3節1項 健康診査など (p.105-107), 4節1項 各種の方法を駆使した活動 (p.109-110) 社会福祉と社会保障 4章1節6項 母子保健に関する施策 (p.95-96) 医療関係法規 8章1節 母子保健法 (p.122-123, 126-127) 母性看護実践の基本 6章4節1項 妊婦健康診査 (p.130)
		e 母体保護法	医療関係法規 8章2節 母体保護法 (p.128-129) 母性看護実践の基本 2章3節2項 女性の保護および就労に関する法律 (p.38)
		C 精神保健	a 精神保健医療福祉の施策

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
10 保健活動の基盤となる法や施策	C 精神保健	b 精神障害者(児)の医療と福祉	公衆衛生 10章1節1項 精神疾患の現状と精神保健福祉の対象 (p.160-161), 2節 システム・制度 (法との関連・計画) (p.167-177), 3節 主な対象の特徴と活動 (p.178-181) 社会福祉と社会保障 4章2節 障害児・者と福祉 (p.98-110) 医療関係法規 11章5節 精神保健福祉法 (p.217-229)
		c こころの健康対策、自殺対策	公衆衛生 8章2節2項 自殺 (p.129-131), 3節4項 自殺対策 (p.139), 4節4項 自殺予防 (p.143) / 10章1節2項 精神保健福祉の歴史 (p.165-167) 医療関係法規 12章5節 自殺対策基本法 (p.256-257)
		d 発達障害に関する医療と福祉	公衆衛生 10章3節3項 広汎性発達障害 (p.180-181) 医療関係法規 11章7節 発達障害者支援法 (p.234-236)
	D 学校保健	a 学校保健安全法	公衆衛生 14章2節4項 保健管理 (健康診断・事後措置・健康相談・保健指導・感染予防) (p.227-231) 医療関係法規 9章2節 学校保健安全法 (p.154-156)
		b 健康診断、健康相談	公衆衛生 14章2節8項 健康相談 (p.233) 医療関係法規 9章2節 学校保健安全法 (p.155-156), 3節 学校保健安全法施行規則 (p.156-157) 小児の発達と看護 2章4節3項 機能的発達 (p.138-141)
		c 感染症対応	公衆衛生 14章2節4項 保健管理 (健康診断・事後措置・健康相談・保健指導・感染予防) (p.227-231) 医療関係法規 9章2節 学校保健安全法 (p.155), 3節 学校保健安全法施行規則 (p.157-158)
		d 学校環境衛生	公衆衛生 14章2節5項 学校環境衛生と安全 (p.231) 医療関係法規 9章2節 学校保健安全法 (p.154)
	E A~D以外の保健活動の基盤となる法や施策	a がん対策基本法	公衆衛生 8章3節3項 がん対策 (p.138-139) 医療関係法規 17章2節 がん対策基本法 (p.328-329) 緩和ケア 1章5節2項 日本におけるがん対策と緩和ケア (p.35-38)
		b 難病の患者に対する医療等に関する法律 (難病法)	公衆衛生 11章2節 システム・制度 (法との関連・計画) (p.187-192) 社会福祉と社会保障 4章3節4項 難病の患者に対する医療等に関する法律 (p.117-119) 医療関係法規 11章9節 難病の患者に対する医療等に関する法律 (p.240-242) 地域療養を支えるケア 5章5節 在宅難病療養者を支える制度と社会資源 (p.175-178)
	11 生活者の健康増進	A 生活習慣病の予防	a 主な生活習慣病の現状
b 栄養、運動、休息			公衆衛生 8章4節1項 栄養・運動・休養 (p.139-142) 臨床栄養学 3章3節4項 成人期 (p.121-122) 臨床看護総論 3章4節11項 運動療法 (p.138-139)
c 喫煙・飲酒対策			公衆衛生 8章4節2項 喫煙 (p.142), 6項 アルコール (p.144-145)
d 健康教育と早期発見			公衆衛生 5章4節 健康教育の意義と活用 (p.88-89)
e 循環器疾患の予防			公衆衛生 8章4節2項 喫煙 (p.142), 6項 アルコール (p.144-145)
f 糖尿病の予防			公衆衛生 8章4節5項 糖尿病 (p.143-144)
g 特定健康診査、特定保健指導			公衆衛生 8章3節2項 生活習慣病対策 (p.136) 社会福祉と社会保障 7章2節5項 医療保険制度の課題 (p.185-187) 医療関係法規 14章3節 高齢者医療確保法 (p.274-275) 臨床栄養学 3章3節4項 成人期 (p.121-122) 成人看護学概論 3章3節3項 生活習慣・生活行動による影響 (p.59-64)
B 職場の健康管理		a 労働安全衛生法	公衆衛生 15章2節 労働衛生関係法令の概要 (p.239-248) 医療関係法規 15章4節 労働安全衛生法 (p.300-304)
		b 職業病の予防	公衆衛生 15章3節 職業性疾病の概要 (p.248-251) 成人看護学概論 8章2節 職業性疾病の予防と対応 (p.147-151)

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
11 生活者の健康増進	B 職場の健康管理	c トータル・ヘルスプロモーション	公衆衛生 15章2節7項 健康管理 (p.245-248)
		d 作業環境管理	公衆衛生 15章2節3項 労働衛生管理とリスクアセスメント, リスクマネジメント (p.241), 6項 作業環境管理と作業の管理 (p.243-245)
		e ワーク・ライフ・バランス	健康と社会・生活 3章2節3項 女性のライフコースの変化 (p.61-63) 成人看護学概論 4章2節2項 生活の場 (p.77-84)

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践

**目標Ⅳ 人々の健康を守るための従事者に関する法や施策およびサービス提供体制について基本的な理解を問う。**

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
12 人々の健康を守る従事者や機関に関する法や施策	A 看護職に関する法	a 保健師助産師看護師法	公衆衛生 2章4節1項 保健師, 助産師, 看護師 (根拠法: 保健師助産師看護師法) (p.33) 医療関係法規 3章1節 保健師助産師看護師法 (p.28-34) 医療安全 1章2節2項 看護師の法的規定 (p.20-22)
		b 看護師等の人材確保の促進に関する法律	医療関係法規 3章3節 看護師等の人材確保の促進に関する法律 (p.35-36)
	B 医療や社会福祉関連職に関する法	a 医療法	公衆衛生 2章3節3項 医療制度改革と健康政策 (p.30-32) 医療関係法規 12章2節 医療法 (p.245-251) 医療安全 1章2節2項 看護師の法的規定 (p.20-22)
		b 医師法	公衆衛生 2章4節2項 医師 (根拠法: 医師法) (p.34) 医療関係法規 4章1節 医師法 (p.38-41)
		c 歯科医師法	公衆衛生 2章4節3項 そのほかの職種 (p.34) 医療関係法規 4章2節 歯科医師法 (p.41-44)
		d 薬剤師法	公衆衛生 2章4節3項 そのほかの職種 (p.34) 医療関係法規 5章7節 薬剤師法 (p.58-60)
		e 診療放射線技師法	医療関係法規 5章3節 診療放射線技師法 (p.52-54) 臨床看護総論 3章6節2項 医療チームにおける各職種の役割 (p.154-157)
		f 臨床検査技師等に関する法律	医療関係法規 5章5節 臨床検査技師等に関する法律 (p.56-57) 臨床看護総論 3章6節2項 医療チームにおける各職種の役割 (p.154-157)
		g 理学療法士及び作業療法士法、言語聴覚士法	医療関係法規 5章8節 理学療法士及び作業療法士法 (p.60-62), 15節 言語聴覚士法 (p.77-78) 臨床看護総論 3章6節2項 医療チームにおける各職種の役割 (p.154-157)
		h 社会福祉士及び介護福祉士法、精神保健福祉士法	社会福祉と社会保障 2章3節3項 社会福祉分野の資格制度と実践分野 (p.46-51) 医療関係法規 5章10節 社会福祉士及び介護福祉士法 (p.64-67), 14節 精神保健福祉士法 (p.75-76)
		i 栄養士法	医療関係法規 5章1節 栄養士法 (p.50-51) 公衆衛生 2章4節3項 そのほかの職種 (p.34-35)
		C サービスの提供体制	a 医療計画
	b 医療提供施設 (病院、診療所、介護老人保健施設等)の機能		医療関係法規 12章2節 医療法 (p.245)
	c 助産所		医療関係法規 12章2節 医療法 (p.246) 医療安全 2章2節2項 日本助産師会 (p.45-52)
	d 訪問看護ステーション		地域療養を支えるケア 3章2節 在宅ケアを支える訪問看護ステーション (p.74-79) 医療安全 6章1節2項 在宅看護をとりまく現状 (p.166-168)



大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
12 人々の健康を守る従事者や機関に関する法や施策	C サービスの提供体制	e 地域包括支援センター	<b>社会福祉と社会保障</b> 2章3節4項 社会福祉と保健の連動の場と重要性 (p.51-52) / 4章4節5項 地域における高齢者保健福祉の課題 (p.128-129) <b>医療関係法規</b> 10章2節 介護保険法 (p.188) <b>地域療養を支えるケア</b> 4章3節2項 地域包括ケアと保健・医療・福祉の連携 (p.127-128) <b>高齢者の健康と障害</b> 2章4節2項 サービスの内容・特徴からみた社会資源の種類 (p.95)
		f 救急医療	<b>医療関係法規</b> 12章2節 医療法 (p.249) <b>基礎看護技術</b> 21章1節 救急時における迅速な介入の必要性 (p.450), 2節 救急時における看護者の役割 (p.451) <b>健康危機状況／セルフケアの再獲得</b> 1章3節2項 救命救急治療を必要とする状況 (p.38-42)
		g 在宅医療	<b>社会福祉と社会保障</b> 4章4節5項 地域における高齢者保健福祉の課題 (p.127-130) <b>医療関係法規</b> 10章2節 介護保険法 (p.172, 187) / 12章2節 医療法 (p.249) <b>地域療養を支えるケア</b> 1章4節 在宅ケアと在宅看護 (p.30-34) / 5章 在宅ケアを支える制度と社会資源 (p.142-183) <b>医療安全</b> 6章1節 在宅看護の現状 (p.166-168)
		h 診療記録と情報公開	<b>医療関係法規</b> 12章3節 医療法施行規則 (p.252) / 17章1節 個人情報保護法 (p.330-331) <b>医療安全</b> 1章1節2項 医療安全に関わる動向 (p.12-15) / 8章1節2項 初期対応の要点 (p.202-207)
		i 安全管理〈セーフティマネジメント〉	<b>医療関係法規</b> 12章3節 医療法施行規則 (p.251-253) <b>医療安全</b> 1章 医療安全と看護の理念 (p.12-28) / 3章 事故発生のメカニズムとリスクマネジメント (p.62-98) / 5章 看護における医療事故と安全対策 (p.122-163) / 6章 在宅における医療事故と安全対策 (p.166-180) / 7章 医療従事者の安全を脅かすリスクと対策 (p.182-200)
		j 医薬品と医療機器の取り扱い	<b>医療関係法規</b> 6章1節 医薬品医療機器等法 (p.86-87) <b>臨床薬理学</b> 1章3節 医薬品の適正な使用に向けて (p.24-34) <b>基礎看護技術</b> 19章3節 与薬のための基礎知識 (p.401-405), 4節 与薬のための援助技術 (p.405-409), 5節 注射のための援助技術 (p.410-425) <b>医療安全</b> 5章2節1項 誤薬 (p.123-133) <b>基礎看護技術</b> 18章4節 治療・処置 (p.390-397)
		k 毒薬・劇薬・麻薬・血液製剤等の取り扱い	<b>臨床薬理学</b> 1章1節3項 医薬品の分類 (p.12-16) <b>医療関係法規</b> 6章1節 医薬品医療機器等法 (p.85-87), 2節 麻薬及び向精神薬取締法 (p.89-90) <b>基礎看護技術</b> 19章2節 与薬における法的根拠 (p.400-401)

## 目標 I 看護の基本となる概念について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
1 看護の基本となる概念	A 看護の本質	a 看護の定義	看護学概論 1章1節1項 看護とは (p.18-19)
		b 役割と機能	看護学概論 1章1節2項 看護の役割 (p.19-24), 5節1項 看護に対する社会の要望と期待 (p.47-50) 看護管理 1章1節2項 日本の社会制度における看護職の位置付け (p.12-13)
		c 職業としての看護	看護学概論 1章3節 看護実践のための基準 (p.30-37), 4節3項 現代の看護 (p.41-47) 看護管理 1章1節4項 看護が行われる場と活動 (p.14-15)
		d 学問としての看護	看護学概論 1章2節 実践科学としての看護 (p.24-30) 看護研究 1章1節1項 研究とは何か (p.10) / 3章1節1項 研究の成果は何に役立つか (p.34-35)
		e 看護の変遷	看護学概論 1章4節 看護の変遷 (p.37-47)
	B 看護の対象	a 全体 (whole) としての人間	看護学概論 2章1節 統合体としての人間 (p.58-62)
		b 成長・発達する存在	看護学概論 2章1節4項 成長・発達する存在 (p.62)
		c ニーズをもつ存在	看護学概論 2章1節3項 動機付けられる存在 (ニードをもつ存在) (p.60-61)
		d 生活を営む存在	看護学概論 2章1節1項 人間の生物学的基盤 (p.58-60)
		e 適応する存在	看護学概論 2章4節 ストレスと適応 (p.66-77)
		f 社会・文化的存在	看護学概論 2章2節 個人, 家族, コミュニティ, 地域社会 (p.62-63)
		g ライフサイクルと発達課題	看護学概論 4章 ライフサイクルと健康 (p.92-102)
	C 健康と生活	a 健康のとらえ方	看護学概論 3章1節 健康・病気のとらえ方の変遷 (p.80-82) 臨床看護総論 1章2節3項 健康の意味を正しくとらえる (p.12-14), 3節3項 健康レベル (p.15-16)
		b 健康の諸相	看護学概論 3章3節 看護における健康と病気 (p.86-89)
		c 健康への影響要因	看護学概論 3章2節 健康に影響を及ぼす要因 (p.83-86)
		d 生活習慣とセルフケア	看護学概論 3章3節1項 セルフケアと健康 (p.87)
		e QOLの維持と向上	看護学概論 6章3節1項 個人のもつ価値 (p.129)
	D 看護における倫理	a 基本的人権、世界人権宣言、個人の尊厳	看護学概論 1章3節3項 看護者の倫理綱領 (p.31-34) / 資料世界人権宣言 (仮訳) (p.279-281) 看護研究 7章1節 倫理とは何か (p.126-127)
		b 医療の倫理原則	看護学概論 6章2節 看護における倫理の必要性 (p.126-128) 看護研究 7章1節 倫理とは何か (p.126-127), 3節1項 五つの権利 (p.130-132), 6項 研究活動や看護実践における倫理に反する行為の例 (p.134) 臨床看護総論 3章6節3項 医療実践における倫理: 医療者としての責務と患者の権利 (p.157-158) 看護管理 4章1節3項 倫理的葛藤 (p.117-118)
		c 患者の権利と擁護	看護学概論 1章5節1項 看護に対する社会の要望と期待 (p.48-49) / 6章2節3項 看護研究における倫理 (p.127-128) / 資料患者の権利章典 (全米病院協会, 1973年) (p.281)

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
1 看護の基本となる概念	D 看護における倫理	c 患者の権利と擁護	基礎看護技術 2章4節4項 ベイシエントアドボカシーとしての活動 (p.37-38) 看護研究 7章1節 倫理とは何か (p.126-127), 3節1項 五つの権利 (p.130-132), 2項 人権擁護の方法 (p.132-133) 臨床看護総論 3章6節3項 医療実践における倫理: 医療者としての責務と患者の権利 (p.157-158) 看護管理 4章1節1項 看護実践倫理 (p.110-114)
		d 倫理綱領	看護学概論 1章3節3項 看護者の倫理綱領 (p.31-34) 看護研究 7章2節 看護研究における倫理ガイドラインの開発 (p.127-129)
		e 倫理的葛藤と対応	看護学概論 6章4節 道徳的ジレンマと倫理的課題 (p.130-131), 5節 倫理的課題への対応 (p.131-142) 看護研究 7章3節5項 研究のリスクと利益の考え方 (p.134)
2 看護の展開	A 対象との関係の形成	a 信頼関係	看護学概論 7章1節1項 患者と看護師のコミュニケーション (p.146-147) 基礎看護技術 2章 人間関係を成立・発展させるための技術 (p.18-38)
		b 援助関係	看護学概論 7章2節 支援者, 代弁者としての役割 (p.152-153), 3節 教育者およびカウンセラーとしての役割 (p.153-155) 基礎看護技術 2章1節2項 看護学でコミュニケーションを学ぶ意義 (p.19)
		c 協働関係	基礎看護技術 2章3節 対人関係の振り返り (p.28-33) 医療安全 4章1節 患者・家族との協同 (p.100-110)
	B 基盤となる思考過程	a 根拠に基づいた看護 (EBN)	看護学概論 7章4節 根拠に基づいたケア (p.155-160) 看護研究 3章1節2項 根拠に基づく実践 (p.35-37) 臨床看護総論 3章7節1項 臨床看護を学ぶための理論 (p.163)
		b クリティカル・シンキング	看護学概論 8章2節1項 看護過程の五つの要素を正確に理解する (p.165-166) 基礎看護技術 3章1節2項 患者と家族のセルフケアを支援する活動 (p.42-50) 看護研究 6章2節 クリティックするために必要な能力 (p.118-119)
		c 問題解決過程	看護学概論 8章 看護過程 (nursing process) (p.162-167) 臨床看護総論 1章4節1項 臨床判断プロセスの詳細 (p.18-19)
	C 看護における連携と協働	a 看護の継続性	看護学概論 11章2節 看護の継続性 (p.225-228)
		b 看護職間の連携と協働	看護学概論 11章1節1項 チームアプローチ (p.222)
		c 多職種間の連携と協働	看護学概論 11章1節1項 チームアプローチ (p.223) 臨床看護総論 3章6節1項 多職種の連携と協働に必要なこと (p.153-154) 看護管理 2章1節2項 医療機関の組織構造 (p.37-40)
		d チームでの活動	看護学概論 11章1節 看護におけるチームアプローチ (p.222-225) 臨床看護総論 3章1節3項 チーム医療の機会 (p.105-108), 5節4項 病棟を例にした看護師の仕事: チームで行う看護 (p.150-151)

## 目標Ⅱ

基礎的な看護技術と適用のための判断プロセスについて基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
3 看護における基本技術	A コミュニケーション	a コミュニケーションの構造とプロセス	看護学概論 7章1節 コミュニケーターとしての役割 (p.146-152) 基礎看護技術 2章1節 コミュニケーション技術 (p.18-25)
		b コミュニケーション技法	基礎看護技術 2章2節 看護場面での効果的なコミュニケーション技術 (p.25-28), 4節1項 援助過程とコミュニケーション (p.33-35) ヘルスアセスメント 2章3節3項 問診技法 (p.25-26)

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所	
3 看護における基本技術	A コミュニケーション	c コミュニケーションに障害のある人々への対応	基礎看護技術 2章1節6項 言語的コミュニケーション (p.21-22) 地域療養を支えるケア 7章3節 在宅での生活に不安を抱きつつ退院するALS療養者 (p.251-254) 災害看護 5章5節 障害者に必要な支援と看護 (p.120)	
		B 学習支援	a 学習に関わる諸理論	基礎看護技術 3章2節 カウンセリング (p.54-61) セルフマネジメント 1章1節3項「指導型」の教育から「学習援助型」の教育へ (p.15-16) / 3-1章1節 成人教育学の基本的な考え方 (p.40)
			b 対象者に合わせた目標設定	基礎看護技術 3章1節1項 看護における教育的支援 (p.42), 2項 患者と家族のセルフケアを支援する活動 (p.42-50)
			c 対象者に合わせた支援方法と媒体の工夫	基礎看護技術 3章1節4項 看護における指導技術 (p.52-53), 2節 カウンセリング (p.54-61)
	d 個別指導・集団指導の特性と適用		基礎看護技術 3章1節4項 看護における指導技術 (p.52-53)	
	C 看護過程	a 情報の種類・収集方法、情報の分析・統合	ヘルスアセスメント 7章2節 事例を用いた記録方法と看護計画 (p.322-343) 基礎看護技術 9章2節 アセスメント (p.166-183)	
		b 看護問題の明確化と優先順位決定	看護学概論 7章4節1項 問題を明確化して看護ケアを行う (p.156) / 8章2節2項 優先順位のつけ方 (p.166) 基礎看護技術 9章3節 問題の明確化：看護診断と優先順位の決定 (p.183)	
		c 看護目標の設定と計画	ヘルスアセスメント 7章2節2項 ゴードンの11の機能的健康パターンを用いた情報の整理 (p.326-337) 基礎看護技術 9章4節 看護計画 (p.184-186)	
		d 実施	ヘルスアセスメント 7章2節4項 実施・評価 (p.343) 基礎看護技術 9章5節 実施 (p.186)	
		e 評価	ヘルスアセスメント 7章2節4項 実施・評価 (p.343) 基礎看護技術 9章6節 評価 (p.186-187)	
		D 看護情報管理	a 医療情報と看護情報	基礎看護技術 7章1節3項 安全管理対策 (p.141)
	b 看護における情報管理		基礎看護技術 9章2節2項 アセスメントの技術 (p.170), 7節 看護記録の作成と管理 (p.187-189)	
	c 看護情報の記録・報告と共有		基礎看護技術 9章2節2項 アセスメントの技術 (p.168), 7節 看護記録の作成と管理 (p.187-190)	
	E フィジカルアセスメント	a 看護におけるフィジカルアセスメントの意義	ヘルスアセスメント 1章 ヘルスアセスメントと看護の役割 (p.12-17) / 7章1節 フィジカルアセスメントを活用する (p.322) 基礎看護技術 4章4節1項 フィジカルアセスメントテクニック (p.82-83)	
		b 医療面接（インタビュー、問診）	ヘルスアセスメント 2章3節 問診 (p.24-26)	
		c 身体診察（視診、触診、聴診、打診）の基本	ヘルスアセスメント 2章4節 視診、触診、打診、聴診 (p.27-30) 基礎看護技術 4章4節1項 フィジカルアセスメントテクニック (p.82-83)	
		d 全身の診察（全身の観察、バイタルサイン）	ヘルスアセスメント 2章5節 バイタルサインの測定 (p.31-41) 基礎看護技術 4章 生命の徴候を観察する技術 (p.65-94)	
		e 系統別のフィジカルアセスメント	ヘルスアセスメント 3章 系統別のアセスメント (p.44-198) 基礎看護技術 4章4節3項 フィジカルアセスメントのチェックリスト (p.84-93)	
		F 感染防止対策	a 感染の成立と予防	基礎看護技術 6章1節 感染予防の意義 (p.108), 3節 感染症を成立させる要素と成立過程 (p.111-116)
	b 標準予防策（スタンダードプリコーション）と感染経路別予防策		基礎看護技術 6章6節 感染予防のための援助方法 (p.131-133) 医療安全 7章2節 感染に対する標準予防策と感染経路別予防策 (p.184-187)	

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
3 看護における基本技術	F 感染防止対策	c 手洗い、消毒、滅菌法、無菌操作	基礎看護技術 6章4節 感染症を予防するためのプロセス (p.117-128)
		d 感染性廃棄物の取り扱い	基礎看護技術 6章4節7項 その他の援助技術 (p.128-130) / 19章7節1項 感染予防 (医療廃棄物の取り扱い) (p.429-430)
		e 感染拡大の防止の対応	基礎看護技術 6章8節1項 感染症発症時の対応策 (p.134-135)
	G 安全管理〈セーフティマネジメント〉	a 医療安全の概念と安全管理〈セーフティマネジメント〉	基礎看護技術 7章1節 医療安全の意義と確保 (p.138-142) 医療安全 1章 医療安全と看護の理念 (p.12-28)
		b 誤薬の起こりやすい状況と対策	基礎看護技術 7章4節 誤薬の予防策 (p.146-147) 医療安全 5章2節1項 誤薬 (p.123-133)
		c 転倒・転落の起こりやすい状況と対策	基礎看護技術 7章2節2項 転倒・転落の予防策 (p.143-144) 医療安全 5章2節4項 転倒転落 (p.137-146)
		d チューブ・ライントラブルの起こりやすい状況と対策	基礎看護技術 7章3節 外傷, チューブ・ライントラブルの予防策 (p.145-146) 医療安全 5章2節9項 チューブ類のトラブル (p.157-161)
		e 針刺しの起こりやすい状況と対策	基礎看護技術 6章4節7項 その他の援助技術 (p.129-130) 医療安全 5章2節3項 針刺し (p.136-137)
	H 安楽の確保	a 安楽の概念	基礎看護技術 17章1節 安楽の意義 (p.354)
		b ボディメカニクスの原理と看護実践への活用	基礎看護技術 8章2節 ボディメカニクス (p.160-163)
		c 安楽な姿勢・体位の保持	基礎看護技術 8章1節 安楽な体位 (p.152-159)
		d 安楽を提供するためのケア(マッサージ、痛みの軽減、電法)	基礎看護技術 17章2節2項 身体的援助 (p.356-357), 3項 精神的援助: 傾聴, タッチング (p.357), 3節 安楽を確保する方法 (p.357-367)
		e 安楽を保つための療養環境の調整	基礎看護技術 5章2節 環境を整える技術 (p.96-104) / 17章2節1項 医療環境の調整 (p.355-356)
	I 終末期のケア	a グリーフケア	基礎看護技術 22章6節2項 遺族への関わり (p.479-480) 災害看護 5章8節2項 遺族への看護 (p.144-146)
		b 死亡後のケア	基礎看護技術 22章6節1項 死後のケア (p.476-479) 緩和ケア 8章5節 臨終後のケア (p.250-252)
4 基本的日常生活援助技術	A 環境の調整	a 環境調整の意義	基礎看護技術 5章1節 環境の意義 (p.96)
		b 療養環境のアセスメント	基礎看護技術 5章3節 環境のアセスメント (p.104)
		c 療養環境の調整と整備	基礎看護技術 5章2節 環境を整える技術 (p.96-104), 3節 環境のアセスメント (p.104)
	B 食事と栄養	a 食事と栄養の意義	基礎看護技術 13章1節 食事・栄養の意義 (p.264-265)
		b 健康な食生活と食事摂取基準	基礎看護技術 13章3節1項 栄養素 (p.269-270), 2項 食事摂取基準 (p.270-274) 臨床栄養学 2章2節 食事摂取基準 (p.66-97) / 3章3節 人生各期における健康生活と栄養 (p.112-133)
		c 治療食、療養食	基礎看護技術 13章3節3項 病院における食事 (p.274-276) 臨床栄養学 4章 療養生活と栄養 (p.138-160) / 5章 疾患別の食事療法 (p.164-193)
		d 食事と栄養に影響する要因	基礎看護技術 13章2節 食事に関する生理学的メカニズム (p.265-269)
		e 食事と栄養のアセスメント	ヘルスアセスメント 6章3節2項 栄養/代謝パターンのアセスメント (p.276-290) 基礎看護技術 13章4節 栄養状態のアセスメント (p.276-278) 臨床栄養学 1章3節 栄養アセスメント (p.44-50)
		f 食事摂取の自立困難な人への援助	基礎看護技術 13章5節2項 経口栄養の援助 (p.279-283)

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
4 基本的日常生活援助技術	B 食事と栄養	g 嚥下障害のある人への援助	基礎看護技術 13章5節2項 経口栄養の援助 (p.279-283) 臨床栄養学 4章4節 嚥下障害のある人のための食事 (p.153-156)
		h 経管・経腸栄養法	基礎看護技術 13章5節3項 経管栄養の援助 (p.284-287) 臨床栄養学 4章5節1項 経管栄養法 (p.157-159)
		i 経静脈栄養法	基礎看護技術 13章5節4項 高カロリー輸液, 中心静脈栄養 (p.287-288) 臨床栄養学 4章5節2項 中心静脈栄養法 (p.159-160)
	C 排泄	a 排泄の意義	基礎看護技術 14章1節 排尿・排便の意義 (p.290)
		b 排泄に影響する要因	基礎看護技術 14章2節 排尿・排便の生理学的メカニズム (p.290-292), 4節 排尿・排便障害の種類 (看護診断) (p.295-297)
		c 排泄のアセスメント	ヘルスアセスメント 6章3節3項 排泄パターンのアセスメント (p.285-290) 基礎看護技術 14章3節 排尿・排便のニーズのアセスメント (p.292-295)
		d 自然な排泄を促す援助	基礎看護技術 14章5節5項 自然排尿・排便を促す方法 (p.306)
		e トイレ・ポータブルトイレでの排泄の援助	基礎看護技術 14章5節3項 ポータブルトイレ, トイレでの援助 (p.303-304)
		f 床上での排泄の援助	基礎看護技術 14章5節1項 床上での排尿・排便の援助 (p.298-300)
		g 自然な排泄が困難な人への援助	基礎看護技術 14章5節6項 導尿 (p.306-310), 7項 浣腸 (p.310-312), 8項 摘便 (p.312-313)
		h 尿失禁、便失禁のある人への援助	基礎看護技術 14章5節2項 尿失禁・便失禁のある患者のおむつを用いた援助 (p.301-302)
	D 活動と運動	a 活動と運動の意義	基礎看護技術 10章1節 活動・運動の意義 (p.192)
		b 活動と運動に影響する要因	基礎看護技術 10章2節 活動・運動の生理学的メカニズム (p.192-195)
		c 活動と運動のアセスメント	ヘルスアセスメント 6章3節4項 活動/運動パターンのアセスメント (p.290-297) 基礎看護技術 10章3節 活動・運動のニーズのアセスメント (p.195-198)
		d 活動と運動を促す援助	基礎看護技術 10章5節 活動・運動を支援する援助の実際 (p.200-217)
		e 療養生活におけるレクリエーション	基礎看護技術 11章5節1項 休息の援助技術 (p.230-231)
	E 休息と睡眠	a 休息と睡眠の意義	基礎看護技術 11章1節 休息・睡眠の意義 (p.220-221)
		b 休息と睡眠に影響する要因	基礎看護技術 11章2節 休息・睡眠の生理学的メカニズム (p.221-226)
		c 休息と睡眠のアセスメント	ヘルスアセスメント 6章3節5項 睡眠/休息パターンのアセスメント (p.298-300) 基礎看護技術 11章3節 休息・睡眠のニーズに関するアセスメント (p.227-228), 4節 休息・睡眠の障害 (看護診断) (p.228-229)
		d 休息と睡眠を促す援助	基礎看護技術 11章5節 休息・睡眠を促す援助の実際 (p.230-233)
	F 清潔と衣生活	a 清潔と衣生活の意義	基礎看護技術 12章1節 清潔の意義 (p.236)
		b 清潔と衣生活に影響する要因	基礎看護技術 12章2節 皮膚・粘膜の生理学的メカニズムとケア (p.236-241), 3節3項 清潔のニーズを阻害する要因 (p.243), 4節 障害の種類 (看護診断) (p.244)
		c 清潔と衣生活のアセスメント	基礎看護技術 12章3節 清潔のニーズのアセスメント (p.242-243)
		d 清潔行動・衣生活の自立困難な人への援助	基礎看護技術 12章5節 清潔の援助方法 (p.245-261)

必  
修  
問  
題人  
体  
の  
構  
造  
と  
機  
能疾  
病  
の  
成  
り  
立  
ち  
と  
回  
復  
の  
促  
進健  
康  
支  
援  
と  
社  
会  
保  
障  
制  
度基  
礎  
看  
護  
学成  
人  
看  
護  
学老  
年  
看  
護  
学小  
児  
看  
護  
学母  
性  
看  
護  
学精  
神  
看  
護  
学在  
宅  
看  
護  
論看  
護  
の  
統  
合  
と  
実  
践

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
5 診療に伴う看護技術	A 呼吸・循環・体温調整	a 呼吸・循環・体温調整のアセスメント	基礎看護技術 15章3節 呼吸のニーズに関するアセスメント (p.318-321)
		b 呼吸を楽にする姿勢と呼吸法	基礎看護技術 15章5節 呼吸を楽にする援助 (p.322-337)
		c 血圧・血流を保持する姿勢	基礎看護技術 8章1節5項 体位と生理学的要素との関係 (p.153-155) / 10章2節2項 体位変化とバイタルサイン (p.193-195)
		d 酸素吸入の適応と方法	基礎看護技術 15章5節4項 酸素療法 (p.331-336), 5項 人工呼吸 (p.336-337)
		e 口腔内・鼻腔内・気管内吸引の適応と方法	基礎看護技術 15章5節3項 吸入療法 (p.328-331) / 18章4節3項 吸引 (p.392-395)
		f 排痰法の適応と方法	基礎看護技術 15章5節2項 痰を喀出させる方法 (p.324-328)
		g 体温調整のための方法	基礎看護技術 16章 体温を調節する技術 (p.340-351)
	B 皮膚・創傷管理	a 創傷の治癒過程	基礎看護技術 20章2節 創傷の分類と治癒過程 (p.436-437)
		b 創傷のアセスメント	基礎看護技術 20章2節 創傷の分類と治癒過程 (p.436-437), 4節1項 創傷処置 (p.440-442)
		c 洗浄・保護・包帯法	基礎看護技術 20章4節 創傷の管理 (p.440-448)
		d 褥瘡の予防と治癒の促進	基礎看護技術 20章3節 褥瘡の管理 (p.438-440)
	C 与薬	a 与薬における看護師の役割	基礎看護技術 19章1節 与薬とは (p.400), 2節 与薬における法的根拠 (p.400-401), 4節1項 安全で確実な与薬のための知識・技術・態度 (p.405-406)
		b 薬剤の種類と取り扱い方法	基礎看護技術 19章2節 与薬における法的根拠 (p.400-401), 3節6項 薬剤の種類 (p.404-405) 臨床薬理学 1章1節 医薬品 (p.12-18)
		c 与薬方法と効果の観察	基礎看護技術 19章4節2項 与薬法 (p.407-409), 5節 注射のための援助技術 (p.414-425)
	D 輸液・輸血管理	a 輸液・輸血の種類と取り扱い方法	基礎看護技術 19章5節3項 注射の実際 (p.418-425), 6節1項 安全かつ適正な輸血のための基礎知識 (p.426)
		b 輸液・輸血の管理方法	基礎看護技術 19章5節3項 注射の実際 (p.418-425), 6節2項 輸血の実際 (p.427-429)
		c 輸液・輸血の副作用(有害事象)の観察	基礎看護技術 19章5節3項 注射の実際 (p.423), 6節2項 輸血の実際 (p.429)
	E 救命救急処置	a 生命の危機的状況のアセスメント	基礎看護技術 21章1節 救急時における迅速な介入の必要性 (p.450), 2節 救急時における看護者の役割 (p.451)
		b 一次救命処置(BLS)	基礎看護技術 21章3節 一次救命処置 (p.452-460)
		c 止血法	基礎看護技術 21章4節 応急処置 (p.460-462)
	F 生体機能のモニタリング	a 診察・検査時の看護師の役割	基礎看護技術 18章1節 検査とは (p.370-371), 4節1項 治療・処置時の患者の理解と看護者の役割 (p.390-391)
		b 検体検査(血液、尿、便、喀痰、胸水、腹水、髄液)	基礎看護技術 18章3節7項 尿・便・喀痰検査 (p.380-382), 8項 血液検査 (p.382-384), 9項 穿刺法 (p.384-388)
		c 生体検査(エックス線撮影、超音波、CT、MRI、心電図、内視鏡、核医学)	基礎看護技術 18章3節1項 X線単純撮影検査 (p.375), 2項 超音波検査 (p.375-376), 3項 CT検査 (p.376), 4項 MRI検査 (p.376-377), 5項 内視鏡検査 (p.377-378), 6項 心電図検査 (p.378-380), 10項 核医学検査 (p.388-389), 11項 基礎代謝検査 (p.389), 12項 呼吸機能検査 (p.389-390)
		d 経皮的動脈血酸素飽和度(SpO <sub>2</sub> )の測定、血糖測定	基礎看護技術 18章3節8項 血液検査 (p.382-384), 4節4項 ME機器の取り扱いとモニタリング (p.395-397)
		e モニタリング機器の取り扱い	基礎看護技術 18章4節4項 ME機器の取り扱いとモニタリング (p.395-397)

目標Ⅲ

保健・医療・福祉の中で看護の果たす役割について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
6 看護の役割と機能	A 看護の場に応じた活動	a 在宅における看護活動	看護学概論 10章3節3項 多職種で取り組む保健・医療・福祉 (p.209) 地域療養を支えるケア 2章3節 在宅療養者への看護活動 (p.48-52) / 3章 在宅療養を支える看護 (p.68-91)
		b 医療施設における看護活動	看護学概論 10章 保健・医療・福祉システム (p.220)
		c 保健施設と福祉施設における看護活動	看護学概論 10章 コラム 医療施設における看護活動と保健福祉施設における看護活動 (p.220)
	B 保健・医療・福祉の連携と継続看護	a 保健・医療・福祉のチームにおける看護職の役割と機能	看護学概論 10章3節2項 チームの中における看護者のコーディネート機能 (p.205)
		b 保健・医療・福祉の連携を支える仕組み	看護学概論 10章3節3項 多職種で取り組む保健・医療・福祉 (p.205-210) 公衆衛生 5章7節 ネットワークの意義と活用 (p.94-98)
		c 施設内・施設間における継続看護	看護学概論 11章2節2項 同一施設内での継続看護 (施設内における継続) (p.226), 3項 施設から施設への継続看護 (施設間における継続) (p.226)

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践



**目標 I 成人各期の健康保持・増進や疾病の予防について基本的な理解を問う。**

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
1 成人の特徴と生活	A 成人期の発達課題の特徴	a 青年期・壮年期・向老期の身体的特徴	成人看護学概論 2章 成長発達の特徴 (p.20-43)
		b 青年期・壮年期・向老期の心理・社会的特徴	成人看護学概論 1章3節1項 人間の成長発達と成人期 (p.14-17) / 2章 成長発達の特徴 (p.20-43)
	B 成人の生活	a 家族形態と機能	成人看護学概論 2章2節1項 家族における役割 (p.32-35) / 4章2節3項 成人各期における生活の特徴 (p.84-89)
		b 生活様式	成人看護学概論 2章2節2項 社会における役割 (p.34-35) / 4章2節 成人の生活の理解 (p.75-89) / 11章1節 余暇とは何か (p.182-183), 2節 成人期の余暇活動の特徴 (p.183-184) 健康危機状況 / セルフケアの再獲得 2章3節1項 生活行動とは (p.84-85)
	C 成人を取り巻く環境	a 社会状況の変化	成人看護学概論 2章2節2項 社会における役割 (p.34-35) / 4章2節 成人の生活の理解 (p.75-89) 健康危機状況 / セルフケアの再獲得 2章3節1項 生活行動とは (p.84-85)
	2 成人における健康の保持・増進や疾病の予防	A 生活習慣に関連する健康課題	a 生活習慣病の要因
b 健康問題の現状と推移			成人看護学概論 7章1節 生活習慣と健康障害との関連 (p.130-136)
c 生活習慣の是正			成人看護学概論 7章2節 生活習慣病の発生要因と対応 (p.137-138), 3節 生活習慣病の発症予防と自己効力感 (p.138-143)
B 職業に関連する健康課題		a 就労条件・環境と疾病との関係	成人看護学概論 4章2節2項 生活の場 (p.78-81) / 8章2節 職業性疾病の予防と対応 (p.147-151)
		b 職業性疾患の要因と健康診断の受診行動	成人看護学概論 8章1節 職業性疾患および業務上疾病 (p.146), 3節 事例 (p.151-154)
C ストレスに関連する健康課題		a ストレス関連疾患の要因	成人看護学概論 9章2節 成人の生活ストレス (p.157-159)
		b ストレス対処方法	成人看護学概論 9章3節 ストレス関連疾患の予防と対応 (p.160-165) / 15章3節 ストレスマネジメント (p.233-234), 4節 事例で考えるストレスマネジメント (p.234-236)

**目標 II 急性期にある患者と家族の特徴を理解し看護を展開するための基本的な理解を問う。**

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
3 急性期にある患者と家族の特徴と看護	A 患者の特徴	a 身体的特徴	健康危機状況 / セルフケアの再獲得 2章2節1項 身体機能悪化の予期 (p.69-76)
		b 心理的特徴	健康危機状況 / セルフケアの再獲得 2章4節1項 健康危機状況にある人の心理的・精神的状態 (p.95-98)
		c 社会的特徴	健康危機状況 / セルフケアの再獲得 2章4節1項 健康危機状況にある人の心理的・精神的状態 (p.95-98)

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所	
3 急性期にある患者と家族の特徴と看護	B 家族の特徴	a 心理的特徴	健康危機状況／セルフケアの再獲得 1章2節6項 家族および重要他者の不安や負担への支援 (p.30-31)／2章5節2項 家族についてのアセスメント方法 (p.109-115)	
		b 社会的特徴	健康危機状況／セルフケアの再獲得 1章2節6項 家族および重要他者の不安や負担への支援 (p.30-31)／2章5節2項 家族についてのアセスメント方法 (p.109-115)	
	C 急性期における看護の基本	a 危機的状態への精神的支援	成人看護学概論 16章 危機 (p.238-245) 健康危機状況／セルフケアの再獲得 1章2節5項 心理的・精神的混乱への支援 (p.28-30)／2章4節3項 健康危機状況にある人の心理的・精神的安定を図るための看護方法 (p.102-103)／3章2節2項 事例で考える緊急入院患者の看護 (p.127-132)	
		b 治療の緊急性と優先度、治療選択・意思決定への支援	健康危機状況／セルフケアの再獲得 1章3節1項 手術等の侵襲的治療を予定して受ける状況 (p.32-36), 2項 救命救急治療を必要とする状況 (p.36-42)	
		c 代理意思決定支援	健康危機状況／セルフケアの再獲得 2章5節 家族または重要他者の不安や負担への対応 (p.104-115)	
	4 救急看護、クリティカルケア	A 緊急度と重症度のアセスメント	a 意識レベル、神経学的所見	健康危機状況／セルフケアの再獲得 1章3節2項 救命救急治療を必要とする状況 (p.36-42) 脳・神経機能障害／感覚機能障害 3章2節2項 意識障害 (p.142-146) 臨床看護総論 2章3節 脳梗塞発症の患者さんへの看護ケア【事例】 (p.74-79) 災害看護 8章3節2項 災害時の外傷初期診療 (p.203-207)
b バイタルサイン			健康危機状況／セルフケアの再獲得 2章2節3項 予測性の有無別にみた身体機能悪化への対応方法 (p.82) 呼吸機能障害／循環機能障害 4章1節1項 呼吸機能障害のアセスメント (p.80-86)／8章1節1項 循環機能障害のアセスメント (p.194-198) 基礎看護技術 4章2節 バイタルサインとは (p.64-80)	
B 救急看護・クリティカルケアの基本		a 心肺停止状態への処置	健康危機状況／セルフケアの再獲得 1章3節2項 救命救急治療を必要とする状況 (p.36-42) 基礎看護技術 21章3節2項 除細動 (p.457-460) 臨床看護総論 2章1節 心筋梗塞発症の患者さんへの看護ケア【事例】 (p.31-34)／3章4節8項 救急蘇生法 (p.136-137)	
		b ショックへの処置	健康危機状況／セルフケアの再獲得 3章3節 ICU・CCU入室患者 心筋梗塞でルート類を装着しベッド上安静中のCCU入室の男性 (p.133-138) 病態生理学 2章6節4項 ケア (p.133-135) 呼吸機能障害／循環機能障害 8章2節1項 ショック (p.200)	
		c 急性症状の応急処置	健康危機状況／セルフケアの再獲得 1章3節2項 救命救急治療を必要とする状況 (p.36-42)	
		d 外傷・熱傷・中毒の応急処置	健康危機状況／セルフケアの再獲得 3章7節2項 事例で考える急性薬物中毒患者の看護 (p.158-163) 臨床微生物・医動物 2章3節2項 食中毒の予防・治療 (p.59-61) 災害看護 8章3節2項 災害時の外傷初期診療 (p.203-207)	
		e 環境要因による障害の応急処置	内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 5章2節1項 高体温のアセスメントと対応 (p.114-117)／9章1節1項 熱中症の予防 (p.180-181)	
		f 感染症への処置	基礎看護技術 6章8節2項 対象感染症別の施設内での対応 (p.135) 災害看護 4章6節2項 感染症サーベイランス (p.97-100)	
5 周術期にある患者と家族への看護		A 術前からの看護	a 手術療法の理解を促す援助	周術期看護 4章1節2項 インフォームドコンセントの支援 (p.59-60) 健康危機状況／セルフケアの再獲得 1章3節1項 手術等の侵襲的治療を予定して受ける状況 (p.32-36)
			b 手術の意思決定への援助	周術期看護 4章1節 主体的な治療参加への支援 (p.58-62) 健康危機状況／セルフケアの再獲得 1章3節1項 手術等の侵襲的治療を予定して受ける状況 (p.32-36)
			c 術後合併症のリスクアセスメントと援助	周術期看護 2章2節1項 麻酔薬による生体の反応 (p.25-29)／4章2節1項 全身状態のアセスメント (p.63-64)／6章 術後合併症予防と発症時の援助 (p.90-105)

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
5 周術期にある患者と家族への看護	A 術前からの看護	c 術後合併症のリスクアセスメントと援助	健康危機状況／セルフケアの再獲得 2章2節1項 身体機能悪化の予期 (p.73-76) 臨床看護総論 2章2節 大腸がん発症の患者さんへの看護ケア【事例】 (p.55-58)
		d 術前オリエンテーション	周術期看護 4章1節3項 ボディイメージの受容や心理的ストレスへの対処に向けた援助 (p.60-62) 健康危機状況／セルフケアの再獲得 3章1節2項 事例で考える病棟入院患者の看護 (p.122-123) 臨床看護総論 2章2節 大腸がん発症の患者さんへの看護ケア【事例】 (p.55-58)
		e 不安のアセスメントと援助	周術期看護 4章3節2項 当日(手術室入室まで) (p.68-69) 健康危機状況／セルフケアの再獲得 1章3節1項 手術等の侵襲的治療を予定して受ける状況 (p.35)／3章1節2項 事例で考える病棟入院患者の看護 (p.121)
		f ボディイメージ(身体像)の変容への援助	周術期看護 4章1節3項 ボディイメージの受容や心理的ストレスへの対処に向けた援助 (p.60-62)
	B 術中の看護	a 開腹・開胸・開頭・鏡視(内視鏡)下の手術方法による影響と援助	周術期看護 5章4節1項 術中に起こりやすい合併症 (p.83), 2項 呼吸・循環・体温管理 (p.83-85)／8章 日帰り手術時の看護 (p.119-122)
		b 手術体位による影響と援助	周術期看護 5章3節 手術体位の介助 (p.79-82)／2章2節5項 周術期の患者の体験 (p.36-37)
		c 麻酔による影響と援助	周術期看護 2章2節1項 麻酔薬による生体の反応 (p.25-29)／5章2節3項 麻酔導入時の介助 (p.77-79), 5節 麻酔覚醒時の支援 (p.86-87) 病態生理学 2章40節2項 病態生理 (p.301-303)
		d 安全管理(セーフティマネジメント)(患者確認、ガーゼ遺存の防止)	周術期看護 5章1節 安全な環境の管理 (p.72-76)
	C 術後の看護	a 生体反応	周術期看護 2章2節2項 生体への損傷に伴う反応 (p.29-32)
		b 術後の疼痛管理	周術期看護 2章2節4項 疼痛 (p.36)／5章5節3項 疼痛緩和の援助 (p.36) 緩和ケア 2章8節5項 手術に伴う苦痛の緩和 (p.132-133)
		c 創傷管理	周術期看護 2章2節3項 創傷治癒 (p.33-35)
		d ドレーン管理	周術期看護 2章2節3項 創傷治癒 (p.33-34)／6章4節2項 予防のための援助 (p.99-101)
	D 術後合併症と予防	a 術後出血	周術期看護 6章2節1項 循環器合併症とは (p.93-94)
		b 下肢静脈血栓、肺塞栓症	周術期看護 6章6節 肺血栓塞栓症, 深部静脈血栓症 (p.102-104)
		c 呼吸器合併症	周術期看護 6章1節 呼吸器合併症 (p.90-93)
		d 感染症	周術期看護 6章4節 術後感染 (p.98-101)
		e 廃用症候群	健康危機状況／セルフケアの再獲得 2章2節1項 身体機能悪化の予期 (p.76) 疾病と治療 9章11節 廃用症候群 (p.260-261)
	E 術後の機能障害や生活制限への看護	a ボディイメージの受容への支援	周術期看護 7章1節1項 形態機能の変化(術後障害)と継続治療 (p.108)
		b 退院調整	周術期看護 7章2節2項 療養生活の場の調整(退院調整活動) (p.115-116)
		c 機能訓練	周術期看護 7章2節1項 セルフケア技術の習得を促す援助 (p.109-115)
d セルフケア能力の獲得		周術期看護 7章2節1項 セルフケア技術の習得を促す援助 (p.109-115)	

目標Ⅲ

慢性疾患がある患者と家族の特徴を理解し看護を展開するための基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
6 慢性疾患がある患者と家族の看護	A 慢性疾患がある患者と家族の特徴	a 慢性疾患の特徴	成人看護学概論 3章4節3項 健康レベル・経過別看護 (p.67-68) / 13章1節 病みの軌跡とは—慢性の病いと人間 (p.202)
		b 主な慢性疾患の疫学	セルフマネジメント 1章2節1項 セルフマネジメントと社会的背景 (p.17-18)
		c 慢性疾患とともにある生活	成人看護学概論 13章2節 病みの軌跡という考え方 (p.202-205) セルフマネジメント 4章2節 生活者としてのクライアントの物語を聴く (p.81-87)
	B 慢性疾患の治療と看護の基本	a 治療選択・意思決定への支援	セルフマネジメント 1章3節 セルフマネジメントのための主要概念 (p.23-24), 4節 セルフマネジメントにおける看護職の主要な責任 (p.24-25)
		b 継続的な支援体制と連携	セルフマネジメント 3-2章3節 エンパワメントのアプローチ (p.48-52) / 6章 評価のしかた (p.98-99)
	C セルフケア・自己管理への看護	a セルフケア能力と行動のアセスメント	健康危機状況／セルフケアの再獲得 5章1節 セルフケア低下状態のアセスメントと評価 (p.202-216) 成人看護学概論 14章4節 事例で考えるオレムの看護理論 (p.221-224) / 17章3節 事例で考えるロイ適応看護モデル (p.253-258)
		b セルフケアに影響する要因	健康危機状況／セルフケアの再獲得 4章1節 成人にとってのセルフケア再獲得 セルフケアの低下した大人の理解と看護の視座 (p.166-172) 成人看護学概論 14章3節 セルフケアと成人看護 (p.220-221)
		c セルフケアの工夫への支援	健康危機状況／セルフケアの再獲得 4章2節 セルフケアの低下と再獲得 (p.173-191) 成人看護学概論 14章4節 事例で考えるオレムの看護理論 (p.221-224) セルフマネジメント 1章2節3項 知識と技術の提供 (p.19-21)
		d アドヒアランスや主体性の尊重	セルフマネジメント 2章2節2項 アドヒアランス (adherence) (p.34-35)
		e 疾病認識と自己モニタリング	セルフマネジメント 2章1節 本人と病気の位置関係モデル (p.30-32) / 5章 援助方法 (p.90-95)
		f 生活と自己管理の調整	健康危機状況／セルフケアの再獲得 5章2節 セルフケア再獲得を支援する方法 (p.217-237) セルフマネジメント 5章3節 アクシオンプラン設定の援助 (p.92-93) リハビリテーション看護 7章3節 生活の再構築のための支援 (p.193-207)
		D 社会的支援の獲得への看護	a 患者と家族の相互作用と関係性
	b 患者と家族の抱える問題		健康危機状況／セルフケアの再獲得 6章3節 家庭におけるセルフケアの再獲得 脳出血家庭復帰期にある人の看護 (p.276-284) リハビリテーション看護 6章2節 家族 (p.167-172)
	c 退院調整と多職種連携		健康危機状況／セルフケアの再獲得 5章3節1項 医療・福祉関連職種によるチームアプローチ (p.238-241) 周術期看護 7章3節 継続看護を支える看護師間・多職種間の連携 (p.116-118)
	d 患者会・家族会の活用と支援		健康危機状況／セルフケアの再獲得 5章3節2項 セルフヘルプグループへの参加 (p.241-243)
	e 医療費助成制度の活用		健康危機状況／セルフケアの再獲得 5章4節3項 障害者総合支援法とその活用 (p.248-250), 4項 難病対策要綱 (p.250-252) セルフマネジメント 13章2節3項 HIV感染者の環境へのサポート (p.205-206)

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践

目標Ⅳ

リハビリテーションの特徴を理解し看護を展開するための基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
7 リハビリテーションの特徴と看護	A リハビリテーションの特徴	a リハビリテーションの定義	リハビリテーション看護 1章1節1項 リハビリテーションの定義と考え方 (p.12)
		b リハビリテーションにおける看護の役割	リハビリテーション看護 1章4節 リハビリテーション看護とは (p.19-22)
		c 機能障害と分類	リハビリテーション看護 2章1節1項 国際生活機能分類 (ICF) (p.30-33)
	B 機能障害のアセスメント	a 生活機能障害と日常生活動作 (ADL)	リハビリテーション看護 2章3節 ADL : activities of daily living (p.36) / 7章3節4項 活動・参加促進に向けたADL支援 (学習支援) (p.199-205) 運動機能障害 8章2節1項 基本的動作と日常生活活動の障害 (p.152-156)
		b 居住環境	リハビリテーション看護 6章4節 居住環境 (p.174-179) 健康危機状況/セルフケアの再獲得 6章3節3項 事例で考える脳出血患者の家庭復帰にむけたセルフケア再獲得支援 (p.278-282)
	C 障害に対する受容と適応への看護	a 廃用症候群の予防	リハビリテーション看護 1章5節1項 急性期リハビリテーションにおける看護 (p.23-24), 5項 予防的リハビリテーションにおける看護 (p.26-27)
		b 日常生活動作 (ADL)・活動範囲の拡大に向けた援助	リハビリテーション看護 7章3節4項 活動・参加促進に向けたADL支援 (学習支援) (p.199-205) 健康危機状況/セルフケアの再獲得 4章2節2項 生活基本行動レベルのセルフケアの低下と再獲得 (p.177-182) 運動機能障害 8章2節2項 日常生活活動の自立に向けた援助 (p.156-158)
		c 補助具・自助具の活用	リハビリテーション看護 7章3節3項 代償機能の活用 (p.197-199), 4項 活動・参加促進に向けたADL支援 (学習支援) (p.199-205) / 8章7節3項 看護の実際 (p.262-264) 運動機能障害 7章8節5項 装具を使った療法 (p.140-142)
		d 心理的葛藤への援助	リハビリテーション看護 6章1節 肯定的な自己概念: 障害受容 (p.162-167) / 7章3節1項 主体性回復への支援 (p.193-196)
	D チームアプローチと社会資源の活用	a 多職種連携	リハビリテーション看護 4章 チームアプローチと看護の役割 (p.60-75) 健康危機状況/セルフケアの再獲得 5章3節1項 医療・福祉関連職種によるチームアプローチ (p.238-240)
		b 身体障害者福祉法に基づく社会資源の活用	リハビリテーション看護 3章4節 障害者を支えるサービス (p.54-58) 健康危機状況/セルフケアの再獲得 5章2節3項 社会生活レベルのセルフケア再獲得への支援 (p.234-235) 運動機能障害 8章4節2項 社会資源の活用 (p.163-166)
	E 患者の社会参加への支援	a 就労条件・環境の調整	リハビリテーション看護 1章3節4項 職業的リハビリテーション (p.18-19) 健康危機状況/セルフケアの再獲得 6章5節2項 脊髄損傷者の看護 (p.300-301)
		b 社会参加を促す要素と阻害要因	リハビリテーション看護 7章1節 生活の再構築とは (p.182-185) / 9章2節 脳血管疾患患者の看護 (回復期~生活期) (p.277-283) 成人看護学概論 11章5節 障害のある人の余暇活動 (p.189-190) 健康危機状況/セルフケアの再獲得 5章2節3項 社会生活レベルのセルフケア再獲得への支援 (p.233-237)

目標V

がん患者と家族の特徴を理解し看護を展開するための基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
8 がん患者と家族への看護	A がん患者の抱える苦痛	a 転移・浸潤による身体的・心理的苦痛	緩和ケア 2章1節1項 身体症状の頻度 (p.46-47), 9節 事例1: 大腸癌が骨転移した患者の疼痛緩和 (p.133-135)
		b 再発や経過の不確かさに伴う心理的苦痛	緩和ケア 3章2節2項 不安の原因 (p.147), 3節2項 抑うつの原因 (p.151), 6節 事例: 精神症状をもつ患者の緩和ケア (p.168-171)
		c 社会的偏見や制約に伴う苦痛	緩和ケア 4章1節 社会的苦痛とは (p.174-176)
		d スピリチュアルな苦痛	緩和ケア 5章2節 スピリチュアルペインとは (p.190-193)
	B がん患者の生活上の困難	a 全身消耗、倦怠感、疼痛等に伴う活動制限	緩和ケア 2章2節1項 がん疼痛の機序と分類 (p.50-53), 2項 疼痛のアセスメント (p.53-58), 3節 全身倦怠感の治療と看護 (p.76-80)
	C がん患者の治療と看護	a 広範囲で侵襲性の高い手術療法	緩和ケア 2章8節5項 手術に伴う苦痛の緩和 (p.132)
		b 化学療法	セルフマネジメント 11章3節1項 化学療法時の看護 (p.171-172) 緩和ケア 2章8節2項 化学療法に伴う苦痛の緩和 (p.118-124)
		c 放射線療法	セルフマネジメント 11章3節2項 放射線療法時の看護 (p.172-174) 緩和ケア 2章8節3項 放射線療法に伴う苦痛の緩和 (p.124-127)
		d 集学的治療	セルフマネジメント 11章3節1項 化学療法時の看護 (p.171-172) 緩和ケア 2章2節3項 がん疼痛の治療と看護 (p.69)
	D がん患者の社会参加への支援	a 就労条件・環境の調整	緩和ケア 4章1節 社会的苦痛とは (p.174-176), 4節 がん相談と利用できる社会資源 (p.178-185)
b 社会参加を促す要素と阻害要因		緩和ケア 4章2節 社会的苦痛のアセスメント (p.176), 3節 ソーシャルサポート (p.177-178)	

目標VI

終末期にある患者、および緩和ケアを必要とする患者と家族の特徴を理解し看護を展開するための基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
9 終末期にある患者および緩和ケアを必要とする患者と家族への看護	A 緩和ケアを必要とする患者と家族への看護	a がん患者	健康危機状況/セルフケアの再獲得 3章5節 終末期患者 結腸癌で終末期にある男性とその家族 (p.146-150) セルフマネジメント 11章4節 乳癌のクライアントのセルフマネジメント事例 (p.174-180) 緩和ケア 1章1節 がん患者が抱える苦痛とQOL (p.12-16)
		b 心不全患者	緩和ケア 11章3節 慢性心不全の緩和ケア (p.287-288)
		c 慢性呼吸不全患者	緩和ケア 11章5節 慢性閉塞性肺疾患の緩和ケア (p.290)
		d 慢性疼痛のある患者	緩和ケア 2章2節4項 がん疼痛を有する患者の看護 (p.70-75), 9節 事例1: 大腸癌が骨転移した患者の疼痛緩和 (p.133-135)
	B エンド・オブ・ライフ・ケア (end-of-life care)	a 症状アセスメントとマネジメント	緩和ケア 2章1節 身体症状概論 (p.46-49), 2節4項 がん疼痛を有する患者の看護 (p.70-75)
		b 全人的苦痛のアセスメントとマネジメント	緩和ケア 1章1節2項 全人的苦痛 (トータルペイン) とQOL (生活の質) (p.13)/5章2節2項 スピリチュアルペインのアセスメント (p.190-193), 3節2項 苦悩の内容に対応するスピリチュアルケア (p.194-197)/8章4節4項 鎮静の実践 (p.249-250) 健康危機状況/セルフケアの再獲得 3章5節2項 事例で考える終末期患者の看護 (p.146-150)
		c 苦痛緩和と意思決定支援	緩和ケア 6章1節 がん医療における意思決定 (p.200-202), 3節5項 意思決定を支える看護師の役割 (p.209-210)

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
9 終末期にある患者および緩和ケアを必要とする患者と家族への看護	B エンド・オブ・ライフ・ケア (end-of-life care)	d 予期的悲嘆に対するアセスメントとケア	緩和ケア 9章3節 家族ケアにおける看護師の役割 (p.259-261)
		e アドバンスケアプランニング	緩和ケア 6章1節5項 意思決定の自由を実現するために重要なこと (p.201-202)
		f 家族ケア	緩和ケア 8章2節3項 臨死期の治療とケアのポイント (p.243-245) / 9章 家族ケア (p.256-267) 健康危機状況 / セルフケアの再獲得 3章5節2項 事例で考える終末期患者の看護 (p.146-150)
	C 臨死期の看護	a 身体的ケア	緩和ケア 8章2節3項 臨死期の治療とケアのポイント (p.241-245), 3節 臨死期における輸液療法 (p.245-247), 4節 症状緩和のための鎮静 (p.247-250)
		b 精神的ケア	緩和ケア 3章 精神症状とその治療・看護 (p.144-171) / 8章2節3項 臨死期の治療とケアのポイント (p.241-245)
		c 家族の悲嘆へのケア、代理意思決定支援	緩和ケア 9章4節 悲嘆と遺族ケア (p.261-264) / 10章3節2項 患者に同意能力のない場合の対応方法 (p.274-275)
		d 脳死状態への対応	脳・神経機能障害 / 感覚機能障害 4章 コラム 脳死 (p.214)

## 目標Ⅶ

各機能障害のある患者の特徴および病期や障害に応じた看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
10 呼吸機能障害のある患者の看護	A 原因と障害の程度のアセスメントと看護	a 酸素化障害	呼吸機能障害 / 循環機能障害 1章3節1項 拡散障害とはどのような状態か (p.40), 2項 拡散障害に伴う症状とその検査 (p.41)
		b 換気障害	呼吸機能障害 / 循環機能障害 1章2節 換気障害 (p.28-38) / 2章2節1項 呼吸性アシドーシスとはどのような状態か (p.66-67), 3節1項 呼吸性アルカローシスとはどのような状態か (p.70), 2項 呼吸性アルカローシスを伴う代表的疾患と検査・治療 (p.70-71) / 4章2節6項 呼吸性アシドーシス (p.94), 7項 呼吸性アルカローシス (p.94-95)
		c 呼吸運動障害	呼吸機能障害 / 循環機能障害 1章7節2項 睡眠時無呼吸症候群に伴う症状とその検査 (p.58-59) / 2章2節2項 呼吸性アシドーシスを伴う代表的疾患と検査・治療 (p.67-69)
		d 生命・生活への影響	呼吸機能障害 / 循環機能障害 4章1節3項 心身・日常生活への影響 (p.87-88) リハビリテーション看護 5章1節3項 日常生活への影響 (p.82-83)
	B 検査・処置を受ける患者への看護	a 動脈血液ガス分析	呼吸機能障害 / 循環機能障害 1章4節2項 肺循環障害に伴う症状とその検査 (p.47-48)
		b 呼吸機能検査	呼吸機能障害 / 循環機能障害 4章1節1項 呼吸機能障害のアセスメント (p.80-86) 基礎看護技術 18章3節12項 呼吸機能検査 (p.389-390)
		c 気管支鏡検査	呼吸機能障害 / 循環機能障害 3章1節 気管支鏡検査 (p.74-75)
		d 胸腔穿刺	呼吸機能障害 / 循環機能障害 3章2節 胸腔穿刺検査 (p.75-76) 基礎看護技術 18章3節9項 穿刺法 (p.384-388)
		e 肺生検	呼吸機能障害 / 循環機能障害 3章3節 肺生検 (p.77)
	C 治療を受ける患者の看護	a 酸素療法	呼吸機能障害 / 循環機能障害 4章4節5項 在宅酸素療法 (HOT) (p.110-112) 基礎看護技術 15章5節4項 酸素療法 (p.331-336)
		b 非侵襲的陽圧換気	呼吸機能障害 / 循環機能障害 4章2節6項 呼吸性アシドーシス (p.94), 4節4項 人工呼吸療法 (p.108-109)
		c 侵襲的陽圧換気	呼吸機能障害 / 循環機能障害 1章3節3項 拡散障害を引き起こす主な疾患と治療 (p.44)
		d 肺切除術	呼吸機能障害 / 循環機能障害 4章3節2項 肺切除術 (p.99) 周術期看護 9章1節3項 肺癌の手術を受ける人の看護 (p.126-129)

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
10 呼吸機能障害のある患者の看護	C 治療を受ける患者の看護	e 胸腔ドレナージ	呼吸機能障害／循環機能障害 4章4節2項 胸腔ドレナージ (p.104-105)
		f 吸入による薬物療法	呼吸機能障害／循環機能障害 4章4節1項 吸入療法 (p.102-104)
		g 薬物療法	呼吸機能障害／循環機能障害 4章3節3項 呼吸器関連の服薬指導 (p.99-100)
	D 病期や機能障害に応じた看護	a 腫瘍（肺癌、中皮腫）	呼吸機能障害／循環機能障害 1章2節3項 換気障害を引き起こす主な疾患と治療 (p.35-37)
		b 炎症性疾患（肺炎、気管支炎、胸膜炎）	呼吸機能障害／循環機能障害 1章2節3項 換気障害を引き起こす主な疾患と治療 (p.30-38), 3節3項 拡散障害を引き起こす主な疾患と治療 (p.41-45), 6節3項 代表的な呼吸器感染症と治療 (p.56)／5章2節 間質性肺炎患者の看護【事例】 (p.124-133)
		c 慢性閉塞性肺疾患（COPD）	呼吸機能障害／循環機能障害 5章1節 慢性閉塞性肺疾患（COPD）患者の看護【事例】 (p.114-123) セルフマネジメント 9章3節 呼吸不全のクライアントのセルフマネジメント事例 (p.143-149)
		d 気管支喘息	呼吸機能障害／循環機能障害 1章2節3項 換気障害を引き起こす主な疾患と治療 (p.32-34)／2章2節2項 呼吸性アシドーシスを伴う代表的疾患と検査・治療 (p.68-69) 造血機能障害／免疫機能障害 4章4節 気管支喘息患児の看護 (p.182-191)
	11 循環機能障害のある患者の看護	A 原因と障害の程度のアセスメントと看護	a ポンプ機能障害
b 刺激伝導障害			呼吸機能障害／循環機能障害 6章7節1項 刺激伝導系の障害とはどのような状態か (p.167), 2項 刺激伝導系の障害に伴う症状とその検査 (p.168-169)
c 血管・リンパ管障害			呼吸機能障害／循環機能障害 6章9節 末梢性の循環障害—血管の障害 (p.176-180)
d 生命・生活への影響			呼吸機能障害／循環機能障害 8章1節2項 心身・日常生活への影響 (p.198-199)
B 検査・処置を受ける患者への看護		a 心電図	呼吸機能障害／循環機能障害 6章7節2項 刺激伝導系の障害に伴う症状とその検査 (p.168-169)
		b 心血管超音波	呼吸機能障害／循環機能障害 1章4節2項 肺循環障害に伴う症状とその検査 (p.48)
		c 血管造影	呼吸機能障害／循環機能障害 7章2節3項 検査時の看護 (p.190-191)
		d 心臓カテーテル	呼吸機能障害／循環機能障害 7章1節3項 検査時の看護 (p.189)
C 治療を受ける患者への看護		a 経皮的冠動脈形成術（PCI）	呼吸機能障害／循環機能障害 8章3節1項 経皮的冠動脈インターベンション（PCI） (p.207-208) 健康危機状況／セルフケアの再獲得 3章3節2項 事例で考えるICU・CCU入室患者の看護 (p.133-138)
		b 冠動脈バイパス術（CABG）	呼吸機能障害／循環機能障害 8章3節2項 開心術 (p.208-210)
		c 弁置換術・弁形成術	呼吸機能障害／循環機能障害 6章3節3項 弁機能の障害を引き起こす主な疾患と治療 (p.147-151)／8章3節2項 開心術 (p.208-210) 周術期看護 10章2節3項 心臓弁膜症の手術を受ける人の看護 (p.148-151)
		d 大動脈内バルーンポンピング（IABP）	呼吸機能障害／循環機能障害 6章6節3項 冠血流障害（虚血性心疾患）を引き起こす主な疾患と治療 (p.164-165)／8章3節3項 補助循環装置 (p.210-211)
		e ペースメーカー	呼吸機能障害／循環機能障害 8章4節1項 ペースメーカー (p.216-218)
		f 植込み型除細動器	呼吸機能障害／循環機能障害 8章4節2項 植込み型除細動器（ICD） (p.218-219)

必  
修  
問  
題人  
体  
の  
構  
造  
と  
機  
能疾  
病  
の  
成  
り  
立  
ち  
と  
回  
復  
の  
促  
進健  
康  
支  
援  
と  
社  
会  
保  
障  
制  
度基  
礎  
看  
護  
学成  
人  
看  
護  
学老  
年  
看  
護  
学小  
児  
看  
護  
学母  
性  
看  
護  
学精  
神  
看  
護  
学在  
宅  
看  
護  
論看  
護  
の  
統  
合  
と  
実  
践



大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
11 循環機能障害のある患者の看護	C 治療を受ける患者への看護	g 血栓溶解療法・血栓除去術	呼吸機能障害／循環機能障害 8章3節4項 血栓溶解療法・血栓除去術 (p.211-212)
		D 病期や機能障害に応じた看護	a 心不全 呼吸機能障害／循環機能障害 9章2節 心不全患者の看護【事例】(p.230-236) セルフマネジメント 12章2節 慢性心不全をもつ人に必要とされるマネジメント (p.185-190), 3節 慢性心不全のクライアントのセルフマネジメント事例 (p.191-196)
		b 虚血性心疾患 呼吸機能障害／循環機能障害 6章6節3項 冠血流障害(虚血性心疾患)を引き起こす主な疾患と治療 (p.162-165)／8章3節 循環機能障害の治療に伴う看護 (p.207-214)／9章1節 狭心症患者の看護【事例】(p.222-229) 健康危機状況／セルフケアの再獲得 3章3節2項 事例で考えるICU・CCU入室患者の看護 (p.133-138) リハビリテーション看護 8章2節 急性心筋梗塞患者の看護 (p.218-227)	
		c 弁膜症 呼吸機能障害／循環機能障害 6章3節 ポンプ機能の障害—弁機能の障害 (p.144-151)	
		d 不整脈 呼吸機能障害／循環機能障害 6章7節3項 刺激伝導系の障害を引き起こす主な疾患と治療 (p.170-171)	
		e 閉塞性動脈硬化症(下肢動脈閉塞症) 呼吸機能障害／循環機能障害 6章9節 末梢性の循環障害—血管の障害 (p.176-180)／8章2節5項 下肢の痛み (p.203-204) 周術期看護 10章4節3項 閉塞性動脈硬化症の手術を受ける患者の看護 (p.159-161)	
12 消化・吸収機能障害のある患者への看護	A 原因と障害の程度のアセスメントと看護	a 咀嚼・嚥下障害 栄養代謝機能障害 3章1節1項 特徴的な症状とその看護 (p.96-106)／5章1節 摂食障害のある患者の看護:食道癌 (p.188-194) 脳・神経機能障害／感覚機能障害 3章2節10項 嚥下障害(p.179-184)	
		b 消化管機能障害 栄養代謝機能障害 3章2節 消化吸収機能障害のある患者の看護 (p.114-134), 3節 排便機能障害のある患者の看護 (p.138-152)／5章2節 消化吸収機能障害のある患者の看護 (1):十二指腸潰瘍 (p.195-200), 4節 排便障害のある患者の看護:大腸癌 (p.208-213)	
		c 膵液分泌障害 栄養代謝機能障害 1章2節4項 膵疾患 (p.46-50)／3章2節5項 膵疾患患者の看護 (p.133-134)	
		d 胆汁分泌障害 栄養代謝機能障害 5章3節 消化吸収機能障害のある患者の看護 (2):閉塞性黄疸 (p.203-207)	
		e 生命・生活への影響 栄養代謝機能障害 3章1節1項 特徴的な症状とその看護 (p.96-107), 2節1項 特徴的な症状とその看護 (p.114-129), 3節1項 特徴的な症状とその看護 (p.138-146)	
	B 検査・処置を受ける患者への看護	a 上部消化管内視鏡 栄養代謝機能障害 1章1節4項 食道疾患 (p.23-30)／3章 コラム 内視鏡検査と看護 (p.136-137) 基礎看護技術 18章3節5項 内視鏡検査 (p.377-378)	
		b 大腸内視鏡 栄養代謝機能障害 3章 コラム 内視鏡検査と看護 (p.136-137) 臨床看護総論 2章2節 大腸がん発症の患者さんへの看護ケア【事例】(p.51)	
		c 内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP) 栄養代謝機能障害 1章2節3項 胆道疾患 (p.40-46), 4項 膵疾患 (p.46-50)	
		d 消化管造影 栄養代謝機能障害 1章1節4項 食道疾患 (p.23-30)	
		e 造影CT・MRI 基礎看護技術 18章3節3項 CT検査 (p.376), 4項 MRI検査 (p.376-377)	
		f 直腸診 栄養代謝機能障害 1章3節2項 肛門疾患 (p.61-64)	
	C 治療を受ける患者への看護	a 咽喉・喉頭摘出術 栄養代謝機能障害 3章1節4項 頭頸部腫瘍患者の看護 (p.108-109)	
		b 食道切除術 栄養代謝機能障害 3章1節5項 食道疾患患者の看護 (p.109-111) 周術期看護 11章1節3項 食道癌の手術を受ける人の看護 (p.166-169)	

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
12 消化・吸収機能障害のある患者への看護	C 治療を受ける患者への看護	c 胃切除術	栄養代謝機能障害 1章2節1項 胃・十二指腸疾患 (p.36-37) / 3章2節2項 胃・十二指腸疾患患者の看護 (p.130) 周術期看護 11章2節3項 胃癌の手術を受ける人の看護 (p.172-175)
		d 大腸切除術	栄養代謝機能障害 3章3節2項 大腸疾患患者の看護 (p.146-150) / 5章4節 排便障害のある患者の看護：大腸癌 (p.208-213) 周術期看護 11章3節3項 大腸癌の手術を受ける人の看護 (p.178-179)
		e 膵切除術	栄養代謝機能障害 1章2節4項 膵疾患 (p.46-50) 周術期看護 11章6節3項 膵臓癌の手術を受ける人の看護 (p.193-197)
		f 腹腔鏡視下手術	栄養代謝機能障害 1章2節3項 胆道疾患 (p.40-46) / 3章2節4項 胆道疾患患者の看護 (p.132-133)
		g 人工肛門造設術	栄養代謝機能障害 3章3節2項 大腸疾患患者の看護 (p.146-150), 3項 肛門疾患患者の看護 (p.150-151) 周術期看護 11章4節3項 直腸癌の手術を受ける人の看護 (p.181-183)
		h 手術後ドレナージ	栄養代謝機能障害 3章2節4項 胆道疾患患者の看護 (p.132-133) 周術期看護 11章1節3項 食道癌の手術を受ける人の看護 (p.166-169)
		i 胆道・胆嚢ドレナージ	栄養代謝機能障害 3章2節4項 胆道疾患患者の看護 (p.132-133) / 5章3節 消化吸収機能障害のある患者の看護 (2)：閉塞性黄疸 (p.203-207)
		j 経腸栄養法	栄養代謝機能障害 3章 コラム PEG (percutaneous endoscopic gastrostomy, 経皮内視鏡的胃瘻造設術) (p.112-113) 基礎看護技術 13章5節3項 経管栄養の援助 (p.284-287)
	k 経静脈栄養法	栄養代謝機能障害 1章3節1項 大腸疾患 (p.58) 基礎看護技術 13章5節4項 高カロリー輸液, 中心静脈栄養 (p.287-288)	
	D 病期や機能障害に応じた看護	a 口腔・咽頭腫瘍 (舌癌、咽頭癌、喉頭癌)	栄養代謝機能障害 3章1節4項 頭頸部腫瘍患者の看護 (p.108-109)
		b 上部消化管腫瘍 (食道癌、胃癌)	栄養代謝機能障害 3章1節5項 食道疾患患者の看護 (p.109-111) / 5章1節 摂食障害のある患者の看護：食道癌 (p.188-194)
		c 下部消化管腫瘍 (大腸癌、結腸癌)	栄養代謝機能障害 1章3節1項 大腸疾患 (p.54-57) / 3章3節2項 大腸疾患患者の看護 (p.146-147) / 5章4節 排便障害のある患者の看護：大腸癌 (p.208-213)
		d 人工肛門造設後	栄養代謝機能障害 3章3節2項 大腸疾患患者の看護 (p.146-150), 3項 肛門疾患患者の看護 (p.150-151) 基礎看護技術 14章5節4項 ストーマ造設者への援助 (p.305)
		e 炎症性疾患 (潰瘍性大腸炎・Crohn (クローン) 病)	栄養代謝機能障害 1章3節1項 大腸疾患 (p.57-61) / 3章3節2項 大腸疾患患者の看護 (p.146-150) 臨床栄養学 5章1節2項 潰瘍性大腸炎 (p.167-169), 3項 クローン病 (p.169-171)
		f 潰瘍性疾患 (胃・十二指腸潰瘍)	栄養代謝機能障害 3章2節2項 胃・十二指腸疾患患者の看護 (p.129-131) / 5章2節 消化吸収機能障害のある患者の看護 (1)：十二指腸潰瘍 (p.195-200) 臨床栄養学 5章1節1項 胃・十二指腸潰瘍 (p.164-166)
g 胆石症		栄養代謝機能障害 3章2節4項 胆道疾患患者の看護 (p.132-133) 臨床栄養学 5章1節11項 胆石症 (p.180-181)	
h 膵炎	栄養代謝機能障害 3章2節5項 膵疾患患者の看護 (p.133-135) 臨床栄養学 5章1節5項 急性膵炎 (p.172-173), 6項 慢性膵炎 (p.174-176)		
13 栄養代謝機能障害のある患者の看護	A 原因と障害の程度のアセスメントと看護	a 肝機能障害	栄養代謝機能障害 4章1節5項 門脈圧亢進症患者の看護 (p.162-163) / 5章5節 代謝障害のある患者の看護 (1)：肝炎 (p.215-220) セルフマネジメント 10章1節 肝硬変とはどのような状態か (p.152-155)

必  
修  
問  
題人  
体  
の  
構  
造  
と  
機  
能疾  
病  
の  
成  
り  
立  
ち  
と  
回  
復  
の  
促  
進健  
康  
支  
援  
と  
社  
会  
保  
障  
制  
度基  
礎  
看  
護  
学成  
人  
看  
護  
学老  
年  
看  
護  
学小  
児  
看  
護  
学母  
性  
看  
護  
学精  
神  
看  
護  
学在  
宅  
看  
護  
論看  
護  
の  
統  
合  
と  
実  
践

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所	
13 栄養代謝機能障害のある患者の看護	A 原因と障害の程度のアセスメントと看護	b 代謝機能障害	栄養代謝機能障害 4章3節1項 脂質代謝障害のある患者の看護 (p.179-182)	
		c 生命・生活への影響	栄養代謝機能障害 序章3項 栄養代謝機能の障害による影響 (p.18)	
	B 検査・処置を受ける患者への看護	a 腹部超音波	栄養代謝機能障害 1章2節2項 腸疾患 (p.37-40)	
		b 肝生検	栄養代謝機能障害 2章1節1項 肝炎 (p.66-68)	
		c 腹腔鏡	栄養代謝機能障害 1章2節3項 胆道疾患 (p.42)	
	C 治療を受ける患者への看護	a 肝庇護療法	栄養代謝機能障害 2章1節1項 肝炎 (p.66-68)	
		b インターフェロン療法	栄養代謝機能障害 2章1節1項 肝炎 (p.66-68)	
		c 食道静脈瘤内視鏡治療	栄養代謝機能障害 2章1節5項 門脈圧亢進症 (p.75-77)	
		d 肝動脈塞栓術	栄養代謝機能障害 4章1節4項 肝癌患者の看護 (p.162)	
		e 肝切除術	栄養代謝機能障害 4章1節4項 肝癌患者の看護 (p.162) 周術期看護 11章5節3項 肝臓癌の手術を受ける人の看護 (p.187-190)	
	D 病期や機能障害に応じた看護	a 肝炎	栄養代謝機能障害 4章1節2項 肝炎患者の看護 (p.160-161) / 5章5節 代謝障害のある患者の看護 (1) : 肝炎 (p.215-220) 臨床栄養学 5章1節7項 急性肝炎 (p.176-177), 8項 慢性肝炎 (p.177-178)	
		b 肝硬変	栄養代謝機能障害 4章1節3項 肝硬変・肝不全患者の看護 (p.161-162) 臨床栄養学 5章1節9項 肝硬変 (p.178-179) セルフマネジメント 10章2節 肝硬変をもつ人の一般的なマネジメント (p.156-158), 3節 肝硬変のクライアントのセルフマネジメント事例 (p.158-164)	
		c 肝癌	栄養代謝機能障害 4章1節4項 肝癌患者の看護 (p.162)	
		d 高尿酸血症、脂質異常症、肥満	栄養代謝機能障害 4章3節3項 尿酸代謝異常のある患者の看護 (p.183-184)	
	14 内部環境(体温、血糖、体液量、電解質、酸塩基平衡)調節機能障害のある患者の看護	A 原因と障害の程度のアセスメントと看護	a 体温調節機能障害	内部環境調節機能障害 / 性・生殖機能障害 5章1節2項 高体温の主な原因と影響 (p.101-109), 3項 低体温の主な原因と影響 (p.109-113) / 9章1節1項 熱中症の予防 (p.268-283)
			b 血糖調節機能障害	栄養代謝機能障害 4章2節1項 特徴的な症状とその看護 (p.165-175), 3項 インスリノーマ患者の看護 (p.176-177) / 5章6節 代謝障害のある患者の看護 (2) : 糖尿病 (p.221-229) セルフマネジメント 7章1節1項 糖尿病とは (p.102-104)
c 体液量調節機能障害			内部環境調節機能障害 / 性・生殖機能障害 1章2節 体液調節機能の障害 (p.23-27) セルフマネジメント 8章1節2項 自分の身体変化の徴候や症状について知り、対処できるようにする (p.118)	
d 電解質調節機能障害			内部環境調節機能障害 / 性・生殖機能障害 1章2節2項 水と電解質の異常とはどのような状態か (p.23-26)	
e 酸塩基平衡調節機能障害			内部環境調節機能障害 / 性・生殖機能障害 1章2節3項 酸塩基平衡の異常とはどのような状態か (p.26-27)	
f 生命・生活への影響			内部環境調節機能障害 / 性・生殖機能障害 6章1節2項 心身・日常生活への影響と看護 (p.122-125) / 8章2節2項 心身・日常生活への影響と看護 (p.156-159)	
B 検査・処置を受ける患者への看護		a 糖負荷試験(OGTT)	内部環境調節機能障害 / 性・生殖機能障害 3章2節2項 臨床検査と看護 (p.80) 栄養代謝機能障害 2章2節 糖代謝障害と疾患 (p.80-81) セルフマネジメント 7章1節1項 糖尿病とは (p.103)	
		b 血糖自己測定(SMBG)	セルフマネジメント 7章1節5項 血糖自己測定 (p.108)	
		c 静脈性尿路造影	内部環境調節機能障害 / 性・生殖機能障害 4章1節2項 尿路の機能障害の主な原因・疾患と治療 (p.90-98)	

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
14 内部環境(体温、血糖、体液量、電解質、酸塩基平衡)調節機能障害のある患者の看護	B 検査・処置を受ける患者への看護	d 腎生検	疾病と治療 6章1節2項 診断と治療 (p.158) 造血機能障害/免疫機能障害 4章1節2項 膠原病患者の急性期の看護 (p.157-158)
		C 治療を受ける患者への看護	a インスリン補充療法
	b 糖尿病経口薬による治療		栄養代謝機能障害 2章2節1項 糖尿病 (p.83-84)/5章6節 代謝障害のある患者の看護(2):糖尿病 (p.221-229) セルフマネジメント 7章1節4項 糖尿病の治療 (p.105-107)
	c 食事・運動療法		臨床栄養学 4章3節 栄養成分別のコントロール食 (p.146-168) 栄養代謝機能障害 2章2節1項 糖尿病 (p.82-83)/4章2節2項 糖尿病患者の看護 (p.175-176) セルフマネジメント 7章1節4項 糖尿病の治療 (p.105-106)
	d 急性期持続血液濾過透析		セルフマネジメント 8章1節4項 透析療法, 腎移植の知識を深め, 治療選択ができるようにする (p.119-120)
	e 血液透析		内部環境調節機能障害/性・生殖機能障害 7章1節2項 透析療法・腎移植と看護 (p.132-133) セルフマネジメント 8章1節4項 透析療法, 腎移植の知識を深め, 治療選択ができるようにする (p.119-120)
	f 腹膜透析 (CAPD)		内部環境調節機能障害/性・生殖機能障害 7章1節2項 透析療法・腎移植と看護 (p.131-138) セルフマネジメント 8章1節4項 透析療法, 腎移植の知識を深め, 治療選択ができるようにする (p.119-120) 地域療養を支えるケア 6章9節2項 腹膜透析 (CAPD) の援助 (p.233-235)
	g 腎移植		内部環境調節機能障害/性・生殖機能障害 7章1節2項 透析療法・腎移植と看護 (p.131-138) セルフマネジメント 8章1節4項 透析療法, 腎移植の知識を深め, 治療選択ができるようにする (p.119-120) 周術期看護 18章1節3項 腎移植手術を受ける人の看護 (p.273-275)
	D 病期や機能障害に応じた看護	a 低体温症	内部環境調節機能障害/性・生殖機能障害 5章2節2項 低体温のアセスメントと対応 (p.117-119)/9章1節2項 偶発性低体温症の予防 (p.181-183)
		b 1型糖尿病	栄養代謝機能障害 2章2節1項 糖尿病 (p.79-84)
		c 2型糖尿病	内部環境調節機能障害/性・生殖機能障害 7章2節2項 糖尿病腎症予防における生活指導 (p.143-146) 栄養代謝機能障害 4章2節2項 糖尿病患者の看護 (p.175-176)/5章6節 代謝障害のある患者の看護(2):糖尿病 (p.221-229) セルフマネジメント 7章1節4項 糖尿病の治療 (p.105-108), 2節 糖尿病をもつクライアントのセルフマネジメント事例 (p.109-113)
		d 急性腎不全	内部環境調節機能障害/性・生殖機能障害 3章1節2項 腎不全の分類と特徴 (p.69-73)
		e 慢性腎不全	内部環境調節機能障害/性・生殖機能障害 3章1節2項 腎不全の分類と特徴 (p.69-73) 臨床栄養学 5章4節2項 慢性腎臓病 (CKD) (p.190-193) セルフマネジメント 8章1節5項 食事や活動に関する知識を深め, セルフケアできるようにする (p.120-125)
		f 慢性腎臓病	内部環境調節機能障害/性・生殖機能障害 3章1節2項 腎不全の分類と特徴 (p.69-73)/7章1節1項 腎機能低下に伴う症状のアセスメントと看護 (p.128-131), 2節1項 要注意段階の人への生活指導 (p.139-143) 臨床栄養学 5章4節2項 慢性腎臓病 (CKD) (p.190-193)
g 腎移植術後		内部環境調節機能障害/性・生殖機能障害 7章1節2項 透析療法・腎移植と看護 (p.131-138) 周術期看護 18章1節3項 腎移植手術を受ける人の看護 (p.273-275)	
15 内分泌機能障害のある患者の看護	A 原因と障害の程度のアセスメントと看護	a 甲状腺機能障害	内部環境調節機能障害/性・生殖機能障害 2章3節1項 甲状腺機能の障害とはどのような状態か (p.43-44), 2項 甲状腺機能の障害を引き起こす主な疾患・症状と治療 (p.44-48)
		b 副腎機能障害	内部環境調節機能障害/性・生殖機能障害 2章5節2項 副腎機能の障害を引き起こす主な疾患・症状と治療 (p.51-52)

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
15 内分泌機能障害のある患者の看護	A 原因と障害の程度のアセスメントと看護	c 下垂体機能障害	内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 2章2節2項 下垂体機能の障害を引き起こす主な疾患・症状と治療 (p.39-43)
		d 生命・生活への影響	内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 6章1節2項 心身・日常生活への影響と看護 (p.122-125)
	B 検査・処置を受ける患者への看護	a ホルモン血中・尿中濃度測定	内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 3章2節2項 臨床検査と看護 (p.78-87)
		b ホルモン負荷試験	内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 10章1節 性ホルモンの障害 (p.186-199)
	C 治療を受ける患者への看護	a 甲状腺ホルモン療法	内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 6章1節2項 心身・日常生活への影響と看護 (p.122-125)
		b 甲状腺切除術	内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 6章1節2項 心身・日常生活への影響と看護 (p.124) 周術期看護 16章1節2項 甲状腺癌の治療方法 (p.247-249)
	D 病期や機能障害に応じた看護	a 甲状腺疾患 (甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症)	内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 2章3節2項 甲状腺機能の障害を引き起こす主な疾患・症状と治療 (p.44-48)
		b 腫瘍 (甲状腺癌、下垂体腫瘍)	内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 2章3節2項 甲状腺機能の障害を引き起こす主な疾患・症状と治療 (p.46)／6章1節2項 心身・日常生活への影響と看護 (p.122-125)
16 身体防御機能の障害のある患者の看護	A 原因と障害の程度のアセスメントと看護	a 皮膚粘膜障害	造血機能障害／免疫機能障害 3章2節4項 アトピー性皮膚炎 (p.126-131)
		b 免疫機能障害	造血機能障害／免疫機能障害 4章2節1項 関節リウマチ患者の観察とアセスメント (p.162-163), 2項 関節リウマチ患者の看護【事例】 (p.163-170), 5節2項 HIV感染症患者の観察とアセスメント (p.193-195)
		c 骨髄機能障害	造血機能障害／免疫機能障害 1章3節 血小板減少および機能異常 (p.32-37)／2章1節 貧血・白血球減少症・血小板減少症および機能異常のある患者の看護 (p.66-73)／4章6節 造血幹細胞移植を受ける患者の看護 (p.201-211)
		d 生命・生活への影響	造血機能障害／免疫機能障害 4章1節1項 膠原病患者の観察とアセスメント (p.154-157), 2節1項 関節リウマチ患者の観察とアセスメント (p.162-163), 3節1項 アレルギー性疾患患者の観察とアセスメント (p.172-175), 4節2項 気管支喘息のある患者の看護【事例】 (p.182-191), 5節2項 HIV感染症患者の観察とアセスメント (p.193-195)
	B 検査・処置を受ける患者への看護	a スキンテスト	造血機能障害／免疫機能障害 3章2節2項 花粉症 (アレルギー性鼻炎) (p.118-121)
		b 粘膜・皮膚生検	栄養代謝機能障害 3章 コラム 内視鏡検査と看護 (p.136-137) 造血機能障害／免疫機能障害 4章1節2項 膠原病患者の急性期の看護 (p.158) 基礎看護技術 18章3節5項 内視鏡検査 (p.377-378)
		c 骨髄穿刺	造血機能障害／免疫機能障害 2章2節2項 看護の実際 (p.78-84) 基礎看護技術 18章3節9項 穿刺法 (p.384-388)
	C 治療を受ける患者への看護	a 減感作療法	造血機能障害／免疫機能障害 3章2節2項 花粉症 (アレルギー性鼻炎) (p.120-121)
		b 免疫抑制薬	造血機能障害／免疫機能障害 4章1節1項 膠原病患者の観察とアセスメント (p.154-157)
		c ステロイド療法	造血機能障害／免疫機能障害 4章1節1項 膠原病患者の観察とアセスメント (p.154-157), 2節2項 関節リウマチ患者の看護【事例】 (p.163-170), 3節2項 看護の実際 (p.175-181)
		d 造血幹細胞移植	造血機能障害／免疫機能障害 4章6節 造血幹細胞移植を受ける患者の看護 (p.201-211) 緩和ケア 2章8節4項 造血幹細胞移植の看護 (p.127-132)
		e 抗ヒト免疫不全ウイルス (HIV) 療法	造血機能障害／免疫機能障害 4章5節 免疫不全 (HIV感染症) 患者の看護 (p.192-200) セルフマネジメント 13章2節 HIV感染症ならびにエイズとともに生きる人々の看護とセルフマネジメント (p.202-206)

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
16 身体防御機能の障害のある患者の看護	D 病期や機能障害に応じた看護	a アレルギー性疾患	造血機能障害／免疫機能障害 4章3節2項 看護の実際 (p.175-181)
		b 自己免疫疾患	造血機能障害／免疫機能障害 4章1節2項 膠原病患者の急性期の看護 (p.157-158), 3項 膠原病患者の慢性(寛解)期の看護 (p.158-161), 2節2項 関節リウマチ患者の看護【事例】(p.163-170), 3節2項 看護の実際 (p.175-181)
		c 血液悪性疾患	造血機能障害／免疫機能障害 2章 造血機能障害のある患者の看護 (p.66-93)
		d ヒト免疫不全ウイルス(HIV)感染症	造血機能障害／免疫機能障害 4章5節1項 HIV感染者, AIDS患者の看護にあたって (p.192) セルフマネジメント 13章3節 エイズのクライアントのセルフマネジメント事例 (p.206-212)
17 脳・神経機能障害のある患者の看護	A 原因と障害の程度のアセスメントと看護	a 生命維持活動調節機能障害	脳・神経機能障害／感覚機能障害 3章2節1項 頭蓋内圧亢進症状 (p.136-142), 2項 意識障害 (p.142-146)
		b 運動・感覚機能障害	脳・神経機能障害／感覚機能障害 3章2節3項 片麻痺 (p.146-153), 4項 運動失調, 不随意運動 (p.154-158), 5項 筋萎縮・筋力低下 (p.158-162), 10項 嚥下障害 (p.179-184), 12項 顔面神経麻痺 (p.188-190)／5章 感覚機能障害とその看護 (p.216-254)
		c 言語機能障害	脳・神経機能障害／感覚機能障害 3章2節6項 失語症 (p.162-166), 7項 構音障害 (p.166-168)
		d 高次脳機能障害	脳・神経機能障害／感覚機能障害 3章2節6項 失語症 (p.162-166), 8項 失行・失認 (p.169-173), 9項 記憶障害 (p.174-179)
		e 生命・生活への影響	脳・神経機能障害／感覚機能障害 3章1節3項 頭部外傷患者 (p.112), 7項 神経変性疾患患者 (p.120)
	B 検査・処置を受ける患者への看護	a 脳波検査	脳・神経機能障害／感覚機能障害 3章1節9項 てんかん患者 (p.126-129)
		b 髄液検査	脳・神経機能障害／感覚機能障害 3章1節1項 脳血管障害患者 (p.102-106), 5項 中枢神経系の感染症患者 (p.115-118)
		c 脳血管造影	脳・神経機能障害／感覚機能障害 2章1節2項 脳血管障害の主な疾患と検査・治療 (p.43-50), 11節2項 小脳の疾患の種類と検査・治療 (p.89-92)
	C 治療を受ける患者への看護	a 開頭術	脳・神経機能障害／感覚機能障害 3章1節1項 脳血管障害患者 (p.102-106), 2項 脳腫瘍患者 (p.106-110)
		b 穿頭術	脳・神経機能障害／感覚機能障害 2章1節2項 脳血管障害の主な疾患と検査・治療 (p.43)
		c 血管バイパス術	脳・神経機能障害／感覚機能障害 2章1節2項 脳血管障害の主な疾患と検査・治療 (p.43-50)
		d 血管内治療	脳・神経機能障害／感覚機能障害 2章1節2項 脳血管障害の主な疾患と検査・治療 (p.46)
		e 脳室ドレナージ術	脳・神経機能障害／感覚機能障害 3章1節4項 水頭症患者 (p.112-115)
		f 脳室-腹腔(V-P)シャント術	脳・神経機能障害／感覚機能障害 2章4節2項 水頭症の種類 (p.62)
		g 低体温療法	脳・神経機能障害／感覚機能障害 2章3節3項 頭部外傷の種類と検査・治療 (p.59)
	D 病期や機能障害に応じた看護	a 脳血管障害(大脳、小脳)	脳・神経機能障害／感覚機能障害 3章1節1項 脳血管障害患者 (p.102-106), 10項 小脳疾患患者 (p.129-131)／4章2節 くも膜下出血患者の看護【事例】(p.203-208) リハビリテーション看護 9章 地域におけるリハビリテーション: 脳血管疾患患者のケアの連携事例 (p.267-283)
		b 脳腫瘍(大脳、小脳)	脳・神経機能障害／感覚機能障害 3章1節2項 脳腫瘍患者 (p.106-110), 10項 小脳疾患患者 (p.129-131) 周術期看護 13章1節3項 脳腫瘍の手術を受ける人の看護 (p.211-214)
		c 感染症(脳炎、髄膜炎)	脳・神経機能障害／感覚機能障害 2章5節2項 中枢神経系感染症の種類と検査・治療 (p.65-66)

必  
修  
問  
題人  
体  
の  
構  
造  
と  
機  
能疾  
病  
の  
成  
り  
立  
ち  
と  
回  
復  
の  
促  
進健  
康  
支  
援  
と  
社  
会  
保  
障  
制  
度基  
礎  
看  
護  
学成  
人  
看  
護  
学老  
年  
看  
護  
学小  
児  
看  
護  
学母  
性  
看  
護  
学精  
神  
看  
護  
学在  
宅  
看  
護  
論看  
護  
の  
統  
合  
と  
実  
践

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
17 脳・神経機能障害のある患者の看護	D 病期や機能障害に応じた看護	d 頭部外傷	脳・神経機能障害／感覚機能障害 3章1節3項 頭部外傷患者 (p.110-112)／4章3節 頭部外傷患者の看護【事例】 (p.209-213)
		e 脊髄損傷	脳・神経機能障害／感覚機能障害 3章1節6項 脊椎・脊髄疾患患者 (p.118-120) 運動機能障害 6章2節2項 脊椎の運動機能障害がある患者の看護 (p.92-95) 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 11章3節3項 その他の疾患による性行動・性生活への影響と看護 (p.260-265) 健康危機状況／セルフケアの再獲得 6章5節 職業生活とセクシュアリティに関わるセルフケアの再獲得 脊髄を損傷した人の看護 (p.296-307) リハビリテーション看護 8章4節 脊髄損傷患者の看護 (p.235-240)
		f 重症筋無力症	脳・神経機能障害／感覚機能障害 2章8節2項 免疫性神経疾患と検査・治療 (p.77-79)
		g Guillain-Barré〈ギラン・バレー〉症候群	脳・神経機能障害／感覚機能障害 2章12節3項 ギラン・バレー症候群 (p.96)
		h 筋萎縮性側索硬化症〈ALS〉	脳・神経機能障害／感覚機能障害 3章1節7項 神経変性疾患患者 (p.120-123) セルフマネジメント 14章3節 筋萎縮性側索硬化症のクライアントのセルフマネジメント事例 (p.221-226) リハビリテーション看護 8章6節 筋萎縮性側索硬化症 (ALS)患者の看護 (p.248-257)
		18 感覚機能障害のある患者の看護	A 原因と障害の程度のアセスメントと看護
b 聴覚障害	脳・神経機能障害／感覚機能障害 5章2節2項 聴覚・平衡覚障害の症状と心身・日常生活への影響 (p.230-232), 3項 聴覚・平衡覚の検査と観察・アセスメント (p.232-235)		
c 嗅覚障害	脳・神経機能障害／感覚機能障害 5章3節2項 嗅覚・味覚障害の症状 (p.241), 3項 嗅覚・味覚の検査 (p.242-243)		
d 味覚障害	脳・神経機能障害／感覚機能障害 5章3節2項 嗅覚・味覚障害の症状 (p.241), 3項 嗅覚・味覚の検査 (p.242-243)		
e 触覚障害	脳・神経機能障害／感覚機能障害 5章4節2項 皮膚 (体性感覚)の機能障害の症状 (p.248-249), 3項 皮膚 (体性感覚)機能の検査と観察・アセスメント (p.249-253)		
f 生命・生活への影響	脳・神経機能障害／感覚機能障害 5章1節2項 視覚障害の症状と心身・日常生活への影響 (p.216-218), 2節2項 聴覚・平衡覚障害の症状と心身・日常生活への影響 (p.230-232)		
B 検査・処置を受ける患者への看護	a 眼底検査		ヘルスアセスメント 3章6節2項 眼の問診および視診, 触診 (p.86)
	b 聴力検査		脳・神経機能障害／感覚機能障害 5章2節3項 聴覚・平衡覚の検査と観察・アセスメント (p.232-235)
	c 経鼻内視鏡検査		脳・神経機能障害／感覚機能障害 5章3節3項 嗅覚・味覚の検査 (p.242-243)
	d 味覚検査		脳・神経機能障害／感覚機能障害 5章3節3項 嗅覚・味覚の検査 (p.242-243)
C 治療を受ける患者への看護	a 眼底光凝固療法		脳・神経機能障害／感覚機能障害 5章1節4項 視覚障害を起こす主な疾患 (p.222-227)
	b 網膜剥離治療		脳・神経機能障害／感覚機能障害 5章1節4項 視覚障害を起こす主な疾患 (p.222-227)
	c 眼内レンズ挿入術		脳・神経機能障害／感覚機能障害 5章1節4項 視覚障害を起こす主な疾患 (p.222-227) 周術期看護 14章1節2項 白内障の治療方法 (p.222-223)
	d 鼓室形成術		脳・神経機能障害／感覚機能障害 5章2節4項 聴覚・平衡覚障害を起こす主な疾患 (p.236)
	e 小線源治療		周術期看護 14章2節3項 舌癌の手術を受ける人の看護 (p.227)

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
18 感覚機能障害のある患者の看護	D 病期や機能障害に応じた看護	a 中途視覚障害者	脳・神経機能障害／感覚機能障害 5章1節5項 視覚障害患者の看護 (p.227-229) 健康危機状況／セルフケアの再獲得 6章6節 地域生活や余暇生活に関わるセルフケアの再獲得 中途視覚障害のコミュニケーションに対する支援 (p.308-316)
		b 突発性難聴	脳・神経機能障害／感覚機能障害 5章2節4項 聴覚・平衡覚障害を起こす主な疾患 (p.236), 5項 聴覚・平衡覚障害患者の看護 (p.236-239)
		c Ménière (メニエール) 病	脳・神経機能障害／感覚機能障害 5章2節4項 聴覚・平衡覚障害を起こす主な疾患 (p.236), 5項 聴覚・平衡覚障害患者の看護 (p.236-239)
		d 副鼻腔炎	脳・神経機能障害／感覚機能障害 5章3節4項 嗅覚・味覚障害を起こす主な疾患 (p.243)
		e 末梢神経障害	脳・神経機能障害／感覚機能障害 3章1節11項 末梢神経障害患者 (p.132-133)
19 運動機能障害のある患者の看護	A 原因と障害の程度のアセスメントと看護	a 姿勢機能障害	運動機能障害 6章 骨格系・脊椎・関節・筋肉等の運動機能障害がある患者への看護 (p.84-114)／8章2節1項 基本的動作と日常生活活動の障害 (p.152-156)
		b 移動機能障害	運動機能障害 6章 骨格系・脊椎・関節・筋肉等の運動機能障害がある患者への看護 (p.84-114)
		c 作業機能障害	運動機能障害 6章 骨格系・脊椎・関節・筋肉等の運動機能障害がある患者への看護 (p.84-114)／8章2節 日常生活活動の障害に関わる看護 (p.152-158)
		d 生命・生活への影響	運動機能障害 1章1節 骨の構造・機能と障害 (p.18-20)／2章1節 脊椎の構造・機能と障害 (p.32-34)／3章1節 関節の構造・機能と障害 (p.44-47)／4章1節 筋肉等の構造・機能と障害 (p.58-63)／8章2節1項 基本的動作と日常生活活動の障害 (p.152-156)
	B 検査・処置を受ける患者への看護	a 関節可動域 (ROM) 検査、徒手筋力テスト (MMT)	運動機能障害 6章3節1項 関節のアセスメント (p.97-108), 4節1項 筋肉のアセスメント (p.110-111)
		b 脊髄造影、椎間板造影	運動機能障害 2章3節1項 検査とその際の留意点 (p.38-40)／7章7節4項 脊髄造影 (ミエログラフィ) (p.134-135)
		c 膝関節鏡	運動機能障害 3章3節1項 検査とその際の留意点 (p.52-53)／7章7節2項 関節穿刺 (p.134)
		d 筋生検	運動機能障害 4章3節 筋肉の腫瘍・変性や神経の検査 (p.66)／7章7節5項 核医学検査 (p.135-136)
	C 治療を受ける患者への看護	a ギプス固定	運動機能障害 6章1節2項 骨格系の運動機能障害の看護 (p.86-89)／7章8節3項 ギプス、シーネによる固定術 (p.137-139)
		b 牽引法	運動機能障害 6章1節2項 骨格系の運動機能障害の看護 (p.86-89), 2節2項 脊椎の運動機能障害がある患者の看護 (p.92-95)／7章8節4項 牽引療法 (p.139-140)
		c 人工関節置換術	運動機能障害 3章4節2項 関節の手術療法 (p.54-55)／9章3節 変形性股関節置換術【事例】 (p.181-184)
	D 病期や機能障害に応じた看護	a 関節リウマチ	運動機能障害 9章2節 関節リウマチ【事例】 (p.174-181) 造血機能障害／免疫機能障害 4章2節2項 関節リウマチ患者の看護【事例】 (p.163-170) 健康危機状況／セルフケアの再獲得 6章4節 家庭生活の役割遂行に関わるセルフケアの再獲得 関節リウマチをもつ人の看護 (p.285-295) リハビリテーション看護 8章7節 関節リウマチ患者の看護 (p.258-265)
		b 椎間板ヘルニア	運動機能障害 9章1節 腰椎椎間板ヘルニア【事例】 (p.170-174)
		c 四肢切断後	運動機能障害 5章3節 事故による運動機能障害とその疾患および治療 (p.74-75) リハビリテーション看護 8章3節 下肢切断患者の看護 (p.228-234)

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践



大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
20 排尿機能障害のある患者の看護	A 原因と障害の程度のアセスメントと看護	a 蓄尿・排尿障害	内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 4章1節1項 尿路の機能障害とはどのような状態か (p.90)／8章 尿路の機能障害のある患者の看護 (p.150-176) 脳・神経機能障害／感覚機能障害 3章2節11項 排尿障害 (p.184-188)
		b 生命・生活への影響	内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 8章2節2項 心身・日常生活への影響と看護 (p.156-159) リハビリテーション看護 5章5節3項 日常生活への影響 (p.122)
	B 検査・処置を受ける患者への看護	a 尿流動態検査	内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 8章1節2項 臨床検査と看護 (p.151-153) リハビリテーション看護 5章5節2項 排泄障害のアセスメント (p.118-122)
		b 残尿測定	脳・神経機能障害／感覚機能障害 3章2節11項 排尿障害 (p.186) リハビリテーション看護 5章5節2項 排泄障害のアセスメント (p.118-122)
		c 膀胱鏡	内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 8章1節2項 臨床検査と看護 (p.151-153)
	C 治療を受ける患者への看護	a 膀胱切除術	周術期看護 12章1節3項 膀胱癌の手術を受ける人の看護 (p.202-204)
		b 前立腺切除術	内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 8章3節4項 前立腺肥大症のために経尿道的前立腺切除術を受けた患者の看護 (p.172-176) 周術期看護 17章1節3項 前立腺癌の手術を受ける人の看護 (p.254-256)
		c ホルモン療法	内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 6章 内分泌機能障害のある患者の看護 (p.122-125)
	D 病期や機能障害に応じた看護	a 腎・尿路結石	内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 4章1節2項 尿路の機能障害の主な原因・疾患と治療 (p.92-93) 疾病と治療 6章8節 尿路結石 (p.183-185)
		b 腫瘍(腎癌、膀胱癌)	疾病と治療 6章4節 腎癌(腎細胞癌) (p.172-175), 5節 膀胱癌 (p.175-177)
		c 前立腺肥大	疾病と治療 6章6節 前立腺肥大症 (BPH) (p.178-180)
	21 性・生殖・乳腺機能障害のある患者の看護	A 原因と障害の程度のアセスメントと看護	a 性・生殖機能障害
b ホルモン欠落症状			内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 10章1節 性ホルモンの障害 (p.186-199)
B 検査・処置を受ける患者への看護		a ヒトパピローウイルス(HPV)検査	疾病と治療 8章1節3項 子宮頸癌—ナーシングチェックポイント (p.211)
		b 腹部超音波、経腔超音波検査	内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 10章2節 女性生殖器の疾患と性・生殖機能障害 (p.200-210)
		c 乳房超音波検査	内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 10章6節2項 乳腺の主な疾患 (p.222-228)
		d マンモグラフィー	内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 10章6節2項 乳腺の主な疾患 (p.222-228)
C 治療を受ける患者への看護		a 勃起障害治療	内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 10章7節1項 性行動・性生活の障害 (p.228-232)／11章3節1項 ED患者への働きかけと支援 (p.257-258), 4節5項 勃起障害患者に対する薬物療法時の援助 (p.278-280)
		b 性交障害治療	内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 10章7節1項 性行動・性生活の障害 (p.228-232)
		c 乳癌手術	内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 10章6節2項 乳腺の主な疾患 (p.222-228)／11章4節3項 乳房切除術後の患者の看護 (p.271-273) 周術期看護 17章4節3項 乳癌の手術を受ける人の看護 (p.268-270)

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
21 性・生殖・乳腺機能障害のある患者の看護	C 治療を受ける患者への看護	d 女性生殖器手術	内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 10章2節2項 女性生殖器の障害を引き起こす主な疾患 (p.200-210)／11章4節2項 卵巣摘出術後の患者の看護 (p.269-271) 周術期看護 17章2節3項 子宮頸部上皮内癌の手術を受ける人の看護 (p.259-260), 3節3項 子宮体癌の手術を受ける人の看護 (p.263-264)
		e 男性生殖器手術	内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 11章4節1項 前立腺摘出術後の患者の看護 (p.266-269)
		f ホルモン療法	内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 10章6節2項 乳腺の主な疾患 (p.222-228)
	D 病期や機能障害に応じた看護	a 女性生殖器の疾患 (子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣嚢腫)	内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 10章2節2項 女性生殖器の障害を引き起こす主な疾患 (p.200-210)
		b 男性生殖器の疾患 (前立腺炎、前立腺肥大)	内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 8章2節1項 尿路の機能障害の治療と看護 (p.154-156)／10章3節2項 男性生殖器の障害を引き起こす主な疾患 (p.212-214)
		c 腫瘍 (乳癌、子宮体癌、子宮頸癌、卵巣癌、前立腺癌)	内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 10章2節2項 女性生殖器の障害を引き起こす主な疾患 (p.200-210), 6節2項 乳腺の主な疾患 (p.222-228)
		d 生殖機能障害 (月経異常、更年期障害)	内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 11章1節 性ホルモンの障害の治療と看護 (p.236-246)

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践

## 目標 I 加齢に伴う高齢者の生活と健康状態の変化について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
1 高齢者の理解の基本となる概念	A 老年期と発達・変化	a ライフサイクルからみた高齢者	高齢者の健康と障害 1章1節1項 ライフサイクルからみた高齢者の理解 (p.12)
		b 加齢と老化	高齢者の健康と障害 1章1節2項 加齢と老化 (p.12) 病態生理学 1章6節2項 細胞の傷害・適応の分類 (p.62-70)
		c 発達課題	高齢者の健康と障害 1章2節1項 老年期の特徴 (p.23-24)
	B 高齢者の生活の質の保障	a ノーマライゼーション	高齢者の健康と障害 1章4節2項 高齢者のQOLに影響を与えるもの (p.36-37)
		b 自立支援	高齢者の健康と障害 2章3節8項 日常生活自立支援事業 (p.91-92) / 4章2節3項 高齢者看護に適用する理論・概念 (p.152-159)
		c 多様な価値観	高齢者の健康と障害 4章2節3項 高齢者看護に適用する理論・概念 (p.152-159)
	C 加齢への適応	a 喪失体験と獲得体験	高齢者の健康と障害 1章2節1項 老年期の特徴 (p.23-24)
		b サクセスフルエイジング	高齢者の健康と障害 1章3節3項 高齢者の健康の目標 (p.27-28)
		c リハビリテーションの意味	高齢者看護の実践 3章3節 リハビリテーション (p.259-265) リハビリテーション看護 1章1節3項 リハビリテーションの目的 (p.13)
		d 終末期のとらえ方	高齢者の健康と障害 4章3節4項 高齢者の死と医療・ケア (p.168-176) 高齢者看護の実践 4章1節 終末期看護の実践 (p.286-287)
		e スピリチュアリティ	高齢者の健康と障害 1章4節2項 高齢者のQOLに影響を与えるもの (p.36-37)
	D 高齢者のいる家族の変化	a 家族構成とニーズの変化	高齢者の健康と障害 2章1節1項 高齢者と家族のライフサイクル (p.62), 3項 高齢者と家族の関係 (p.65-68)
		b 高齢者のいる家族の発達課題	高齢者の健康と障害 2章1節4項 要介護高齢者と家族介護者 (p.68-77)
		c 家族の機能の変化	高齢者の健康と障害 2章1節3項 高齢者と家族の関係 (p.65-68)
	2 高齢者の生活	A 高齢者の機能と評価	a 国際生活機能分類 (ICF)
b 高齢者総合機能評価 (CGA)			高齢者の健康と障害 4章4節2項 包括的な機能のアセスメント (p.181-190)
c 日常生活動作 (ADL)			高齢者の健康と障害 4章4節2項 包括的な機能のアセスメント (p.181-190)
d 手段的日常生活動作 (IADL)			高齢者の健康と障害 4章4節2項 包括的な機能のアセスメント (p.181-190) 運動機能障害 7章6節2項 日常生活の援助 (p.131-132)
e 障害高齢者の日常生活自立度 (寝たきり度) 判定基準			高齢者の健康と障害 4章4節2項 包括的な機能のアセスメント (p.181-190)
f 認知症高齢者の日常生活自立度 (寝たきり度) 判定基準			高齢者看護の実践 2章1節3項 認知機能の評価方法 (p.213-216)

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所	
2 高齢者の生活	A 高齢者の機能と評価	g 要介護・要支援の認定と区分	高齢者の健康と障害 2章3節4項 介護保険制度 (p.82-86)	
		h 心理・情緒機能	高齢者の健康と障害 1章5節2項 心理・精神機能の変化 (p.49-55)	
	B 高齢者の生活に関連する保健医療福祉制度	a 医療保険制度	医療関係法規 14章3節 高齢者医療確保法 (p.276-279) 高齢者の健康と障害 2章3節2項 医療保険制度 (p.81)	
		b 介護保険制度	医療関係法規 10章2節 介護保険法 (p.172-191) 高齢者の健康と障害 2章3節4項 介護保険制度 (p.82-86)	
		c 高齢者の人権に関する制度	医療関係法規 10章3節 任意後見契約に関する法律 (p.191-192), 5節 高齢者虐待防止法 (p.196-198) 高齢者の健康と障害 1章4節2項 高齢者のQOLに影響を与えるもの (p.36-37) 高齢者看護の実践 2章1節8項 認知症高齢者の人権と権利擁護 (p.228-229)	
	C その人らしい生活の継続	a 時代背景に関連する人生と経験の多様性、生活史	高齢者の健康と障害 1章2節2項 高齢者の理解 (p.24-25)	
		b 生活習慣、生活様式	高齢者の健康と障害 1章2節2項 高齢者の理解 (p.24-25)	
		c 生活リズム	高齢者の健康と障害 3章4節3項 在宅療養を支える看護活動 (p.133-138)	
		d 治療・介護の必要度と生活の場	高齢者の健康と障害 2章2節2項 病気の治療と介護に伴う生活の場 (p.78)	
		e 多様な生活の場とリロケーション	高齢者の健康と障害 2章2節1項 ライフサイクルに応じた生活の場 (p.77-78)	
	3 高齢者の健康	A 高齢者の健康と疾病	a 高齢者の健康の特徴	高齢者の健康と障害 1章3節2項 老年期の健康とは (p.26-27)
			b 生理的老化と病的老化	高齢者の健康と障害 1章1節2項 加齢と老化 (p.12-13)
			c 高齢者の疾病の特徴	高齢者の健康と障害 4章1節2項 高齢者の特性からみた高齢者看護 (p.141-147)
B 加齢に伴う身体機能の変化		a 神経系	高齢者の健康と障害 1章5節1項 身体機能の生理的变化 (p.45-48)	
		b 運動器系	高齢者の健康と障害 1章5節1項 身体機能の生理的变化 (p.47) 運動機能障害 5章5節 加齢による運動機能障害とその疾患・治療 (p.77-78) / 7章5節1項 運動機能障害のアセスメント (p.126-129)	
		c 感覚器系	高齢者の健康と障害 1章5節1項 身体機能の生理的变化 (p.45-46)	
		d 循環器系	高齢者の健康と障害 1章5節1項 身体機能の生理的变化 (p.43-44)	
		e 血液・造血器系	高齢者の健康と障害 1章5節1項 身体機能の生理的变化 (p.48-49)	
		f 免疫系	高齢者の健康と障害 1章5節1項 身体機能の生理的变化 (p.48-49)	
		g 呼吸器系	高齢者の健康と障害 1章5節1項 身体機能の生理的变化 (p.44)	
		h 消化器系	高齢者の健康と障害 1章5節1項 身体機能の生理的变化 (p.44-45)	
		i 代謝系	高齢者の健康と障害 1章5節1項 身体機能の生理的变化 (p.48)	
		j 泌尿器	高齢者の健康と障害 1章5節1項 身体機能の生理的变化 (p.45)	
		k 内分泌	高齢者の健康と障害 1章5節1項 身体機能の生理的变化 (p.48)	
l 生殖器系		高齢者の健康と障害 6章3節2項 高齢者の性に関する機能の加齢変化 (p.256)		
C 加齢に伴う認知機能の変化		a 知能	高齢者の健康と障害 1章5節2項 心理・精神機能の変化 (p.51-53)	
		b 記憶力、判断力、計算力、遂行力	高齢者の健康と障害 1章5節2項 心理・精神機能の変化 (p.49-53)	

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
3 高齢者の健康	D 加齢に伴う心理・社会的変化	a 役割と社会活動の変化	高齢者の健康と障害 1章5節3項 社会的機能の変化 (p.55-60)
		b 余暇活動と生きがい	高齢者の健康と障害 6章6節2項 高齢者と社会参加 (p.283-285) / 1章4節1項 高齢者にとってのQOL (p.34-35), 5節3項 社会的機能の変化 (p.55-58)
		c 住宅環境	高齢者の健康と障害 6章4節1項 自宅における住環境 (p.260-267)
		d 就労、雇用	高齢者の健康と障害 1章5節3項 社会的機能の変化 (p.55-58)
		e 収入、生計	高齢者の健康と障害 6章5節1項 経済状態のアセスメント (p.277)
4 老年看護の基本	A 老年看護の変遷	a 高齢者に関する保健医療福祉の変遷	高齢者の健康と障害 2章5節2項 療養の場の移行期における支援 (p.104)
		b 概念(エンパワメント、ストレングスモデル、ライフレビュー、コンフォート理論)の活用	高齢者の健康と障害 4章2節3項 高齢者看護に適用する理論・概念 (p.152)
	B 老年看護の倫理	a 高齢者差別の防止	高齢者の健康と障害 1章4節2項 高齢者のQOLに影響を与えるもの (p.36-37), 5節2項 心理・精神機能の変化 (p.49-55) / 4章2節2項 心理社会面に関する理論 (p.149-152)
		b 高齢者虐待の防止	高齢者の健康と障害 4章3節2項 高齢者虐待と身体拘束 (p.162-166)
		c 安全確保と身体拘束	高齢者の健康と障害 4章3節2項 高齢者虐待と身体拘束 (p.162-166) 高齢者看護の実践 3章7節2項 行動制限が必要な場合 (p.280-282), 3項 認知症高齢者の行動制限 (p.282-283)
		d 高齢者の権利擁護〈アドボカシー〉	高齢者の健康と障害 4章2節3項 高齢者看護に適用する理論・概念 (p.152-159)
		e 認知症高齢者の権利擁護〈アドボカシー〉	高齢者看護の実践 2章1節8項 認知症高齢者の人権と権利擁護 (p.228-229)
		f 高齢者の意思決定への支援	高齢者の健康と障害 4章3節1項 高齢者の自己決定 (p.160)
		g 終末期における生き方や死の迎え方の意向	高齢者の健康と障害 4章3節3項 高齢者の自己決定を尊重するために (p.166-168), 4項 高齢者の死と医療・ケア (p.168-176)
	C 老年看護の特徴	a 安全・安楽な生活の援助	高齢者の健康と障害 4章1節2項 高齢者の特性からみた高齢者看護 (p.142-145)
		b 健康の保持増進と廃用症候群の予防	高齢者の健康と障害 1章3節5項 高齢者の自立を妨げる要因 (p.30-32) / 4章1節2項 高齢者の特性からみた高齢者看護 (p.142-143, 145) 高齢者看護の実践 1章5節2項 廃用症候群 (p.123-127)
		c 疾患の治癒・回復の特徴に応じた援助	高齢者の健康と障害 4章1節2項 高齢者の特性からみた高齢者看護 (p.143-145)
		d 個別の日常生活能力、目標に合わせた援助	高齢者の健康と障害 4章1節2項 高齢者の特性からみた高齢者看護 (p.141-142)
		e 人生の統合をはかる支援	高齢者の健康と障害 1章2節1項 老年期の特徴 (p.23-24) / 4章1節2項 高齢者の特性からみた高齢者看護 (p.145-147)
		f 家族との協働	高齢者の健康と障害 4章1節1項 看護する者の態度 (p.140-141)
		g 安全管理〈セーフティマネジメント〉	高齢者の健康と障害 4章1節2項 高齢者の特性からみた高齢者看護 (p.142, 145), 8節 高齢者のリスクマネジメント (p.221-226)
		h チームアプローチ(多職種連携)	高齢者の健康と障害 4章7節 高齢者看護におけるチームアプローチ (p.214-220)
		i 地域包括ケアシステム	高齢者の健康と障害 2章5節1項 地域包括ケアシステムとは (p.102-104)

目標Ⅱ

さまざまな健康状態にある高齢者と家族の生活および健康を支える看護についての基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
5 高齢者の生活を支える看護	A コミュニケーション	a コミュニケーション能力	高齢者の健康と障害 6章1節 コミュニケーション (p.246-252)
		b コミュニケーションを促す要素と阻害要因	高齢者の健康と障害 6章1節 コミュニケーション (p.246-252)
		c 高齢者とのコミュニケーションの方法	高齢者の健康と障害 1章5節2項 心理・精神機能の変化 (p.49-55)
	B 寛ぎ、安心、安全	a 寛ぎ・安心・安全	高齢者看護の実践 1章4節1項 活動と休息 (p.83-91)
		b 寛ぎ・安心・安全の確保のための援助	高齢者看護の実践 1章4節1項 活動と休息 (p.83-91)
	C 歩行、移動、姿勢保持	a 歩行・移動動作・姿勢保持	高齢者看護の実践 1章5節1項 歩行・移動 (p.116-123) 高齢者の健康と障害 5章3節 転倒予防 (p.235-238) ヘルスアセスメント 4章3節5項 高齢者への健康歴聴取時のポイント (p.230-232), 6項 高齢者を対象としたフィジカルアセスメント (p.232-238)
		b 歩行・移動動作・姿勢保持のための援助	高齢者看護の実践 1章5節1項 歩行・移動 (p.116-123) 高齢者の健康と障害 5章3節 転倒予防 (p.235-238)
		c 転倒・転落の発生の要因	高齢者の健康と障害 5章3節 転倒予防 (p.235-238) 高齢者看護の実践 1章5節1項 歩行・移動 (p.116-123) 運動機能障害 8章3節1項 転倒の要因 (p.159-162) 基礎看護技術 7章2節2項 転倒・転落の予防策 (p.143-144)
		d 転倒・転落の防止	高齢者の健康と障害 5章3節 転倒予防 (p.235-238), 5節2項 転倒予防プログラムに参加した高齢者の事例 (p.241-243) 高齢者看護の実践 1章5節1項 歩行・移動 (p.116-123)
		e 転倒の影響	高齢者の健康と障害 5章3節 転倒予防 (p.235-238) 高齢者看護の実践 1章5節1項 歩行・移動 (p.116-123)
	D 食生活	a 食生活の状況	高齢者の健康と障害 6章2節 食生活 (p.252-255) 高齢者看護の実践 1章1節1項 食事 (p.12-19) 臨床栄養学 3章3節6項 高齢期 (p.126-133)
		b 嚥下能力・嗜好性・環境に応じた食生活の援助	高齢者の健康と障害 6章2節3項 嗜好 (p.253-254) 高齢者看護の実践 1章1節3項 摂食嚥下障害 (p.23-30), 4項 低栄養 (p.31-36) 臨床栄養学 3章3節6項 高齢期 (p.126-133)
	E 排泄	a 排泄の状況	高齢者看護の実践 1章2節1項 排泄 (p.37-44)
		b 排泄能力の変化に応じた援助	高齢者看護の実践 1章2節1項 排泄 (p.37-44)
	F 清潔、身だしなみ、衣生活	a 清潔・身だしなみの行為	高齢者看護の実践 1章3節1項 清潔・衣生活 (p.57-68)
		b 更衣動作	高齢者看護の実践 1章3節1項 清潔・衣生活 (p.57-68)
		c 入浴行動に伴う危険性、負担に応じた清潔・衣生活の援助	高齢者看護の実践 1章3節1項 清潔・衣生活 (p.57-69)
	G 活動と休息	a 活動と休息	高齢者看護の実践 1章4節1項 活動と休息 (p.83-91)
		b 生活リズムの調整	高齢者看護の実践 1章4節1項 活動と休息 (p.83-91)
	H 性(セクシュアリティ)	a 性(セクシュアリティ)	高齢者の健康と障害 6章3節1項 高齢者にとっての「性」(p.255-256)
		b 性(セクシュアリティ)への援助	高齢者の健康と障害 6章3節5項 「高齢者の性」への対応 (p.259-260)
I 社会参加	a 社会参加の状況	高齢者の健康と障害 6章6節2項 高齢者と社会参加 (p.283-285)	

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
5 高齢者の生活を支える看護	I 社会参加	b 生きがいを持てる身近な場所への参加の援助	高齢者の健康と障害 6章6節2項 高齢者と社会参加 (p.283-285), 3項 地域における高齢者の社会参加 (p.285-288)
6 さまざまな健康状態や受療状況に応じた高齢者の看護	A 健康の維持と介護予防	a 健康の維持・増進の状況	高齢者の健康と障害 5章1節1項 高齢者の健康増進を支える法律・制度・組織 (p.228)
		b 受療状況	高齢者の健康と障害 1章1節4項 健康指標からみた高齢者の理解 (p.15-21)
		c 介護予防の促進と評価	高齢者の健康と障害 5章1節2項 介護予防 (p.228-231)
		d フレイル	高齢者の健康と障害 1章3節5項 高齢者の自立を妨げる要因 (p.30-33)
	B 急性期の高齢者への看護	a 急性期の高齢者の特徴	高齢者看護の実践 5章4節5項 看護の実践と評価 (p.325-326)
		b 手術療法を受ける高齢者の援助	高齢者看護の実践 3章2節 手術療法 (p.247-259) / 5章3節 周術期看護実習 (p.308-319), 4節 急性期看護実習 (p.319-328)
		c 手術療法以外の急性期の高齢者の援助	高齢者看護の実践 3章1節2項 薬物療法による有害反応 (p.243-244)
	C 慢性期の高齢者への看護	a 慢性期の高齢者の特徴	高齢者看護の実践 5章2節 慢性期看護実習 (p.300-308)
		b 慢性期の高齢者の援助	高齢者看護の実践 5章2節6項 看護目標と看護計画 (p.304-307)
	D 回復期の高齢者への看護	a 回復期の高齢者の特徴	高齢者看護の実践 3章3節4項 経過別リハビリテーションの特徴 (p.262-263)
		b 生活機能の維持と向上	高齢者看護の実践 3章3節4項 経過別リハビリテーションの特徴 (p.262-263)
		c リハビリテーションを受ける高齢者の援助	高齢者看護の実践 3章3節4項 経過別リハビリテーションの特徴 (p.262-263)
	E エンド・オブ・ライフ・ケア (end-of-life care)	a 身体徴候のアセスメントと援助	高齢者の健康と障害 4章3節4項 高齢者の死と医療・ケア (p.168-176) 高齢者看護の実践 4章1節1項 身体的アセスメントと看護 (p.286-287)
		b 苦痛の緩和と安楽への援助	高齢者看護の実践 4章1節1項 身体的アセスメントと看護 (p.286-287) 地域療養を支えるケア 6章10節 ターミナル期の援助 (p.236-240)
		c 精神的苦痛や混乱に対する援助	高齢者看護の実践 4章1節2項 精神的苦痛や不安・混乱に対する看護 (p.287)
		d 臨死期の評価と援助	高齢者看護の実践 4章1節1項 身体的アセスメントと看護 (p.286-287) 高齢者の健康と障害 4章3節4項 高齢者の死と医療・ケア (p.168-176)
		e 家族の参加と家族への援助	高齢者の健康と障害 4章3節4項 高齢者の死と医療・ケア (p.168-176) 地域療養を支えるケア 6章10節 ターミナル期の援助 (p.236-240)
		f グリーフケア	高齢者看護の実践 4章3節1項 家族の心理と看護 (p.291-292), 2項 看取りを終えた家族へのグリーフケア (p.292)
	F 外来を受診する高齢者の看護	a 外来受診時の高齢者の特徴	高齢者看護の実践 3章4節1項 高齢者の診察 (p.266-267)
		b 診察時の援助	高齢者看護の実践 3章4節1項 高齢者の診察 (p.266-267)
		c 疾患・治療の理解と治療継続への援助	高齢者看護の実践 3章4節1項 高齢者の診察 (p.266-267)
	G 検査を受ける高齢者の看護	a 安全・安楽な検査の実施	高齢者看護の実践 3章4節2項 高齢者の検査 (p.267-269)

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
6 さまざまな健康状態や受療状況に応じた高齢者の看護	G 検査を受ける高齢者の看護	b 加齢による検査結果への影響	高齢者看護の実践 3章4節2項 高齢者の検査 (p.267-269)
	H 薬物治療を受ける高齢者の看護	a 加齢に伴う薬物動態の変化	高齢者看護の実践 3章1節1項 加齢による生理学的変化(薬物動態, 薬力学) (p.242-243)
b 服薬管理とリスクマネジメント		高齢者看護の実践 3章1節2項 薬物療法による有害反応 (p.243-244), 3項 服薬行動・服薬管理 (p.244-247)	
7 高齢者に特有な症候・疾患・障害と看護	A 廃用症候群	a 加齢による病態と要因	高齢者看護の実践 1章5節2項 廃用症候群 (p.123-125)
		b アセスメント	高齢者看護の実践 1章5節2項 廃用症候群 (p.125-127)
		c 予防と援助	高齢者看護の実践 1章5節2項 廃用症候群 (p.127)
	B 脱水症	a 加齢による病態と要因	高齢者看護の実践 1章1節2項 脱水 (p.19-20)
		b アセスメント	高齢者看護の実践 1章1節2項 脱水 (p.20-22)
		c 予防と援助	高齢者看護の実践 1章1節2項 脱水 (p.22-23) 臨床栄養学 3章3節6項 高齢期 (p.126-133)
	C 摂食・嚥下障害	a 加齢による病態と要因	高齢者看護の実践 1章1節3項 摂食嚥下障害 (p.23-26)
		b アセスメント	高齢者看護の実践 1章1節3項 摂食嚥下障害 (p.26-28)
		c 予防と援助	高齢者看護の実践 1章1節3項 摂食嚥下障害 (p.28-30) 臨床栄養学 3章3節6項 高齢期 (p.126-133)
	D 低栄養	a 加齢による病態と要因	高齢者看護の実践 1章1節4項 低栄養 (p.31-33) 臨床栄養学 3章3節6項 高齢期 (p.126-133)
		b アセスメント	高齢者看護の実践 1章1節4項 低栄養 (p.33-34)
		c 予防と援助	高齢者看護の実践 1章1節4項 低栄養 (p.34-36)
	E 尿失禁	a 加齢による病態と要因	高齢者看護の実践 1章2節2項 尿失禁 (p.44)
		b アセスメント	高齢者看護の実践 1章2節2項 尿失禁 (p.44-47)
		c 予防と援助	高齢者看護の実践 1章2節2項 尿失禁 (p.47-50)
	F 便秘・下痢	a 加齢による病態と要因	高齢者看護の実践 1章2節3項 便秘・下痢 (p.50-51)
		b アセスメント	高齢者看護の実践 1章2節3項 便秘・下痢 (p.51-52)
		c 予防と援助	高齢者看護の実践 1章2節3項 便秘・下痢 (p.52-55)
	G 睡眠障害	a 加齢による病態と要因	高齢者看護の実践 1章4節6項 睡眠 (p.101-105), 7項 睡眠障害 (p.108)
		b アセスメント	高齢者看護の実践 1章4節7項 睡眠障害 (p.109-110)
		c 予防と援助	高齢者看護の実践 1章4節7項 睡眠障害 (p.111-115)
	H 視覚障害	a 加齢による病態と要因	高齢者看護の実践 1章4節2項 視覚・聴覚の障害 (p.91-93)
		b アセスメント	高齢者看護の実践 1章4節2項 視覚・聴覚の障害 (p.92-93) 高齢者の健康と障害 6章1節2項 高齢者の視覚機能 (p.247-248)
		c 予防と援助	高齢者看護の実践 1章4節2項 視覚・聴覚の障害 (p.92-95) 高齢者の健康と障害 6章1節2項 高齢者の視覚機能 (p.247-248)
I 聴覚障害	a 加齢による病態と要因	高齢者看護の実践 1章4節2項 視覚・聴覚の障害 (p.93)	
	b アセスメント	高齢者看護の実践 1章4節2項 視覚・聴覚の障害 (p.93) 高齢者の健康と障害 6章1節1項 高齢者の聴覚機能 (p.246)	
	c 予防と援助	高齢者看護の実践 1章4節2項 視覚・聴覚の障害 (p.93-95)	
J 皮膚の障害	a 加齢による病態と要因	高齢者看護の実践 1章3節2項 掻痒(かゆみ) (p.69-70), 5節5項 褥瘡 (p.138)	

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践



大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
7 高齢者に特有な症候・疾患・障害と看護	J 皮膚の障害	b アセスメント	高齢者看護の実践 1章3節2項 痒痒(かゆみ) (p.69), 5節5項 褥瘡 (p.141-143)
		c 予防と援助	高齢者看護の実践 1章3節2項 痒痒(かゆみ) (p.70-72), 5節5項 褥瘡 (p.138-140)
	K 認知症	a 加齢による病態と要因	高齢者看護の実践 2章1節1項 認知症の病態と要因 (p.202-204)
		b 環境と行動・心理症状	高齢者看護の実践 2章1節2項 認知症の症状の理解とケア (p.212-213)
		c 認知機能の評価	高齢者看護の実践 2章1節3項 認知機能の評価方法 (p.213-215)
		d 予防治療、療法的アプローチ	高齢者看護の実践 2章1節4項 認知症の予防と治療 (p.215-220), 6項 認知症の療法的アプローチ (p.222-225) 高齢者の健康と障害 5章4節 認知症予防 (p.238-239)
		e コミュニケーション方法、療養環境の調整	高齢者看護の実践 2章1節5項 認知症高齢者とのコミュニケーションの基本 (p.220-222)
		f 急性期一般病床での援助	周術期看護 6章7節1項 術後せん妄とは (p.104)
		g 家族への支援とサポートシステム	高齢者看護の実践 2章1節7項 認知症高齢者の家族への支援とサポートシステム (p.225-228)
	L せん妄	a 加齢による疾患の特徴と要因	高齢者看護の実践 2章3節1項 高齢者のせん妄 (p.236), 2項 せん妄を引き起こす要因とアセスメント (p.236-238)
		b 症状と生活への影響のアセスメント	高齢者看護の実践 2章3節2項 せん妄を引き起こす要因とアセスメント (p.236-238)
		c 予防、治療と援助	高齢者看護の実践 2章3節3項 せん妄の予防 (p.238), 4項 せん妄を発症した高齢者への援助 (p.239-240)
	M うつ病	a 加齢による疾患の特徴と要因	高齢者看護の実践 2章2節1項 高齢者のうつ病の背景と特徴 (p.230-231)
		b 症状と生活への影響のアセスメント	高齢者看護の実践 2章2節2項 高齢者のうつ病の看護のポイント (p.232-234) ヘルスアセスメント 4章3節5項 高齢者への健康歴聴取時のポイント (p.230-232)
		c 予防、治療と援助	高齢者看護の実践 2章2節2項 高齢者のうつ病の看護のポイント (p.232-234)
	N Parkinson〈パーキンソン〉症候群	a 加齢による疾患の特徴と要因	高齢者看護の実践 1章7節4項 パーキンソン病 (p.187-188)
		b 症状と生活への影響のアセスメント	高齢者看護の実践 1章7節4項 パーキンソン病 (p.187-190)
		c 予防、治療と援助	高齢者看護の実践 1章7節4項 パーキンソン病 (p.190-192)
	O 骨粗鬆症	a 加齢による疾患の特徴と要因	高齢者看護の実践 1章5節3項 骨粗鬆症 (p.128-129) 運動機能障害 5章5節2項 主な疾患 (p.77-78)/7章5節1項 運動機能障害のアセスメント (p.126-129)
		b 症状と生活への影響のアセスメント	高齢者看護の実践 1章5節3項 骨粗鬆症 (p.129-130) 運動機能障害 5章5節3項 治療・看護 (p.78-81)/7章5節1項 運動機能障害のアセスメント (p.126-129)
		c 予防、治療と援助	高齢者看護の実践 1章5節3項 骨粗鬆症 (p.130-131) 運動機能障害 5章5節3項 治療・看護 (p.78-81)
	P 骨折	a 加齢による疾患の特徴と要因	高齢者看護の実践 1章5節4項 骨折 (p.131-135) 運動機能障害 5章5節2項 主な疾患 (p.77-78)
		b 症状と生活への影響のアセスメント	高齢者看護の実践 1章5節4項 骨折 (p.135-136) 運動機能障害 5章5節3項 治療・看護 (p.78-81)
		c 予防、治療と援助	高齢者看護の実践 1章5節4項 骨折 (p.136-138)
Q 感染症	a 加齢による疾患の特徴と要因	高齢者看護の実践 1章3節4項 感染症 (p.76-78)	

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
7 高齢者に特有な症候・疾患・障害と看護	Q 感染症	b 症状と生活への影響のアセスメント	高齢者看護の実践 1章3節4項 感染症 (p.78-79)
		c 予防、治療と援助	高齢者看護の実践 1章3節4項 感染症 (p.78-81)
	R L~Q以外の高齢者に特有な疾患	a 加齢による疾患の特徴と要因	高齢者の健康と障害 4章6節1項 高齢者に起こりやすい疾患の特徴 (p.200-203)
		b 症状と生活への影響のアセスメント	高齢者看護の実践 1章3節3項 痛み・しびれ (p.73-74), 4節3項 肝機能障害 (p.95-96), 4項 めまい (p.97-98), 5項 低体温・熱中症 (p.99-100), 6節1項 肺炎 (p.146-147), 2項 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) (p.149-150), 3項 高血圧 (p.151-155), 4項 脳卒中 (p.156-159), 5項 不整脈 (p.163-165), 6項 心不全 (p.166-170), 7節1項 貧血 (p.176-178), 2項 浮腫 (p.179-182), 3項 電解質代謝異常 (p.182-187), 5項 がん (p.192-194)
		c 予防、治療と援助	高齢者看護の実践 1章3節3項 痛み・しびれ (p.74-76), 4節3項 肝機能障害 (p.96-97), 4項 めまい (p.98), 5項 低体温・熱中症 (p.99-100), 6節1項 肺炎 (p.147-148), 2項 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) (p.150-151), 3項 高血圧 (p.155-156), 4項 脳卒中 (p.160-163), 5項 不整脈 (p.165-166), 6項 心不全 (p.170-172), 7節1項 貧血 (p.178-179), 2項 浮腫 (p.182), 3項 電解質代謝異常 (p.184-187), 5項 がん (p.192-197)
8 治療・介護を必要とする高齢者の家族の看護	A 高齢者の家族の健康と生活への影響	a 看護の対象としての家族	高齢者の健康と障害 2章1節4項 要介護高齢者と家族介護者 (p.70-71, 75-77)
		b 介護者の健康	高齢者の健康と障害 2章1節4項 要介護高齢者と家族介護者 (p.68-77)
		c 介護者の社会生活	高齢者の健康と障害 2章1節4項 要介護高齢者と家族介護者 (p.76-77)
	B 家族全体への影響と介護への適応	a 家族システムのアセスメント	高齢者の健康と障害 2章1節4項 要介護高齢者と家族介護者 (p.75-77)
		b 家族の発達課題とニーズの競合	高齢者の健康と障害 2章1節3項 高齢者と家族の関係 (p.65-68)
		c 介護状況と介護力の評価	高齢者の健康と障害 2章1節4項 要介護高齢者と家族介護者 (p.68-70) 地域療養を支えるケア 2章5節 家族介護者の個別性に応じた支援 (p.61-64)
		d 介護への適応のための援助	高齢者の健康と障害 2章1節4項 要介護高齢者と家族介護者 (p.75-77) 地域療養を支えるケア 2章5節4項 介護力に応じた家族支援 (p.64)

**目標Ⅲ 多様な生活の場で高齢者の健康を支える看護について基本的な理解を問う。**

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
9 多様な生活の場で展開する高齢者への看護	A 医療施設に入院する高齢者の暮らしと看護	a 医療施設の種類と特徴	医療関係法規 12章2節 医療法 (p.247)
		b 入院する高齢者の暮らしの特徴と看護の役割	高齢者看護の実践 3章5節 入院 (p.270-274)
	B 介護保険施設等に入所する高齢者の暮らしと看護	a 介護保険施設等の種類と特徴	医療関係法規 10章1節 表10-1 (p.172) 高齢者の健康と障害 3章1節 介護保険施設 (p.108-113) 高齢者看護の実践 5章5節 老人保健施設実習 (p.328-329), 6節 特別養護老人ホーム実習 (p.335-336) 地域療養を支えるケア 5章3節4項 介護保険制度 (p.153-158)
		b 入所者の暮らしの特徴と看護の役割	高齢者の健康と障害 3章1節 介護保険施設 (p.108-113) 高齢者看護の実践 5章5節 老人保健施設実習 (p.329-335), 6節 特別養護老人ホーム実習 (p.336-346)

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
9 多様な生活の場で展開する高齢者への看護	C 地域密着型サービス、居宅サービスを利用する高齢者の暮らしと看護	a 地域密着型サービス、居宅サービスの種類と特徴	<p><b>高齢者の健康と障害</b> 3章2節2項 小規模多機能型居宅介護 (p.120-124)</p> <p><b>高齢者看護の実践</b> 5章8節 グループホーム (認知症対応型共同生活介護) 実習 (p.357-366), 9節 デイサービス (通所介護) 実習 (p.366-373)</p> <p><b>医療関係法規</b> 10章2節 介護保険法 (p.172-191)</p>
		b サービスを利用する高齢者の暮らしの特徴と看護の役割	<p><b>高齢者の健康と障害</b> 3章2節2項 小規模多機能型居宅介護 (p.120-124)</p> <p><b>高齢者看護の実践</b> 5章8節 グループホーム (認知症対応型共同生活介護) 実習 (p.357-366), 9節 デイサービス (通所介護) 実習 (p.366-373)</p> <p><b>臨床看護総論</b> 2章3節 脳梗塞発症の患者さんへの看護ケア【事例】 (p.94-98)</p>
	D 生活の場の移動と看護の継続	a 入院時・入所時・サービス利用開始時の援助	<p><b>高齢者の健康と障害</b> 3章1節 介護保険施設 (p.108-113), 2節 地域密着型サービス (p.114-124), 3節2項 デイサービス・デイケアにおけるケアの実践 (p.128)</p> <p><b>高齢者看護の実践</b> 3章5節3項 入院時のオリエンテーション (p.271), 6節4項 高齢者が使える各種サービス (p.278-279)</p>
		b 退院支援、退所支援	<b>高齢者看護の実践</b> 3章6節3項 退院計画と看護 (p.277-278)
		c 看護職間の情報提供、目標の共有と評価	<b>高齢者の健康と障害</b> 4章7節2項 チームアプローチと専門職連携 (p.216-220)
	E 長期入院・入所高齢者の看護	a 長期入院・入所高齢者のアセスメント	<b>高齢者の健康と障害</b> 3章1節 介護保険施設 (p.113), 2節1項 グループホーム (p.114-119)
		b 長期入院・入所高齢者の生活上の課題と援助	<b>高齢者の健康と障害</b> 3章1節 介護保険施設 (p.108-113), 2節1項 グループホーム (p.114-119)
	F 福祉用具・介護用品の活用	a 適応・活用状況に関するアセスメント	<b>高齢者の健康と障害</b> 2章4節1項 社会資源とは何か (p.92-93)
		b 安全で有効な活用の支援	<b>高齢者の健康と障害</b> 2章4節1項 社会資源とは何か (p.92-93)
	G 看護と介護の協働と連携	a 介護職員の専門性と役割の共有	<b>高齢者の健康と障害</b> 3章1節1項 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム) (p.108-111)
		b 介護職員による医療行為	<b>医療関係法規</b> 5章10節 社会福祉士及び介護福祉士法 (p.65-69)
	H 多職種連携、チームアプローチ	a 多職種の中での専門性の発揮	<b>高齢者の健康と障害</b> 4章7節1項 チームアプローチとは (p.214-216)
		b 目標達成に向けた連携の方法	<b>高齢者の健康と障害</b> 4章7節1項 チームアプローチとは (p.214-216)
	I 高齢者に特徴的な災害時の看護	a 避難・誘導方法	<b>災害看護</b> 5章1節3項 避難行動要支援者とは (p.106-107)
b 避難所での生活と健康の維持		<b>災害看護</b> 5章4節 高齢者に必要な支援と看護 (p.115-118)	
c 福祉避難所における援助		<b>災害看護</b> 5章4節2項 高齢者への看護 (p.117-118)	

## 目標 I 子どもの成長・発達と健康増進のための子どもと家族への看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所	
1 子どもと家族を取り巻く環境	A 小児医療・小児看護の変遷と課題	a 小児医療の変遷と課題	小児の発達と看護 1章2節1項 小児看護の歴史 (p.17-19)	
		b 小児看護の変遷と課題	小児の発達と看護 1章2節1項 小児看護の歴史 (p.17-19)	
		c 諸統計からみた子どもと家族の健康課題	小児の発達と看護 2章4節4項 学童によくみられる健康問題 (p.141-144)	
	B 子どもの権利	a 小児医療における子どもの権利の変遷	小児の発達と看護 1章2節1項 小児看護の歴史 (p.17-19), 3節1項 子どもの権利とは (p.22-25) / 資料1 子どもの権利条約 (国際教育法研究会訳) (p.391-399)	
		b 小児医療・小児看護における倫理的配慮	小児の発達と看護 1章1節 小児看護とは (p.12-16), 3節3項 小児医療と子どもの権利 (p.28-31), 4項 小児看護と倫理的配慮 (p.31-33)	
		c 子どもの虐待防止	小児の発達と看護 1章4節 小児看護と法律・施策 (p.34-57) 災害看護 5章2節5項 親を亡くした子ども, 親との関係に課題がある子どもへの看護 (p.111-112) 医療関係法規 9章4節 児童虐待防止法 (p.158-161)	
	C 子どもと家族を取り巻く社会資源の活用	a 母子保健施策の活用	医療関係法規 8章1節 母子保健法 (p.122-127), 2節 母子及び父子並びに寡婦福祉法 (p.129-130), 6節 子ども・子育て支援法 (p.135-137) / 9章1節 児童福祉法 (p.140-154) 小児の発達と看護 1章4節2項 母子保健施策 (p.52-53), 3項 小児に関する法律 (p.53-57) 公衆衛生 6章3節 地域母子保健対策の体系 (p.105-109)	
		b 小児保健医療福祉施策の活用	小児の発達と看護 1章4節3項 小児に関する法律 (p.53-57) / 2章4節3項 機能的発達 (p.134-141) / 3章8節5項 在宅療養の継続における看護 (p.281-283) 医療関係法規 9章1節 児童福祉法 (p.140-154), 5節 次世代育成支援対策推進法 (p.162) / 11章2節 障害者総合支援法 (p.203-212)	
	2 子どもの成長・発達	A 子どもの成長・発達の原則と影響因子	a 成長・発達の概念	小児の発達と看護 2章1節 成長・発達の原則 (p.78-79)
			b 成長・発達の原則	小児の発達と看護 2章1節1項 成長・発達の一般的原則 (p.78-79) ヘルスアセスメント 4章2節1項 成長・発達のアセスメントに必要な基礎知識 (p.210-214)
c 成長・発達に影響する因子			小児の発達と看護 2章1節2項 成長・発達に影響する要因 (p.79) ヘルスアセスメント 4章2節1項 成長・発達のアセスメントに必要な基礎知識 (p.210-214)	
d 発達課題と発達理論			小児の発達と看護 1章5節 小児看護で用いられる理論 (p.59-74)	
B 子どもの成長・発達のアセスメント		a 形態的成長と機能的発達の評価	小児の発達と看護 2章2節2項 形態的成長・発達の特徴 (p.80-82), 3項 機能的発達の特徴 (p.82-88), 4節2項 身体的成長 (p.131-134), 3項 機能的発達 (p.134-141), 5節2項 身体的成長 (p.147-150), 3項 機能的発達 (p.150-152) 運動機能障害 7章3節 小児の運動機能障害のアセスメント (p.121-123) ヘルスアセスメント 4章2節1項 成長・発達のアセスメントに必要な基礎知識 (p.210-214)	

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
2 子どもの成長・発達	B 子どもの成長・発達のアセスメント	b 身体発育の評価	小児の発達と看護 2章6節1項 形態的成長の観察と評価 (p.162-167) 運動機能障害 7章3節1項 小児の運動機能障害の特徴と代表的な疾患 (p.121-122) ヘルスアセスメント 4章2節2項 身体発育に関するアセスメント (p.214-219)
		c 発達検査	小児の発達と看護 2章6節2項 心理社会的発達の評価法 (p.168-170)
		d 心理・社会的発達の評価	小児の発達と看護 2章2節4項 心理・社会的発達 (p.88-91), 6項 乳児のセルフケアの発達と看護 (p.92-97), 3節1項 幼児期とは (p.100-103), 2項 家族とその機能 (p.103-104), 7項 遊びの意義 (p.126-128), 4節1項 学童期とは (p.131), 3項 機能的発達 (p.134-141), 5節1項 思春期とは (p.147), 3項 機能的発達 (p.150-152)
		e 養育環境	小児の発達と看護 2章2節7項 乳児のいる家族への看護 (p.97-99) 運動機能障害 7章3節2項 運動機能障害がある小児の日常生活の観察 (p.122-123)
	C 小児期における成長・発達の特徴と看護	a 神経系	小児の発達と看護 2章2節3項 機能的発達の特徴 (p.86)
		b 運動器系	小児の発達と看護 2章2節3項 機能的発達の特徴 (p.88)
		c 感覚器系	小児の発達と看護 2章2節3項 機能的発達の特徴 (p.88)
		d 循環器系	小児の発達と看護 2章2節3項 機能的発達の特徴 (p.82)
		e 免疫系	小児の発達と看護 2章2節3項 機能的発達の特徴 (p.85-86)
		f 呼吸器系	小児の発達と看護 2章2節3項 機能的発達の特徴 (p.82)
		g 消化器系	小児の発達と看護 2章2節3項 機能的発達の特徴 (p.84-85)
		h 代謝系	小児の発達と看護 2章2節3項 機能的発達の特徴 (p.83-84)
		i 泌尿器系	小児の発達と看護 2章2節3項 機能的発達の特徴 (p.83-84)
		j 体温調節	小児の発達と看護 2章2節3項 機能的発達の特徴 (p.83)
		k 大泉門、小泉門	小児の発達と看護 2章2節2項 形態的成長・発達の特徴 (p.80)
		l 生歯	小児の発達と看護 2章2節2項 形態的成長・発達の特徴 (p.81)
		m 認知、思考	小児の発達と看護 2章2節4項 心理・社会的発達 (p.88-90)
		n 社会性、道徳性	小児の発達と看護 2章2節4項 心理・社会的発達 (p.90-91)
		o コミュニケーション、言語	小児の発達と看護 2章2節4項 心理・社会的発達 (p.91)
		p 情緒	小児の発達と看護 2章2節4項 心理・社会的発達 (p.88-91), 4節3項 機能的発達 (p.135), 5節3項 機能的発達 (p.150-152)
q アタッチメント、分離不安	小児の発達と看護 2章2節6項 乳児のセルフケアの発達と看護 (p.95-96) / 3章1節2項 健康障害に伴う子どものストレスと対処 (p.176-180)		
3 小児各期における健康増進のための子どもと家族への看護	A 新生児期の成長・発達に応じた生活への支援	a 栄養と授乳	小児の発達と看護 2章2節6項 乳児のセルフケアの発達と看護 (p.92-93) 臨床栄養学 3章3節1項 乳幼児期 (p.112-117)
		b 事故防止	小児の発達と看護 2章3節8項 安全の確保と現状 (p.128-130) 母性看護実践の基本 9章4節2項 出生後24時間以内のケア (p.220-223)
		c 親子関係の確立	小児の発達と看護 1章5節4項 親子関係論 (p.67-70)
		d 家族の育児技術の獲得	小児の発達と看護 4章2節1項 基礎知識 (p.314-320)
	B 乳児期の成長・発達に応じた生活への支援	a 栄養と離乳	臨床栄養学 3章3節1項 乳幼児期 (p.112-117) 小児の発達と看護 2章2節6項 乳児のセルフケアの発達と看護 (p.92-94) / 資料2 離乳の支援のポイント (「授乳・離乳の支援ガイド」より) (p.400-401) 小児看護技術 3章1節3項 乳幼児の食事の援助技術 (p.64-72)

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所	
3 小児各期における健康増進のための子どもと家族への看護	B 乳児期の成長・発達に応じた生活への支援	b 運動と遊び	小児の発達と看護 2章2節6項 乳児のセルフケアの発達と看護 (p.94-95)	
		c 感染予防と予防接種	小児の発達と看護 2章2節7項 乳児のいる家族への看護 (p.98), 3節6項 清潔行動 (p.117-125)	
		d 事故防止	小児の発達と看護 2章2節5項 乳児によくみられる健康問題 (p.91) 小児看護技術 2章4節 事故を防止する環境づくり (p.45-51)	
		e 親子関係の確立	小児の発達と看護 2章2節6項 乳児のセルフケアの発達と看護 (p.95-96) / 3章1節2項 健康障害に伴う子どものストレスと対処 (p.176-180)	
		f 家族の育児技術の獲得	小児の発達と看護 4章3節2項 事例による看護過程の展開 (1) (p.327-332)	
	C 幼児期の成長・発達に応じた生活への支援	a 食生活と食育	小児の発達と看護 2章3節3項 食行動 (p.104-111) 臨床栄養学 3章3節1項 乳幼児期 (p.114-115)	
		b 運動と遊び	小児の発達と看護 2章3節7項 遊びの意義 (p.126-128)	
		c 生活リズムの確立	小児の発達と看護 2章3節1項 幼児期とは (p.100-103)	
		d 基本的な生活習慣の確立	小児の発達と看護 2章3節1項 幼児期とは (p.100-103)	
		e 感染予防と予防接種	小児の発達と看護 2章3節6項 清潔行動 (p.117-125) 臨床薬理学 5章6節 予防接種薬 (p.140-142)	
		f 事故防止と安全教育	小児の発達と看護 2章3節8項 安全の確保と現状 (p.128-130) 小児看護技術 2章4節 事故を防止する環境づくり (p.45-51)	
		g 親子関係の確立	小児の発達と看護 2章3節2項 家族とその機能 (p.103-104)	
		h 社会化	小児の発達と看護 2章3節2項 家族とその機能 (p.103-104)	
		i 育児技術の獲得	小児の発達と看護 2章3節2項 家族とその機能 (p.103-104)	
	D 学童期の成長・発達に応じた生活への支援	a 肥満や食生活の乱れ	小児の発達と看護 2章4節4項 学童によくみられる健康問題 (p.141-143)	
		b う歯の予防	小児の発達と看護 2章4節4項 学童によくみられる健康問題 (p.141-142)	
		c 近視の予防	小児の発達と看護 2章4節4項 学童によくみられる健康問題 (p.141-142)	
		d スポーツ外傷の予防	小児の発達と看護 2章4節4項 学童によくみられる健康問題 (p.141-142)	
		e 学校感染症の予防	小児の発達と看護 2章4節3項 機能的発達 (p.138-140)	
		f 生活習慣病の予防	小児の発達と看護 2章4節4項 学童によくみられる健康問題 (p.141-144) 臨床栄養学 3章3節2項 学童期 (p.117-119)	
		g 学習と遊び	小児の発達と看護 2章4節3項 機能的発達 (p.134-141)	
		h 事故防止と安全教育	小児の発達と看護 2章3節8項 安全の確保と現状 (p.129-130)	
		i セルフケアと保健教育	小児の発達と看護 1章1節3項 子どもの最善の利益を目指した看護 (p.13-16) / 2章4節5項 学童期の子どものセルフケアの発達と看護 (p.144-146)	
		j 食生活と食育	臨床栄養学 3章3節2項 学童期 (p.117-119) 小児の発達と看護 2章4節4項 学童によくみられる健康問題 (p.141-144)	
		k 仲間との関係や学校への適応	小児の発達と看護 2章4節3項 機能的発達 (p.134-141), 5項 学童期の子どものセルフケアの発達と看護 (p.144-146)	
		E 思春期の成長・発達に応じた生活への支援	a 体格と体力	小児の発達と看護 2章5節2項 身体的成長 (p.147-148)
			b 第二性徴	小児の発達と看護 2章4節2項 身体的成長 (p.131-134), 5節2項 身体的成長 (p.147-150)
	c アイデンティティの確立		小児の発達と看護 2章5節1項 思春期とは (p.147)	

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
3 小児各期における健康増進のための子どもと家族への看護	E 思春期の成長・発達に応じた生活への支援	d 情緒的変化と家族関係	小児の発達と看護 2章5節3項 機能的発達 (p.150-152), 5項 思春期の人々のセルフケアの発達と看護 (p.158-161)
		e 仲間との関係	小児の発達と看護 2章5節3項 機能的発達 (p.151-152)
		f 性〈セクシュアリティ〉意識の変化と逸脱行動	小児の発達と看護 2章5節4項 思春期の人々によくみられる健康問題 (p.157-158)
		g 異性への関心	小児の発達と看護 2章5節2項 身体的成長 (p.147-150)
		h ライフスタイルと生活リズムの変化	小児の発達と看護 2章5節4項 思春期の人々によくみられる健康問題 (p.152-154)
		i 喫煙・飲酒の防止	小児の発達と看護 2章5節4項 思春期の人々によくみられる健康問題 (p.155-157)
		j 不登校の実態と支援	小児の発達と看護 2章5節4項 思春期の人々によくみられる健康問題 (p.152-157)
		k いじめ・校内暴力の防止	小児の発達と看護 2章5節4項 思春期の人々によくみられる健康問題 (p.152-157)
		l 自殺の防止	小児の発達と看護 2章5節4項 思春期の人々によくみられる健康問題 (p.152-158)

**目標Ⅱ 病気や診療・入院が子どもと家族へ与える影響と看護について基本的な理解を問う。**

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
4 病気や診療・入院が子どもと家族に与える影響と看護	A 病気に対する子どもの理解と説明	a 病気に対する子どもの理解の特徴	小児の発達と看護 3章1節1項 子どもの病気の理解 (p.174-176)
		b 子どもの理解に関係する要因	小児の発達と看護 3章1節1項 子どもの病気の理解 (p.176)
		c 発達に応じた病気の説明	小児の発達と看護 3章1節1項 子どもの病気の理解 (p.174-176)
		d インフォームド・アセント	小児の発達と看護 3章4節5項 終末期にある子どもの家族への援助 (p.238-241), 5節5項 事例紹介 (1) (p.247-249), 6項 事例紹介 (2) (p.250-251)
	B プレパレーション	a 子どもへの説明と同意	小児の発達と看護 3章4節2項 終末期にある子どもと家族の心理 (p.230-234) / 4章6節2項 事例による看護過程の展開 (p.369-375)
		b 家族の準備状態の把握	小児の発達と看護 3章6節3項 手術を受ける子どものプレパレーション (p.256-259)
		c 検査・処置を受ける子どもと家族への支援	小児の発達と看護 3章6節3項 手術を受ける子どものプレパレーション (p.257-258)
	C 病気や診療・入院が子どもに与える影響と看護	a 成長・発達に及ぼす影響	小児の発達と看護 3章1節2項 健康障害に伴う子どものストレスと対処 (p.176-180)
		b 病気や診療・入院に伴うストレスと影響要因	小児の発達と看護 3章1節2項 健康障害に伴う子どものストレスと対処 (p.176-180)
		c 子どもの反応とストレス対処行動	小児の発達と看護 3章1節1項 子どもの病気の理解 (p.174-176), 2項 健康障害に伴う子どものストレスと対処 (p.176-180)
	D 子どもの病気や診療・入院がきょうだい・家族に及ぼす影響と看護	a 子どもの病気や診療・入院に伴うきょうだい・家族のストレス	小児の発達と看護 3章1節4項 子どもの健康障害に伴う家族のストレス (p.184-186)
		b きょうだい・家族のストレスへの支援	小児の発達と看護 3章6節6項 手術を受ける子どもの家族への看護 (p.264)
	E 痛みを表現している子どもと家族への看護	a 子どもの痛みの受け止め方	小児の発達と看護 4章5節1項 基礎知識 (p.354-360)

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所	
4 病気や診療・入院が子どもと家族に与える影響と看護	E 痛みを表現している子どもと家族への看護	b 痛みの表現方法	小児の発達と看護 4章5節1項 基礎知識 (p.354-360)	
		c 痛みの客観的評価	小児の発達と看護 4章5節1項 基礎知識 (p.354-360)	
		d 痛みの緩和に向けた援助	小児の発達と看護 4章5節1項 基礎知識 (p.354-360)	
	F 活動制限が必要な子どもと家族への看護	a 活動制限の目的	小児看護技術 10章3節 安全・安楽を考慮した行動制限 (p.258-265)	
		b 活動制限の身体的・心理社会的影響	小児看護技術 10章3節 安全・安楽を考慮した行動制限 (p.258-265)	
		c 子どもの発達に応じた日常生活への援助	小児看護技術 1章2節 家族との援助関係を形成する技術 (p.15-17), 4節2項 家族との援助関係を形成する技術の活用 (p.23-24) / 10章3節 安全・安楽を考慮した行動制限 (p.258-265)	
	G 感染対策上隔離が必要な子どもと家族への看護	a 隔離の目的・方法	小児の発達と看護 3章7節2項 外来における子どもと家族への援助 (p.266-269) 小児看護技術 2章5節3項 子どもと家族への十分な説明 (p.52-53)	
		b 隔離の身体的・心理社会的影響	小児の発達と看護 4章5節2項 事例による看護過程の展開 (p.360-365)	
		c 子どもの発達に応じた日常生活への援助	小児看護技術 2章5節3項 子どもと家族への十分な説明 (p.52-53), 4項 隔離, 逆隔離を要する子どもへのサポート (p.53)	
		d 家族の面会や付き添いにおける援助	小児の発達と看護 3章7節2項 外来における子どもと家族への援助 (p.266-269) 小児看護技術 2章5節3項 子どもと家族への十分な説明 (p.52-53), 4項 隔離, 逆隔離を要する子どもへのサポート (p.53)	
	H 外来における子どもと家族への看護	a 外来における緊急度の把握・トリアージ	小児の発達と看護 3章7節2項 外来における子どもと家族への援助 (p.266-269)	
		b 外来における感染症対策	小児の発達と看護 3章7節2項 外来における子どもと家族への援助 (p.266-269), 3項 小児外来の環境 (p.269-271)	
		c 受診時の子どもと家族の緊張と不安の軽減	小児の発達と看護 3章5節3項 子どもの力を引き出す援助 (p.244-245), 4項 検査や処置を受ける子どもと家族への援助 (p.245-247), 7節2項 外来における子どもと家族への援助 (p.266-269), 3項 小児外来の環境 (p.269-271)	
		d 健康診査・育児相談	小児の発達と看護 3章7節1項 外来看護の果たす役割 (p.266), 4項 外来看護の現状の課題と今後の展望 (p.271-272)	
	5 検査や処置を受ける子どもと家族への看護	A 診療(検査、処置)に伴う技術と看護	a バイタルサインの測定	小児看護技術 9章1節 バイタルサインの測定 (p.210-225)
			b 身体計測	小児看護技術 9章4節 身体計測 (p.243-248)
c 採血			小児看護技術 9章2節1項 採血 (p.226-228)	
d 採尿			小児看護技術 9章2節2項 尿採取 (p.228-231)	
e 骨髄穿刺			小児看護技術 9章3節3項 骨髄穿刺 (p.238-241)	
f 腰椎穿刺			小児看護技術 9章3節4項 腰椎穿刺 (p.241-243)	
g 与薬			小児看護技術 7章 与薬の技術 (p.154-172)	
h 注射			小児看護技術 7章4節 注射 (p.161-166)	
i 輸液療法			小児看護技術 7章5節 輸液管理 (p.166-168)	
j 吸引			小児看護技術 6章2節 吸引 (p.138-145) / 8章2節2項 二次救命処置 (p.188-194), 3節4項 溺水 (p.204-205)	
k 酸素療法			小児看護技術 6章1節 酸素療法 (p.136-138)	
l 経管栄養		小児看護技術 3章2節1項 経管栄養法 (p.73-79)		
B プレパレーションと看護		a バイタルサインの測定	小児看護技術 9章1節 バイタルサインの測定 (p.210-225)	
	b 身体計測	小児看護技術 9章4節 身体計測 (p.243-248)		
	c 採血	小児看護技術 9章2節1項 採血 (p.226-228)		

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践



大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
5 検査や処置を受ける子どもと家族への看護	B プレパレーションと看護	d 採尿	小児看護技術 9章2節2項 尿採取 (p.228-231)
		e 骨髄穿刺	小児の発達と看護 3章5節2項 子どもの安全・安楽の援助 (p.243) 小児看護技術 9章3節3項 骨髄穿刺 (p.238-241)
		f 腰椎穿刺	小児看護技術 9章3節4項 腰椎穿刺 (p.241-243)
		g 与薬	小児看護技術 7章 与薬の技術 (p.154-172) 基礎看護技術 19章4節1項 安全で確実な与薬のための知識・技術・態度 (p.405-406)
		h 注射	小児看護技術 7章4節 注射 (p.161-166)
		i 輸液療法	小児看護技術 7章5節 輸液管理 (p.166-168)
		j 吸引	小児看護技術 6章2節 吸引 (p.138-145)／8章2節2項 二次救命処置 (p.188-194), 3節4項 溺水 (p.204-205)
		k 酸素療法	小児の発達と看護 3章2節4項 呼吸困難時のアセスメントと看護 (p.197-200)
		l 経管栄養	小児看護技術 3章2節1項 経管栄養法 (p.73-79)

**目標Ⅲ 特別な状況にある子どもと家族への看護について基本的な理解を問う。**

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所	
6 特別な状況にある子どもと家族への看護	A 虐待を受けている子どもと家族への看護	a 子どもへの虐待の特徴	小児の発達と看護 3章10節 被虐待児 (虐待を受けている可能性のある子ども) と家族への看護 (p.295-299)	
		b 虐待のリスク要因と虐待の早期発見	小児の発達と看護 1章4節1項 子どもを取り巻く社会環境 (p.50-51)／3章10節4項 被虐待児および家族への看護 (p.297)	
		c 虐待の未然防止に向けての支援	小児の発達と看護 1章4節1項 子どもを取り巻く社会環境 (p.50-51)／3章7節4項 外来看護の現状の課題と今後の展望 (p.271-272)	
		d 多機関・多職種連携・協働	小児の発達と看護 1章4節1項 子どもを取り巻く社会環境 (p.51)	
	B 災害を受けた子どもと家族への看護	a 災害による子どもへの影響とストレス	小児の発達と看護 3章9節2項 災害を受けた子どもの心と身体への影響 (p.285-287) 災害看護 5章2節1項 乳幼児に必要な支援 (p.108), 3項 子どもに必要な支援 (p.109), 5項 親を亡くした子ども, 親との関係に課題がある子どもへの看護 (p.111-112)	
		b 災害を受けた子どもと家族への援助	小児の発達と看護 3章9節3項 災害時の子どもと家族への看護 (p.287-293) 災害看護 5章2節 乳幼児および子どもに必要な支援と看護 (p.108-112)	
		c 災害時における緊急度の把握・トリアージ	災害看護 8章2節3項 トリアージの実際 (p.200-201)	

目標Ⅳ

健康課題をもつ子どもと家族への看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
7 急性期にある子どもと家族への看護	A 急性症状のある子どもと家族への看護	a 急性的な経過をたどる疾患の特徴と治療	小児の発達と看護 3章2節 急性期にある子どもと家族への看護 (p.189-214) 小児の疾患と看護 1章3節 新生児仮死 (p.19-22), 5節 新生児黄疸 (p.24-28) / 3章3節 糖尿病 (1型・2型) (p.52-54), 5節 甲状腺機能亢進症 (p.56-58) / 4章3節 リウマチ熱 (p.72-74), 7節 川崎病 (p.80-83) / 5章1節 中耳炎 (p.88-90), 12節 溶連菌感染症 (p.115-118) / 6章3節 急性喉頭蓋炎 (p.125-127), 4節 クループ症候群 (p.127-129), 5節 小児気管支喘息 (p.130-132) / 7章7節 心筋炎 (p.159-160) / 8章1節 腎炎 (p.162-163), 5節 急性腎障害 (p.170-172) / 9章2節 急性虫垂炎 (p.181-183), 5節 肝炎 (p.187-190) / 10章2節 特発性血小板減少性紫斑病 (p.196-198), 4節 白血病 (p.200-203) / 11章2節 熱性けいれん (p.216-218), 4節 急性脳症 / 脳炎 / インフルエンザ脳症 (p.220-223) / 12章9節 二分脊椎 / 髄膜瘤 (p.254-257)
		b 発熱	小児の発達と看護 3章2節1項 発熱時のアセスメントと看護 (p.189-193)
		c 脱水	小児の発達と看護 3章2節2項 脱水時のアセスメントと看護 (p.193-195)
		d 下痢・嘔吐	小児の発達と看護 3章2節5項 嘔吐・下痢時のアセスメントと看護 (p.200-206)
		e 呼吸困難	小児の発達と看護 3章2節4項 呼吸困難時のアセスメントと看護 (p.197-200)
		f けいれん	小児の発達と看護 3章2節3項 痙攣時のアセスメントと看護 (p.195-197)
	B 救急救命処置が必要な子どもと家族への看護	a 子どもの救急におけるトリアージと対応	小児の発達と看護 3章7節2項 外来における子どもと家族への援助 (p.266-269)
		b 子どもの意識レベル	小児の発達と看護 3章2節6項 生命徴候が危険な状況のアセスメントと看護 (p.207-211) 小児看護技術 8章2節1項 一次救命処置 (心肺蘇生法) (p.177-187)
		c 主な誤飲物質と処置	小児看護技術 8章3節1項 気道異物の除去 (p.196-201), 2項 消化管異物および中毒 (p.201-203)
		d 子どもの熱傷の特徴・重症度および処置	小児の発達と看護 3章2節6項 生命徴候が危険な状況のアセスメントと看護 (p.207-211) 小児看護技術 8章3節3項 熱傷 (p.203-204)
		e 溺水と処置	小児の発達と看護 3章2節6項 生命徴候が危険な状況のアセスメントと看護 (p.207-211) 小児看護技術 8章3節4項 溺水 (p.204-205)
		f 子どもの一次救命処置	小児の発達と看護 3章2節6項 生命徴候が危険な状況のアセスメントと看護 (p.207-211) 小児看護技術 8章2節1項 一次救命処置 (心肺蘇生法) (p.177-187)
		g 生命が危険な状況にある子どもと家族への援助	小児の発達と看護 3章2節6項 生命徴候が危険な状況のアセスメントと看護 (p.207-211), 7項 急性期にある子どもの家族への援助 (p.211-214)
	C 周手術期における子どもと家族への看護	a 子どもの手術の特徴	小児の発達と看護 3章6節1項 手術を受ける子どもの特徴 (p.252-254) / 4章1節1項 基礎知識 (p.304-307)
		b 手術を要する健康障害と手術の時期	小児の発達と看護 3章6節2項 手術の時期と種類 (p.254-256)
		c 計画手術、緊急手術	小児の発達と看護 3章6節2項 手術の時期と種類 (p.254-256)
		d 日帰り手術	小児の発達と看護 3章6節2項 手術の時期と種類 (p.254-256)
		e 子どもと家族の術前準備	小児の発達と看護 3章6節3項 手術を受ける子どものプレバレーション (p.256-259)

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
7 急性期にある子どもと家族への看護	C 周手術期における子どもと家族への看護	f 子どもの安全・安楽への援助	小児の発達と看護 3章6節4項 手術を受ける子どもの身体面の術前看護 (p.260-261), 6項 手術を受ける子どもの家族への看護 (p.264)
		g 手術中・手術直後の家族への援助	小児の発達と看護 3章6節6項 手術を受ける子どもの家族への看護 (p.264)
		h 手術後の身体状態のアセスメントと援助	小児の発達と看護 3章6節5項 手術を受ける子どもの術後看護 (p.261-264)
		i 退院に向けての援助	小児の発達と看護 3章8節 在宅における子どもと家族への看護 (p.274-284)
	D 出生直後から集中治療が必要な子どもと家族への看護	a ハイリスク新生児の特徴	小児の発達と看護 4章2節1項 基礎知識 (p.314-320)
		b 集中治療における援助	小児の発達と看護 4章2節1項 基礎知識 (p.314-320)
		c 親子・家族関係確立への支援	小児の発達と看護 4章2節1項 基礎知識 (p.314-320)
8 慢性的な疾患・障害がある子どもと家族への看護	A 慢性疾患をもつ子どもと家族への看護	a 慢性的な経過をたどる疾患の特徴と治療	小児の発達と看護 3章3節1項 慢性期の特徴 (p.216) 小児の疾患と看護 1章5節 新生児黄疸 (p.24-28) / 3章3節 糖尿病 (1型・2型) (p.52-54) / 4章1節 アトピー性皮膚炎 (p.68-69), 4節 若年性特発性関節炎 (p.74-76), 6節 若年性皮膚筋炎 / 多発筋炎 (p.78-80) / 5章1節 中耳炎 (p.88-90) / 6章5節 小児気管支喘息 (p.130-132) / 8章1節 腎炎 (p.162-163), 6節 慢性腎障害 (p.172-174) / 9章1節 胃・十二指腸潰瘍 (p.178-180), 3節 炎症性腸疾患 (p.183-185), 5節 肝炎 (p.187-190) / 10章2節 特発性血小板減少性紫斑病 (p.196-198), 4節 白血病 (p.200-203) / 11章1節 てんかん (p.214-216)
		b 小児慢性特定疾患治療研究事業	公衆衛生 6章3節3項 療養援助など (p.108-109) 医療関係法規 9章1節, plus a 「小児慢性特定疾病児童自立支援事業」 (p.147) 小児の発達と看護 3章3節1項 慢性期の特徴 (p.216)
		c 疾患による子どもと家族の生活の変化	小児の発達と看護 3章3節2項 慢性期にある子どもと家族 (p.217-221)
		d 学習支援、復学支援	小児の発達と看護 3章3節3項 慢性期にある子どもと家族のエンパワーメントを支援する看護 (p.221-226)
		e 発達に応じたセルフケア能力の獲得	小児の発達と看護 3章3節3項 慢性期にある子どもと家族のエンパワーメントを支援する看護 (p.221-226)
		f セルフケア能力の獲得のための養育と家族への支援	小児の発達と看護 3章3節3項 慢性期にある子どもと家族のエンパワーメントを支援する看護 (p.221-226)
		g 地域との連携・調整	地域療養を支えるケア 7章7節 重度心身障害をもちながら地域で生活をする小児 (p.266-271)
		B 先天性疾患のある子どもと家族への看護	a 先天異常の種類と特徴
	b 子どもの発達段階に応じた援助		小児の発達と看護 4章3節1項 基礎知識 (p.326-327) 病態生理学 1章8節6項 先天異常の看護 (p.87-88)
	c 子どもの疾患に対する家族の理解と受容		小児の発達と看護 4章3節1項 基礎知識 (p.326-327)
	d 養育とケア技術獲得に関する家族への援助		小児の発達と看護 4章3節2項 事例による看護過程の展開 (1) (p.327-332), 3項 事例による看護過程の展開 (2) (p.332-338)

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
8 慢性的な疾患・障害がある子どもと家族への看護	C 心身障害のある子どもと家族への看護	a 心身障害の定義と種類	小児の発達と看護 4章4節1項 基礎知識 (p.339-342) 小児の疾患と看護 11章3節 脳性麻痺 (p.218-220)
		b 家族と子どもの障害の受容	小児の発達と看護 4章4節1項 基礎知識 (p.339-342)
		c 重症心身障害児と家族	小児の発達と看護 4章4節1項 基礎知識 (p.340-342)
		d 医療的ケアの必要な超重症児と家族	小児の発達と看護 4章4節2項 事例による看護過程の展開 (p.342-353)
		e 発達障害児と家族	小児の発達と看護 4章4節1項 基礎知識 (p.339-342) 小児の疾患と看護 11章1節 てんかん (p.214-216), 3節 脳性麻痺 (p.218-220), 6節 自閉スペクトラム症 (p.225-228)
	D 医療的ケアを必要として退院する子どもと家族への看護	a 入院生活から在宅への移行に向けた支援	小児の発達と看護 3章8節4項 在宅療養を行う子どもと家族への看護 (p.278-280)
		b 多職種との連携と社会資源の活用	小児の発達と看護 3章8節4項 在宅療養を行う子どもと家族への看護 (p.278-280), 5項 在宅療養の継続における看護 (p.281-283) 地域療養を支えるケア 7章7節 重度心身障害をもちながら地域で生活をする小児 (p.266-271)
		c 在宅療養中の子どもと家族	小児の発達と看護 3章8節 在宅における子どもと家族への看護 (p.274-283)
		d 子どものセルフケア行動の促進	小児の発達と看護 3章8節5項 在宅療養の継続における看護 (p.281-283)
		9 終末期にある子どもと家族への看護	A 子どもの死の理解と看護
b 死に対する子どもの反応	小児の発達と看護 3章4節2項 終末期にある子どもと家族の心理 (p.230-234) / 4章6節1項 基礎知識 (p.366-368)		
B 終末期にある子どもと家族への緩和ケア	a 終末期にある子どもの心身の状態と緩和ケア		小児の発達と看護 3章4節4項 緩和ケア (p.236-238) / 4章6節1項 基礎知識 (p.366-368)
	b 子どもの死を看取る家族の反応		小児の発達と看護 3章4節5項 終末期にある子どもの家族への援助 (p.238-241) / 4章6節2項 事例による看護過程の展開 (p.369-375)

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践

**目標 I** リプロダクティブ・ヘルスの基礎（概念、生理、倫理、法・制度）や動向および看護の基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
1 リプロダクティブ・ヘルスに関する看護	A リプロダクティブ・ヘルスに関する概念	a リプロダクティブ・ヘルス/ライツ	母性看護実践の基本 1章4節 リプロダクティブ・ヘルス/ライツ (p.24-25) 成人看護学概論 10章1節2項 リプロダクティブ・ヘルス/ライツ (p.168-169), 2節1項 リプロダクティブ・ヘルスの指標の国際比較 (p.170)
		b 性(セクシュアリティ)	母性看護実践の基本 3章1節1項 セクシュアリティとは (p.46) 成人看護学概論 10章1節1項 セクシュアリティ (p.168)
		c セックス、ジェンダー	母性看護実践の基本 3章1節2項 性の多面性 (p.46) 成人看護学概論 10章1節4項 ジェンダー (p.169-170)
		d 性の多様性(性同一性障害、性分化疾患、LGBT)	母性看護実践の基本 3章1節 セクシュアリティ (p.46-49)
	B 生殖に関する生理	a ヒトの発生・性分化のメカニズム	母性看護実践の基本 3章4節 性分化のメカニズム (p.55-57)
		b 性周期(初経、月経)	母性看護実践の基本 3章5節 性周期 (p.57-61) ヘルスアセスメント 4章1節1項 母性のアセスメントに必要な基礎知識 (p.200-203)
		c 性行動、性反応	母性看護実践の基本 3章6節 性行動・性反応 (p.61-64)
		d 受精、着床	母性看護実践の基本 6章2節1項 妊娠の成立 (p.110-112)
	C リプロダクティブ・ヘルスに関する世界・日本の動向	a 出生に関する統計	母性看護実践の基本 2章2節1項 出生に関する統計 (p.31-32)
		b 新生児・乳児・周産期死亡に関する統計	母性看護実践の基本 2章2節2項 死亡に関する統計 (p.33-35)
		c 妊産婦死亡に関する統計	母性看護実践の基本 2章2節2項 死亡に関する統計 (p.33-35)
		d 死産、流産、人工妊娠中絶に関する統計	母性看護実践の基本 2章2節2項 死亡に関する統計 (p.33-35)
	D リプロダクティブ・ヘルスに関する倫理	a プライバシーの保護	母性看護実践の基本 2章1節1項 倫理規定における看護者の使命と母性看護 (p.28)
		b 自己決定の尊重	母性看護実践の基本 2章1節1項 倫理規定における看護者の使命と母性看護 (p.28) 成人看護学概論 10章1節5項 自己決定ということ (p.170)
		c 人工妊娠中絶と倫理的課題	母性看護実践の基本 15章1節4項 人工妊娠中絶 (p.361)
		d 生殖補助医療と倫理的課題	母性看護実践の基本 4章4節4項 不妊 (p.88)
		e 出生前診断と倫理的課題	母性看護実践の基本 15章1節1項 出生前診断をめぐる妊婦と家族へのケア (p.358-359)
	E リプロダクティブ・ヘルスに関する法や施策と支援	a 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律〈DV防止法〉	医療関係法規 8章4節 DV防止法 (p.130-134) 成人看護学概論 10章3節2項 二次介入：問題の明確化・発見 (p.175-178)

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
1 リプロダクティブ・ヘルスに関する看護	E リプロダクティブ・ヘルスに関する法や施策と支援	b 性暴力被害者支援	母性看護実践の基本 4章4節3項 ドメスティック・バイオレンスと性暴力 (p.83-85)
		c 虐待防止に関する法律	医療関係法規 9章4節 児童虐待防止法 (p.158-161) 小児の発達と看護 1章4節3項 小児に関する法律 (p.53-57)
		d 母体保護法	医療関係法規 8章2節 母体保護法 (p.128-129) 母性看護実践の基本 2章3節2項 女性の保護および就労に関する法律 (p.38-39)
		e 女性の就労に関する法律	医療関係法規 15章1節 労働基準法 (p.294-296), 2節 育児・介護休業法 (p.296-299), 3節 男女雇用機会均等法 (p.299-300) 母性看護実践の基本 2章3節2項 女性の保護および就労に関する法律 (p.38-39)

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践

**目標Ⅱ** ウィメンズヘルスに関する看護の基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
2 女性のライフサイクル各期における看護	A 思春期・成熟期女性の健康課題	a 第二性徴	母性看護実践の基本 4章1節1項 身体的特徴 (p.66-67)
		b 性意識・性行動の発達	母性看護実践の基本 3章6節1項 性行動 (p.61-62)
		c 家族計画、受胎調節	母性看護実践の基本 4章4節2項 受胎調節と家族計画 (p.79-82)
		d 月経異常、月経随伴症状	母性看護実践の基本 4章3節1項 月経異常 (p.69-70)
		e 性感染症 (STI)	母性看護実践の基本 4章4節1項 性感染症 (p.78-79) 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 10章4節2項 女性の性器感染症 (p.215-217)
		f 不妊症 (男性不妊症、女性不妊症)	母性看護実践の基本 4章4節4項 不妊 (p.86-92) 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 10章5節2項 男性不妊 (p.218-219), 3項 女性不妊 (p.219-221)
		g 女性生殖器の疾患 (子宮筋腫、子宮内膜症)	母性看護実践の基本 4章3節3項 女性の生殖器の良性疾患 (p.72-74) 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 10章2節2項 女性生殖器の障害を引き起こす主な疾患 (p.200-210)
	B 更年期・老年期女性の健康課題	a ホルモンの変化と検査・治療	母性看護実践の基本 5章1節1項 身体的特徴 (p.96-97) 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 10章1節1項 加齢によるホルモンバランスの障害 (p.186-193)
		b 更年期症状	母性看護実践の基本 5章1節 更年期女性の特徴 (p.96-97), 2節1項 更年期障害 (p.98-100) 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 10章1節1項 加齢によるホルモンバランスの障害 (p.186-193)／11章1節1項 更年期障害の治療と看護 (p.236-241) 成人看護学概論 12章 更年期にみられる健康障害 (p.192-199)
		c 骨粗鬆症	母性看護実践の基本 5章2節3項 骨粗鬆症 (p.102-103)
		d 閉経	母性看護実践の基本 5章1節1項 身体的特徴 (p.96-97) 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 10章1節1項 加齢によるホルモンバランスの障害 (p.186-193)
		e 骨盤臓器脱、尿失禁	母性看護実践の基本 5章2節2項 下部尿路機能障害 (p.100-101), 4節1項 骨盤臓器脱 (p.106-107)
		f 萎縮性膣炎、外陰炎	母性看護実践の基本 5章4節2項 萎縮性膣炎 (p.107-108)

目標Ⅲ

妊娠・分娩・産褥期および早期新生児期における看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
3 妊娠・分娩・産褥期および早期新生児期における看護の対象と基盤となる概念	A 対象理解の基盤となる概念	a 母性、父性、親性	母性看護実践の基本 1章1節 母性とは (p.14)
		b 母親役割、父親役割	母性看護実践の基本 1章1節2項 親役割と親性 (p.14)
		c 母子相互作用、愛着形成	母性看護実践の基本 7章5節1項 母性意識の発達 (p.181)
		d 早期の母子接触	母性看護実践の基本 7章5節1項 母性意識の発達 (p.181) 母性看護技術 2章13節 早期母子接触 (p.98-101)
		e 家族の発達・機能	母性看護実践の基本 1章3節1項 家族の発達 (p.18-20)
	B 看護の基盤となる概念	a 女性を中心としたケア (Women-centered care)	母性看護実践の基本 4章4節3項 ドメスティック・バイオレンスと性暴力 (p.85)
		b 家族を中心としたケア (Family-centered care)	母性看護実践の基本 1章2節2項 家族中心のケア (p.15)
		c ウェルネス	看護学概論 3章1節6項 ウェルネス (ダンの定義) (p.82)
		d エンパワメント	成人看護学概論 6章3節1項 エンパワメントモデル (p.116-117)
		e ヘルスプロモーション	成人看護学概論 19章1節 ヘルスプロモーションとは (p.270)
		f セルフケア	成人看護学概論 14章1節 セルフケアとは (p.216-217)
		4 妊娠期の看護	A 正常な妊娠の経過
b 妊娠の成立	母性看護実践の基本 6章2節1項 妊娠の成立 (p.110-112)		
c 妊娠の経過と胎児の発育	母性看護実践の基本 6章2節2項 胎盤形成と胎児の発育 (p.112-117), 3項 妊娠に伴う母体の変化 (p.117-123)		
d 母体の生理的变化	母性看護実践の基本 6章2節3項 妊娠に伴う母体の変化 (p.117-123)		
e 妊婦と家族の心理・社会的変化	母性看護実践の基本 6章3節 妊婦の心理的变化と親となることへの支援 (p.125-129)		
f 妊娠による不快症状	母性看護実践の基本 6章6節 妊娠中のマイナートラブル (p.144-148) 母性看護技術 1章8節 つわりのケア (p.36-37), 9節 下肢静脈瘤の予防 (p.38-39)		
B 妊婦・胎児の健康と生活のアセスメント	a 妊娠週数		母性看護実践の基本 6章2節1項 妊娠の成立 (p.110-112)
	b 妊婦の健康状態と胎児の発育		母性看護実践の基本 6章4節2項 妊婦と胎児のアセスメント (p.130-132) 母性看護技術 1章1節 妊婦のヘルスアセスメント (p.12-20), 2節 内診時の援助 (p.21-23), 3節 乳房のアセスメント (p.24-25), 4節 超音波診断法: 胎児の発育とwell-beingの評価 (p.26-29), 5節 超音波ドプラ法 (p.30), 6節 NST (p.31-33), 7節 BPS (p.34-35)
	c 食事と栄養		母性看護実践の基本 6章5節1項 食生活 (p.132-135)
	d 排泄		母性看護実践の基本 6章5節2項 排泄 (p.136-137)
	e 活動と休息		母性看護実践の基本 6章5節4項 活動と休息 (p.139-140) 母性看護技術 1章10節 日常生活動作 (p.40-44), 11節 妊娠中の運動 (p.45-50)
	f 清潔		母性看護実践の基本 6章5節3項 清潔と衣生活 (p.137-139)
	g 性生活		母性看護実践の基本 6章5節6項 性生活 (p.142-143)
	h 嗜好品 (喫煙、アルコール、カフェイン)		母性看護実践の基本 6章5節1項 食生活 (p.135-136)
	i 妊婦健康診査		母性看護実践の基本 6章4節1項 妊婦健康診査 (p.130)
	j Leopold (レオポルド) 触診法		母性看護技術 1章1節4項 レオポルド触診法 (p.16-18)
	k 子宮底・腹囲の測定		母性看護技術 1章1節5項 計測診 (p.18-20)

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
4 妊娠期の看護	B 妊婦・胎児の健康と生活のアセスメント	l 間欠的胎児心拍数聴取	母性看護技術 1章5節 超音波ドブラ法 (p.30)
		m 胎児心拍数陣痛図、ノンストレステスト (NST)	母性看護技術 1章6節 NST (p.31-33)
		n 胎児の超音波断層法	母性看護技術 1章4節 超音波診断法：胎児の発育とwell-beingの評価 (p.26-29)
	C 妊婦と家族への看護	a 食生活の教育	母性看護実践の基本 6章5節1項 食生活 (p.132-135)
		b 健康維持・増進、セルフケアに関する教育	母性看護実践の基本 6章5節 妊婦の日常生活とセルフケアを支える看護 (p.132-143) 母性看護技術 1章10節 日常生活動作 (p.40-44), 11節 妊娠中の運動 (p.45-50)
		c マイナートラブルへの対処	母性看護実践の基本 6章6節 妊娠中のマイナートラブル (p.144-148) 母性看護技術 1章8節 つわりのケア (p.36-37), 9節 下肢静脈瘤の予防 (p.38-39)
		d 家族の再調整	母性看護実践の基本 6章3節2項 母親・父親となることへの支援 (p.127-129)
		e 出産の準備	母性看護実践の基本 6章7節1項 出産の準備 (p.149-151)
		f 育児の準備	母性看護実践の基本 6章7節2項 育児の準備 (p.151-152)
	D 妊娠期の健康問題に対する看護	a 不育症、流産、早産	母性看護実践の基本 11章2節1項 流産・切迫流産 (p.253-254), 2項 不育症 (p.254-255), 3項 早産・切迫早産 (p.255-256) 母性看護技術 1章12節 切迫早産入院中のケア (p.51-53)
		b 感染症	母性看護実践の基本 11章6節 妊娠期の感染症 (p.268-274)
		c 常位胎盤早期剥離	母性看護実践の基本 12章8節2項 常位胎盤早期剥離 (p.303-304)
		d 前置胎盤	母性看護実践の基本 12章8節1項 前置胎盤 (p.302-303)
		e 妊娠高血圧症候群	母性看護実践の基本 11章3節2項 妊娠高血圧症候群 (PIH) (p.258-259)
		f 妊娠糖尿病	母性看護実践の基本 11章3節3項 妊娠糖尿病 (GDM) (p.259-261)
		g 出生前診断	母性看護実践の基本 15章1節 出生前診断の適応妊婦 (p.358-361)
		h 妊娠貧血	母性看護実践の基本 11章3節4項 妊娠貧血 (p.261-262)
		i 妊娠悪阻	母性看護実践の基本 11章3節1項 妊娠悪阻 (p.257)
		j 高年妊娠、若年妊娠	母性看護実践の基本 15章2節1項 不妊治療後の妊娠において生じる問題 (p.363)
		k 胎児機能不全	母性看護実践の基本 12章6節 胎児機能不全 (p.289-297)
5 分娩期の看護	A 正常な分娩の経過	a 分娩期の定義	母性看護実践の基本 7章2節1項 分娩に関する定義 (p.156-158)
		b 分娩の3要素	母性看護実践の基本 7章2節2項 分娩の三要素 (p.158-161)
		c 分娩の経過	母性看護実践の基本 7章3節1項 分娩の経過 (p.161-165)
	B 産婦・胎児の健康のアセスメント	a 産婦の健康状態	母性看護実践の基本 7章3節2項 分娩経過とアセスメント (p.166-175)
		b 分娩経過と進行	母性看護実践の基本 7章3節 分娩経過と胎児の健康状態 (p.161-175) 母性看護技術 2章1節 入院までのケア (p.56-58), 2節 入院時の観察 (p.59-61), 4節 分娩進行状態の観察と記録 (p.66-68), 10節 分娩体位 (p.88-89), 11節 分娩に向けた産婦の準備とケア (p.90-94), 12節 分娩直後の母体の観察 (p.95-97), 16節 分娩後2時間の観察 (p.110-112)
		c 陣痛、産痛	母性看護実践の基本 7章3節2項 分娩経過とアセスメント (p.166-175)

必  
修  
問  
題人  
体  
の  
構  
造  
と  
機  
能疾  
病  
の  
成  
り  
立  
ち  
と  
回  
復  
の  
促  
進健  
康  
支  
援  
と  
社  
会  
保  
障  
制  
度基  
礎  
看  
護  
学成  
人  
看  
護  
学老  
年  
看  
護  
学小  
児  
看  
護  
学母  
性  
看  
護  
学精  
神  
看  
護  
学在  
宅  
看  
護  
論看  
護  
の  
統  
合  
と  
実  
践



大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所	
5 分娩期の看護	B 産婦・胎児の健康のアセスメント	d 産道	母性看護実践の基本 7章3節2項 分娩経過とアセスメント (p.166-175)	
		e 破水	母性看護実践の基本 7章2節1項 分娩に関する定義 (p.158) 母性看護技術 2章7節 破水の観察 (p.80-81)	
		f 胎児の健康状態	母性看護実践の基本 7章3節2項 分娩経過とアセスメント (p.166-175) 母性看護技術 2章2節 入院時の観察 (p.59-61), 4節 分娩進行状態の観察と記録 (p.66-68)	
		g 産婦と家族の心理・社会的状態	母性看護実践の基本 7章5節 産婦と家族の心理 (p.181-183)	
		h 連続的胎児心拍数モニタリング	母性看護技術 2章3節 胎児の健康状態の観察: ドブラ法, 分娩監視装置 (p.62-65)	
	C 産婦と家族への看護	a 産婦の基本的ニーズへの支援	母性看護実践の基本 7章4節1項 基本的ニーズの変化と看護 (p.176-177) 母性看護技術 2章5節 産婦の基本的ニーズのケア (食事・活動と休息・排泄・清潔) (p.69-72)	
		b 産痛の緩和と分娩進行に対応した看護	母性看護実践の基本 7章4節3項 安全・安楽のニーズ (p.177-180) 母性看護技術 2章6節 産痛緩和法 (p.73-79)	
		c 産婦と家族の心理への看護	母性看護実践の基本 7章5節 産婦と家族の心理 (p.181-183)	
	D 分娩期の健康問題に対する看護	a 前期破水	母性看護実践の基本 11章7節 羊水量の異常 (p.276)	
		b 帝王切開術	母性看護実践の基本 12章9節2項 帝王切開 (p.307-311)	
		c 分娩時異常出血	母性看護実践の基本 12章8節 異常出血 (p.300-306)	
		d 胎児機能不全	母性看護実践の基本 12章6節 胎児機能不全 (p.289-297)	
		e 陣痛異常 (微弱陣痛、過強陣痛)	母性看護実践の基本 12章2節1項 微弱陣痛 (p.282-283), 3項 過強陣痛 (p.284)	
	6 産褥期の看護	A 正常な産褥の経過	a 産褥期の定義	母性看護実践の基本 8章2節1項 産褥とは (p.187)
			b 産褥期の身体的特徴	母性看護実践の基本 8章2節1項 産褥とは (p.187)
c 全身の変化			母性看護実践の基本 8章2節2項 全身の変化 (p.187-189)	
d 生殖器の変化			母性看護実践の基本 8章2節3項 生殖器の変化 (p.190-193)	
e 乳房の変化			母性看護実践の基本 10章3節 乳房の構造と機能・乳汁分泌メカニズム (p.231-235)	
f 褥婦と家族の心理・社会的変化			母性看護実践の基本 8章4節 褥婦の心理社会的変化のアセスメントと看護 (p.197-200)	
B 褥婦の健康と生活のアセスメント		a 全身状態	母性看護実践の基本 8章3節1項 バイタルサイン (p.193-194)	
		b 子宮復古	母性看護実践の基本 8章3節3項 子宮復古 (p.194-196) 母性看護技術 3章3節 子宮復古のアセスメントと子宮底の輪状マッサージ (p.118-122), 4節 悪露のアセスメントとケア (p.123-126)	
		c 分娩による損傷の状態	母性看護実践の基本 8章3節4項 会陰と肛門 (p.196) 母性看護技術 3章5節 外陰部・肛門部の創傷のアセスメントとケア (p.127-128)	
		d 母乳育児の状況、栄養法	母性看護実践の基本 10章4節 新生児の生理機能と乳汁分泌メカニズムに基づいた母乳育児支援 (p.236-239), 5節 母親・新生児・授乳の観察と評価 (p.239-242), 6節 母親へのエモショナルサポートとエンパワメント (p.242) 母性看護技術 3章8節 授乳姿勢 (ポジショニング) (p.134-141), 9節 吸着 (ラッチ・オン) (p.142-144), 12節 搾乳 (p.150-152)	
		e 食事と栄養	母性看護実践の基本 8章5節 褥婦の日常生活とセルフケアを支える看護 (p.200-204)	
		f 排泄	母性看護実践の基本 8章5節 褥婦の日常生活とセルフケアを支える看護 (p.200-204) 母性看護技術 3章7節 産褥体操 (p.132-133)	

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
6 産褥期の看護	B 褥婦の健康と生活のアセスメント	g 活動と休息	母性看護実践の基本 8章5節 褥婦の日常生活とセルフケアを支える看護 (p.200-204)
		h 清潔	母性看護実践の基本 8章5節 褥婦の日常生活とセルフケアを支える看護 (p.200-204)
		i 褥婦と家族の心理・社会的状態	母性看護実践の基本 8章4節 褥婦の心理社会的変化のアセスメントと看護 (p.197-200)
		j 育児準備	母性看護実践の基本 8章5節1項 快適な活動と休息のための生活環境調整 (p.200-201)
	C 褥婦と家族への看護	a 産褥復古に関する支援	母性看護実践の基本 8章3節3項 子宮復古 (p.194-196) 母性看護技術 3章3節 子宮復古のアセスメントと子宮底の輪状マッサージ (p.118-122), 4節 悪露のアセスメントとケア (p.123-126)
		b 母乳育児への支援	母性看護実践の基本 10章4節 新生児の生理機能と乳汁分泌メカニズムに基づいた母乳育児支援 (p.236-239), 5節 母親・新生児・授乳の観察と評価 (p.239-242), 6節 母親へのエモショナルサポートとエンパワメント (p.242), 7節 母乳育児支援に役立つ情報提供とケア (p.243-248) 母性看護技術 3章8節 授乳姿勢 (ポジショニング) (p.134-141), 9節 吸着 (ラッチ・オン) (p.142-144), 10節 授乳しやすくするためのソフトマッサージ (p.145-147), 11節 乳頭・乳輪部の浮腫を軽減させる方法 (RPS法) (p.148-149), 12節 搾乳 (p.150-152)
		c パースレビュー	母性看護実践の基本 7章5節2項 出産体験の想起と自己評価 (p.181-182)
		d 褥婦の日常生活とセルフケア	母性看護実践の基本 8章5節 褥婦の日常生活とセルフケアを支える看護 (p.200-204) 母性看護技術 3章7節 産褥体操 (p.132-133), 13節 骨盤底筋体操 (p.153-154)
		e 食生活の教育	母性看護実践の基本 8章5節 褥婦の日常生活とセルフケアを支える看護 (p.200-204)
		f 親子の愛着形成の支援	母性看護実践の基本 8章6節 親役割への支援 (p.204-206)
		g 育児技術獲得への支援	母性看護技術 4章5節 衣類の交換 (衣類の着脱) (p.176-179), 6節 おむつ交換 (p.180-182), 7節 抱き方と寝かせ方 (p.183-186), 8節 新生児の皮膚の清潔法 (p.187-202), 9節 排気 (p.203-204), 10節 爪切り (p.205-206)
		h 家族の再調整	母性看護実践の基本 7章5節3項 新しい家族関係の構築 (p.182-183)
	D 産褥期の健康問題に対する看護	a 帝王切開術後	母性看護実践の基本 13章5節 帝王切開術後 (p.326-328)
		b 子宮復古不全	母性看護実践の基本 13章1節1項 子宮復古不全 (p.314) 母性看護技術 3章3節 子宮復古のアセスメントと子宮底の輪状マッサージ (p.118-122)
		c 産褥熱	母性看護実践の基本 13章2節1項 産褥熱 (p.316)
		d 乳腺炎	母性看護実践の基本 13章3節2項 乳房のトラブル (p.320-323)
		e 産後精神障害	母性看護実践の基本 13章4節 産後うつ病 (p.325)
		f 尿路感染、排尿障害	母性看護実践の基本 13章2節2項 尿路感染症 (p.317)
		g 死産、障害がある新生児を出産した親	母性看護実践の基本 13章6節 流産・死産後の看護 (p.329-330), 7節 先天異常、障害をもつ新生児の家族へのケア (p.332-335)
7 早期新生児期の看護	A 早期新生児の特徴と生理的变化	a 新生児期の定義と特徴	母性看護実践の基本 9章2節1項 新生児とは (p.209)
		b 神経系	母性看護実践の基本 9章2節2項 新生児の生理機能 (p.213)
		c 運動器系	母性看護実践の基本 9章3節2項 フィジカルアセスメント (p.217)
		d 感覚器系	母性看護実践の基本 9章2節2項 新生児の生理機能 (p.213)
		e 循環器系	母性看護実践の基本 9章2節2項 新生児の生理機能 (p.210)

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
7 早期新生児期の看護	A 早期新生児の特徴と生理的变化	f 生体の防御機能	母性看護実践の基本 9章2節2項 新生児の生理機能 (p.212)
		g 呼吸器系	母性看護実践の基本 9章2節2項 新生児の生理機能 (p.210)
		h 消化器系	母性看護実践の基本 9章2節2項 新生児の生理機能 (p.211)
		i 代謝系	母性看護実践の基本 9章2節2項 新生児の生理機能 (p.211-212)
		j 泌尿器系	母性看護実践の基本 9章2節2項 新生児の生理機能 (p.212)
		k 体温調節	母性看護実践の基本 9章2節2項 新生児の生理機能 (p.210-211)
	B 早期新生児の健康と発育のアセスメント	a Apgar (アプガー) スコア	母性看護実践の基本 9章4節1項 出生直後のケア (p.219-220) 母性看護技術 4章1節 アプガースコア (p.158)
		b 成熟度の評価	母性看護実践の基本 9章3節1項 在胎週数の決定と成熟度の評価 (p.213-214)
		c 外観	母性看護実践の基本 9章3節2項 フィジカルアセスメント (p.214)
		d バイタルサイン	母性看護実践の基本 9章3節2項 フィジカルアセスメント (p.214) 母性看護技術 4章4節 バイタルサイン・チェックと全身の観察 (p.166-175)
		e 皮膚、皮膚色	母性看護実践の基本 9章3節2項 フィジカルアセスメント (p.214)
		f 頭部、顔面	母性看護実践の基本 9章3節2項 フィジカルアセスメント (p.214-215)
		g 体幹、四肢	母性看護実践の基本 9章3節2項 フィジカルアセスメント (p.215-217)
		h 外性器	母性看護実践の基本 9章3節2項 フィジカルアセスメント (p.216-217)
		i 神経学的状態	母性看護実践の基本 9章3節2項 フィジカルアセスメント (p.217)
		j 生理的体重減少	母性看護実践の基本 9章2節2項 新生児の生理機能 (p.212)
		k 生理的黄疸	母性看護実践の基本 9章2節2項 新生児の生理機能 (p.211)
		l 哺乳力	母性看護実践の基本 10章4節3項 効果的な吸着 (ラッチ・オン) と吸啜 (p.237-239)
		m 排尿、排便	小児の発達と看護 2章2節3項 機能的発達の特徴 (p.84-85)
		n 新生児マススクリーニング	母性看護実践の基本 9章4節3項 出生後24時間以降から退院に向けたケア (p.223-224)
	C 早期新生児と家族への看護	a 気道の開通	母性看護実践の基本 9章4節1項 出生直後のケア (p.219)
		b 保温	母性看護実践の基本 9章4節1項 出生直後のケア (p.219) 母性看護技術 4章2節 出生直後の皮膚乾燥 (p.159-161)
		c 全身計測	母性看護実践の基本 9章4節2項 出生後24時間以内のケア (p.221) 母性看護技術 4章3節 新生児の計測 (p.162-165)
		d 全身の観察	母性看護技術 4章4節 バイタルサイン・チェックと全身の観察 (p.166-175)
		e 清潔	母性看護実践の基本 9章4節2項 出生後24時間以内のケア (p.221) 母性看護技術 4章5節 衣類の交換 (衣類の着脱) (p.176-179), 6節 おむつ交換 (p.180-182), 8節 新生児の皮膚の清潔法 (p.187-202), 10節 爪切り (p.205-206)
		f 哺乳	母性看護実践の基本 10章4節 新生児の生理機能と乳汁分泌メカニズムに基づいた母乳育児支援 (p.236-239)
		g 感染予防	母性看護実践の基本 9章4節2項 出生後24時間以内のケア (p.222)
		h 事故防止	母性看護実践の基本 9章4節2項 出生後24時間以内のケア (p.222-223)

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
7 早期新生児期の看護	C 早期新生児と家族への看護	i 保育環境	母性看護実践の基本 9章4節2項 出生後24時間以内のケア (p.220-223)
	D 早期新生児の健康問題に対する看護	a 先天異常の新生児	母性看護実践の基本 14章2節2項 外表奇形 (p.342), 3節2項 外科的疾患 (p.345-346), 5節 先天異常 (p.349-350)
		b 早産児、低出生体重児	母性看護実践の基本 14章1節 早産児・低出生体重児にみられやすい疾患 (p.338-341), 6節 早産児・低出生体重児と家族への看護 (p.351-354)
		c 新生児一過性多呼吸 (TTN)	母性看護実践の基本 14章2節4項 呼吸器疾患 (p.344)
		d 呼吸窮迫症候群 (RDS)	母性看護実践の基本 14章1節1項 呼吸窮迫症候群 (p.338)
		e 胎便吸引症候群 (MAS)	母性看護実践の基本 14章2節4項 呼吸器疾患 (p.344)
		f 高ビリルビン血症	母性看護実践の基本 14章3節3項 高ビリルビン血症 (p.346-347)
		g 新生児ビタミンK欠乏症	母性看護実践の基本 14章3節5項 新生児出血性疾患 (真性メレナ) (p.347)
h 低血糖症	母性看護実践の基本 14章4節1項 糖尿病母体から出生した児 (p.348)		

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践

#### 目標Ⅳ 周産期医療のシステムと母子保健施策の活用についての基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
8 周産期医療のシステムと母子保健施策	A 周産期医療のシステム	a 母体搬送	母性看護実践の基本 2章4節2項 母子保健法制定後の母子保健 (p.39-41)
		b 新生児搬送	母性看護実践の基本 2章4節2項 母子保健法制定後の母子保健 (p.39-41)
		c チーム医療	母性看護実践の基本 2章4節2項 母子保健法制定後の母子保健 (p.39-41)
		d 周産期医療ネットワーク	母性看護実践の基本 2章4節2項 母子保健法制定後の母子保健 (p.39-41)
	B 母子保健法に関する施策の活用	a 妊婦健康診査	医療関係法規 8章1節 母子保健法 (p.122, 126-127) 母性看護実践の基本 2章3節 母性看護に関する法律 (p.37-39)
		b 新生児訪問指導	医療関係法規 8章1節 母子保健法 (p.122) 母性看護実践の基本 2章3節 母性看護に関する法律 (p.37-39)
		c 乳幼児健診	医療関係法規 8章1節 母子保健法 (p.122) 母性看護実践の基本 2章4節2項 母子保健法制定後の母子保健 (p.39-41)
		d 未熟児養育医療と未熟児訪問指導	医療関係法規 8章1節 母子保健法 (p.123-124) 母性看護実践の基本 2章3節 母性看護に関する法律 (p.37-39)
	C 子育て支援に関する施策の活用	a 産前・産後休業、育児休業	母性看護実践の基本 2章3節 母性看護に関する法律 (p.37-39) 医療関係法規 15章1節 労働基準法 (p.295), 2節 育児・介護休業法 (p.296-297)
		b 妊娠・出産包括支援	母性看護実践の基本 2章4節2項 母子保健法制定後の母子保健 (p.39-41)
		c 子ども・子育て支援事業	母性看護実践の基本 2章4節 子育て支援に関する施策 (p.39-42) 医療関係法規 8章6節 子ども・子育て支援法 (p.136-137)
		d 在留外国人の母子支援	母性看護実践の基本 15章4節 外国人妊産婦への支援 (p.368-371)
		e 災害時の母子支援	母性看護実践の基本 15章5節 災害時の妊産婦への支援 (p.372-374) 災害看護 5章3節 妊産婦に必要な支援と看護 (p.112-115)

## 目標 I 精神保健の基本と保持・増進に向けた看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
1 精神保健の基本	A 精神の健康の概念	a 精神の健康の定義	情緒発達と精神看護の基本 1章1節 ころの健康とは (p.12) ヘルスアセスメント 5章1節1項 心理的側面のアセスメントに必要な基礎知識 (p.240-245)
		b 精神障害の一次予防・二次予防・三次予防	情緒発達と精神看護の基本 1章4節, plus a 三つの予防概念 (p.20)
	B 心の機能と発達	a 精神と情緒の発達	情緒発達と精神看護の基本 2章2節2項 心理的成熟 (p.34-35) /3章 人格の発達と情緒体験 (p.50-58)
		b 自我の機能	情緒発達と精神看護の基本 2章1節3項 ころをころの構造に関する仮説から理解する (p.29-31) 精神障害と看護の実践 3章3節3項 精神分析的な精神療法 (p.122-123)
		c 防衛機制	情緒発達と精神看護の基本 2章2節6項 ころの防衛機制 (p.41-44) 精神障害と看護の実践 3章3節3項 精神分析的な精神療法 (p.122-123)
		d 精神力動	情緒発達と精神看護の基本 2章1節3項, plus a 精神力動 (p.30)
		e 転移感情	情緒発達と精神看護の基本 10章4節3項 心理主義的な考え方と精神療法の発展 (p.151)/12章2節2項 専門看護師の活動の実際 (p.186)
	C 精神の健康に関する普及啓発	a 偏見、差別、ステイグマ	情緒発達と精神看護の基本 1章6節1項 社会の偏見・差別と長期入院 (p.23-24)/8章3節 逸脱行動と「烙印」 (p.121-122)
		b 精神保健医療福祉の改革ビジョン	情緒発達と精神看護の基本 1章6節1項, plus a 精神保健医療福祉の改革ビジョン (p.23) 公衆衛生 10章1節2項 精神保健福祉の歴史 (p.165)
	D 危機〈クライシス〉	a 危機〈クライシス〉の概念	情緒発達と精神看護の基本 2章2節7項 ころの危機 (p.44-46) 健康危機状況/セルフケアの再獲得 1章1節2項 成人にとっての危機とは (p.15-18)
		b 危機〈クライシス〉の予防	情緒発達と精神看護の基本 4章1節 ライフサイクルとストレス (p.60)
		c 危機介入	情緒発達と精神看護の基本 11章3節 精神保健福祉法による入院形態 (p.173-175)
		d ストレスと対処	情緒発達と精神看護の基本 2章2節5項 不安とその対処法: コーピング (p.39-41)/12章1節4項 ストレスマネジメントの方法 (p.181-184) 成人看護学概論 15章 ストレス (p.226-236)
		e 適応理論	情緒発達と精神看護の基本 2章2節6項 ころの防衛機制 (p.41-44) 成人看護学概論 17章 適応 (p.248-258)
	E 災害時の地域における精神保健医療活動	a 災害時の精神保健医療活動	情緒発達と精神看護の基本 2章2節7項 ころの危機 (p.45) 精神障害と看護の実践 8章 コラム 災害時地域精神保健医療活動 (p.227) 災害看護 5章6節11項 精神疾患患者への支援と看護 (p.136-137)/6章1節 被災者の心理の理解と援助 (p.150-156)
		b 災害時の精神保健に関する初期対応	精神障害と看護の実践 8章 コラム 災害時地域精神保健医療活動 (p.227) 災害看護 5章6節11項 精神疾患患者への支援と看護 (p.136-137)/6章1節 被災者の心理の理解と援助 (p.150-156)

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
1 精神保健の基本	E 災害時の地域における精神保健医療活動	c 災害時の精神障害者への治療継続	精神障害と看護の実践 8章 コラム 災害時地域精神保健医療活動 (p.227) 災害看護 6章1節 被災者の心理の理解と援助 (p.150-156)
		F 精神の健康とマネジメント	a 心身相関と健康
	b 身体疾患がある者の精神の健康	情緒発達と精神看護の基本 6章4節 心身症の例 (p.95-97) / 12章2節2項 専門看護師の活動の実際 (p.187-188)	
	c 精神疾患がある者の身体健康	情緒発達と精神看護の基本 12章2節1項 専門看護師 (p.185-186)	
	d 患者と家族の精神の健康	情緒発達と精神看護の基本 7章4節 精神疾患と家族 (p.112-117)	
	e 保健医療福祉に従事する者の精神の健康	情緒発達と精神看護の基本 12章1節1項 看護師とストレス (p.178-180), 2項 精神科で働く看護師のストレス (p.180-181), 2節2項 専門看護師の活動の実際 (p.188-189) 災害看護 6章2節 支援者の心理の理解と援助 (p.156-162)	
	f 心身相関の考え方に基づくホリスティックケア	情緒発達と精神看護の基本 6章5節 心身症の患者への看護 (p.97-98)	
	g リエゾン精神看護	情緒発達と精神看護の基本 12章2節1項 専門看護師 (p.185-186)	
	h 患者、家族、保健医療福祉の専門職間の連携促進	情緒発達と精神看護の基本 12章2節1項 専門看護師 (p.185-186)	

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践

**目標Ⅱ 主な精神疾患・障害の特徴と看護について基本的な理解を問う。**

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
2 主な精神疾患・障害の特徴と看護	A 症状性を含む器質性精神障害	a 症状と看護	精神障害と看護の実践 1章13節 神経認知障害 (p.74-81)
		b 臨床検査および心理検査と看護	精神障害と看護の実践 2章 医学的検査と心理検査 (p.89-102)
		c 薬物療法と看護	精神障害と看護の実践 3章2節 薬物療法 (p.109-119)
	B 精神作用物質使用による精神・行動の障害	a 症状と看護	精神障害と看護の実践 1章12節 物質関連障害 (p.68-73)
		b 臨床検査および心理検査と看護	精神障害と看護の実践 2章 医学的検査と心理検査 (p.89-102)
		c 薬物療法と看護	精神障害と看護の実践 3章2節 薬物療法 (p.109-119)
	C 統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害	a 症状と看護	精神障害と看護の実践 1章3節 統合失調症 (p.25-29) / 9章1節 統合失調症 (急性期) 患者の看護の実際 (p.230-233), 2節 統合失調症 (慢性期) 患者の看護の実際 (p.234-237)
		b 臨床検査および心理検査と看護	精神障害と看護の実践 2章 医学的検査と心理検査 (p.89-102)
		c 薬物療法と看護	精神障害と看護の実践 1章3節3項 統合失調症の治療 (p.27-28) / 3章2節 薬物療法 (p.109-119)
	D 気分〈感情〉障害	a 症状と看護	精神障害と看護の実践 1章4節 抑うつ障害と双極性障害 (p.30-37) / 9章4節 うつ病患者の看護の実際 (p.242-245)
		b 臨床検査および心理検査と看護	精神障害と看護の実践 1章4節2項 抑うつ障害の検査・治療 (p.33), 6項 双極性障害の検査・治療 (p.36) / 2章 医学的検査と心理検査 (p.89-102)
		c 薬物療法と看護	精神障害と看護の実践 1章4節2項 抑うつ障害の検査・治療 (p.33), 6項 双極性障害の検査・治療 (p.36-37) / 3章2節 薬物療法 (p.109-119)

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
2 主な精神疾患・障害の特徴と看護	E 神経症性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害	a 症状と看護	情緒発達と精神看護の基本 2章2節7項 こころの危機 (p.45) 精神障害と看護の実践 1章5節 不安障害 (p.38-42), 6節 強迫性障害 (p.42-46), 7節 ストレス因関連障害 (p.46-50), 8節 解離性障害 (p.50-53), 9節 身体症状症および関連症 (p.54-58) / 9章5節 パニック障害患者の看護の実際 (p.246-250), 7節 被虐待児症候群, 解離性障害患者の看護の実際 (p.256-260) 災害看護 6章1節2項 災害による心の反応 (p.150-152)
		b 臨床検査および心理検査と看護	精神障害と看護の実践 1章5節6項 不安障害の検査・治療 (p.41), 6節3項 強迫性障害 (OCD) の治療・検査 (p.45), 9節1項 身体症状症 (p.55) / 2章 医学的検査と心理検査 (p.89-102)
		c 薬物療法と看護	精神障害と看護の実践 1章5節6項 不安障害の検査・治療 (p.41), 6節3項 強迫性障害 (OCD) の治療・検査 (p.45), 7節4項 PTSDの治療 (p.48), 8節4項 解離性障害の治療 (p.52), 9節1項 身体症状症 (p.55), 2項 病気不安症 (p.56), 3項 変換症 / 転換性障害 (p.57) / 3章2節 薬物療法 (p.109-119)
	F 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	a 症状と看護	精神障害と看護の実践 1章10節 摂食障害 (p.58-62), 11節 睡眠-覚醒障害 (p.63-68) / 9章6節 摂食障害患者の看護の実際 (p.250-255)
		b 臨床検査および心理検査と看護	精神障害と看護の実践 1章10節4項 摂食障害の検査・治療 (p.59-60), 11節2項 睡眠-覚醒障害の検査および症状評価 (p.63-64) / 2章 医学的検査と心理検査 (p.89-102)
		c 薬物療法と看護	精神障害と看護の実践 1章11節3項 不眠障害 (p.64), 4項 ナルコレプシー (p.66) / 3章2節 薬物療法 (p.109-119)
	G パーソナリティ障害	a 症状と看護	精神障害と看護の実践 1章14節 パーソナリティ障害 (p.81-83) / 9章3節 パーソナリティ障害患者の看護の実際 (p.238-242)
		b 臨床検査および心理検査と看護	精神障害と看護の実践 2章 医学的検査と心理検査 (p.89-102)
		c 薬物療法と看護	精神障害と看護の実践 1章14節3項 パーソナリティ障害の治療 (p.83) / 3章2節 薬物療法 (p.109-119)
	H 習慣および衝動の障害	a 症状と看護	情緒発達と精神看護の基本 8章 嗜癖と依存 (p.119-128)
		b 臨床検査および心理検査と看護	情緒発達と精神看護の基本 8章4節1項 治療・看護の過程 (p.122)
		c 薬物療法と看護	情緒発達と精神看護の基本 8章4節1項 治療・看護の過程 (p.122)
	I 性同一性障害	a 症状と看護	母性看護実践の基本 3章1節3項 性同一性障害 (p.46-48)
		b 臨床検査および心理検査と看護	母性看護実践の基本 3章1節3項 性同一性障害 (p.46-48)
		c 薬物療法と看護	母性看護実践の基本 3章1節3項 性同一性障害 (p.46-48)
	J 知的障害〈精神遅滞〉	a 症状と看護	精神障害と看護の実践 1章2節 神経発達症：成人期の自閉症スペクトラム障害 (ASD) (p.22-25), 13節1項, plus α 認知症と精神遅滞 (p.74)
		b 臨床検査および心理検査と看護	精神障害と看護の実践 2章 医学的検査と心理検査 (p.89-102)
		c 薬物療法と看護	精神障害と看護の実践 3章2節 薬物療法 (p.109-119)
K 心理的発達の障害	a 症状と看護	精神障害と看護の実践 1章2節 神経発達症：成人期の自閉症スペクトラム障害 (ASD) (p.22-25)	
	b 臨床検査および心理検査と看護	小児の発達と看護 2章6節2項 心理社会的発達の評価法 (p.168-170) 精神障害と看護の実践 2章 医学的検査と心理検査 (p.89-102)	
	c 薬物療法と看護	精神障害と看護の実践 3章2節 薬物療法 (p.109-119)	
L 小児期・青年期に発症する行動・情緒の障害	a 症状と看護	情緒発達と精神看護の基本 5章2節1項 自殺 (p.76), 2項 ひきこもり (p.76), 3項 不登校 (p.76), 4項 自傷行為 (p.77), 4節 現代社会と子ども (p.89-92) 精神障害と看護の実践 1章3節 統合失調症 (p.25-29)	

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
2 主な精神疾患・障害の特徴と看護	L 小児期・青年期に発症する行動・情緒の障害	b 臨床検査および心理検査と看護	精神障害と看護の実践 2章 医学的検査と心理検査 (p.89-102)
		c 薬物療法と看護	精神障害と看護の実践 1章3節3項 統合失調症の治療 (p.27-28) / 3章2節 薬物療法 (p.109-119)

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践

**目標Ⅲ 精神看護の対象の理解と支援のための概念について基本的な理解を問う。**

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
3 精神看護の対象の理解と支援のための概念	A 援助関係の構築	a 信頼関係の基礎づくり	情緒発達と精神看護の基本 1章5節 対象理解の難しさ (p.21-23) 精神障害と看護の実践 5章1節4項 看護師に求められるコミュニケーション技術 (p.147-149)
		b 患者－看護師関係の発展と終結	精神障害と看護の実践 4章2節4項 患者との関係性の変化 (p.141-142)
		c プロセスレコードの活用	精神障害と看護の実践 10章4節2項 プロセスレコードと再構成 (p.273-274)
	B セルフケアへの援助	a 食物・水分の摂取	精神障害と看護の実践 4章1節3項 セルフケアレベルの把握 (p.134)
		b 呼吸	精神障害と看護の実践 4章1節3項 セルフケアレベルの把握 (p.134)
		c 排泄	精神障害と看護の実践 4章1節3項 セルフケアレベルの把握 (p.134)
		d 清潔と身だしなみ	精神障害と看護の実践 4章1節3項 セルフケアレベルの把握 (p.134)
		e 活動と休息	精神障害と看護の実践 4章1節3項 セルフケアレベルの把握 (p.134)
		f 対人関係	精神障害と看護の実践 4章1節3項 セルフケアレベルの把握 (p.134)
		g 安全	精神障害と看護の実践 4章1節3項 セルフケアレベルの把握 (p.134)
	C 生きる力と強さに着目した援助	a レジリエンス	リハビリテーション看護 2章10節 レジリエンス (p.44-45)
		b リカバリ〈回復〉	情緒発達と精神看護の基本 2章2節8項 回復(リカバリー)ということ (p.46-47) / 7章4節3項 家族の役割と家族の回復 (p.115-117) 精神障害と看護の実践 7章1節 精神科リハビリテーションの考え方 (p.201)
		c ストレングス〈強み・力〉	情緒発達と精神看護の基本 2章2節8項, plus a ストレングス〈強み・力〉とエンパワメント (p.46) 精神障害と看護の実践 7章1節 精神科リハビリテーションの考え方 (p.201)
		d エンパワメント	情緒発達と精神看護の基本 2章2節8項, plus a ストレングス〈強み・力〉とエンパワメント (p.46) 精神障害と看護の実践 3章4節2項 病院内で行われる社会療法 (p.127)



目標Ⅳ

精神疾患・障害がある者の生物・心理・社会的側面に注目した、多角的なアセスメントに基づく看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
4 精神疾患・障害がある者への看護	A 脳の仕組みと精神機能	a 脳の部位と精神機能	情緒発達と精神看護の基本 2章1節1項 ころを脳の構造から理解する (p.28)
		b 神経伝達物質と精神機能・薬理作用	情緒発達と精神看護の基本 2章1節1項 ころを脳の構造から理解する (p.28) 精神障害と看護の実践 3章2節 薬物療法 (p.109)
		c ストレス脆弱性仮説	情緒発達と精神看護の基本 1章4節 精神障害が生じるきっかけとプロセス (p.20) 精神障害と看護の実践 7章1節3項 障害論に基づくリハビリテーション論 (p.195)
		d 脳と免疫機能	脳・神経機能障害／感覚機能障害 2章8節 免疫性神経疾患 (p.74-79) 情緒発達と精神看護の基本 2章2節4項 適応と不適応 (p.37-39)
		e 睡眠障害と概日リズム〈サーカディアンリズム〉	病態生理学 2章46節 睡眠障害 (p.329-326) 精神障害と看護の実践 1章11節6項 概日リズム睡眠－覚醒障害 (p.67)
	B 心理・社会的療法	a 個人精神療法	情緒発達と精神看護の基本 10章4節3項 心理主義的な考え方と精神療法の発展 (p.151) 精神障害と看護の実践 3章3節1項 支持的な精神療法 (p.120), 2項 認知行動療法 (p.120-122), 3項 精神分析的な精神療法 (p.122-123)
		b 集団精神療法、集団力動	情緒発達と精神看護の基本 1章2節5項 人と集団 (p.15-18) 精神障害と看護の実践 3章3節5項 集団精神療法 (p.123-124)
		c 心理教育的アプローチ	情緒発達と精神看護の基本 7章4節2項 家族によくみられる状況 (p.113-115)
		d 認知行動療法	情緒発達と精神看護の基本 12章1節4項 ストレスマネジメントの方法 (p.182-183) 精神障害と看護の実践 3章3節2項 認知行動療法 (p.120-122)
		e 生活技能訓練〈SST〉	精神障害と看護の実践 3章4節2項 病院内で行われる社会療法 (p.127)／7章1節4項 精神障害者にとってのリハビリテーション (p.198-199)
	C B以外の治療法	a 電気けいれん療法	情緒発達と精神看護の基本 10章4節2項 身体療法の誕生 (p.150-151) 精神障害と看護の実践 3章5節 電気けいれん療法 (p.128-130)
	D 家族への看護	a 家族のストレスと健康状態のアセスメント	情緒発達と精神看護の基本 7章2節1項 ジェノグラム (p.103-104), 4項 家族の機能評価 (p.107-108)
		b 家族の対処力とソーシャルサポートのアセスメント	情緒発達と精神看護の基本 7章2節4項 家族の機能評価 (p.107-108)
		c 家族システムのアセスメント	情緒発達と精神看護の基本 7章2節2項 システムとしての家族 (p.104-105) 精神障害と看護の実践 3章3節4項 家族療法 (p.123)
		d 家族への教育的介入と支援	情緒発達と精神看護の基本 7章2節3項 家族療法とさまざまな家族モデル (p.105-107)
		e 患者－家族関係	情緒発達と精神看護の基本 7章3節 家族の課題 (p.108-112), 4節 精神疾患と家族 (p.112-117)
	E 社会復帰・社会参加への支援	a リハビリテーションの概念	精神障害と看護の実践 7章1節3項 障害論に基づくリハビリテーション論 (p.194-195), 4項 精神障害者にとってのリハビリテーション (p.196-200) 臨床看護総論 3章4節12項 リハビリテーション療法 (p.140-141)
		b 国際生活機能分類〈ICF〉	情緒発達と精神看護の基本 1章6節3項 疾病と障害 (p.25-26)
		c 長期入院患者の退院支援	情緒発達と精神看護の基本 1章6節2項 「精神障害者を地域で支える」を目指して (p.24-25)

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
4 精神疾患・障害がある者への看護	F 精神保健医療福祉に関する社会資源の活用と調整	a 精神科デイケア、精神科ナイトケア	精神障害と看護の実践 7章2節1項 治療を継続するための場 (p.202-203)
		b 精神科訪問看護、訪問看護	精神障害と看護の実践 7章2節1項 治療を継続するための場 (p.203-204) 地域療養を支えるケア 7章6節 在宅での生活を希望する精神障害者 (p.263-265)
		c 困難事例に関する行政との連携(保健所、市町村、精神保健福祉センター)	精神障害と看護の実践 7章2節 地域精神保健活動における社会資源の活用 (p.202-204) 公衆衛生 10章2節2項 関係機関の役割 (p.168-173)
	G 社会資源の活用とケアマネジメント	a 精神疾患・障害者ケアマネジメントの基本的考え方	精神障害と看護の実践 7章2節 地域精神保健活動における社会資源の活用 (p.202-204)
		b 社会資源の活用とソーシャルサポート	精神障害と看護の実践 7章2節 地域精神保健活動における社会資源の活用 (p.202-204)
		c セルフヘルプグループ	精神障害と看護の実践 3章3節5項 集団精神療法 (p.123) / 7章2節4項 家族や当事者によるサポート (p.208)
		d 自立支援医療	精神障害と看護の実践 7章2節1項 治療を継続するための場 (p.202-203), 2項 障害者総合支援法におけるサービス (p.205) 地域療養を支えるケア 5章4節4項 障害者総合支援法 (p.167-172)
		e 居宅介護(ホームヘルプ)、同行援護および行動援護	精神障害と看護の実践 7章2節2項 障害者総合支援法におけるサービス (p.206) 地域療養を支えるケア 5章4節4項 障害者総合支援法 (p.167-172)
		f 重度訪問介護	精神障害と看護の実践 7章2節2項 障害者総合支援法におけるサービス (p.206)
		g 生活介護	精神障害と看護の実践 7章2節2項 障害者総合支援法におけるサービス (p.206) 地域療養を支えるケア 5章4節4項 障害者総合支援法 (p.167-172)
		h 短期入所(ショートステイ)	精神障害と看護の実践 7章2節2項 障害者総合支援法におけるサービス (p.206) 地域療養を支えるケア 5章4節4項 障害者総合支援法 (p.167-172)
		i 共同生活介護(ケアホーム)	精神障害と看護の実践 7章2節2項 障害者総合支援法におけるサービス (p.206) 地域療養を支えるケア 5章4節4項 障害者総合支援法 (p.167-172)
		j 生活訓練	精神障害と看護の実践 7章2節2項 障害者総合支援法におけるサービス (p.206) 地域療養を支えるケア 5章4節4項 障害者総合支援法 (p.167-172)
		k 就労移行支援	精神障害と看護の実践 7章2節2項 障害者総合支援法におけるサービス (p.206) 地域療養を支えるケア 5章4節4項 障害者総合支援法 (p.167-172)
l 就労継続支援A型・B型	精神障害と看護の実践 7章2節2項 障害者総合支援法におけるサービス (p.206) 地域療養を支えるケア 5章4節4項 障害者総合支援法 (p.167-172)		
m 共同生活援助(グループホーム)	精神障害と看護の実践 7章2節2項 障害者総合支援法におけるサービス (p.206) 地域療養を支えるケア 5章4節4項 障害者総合支援法 (p.167-172)		
n 地域生活支援事業	精神障害と看護の実践 7章2節2項 障害者総合支援法におけるサービス (p.207) 地域療養を支えるケア 5章4節4項 障害者総合支援法 (p.167-172)		

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
4 精神疾患・障害がある者への看護	G 社会資源の活用とケアマネジメント	o 精神障害者保健福祉手帳	情緒発達と精神看護の基本 11章1節6項 精神保健法から精神保健福祉法への改正 (p.166) 精神障害と看護の実践 7章2節, plus α 精神障害者保健福祉手帳 (p.202) 地域療養を支えるケア 5章4節3項 障害者手帳 (p.166) 公衆衛生 10章2節4項 精神障害者に対する生活支援制度 (p.176)

**目標V 精神疾患・障害がある者の人権と安全を守り、回復を支援する看護について基本的な理解を問う。**

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所	
5 安全な治療環境の提供	A 安全管理〈セーフティマネジメント〉	a 病棟環境の整備と行動制限	情緒発達と精神看護の基本 9章2節 生活の場としての治療環境 (p.131-132), 3節 さまざまな拘束の形と看護師による関わり (p.132-133)	
		b 自殺、自殺企図、自傷行為	情緒発達と精神看護の基本 5章2節1項 自殺 (p.76), 4項 自傷行為 (p.77-78)	
		c 攻撃的行動、暴力、暴力予防プログラム	精神障害と看護の実践 3章1節3項 治療におけるリスクマネジメント (p.108)	
		d 災害時の精神科病棟の安全の確保	精神障害と看護の実践 6章2節1項 入院生活における環境調整 (p.181-182)	
6 精神保健医療福祉の変遷と法や施策	A 患者の権利擁護〈アドボカシー〉	a 当事者の自己決定の尊重	情緒発達と精神看護の基本 9章1節1項 看護の倫理とアドボカシー (p.130), 4節1項 保護と自己決定尊重のバランス (p.134)	
		b 入院患者の基本的な処遇	情緒発達と精神看護の基本 9章2節 生活の場としての治療環境 (p.131-132) / 11章3節3項 入院患者の処遇：行動制限と人権擁護 (p.174-175)	
		c 精神医療審査会	情緒発達と精神看護の基本 9章5節3項 権利擁護のための制度 (p.138-139) / 11章1節5項 宇都宮病院事件と精神保健法の成立 (p.165), 2節3項 2013年の改正内容 (p.173) 医療関係法規 11章5節 精神保健福祉法 (p.218)	
		d 隔離、身体拘束	情緒発達と精神看護の基本 9章3節 さまざまな拘束の形と看護師による関わり (p.132-133) / 11章3節3項 入院患者の処遇：行動制限と人権擁護 (p.174-175)	
	B 精神保健医療福祉の変遷と看護	a 諸外国における精神医療の変遷	情緒発達と精神看護の基本 10章1節 古代から中世までの精神医療 (p.142-144), 2節 鎖からの解放とモラルトリートメント (p.144-146), 3節 近代の精神医療 (p.147-149), 4節 20世紀の精神医療 (p.149-153)	
		b 日本における精神医療の変遷	情緒発達と精神看護の基本 10章1節1項 精神病のとらえ方 (p.142-144), 3節3項 日本の近代化と精神医療行政 (p.148-149), 5節 日本の20世紀の精神医療 (p.154-159)	
		c 精神保健医療福祉における看護師の役割	情緒発達と精神看護の基本 10章4節4項 社会精神医学的な考え方：病院から地域へ (p.152), 5節1項 呉秀三の病院改革 (p.154-155)	
	C 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律〈精神保健福祉法〉の運用	a 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律〈精神保健福祉法〉の基本的な考え方	医療関係法規 11章5節 精神保健福祉法 (p.217) 情緒発達と精神看護の基本 11章2節 精神保健福祉法の基本的な考え方 (p.170-173)	
		b 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律〈精神保健福祉法〉による入院の形態	医療関係法規 11章5節 精神保健福祉法 (p.220-226) 情緒発達と精神看護の基本 11章3節 精神保健福祉法による入院形態 (p.173-175)	
		c 精神保健指定医	医療関係法規 11章5節 精神保健福祉法 (p.218-219) 情緒発達と精神看護の基本 11章2節2項 精神保健指定医の役割 (p.170-171)	
	7 精神保健医療福祉における多職種連携	A 多職種連携と看護の役割	a 医師、歯科医師	精神障害と看護の実践 3章1節2項 多職種によるチーム医療 (p.105-106) / 7章2節5項 精神科チームによる連携 (p.210)
			b 保健師	精神障害と看護の実践 7章2節5項 精神科チームによる連携 (p.210)

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
7 精神保健医療福祉における多職種連携	A 多職種連携と看護の役割	c 精神保健福祉士	情緒発達と精神看護の基本 11章1節6項 精神保健法から精神保健福祉法への改正 (p.167) / 12章2節1項, plus a 精神保健福祉士 (p.185) 精神障害と看護の実践 3章1節2項 多職種によるチーム医療 (p.105-106) / 7章2節5項 精神科チームによる連携 (p.210)
		d 作業療法士	精神障害と看護の実践 3章1節2項 多職種によるチーム医療 (p.105) / 7章2節5項 精神科チームによる連携 (p.210)
		e 精神保健福祉相談員	精神障害と看護の実践 7章2節5項 精神科チームによる連携 (p.210)
		f ピアサポーター	精神障害と看護の実践 7章2節4項 家族や当事者によるサポート (p.208)
		g 薬剤師	精神障害と看護の実践 3章1節2項 多職種によるチーム医療 (p.105-106) / 7章2節5項 精神科チームによる連携 (p.210)
		h 栄養士	精神障害と看護の実践 3章1節2項 多職種によるチーム医療 (p.107) / 7章2節5項 精神科チームによる連携 (p.210)
		i 臨床心理技術者(臨床心理士、公認心理師等)	精神障害と看護の実践 3章1節2項 多職種によるチーム医療 (p.105-107) / 7章2節5項 精神科チームによる連携 (p.210)

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践

## 在宅看護論

## 目標Ⅰ 在宅看護における対象と基盤となる概念、安全と健康危機管理について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
1 在宅看護の対象と基盤となる概念	A 在宅看護の対象と背景	a 国民の価値観	地域療養を支えるケア 1章1節2項 在宅看護の社会背景 (p.13-19) 医療安全 6章1節2項 在宅看護をとりまく現状 (p.166-168)
		b 疾病がある者と家族	地域療養を支えるケア 2章2節1項 療養者・家族側の条件 (p.46-47), 5節 家族介護者の個別性に応じた支援 (p.61-64)
		c 障害がある者と家族	地域療養を支えるケア 2章2節1項 療養者・家族側の条件 (p.46-47), 5節 家族介護者の個別性に応じた支援 (p.61-64)
		d 疾病や障害がある者の社会参加	地域療養を支えるケア 1章1節2項 在宅看護の社会背景 (p.13-19) ヘルスアセスメント 5章2節 居宅等で生活する対象者のヘルスアセスメントの視点 (p.249-256)
	B 在宅療養を支援する仕組み	a 在宅医療・介護に関する仕組み	地域療養を支えるケア 1章2節1項 在宅看護とは (p.19-20) / 2章1節6項 生活の場からみた対象者 (p.43) / 3章2節 在宅ケアを支える訪問看護ステーション (p.74-79) / 5章 在宅ケアを支える制度と社会資源 (p.142-184)
		b 地域包括ケアシステム	地域療養を支えるケア 1章1節2項 在宅看護の社会背景 (p.13-19) / 4章3節1項 地域包括ケアシステム (p.123-126) 高齢者の健康と障害 2章5節1項 地域包括ケアシステムとは (p.102-104) 社会福祉と社会保障 3章2節2項 社会資源の活用方法を理解する (p.68-76), 3項 社会資源活用のためのネットワークづくり (p.76-77) / 4章4節3項 高齢者保健福祉施策の経緯 (p.122-125), 5項 地域における高齢者保健福祉の課題 (p.127-130) / 7章3節3項 介護保険制度の課題 (p.198-200)
	C 在宅看護における権利の保障	a 在宅療養者の権利擁護(アドボカシー)(成年後見制度)	地域療養を支えるケア 1章3節4項 アドボカシー(p.25-26) / 5章7節 在宅療養者の権利を擁護する制度と社会資源 (p.180-184)
		b 虐待の防止	地域療養を支えるケア 5章7節6項 高齢者虐待防止法(高齢者虐待の防止, 高齢者の養護者に対する支援等に関する法律)(p.182-184)
		c 個人情報の保護と管理	地域療養を支えるケア 1章3節2項 看護の倫理 (p.23-24) / 3章3節2項 訪問看護過程の実際 (p.80)
		d サービス提供者の権利の保護	地域療養を支えるケア 2章2節2項 サービス提供者側の条件 (p.47-48)
	D 在宅療養者の自立・自律支援	a 価値観の尊重と意思決定支援	地域療養を支えるケア 1章3節1項 療養者中心の医療・看護 (p.23), 5項 エンパワメントによる支援 (p.26-27) / 2章2節2項 サービス提供者側の条件 (p.47-48) / 7章5節 事故により中途障害者となった成人男性 (p.259-262)
		b QOLの維持・向上	地域療養を支えるケア 1章2節1項 在宅看護とは (p.19-20) / 2章3節2項 日常生活行動の自立支援 (p.49)
		c セルフケア	地域療養を支えるケア 1章4節3項 在宅ケアにおける看護の特徴 (p.33)
		d 社会参加への援助	地域療養を支えるケア 2章3節2項 日常生活行動の自立支援 (p.49) / 5章 在宅ケアを支える制度と社会資源 (p.142-184)
	E 在宅における病状・病態の経過の予測と予防	a 病状・病態の経過の予測	地域療養を支えるケア 2章3節3項 病状・病態の予測と予防 (p.49-50)

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所	
1 在宅看護の対象と基盤となる概念	E 在宅における病状・病態の経過の予測と予防	b 予測に基づく予防	地域療養を支えるケア 2章3節1項 健康管理 (p.48-49), 3項 病状・病態の予測と予防 (p.49-50) ヘルスアセスメント 5章2節3項 アセスメントの視点 (p.250-255)	
		c 在宅での感染予防対策	地域療養を支えるケア 2章3節3項 病状・病態の予測と予防 (p.49-50) / 6章6節 感染予防のための援助 (p.222-223)	
	F 生活の場に応じた看護の特徴と看護の役割	a 外来看護	地域療養を支えるケア 2章3節 在宅療養者への看護活動 (p.48-52)	
		b 訪問看護	地域療養を支えるケア 1章2節2項 個人と家族を対象とする在宅看護 (p.20-21) / 3章1節1項 訪問看護とは (p.68), 2項 訪問看護の制度と現状 (p.68-70), 2節1項 訪問看護ステーションの設置と管理運営 (p.74), 3項 対象者 (p.74-75) 医療安全 6章1節2項 在宅看護をとりまく現状 (p.166-168) 臨床看護総論 2章3節 脳梗塞発症の患者さんへの看護ケア【事例】 (p.94-98)	
		c 入所施設での看護	地域療養を支えるケア 5章3節4項 介護保険制度 (p.151-162)	
		d 通所施設での看護	地域療養を支えるケア 3章2節7項 訪問看護制度の課題と今後の方向性 (p.76-79) / 5章3節4項 介護保険制度 (p.154-159) 高齢者の健康と障害 2章4節2項 サービスの内容・特徴からみた社会資源の種類 (p.93-99) 高齢者看護の実践 5章9節6項 学生に学んでほしいポイント (p.372-373)	
	G 在宅療養者の家族への看護	a 家族の介護力のアセスメントと調整	地域療養を支えるケア 2章4節2項 家族と看護 (p.58-60), 5節4項 介護力に応じた家族支援 (p.64)	
		b 家族関係の調整	地域療養を支えるケア 2章4節2項 家族と看護 (p.58-60)	
		c ケア方法の指導	地域療養を支えるケア 2章4節2項 家族と看護 (p.58-60), 5節4項 介護力に応じた家族支援 (p.64)	
		d 介護者の健康	地域療養を支えるケア 2章5節 家族介護者の個別性に応じた支援 (p.61-64)	
		e レスパイトケア	地域療養を支えるケア 2章5節4項 介護力に応じた家族支援 (p.64)	
	2 在宅看護における安全と健康危機管理	A 日常生活における安全管理	a 家屋環境の整備	地域療養を支えるケア 2章3節4項 療養上のリスクマネジメント (p.50-52) / 3章1節3項 訪問看護における看護職 (p.70-73) / 6章3節2項 援助の実際と技術 (p.199-203) 在宅療養を支える技術 2章3節3項 居住環境のアセスメント (p.38)
			b 転倒・転落の防止	地域療養を支えるケア 2章3節4項 療養上のリスクマネジメント (p.50-52) / 4章4節1項 在宅ケアにおける危機管理 (リスクマネジメント) (p.133-137) / 6章3節2項 援助の実際と技術 (p.199-203) 在宅療養を支える技術 2章3節2項 療養環境が引き起こす障害の予防 (p.38) / 3章6節3項 肢位の保持と移動の実際 (p.80-81) 医療安全 5章2節4項 転倒転落 (p.137-146)
			c 誤嚥・窒息の防止	地域療養を支えるケア 6章1節2項 援助の実際と技術 (p.189-190) 在宅療養を支える技術 3章1節3項 援助の技術と実際 (p.57-59), 4項 トラブル時の対応 (p.60-61) 医療安全 5章2節5項 誤嚥 (p.147-148)
			d 熱傷・凍傷の防止	地域療養を支えるケア 2章3節3項 病状・病態の予測と予防 (p.49-50) / 6章7節2項 援助の実際と技術 (p.224) 在宅療養を支える技術 2章3節2項 療養環境が引き起こす障害の予防 (p.38) 医療安全 5章2節7項 皮膚障害 (p.149-152) / 9章3節5項 清潔・衣生活援助技術に伴うリスクと安全 (p.233-234)
e 熱中症の予防			地域療養を支えるケア 6章7節 体温を安全に保つ技術 (p.224) 在宅療養を支える技術 2章3節2項 療養環境が引き起こす障害の予防 (p.38) / 6章7節 解答解説 問7-3 (p.210) 内部環境調節機能障害 / 性・生殖機能障害 9章1節1項 熱中症の予防 (p.180-181)	

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所	
2 在宅看護における安全と健康危機管理	A 日常生活における安全管理	f 閉じこもりの予防	地域療養を支えるケア 3章1節3項 訪問看護における看護職 (p.70-73) / 6章3節2項 援助の実際と技術 (p.202) 在宅療養を支える技術 2章3節2項 療養環境が引き起こす障害の予防 (p.38) / 4章8節4項 安全管理と援助 (p.121)	
		g 独居高齢者の防災	地域療養を支えるケア 2章3節4項 療養上のリスクマネジメント (p.50-52) 在宅療養を支える技術 5章2節1項 地域包括ケアシステムによる災害対策と連携 (p.168) / 6章1節 解答解説 問1-5 (p.205) 災害看護 7章5節2項 自宅避難者に必要な看護 (p.187-189) 医療安全 6章2節3項 在宅看護における介護事故とその対応 (p.172-173)	
	B 災害時における在宅療養者と家族の健康危機管理	a 在宅療養者・家族への防災対策の指導	地域療養を支えるケア 2章3節4項 療養上のリスクマネジメント (p.50-52) 在宅療養を支える技術 5章2節2項 訪問看護ステーションにおける災害対策と対応 (p.168-169) 災害看護 7章5節2項 自宅避難者に必要な看護 (p.187-189)	
		b 医療機関との連携による医療上の健康危機管理	在宅療養を支える技術 5章1節2項 災害サイクルと療養者支援 (p.164-167), 2節1項 地域包括ケアシステムによる災害対策と連携 (p.168) 災害看護 7章5節3項 自宅避難者への看護の実際 (p.189-190)	
		c 福祉機関との連携による生活上の健康危機管理	地域療養を支えるケア 2章3節4項 療養上のリスクマネジメント (p.50-52) / 4章4節1項 在宅ケアにおける危機管理 (リスクマネジメント) (p.133-137) 在宅療養を支える技術 5章2節2項 訪問看護ステーションにおける災害対策と対応 (p.168-169) 災害看護 7章5節 自宅避難者に対する看護活動 (p.187-190)	
		d 行政(市町村・消防署・警察等)との連携	地域療養を支えるケア 4章4節1項 在宅ケアにおける危機管理 (リスクマネジメント) (p.133-137) 在宅療養を支える技術 5章2節2項 訪問看護ステーションにおける災害対策と対応 (p.168-169), 3節2項 訪問看護師の対応の実際 (p.170) 災害看護 7章5節 自宅避難者に対する看護活動 (p.187-190)	
	3 訪問看護の概要	A 訪問看護制度の理解	a 訪問看護の変遷	地域療養を支えるケア 1章1節1項 日本の在宅看護の変遷と社会背景 (p.12-15)
			b 訪問看護の提供方法と種類	地域療養を支えるケア 3章1節2項 訪問看護の制度と現状 (p.68-70)
			c 訪問看護制度の課題	地域療養を支えるケア 3章2節7項 訪問看護制度の課題と今後の方向性 (p.76-79)
		B 訪問看護制度の法的枠組み	a 介護保険法	地域療養を支えるケア 5章3節4項 介護保険制度 (p.151-162) / 2章1節1項 法制度からみた対象者 (p.38-39) / 3章1節2項 訪問看護の制度と現状 (p.68-70) 医療関係法規 10章2節 介護保険法 (p.170-189)
b 健康保険法			地域療養を支えるケア 2章1節1項 法制度からみた対象者 (p.38-39) / 5章2節 在宅ケアを支える医療保険制度 (p.144-147), 3節 高齢者を支える制度と社会資源 (p.148-163) 医療関係法規 14章1節 健康保険法 (p.268-272)	
c 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)			地域療養を支えるケア 5章4節4項 障害者総合支援法 (p.167-172), 1項 障害者に対する施策の歴史 (p.163-164) 医療関係法規 11章2節 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 (p.203-212) 医療安全 6章2節2項 在宅看護における医療事故とその対応 (p.172-173)	
C 訪問看護サービスの仕組みと提供		a 訪問看護ステーションの開設基準	地域療養を支えるケア 3章2節1項 訪問看護ステーションの設置と管理運営 (p.74), 2項 従事者 (p.74), 1節2項 訪問看護の制度と現状 (p.68-70)	
		b 訪問看護サービス開始までの流れ	地域療養を支えるケア 3章2節5項 サービスの流れ (p.75-76)	
		c 訪問看護サービスの展開	地域療養を支えるケア 3章2節3項 対象者 (p.74-75), 4項 サービス内容(訪問看護のサービス提供) (p.75), 3節2項 訪問看護過程の実際 (p.80-86) 臨床看護総論 2章3節 脳梗塞発症の患者さんへの看護ケア【事例】 (p.94-98)	

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
3 訪問看護の概要	C 訪問看護サービスの仕組みと提供	d 訪問看護サービスの質保証	地域療養を支えるケア 3章3節2項 訪問看護過程の実際 (p.80-86)
		e 訪問看護サービスの管理・運営	地域療養を支えるケア 3章2節1項 訪問看護ステーションの設置と管理運営 (p.74)

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践

**目標Ⅱ 在宅療養者の特徴を理解し、病期や状況に応じて展開する在宅看護について基本的な理解を問う。**

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所	
4 在宅療養生活を支える看護	A 食事・栄養	a 食事摂取能力(嚥下・消化・吸収能力)	地域療養を支えるケア 6章1節1項 食のアセスメントと援助 (p.188) 在宅療養を支える技術 3章1節2項 食に関するアセスメント (p.56-57)	
		b 食事内容の選択、食材の調達の方法に関する援助	地域療養を支えるケア 6章1節2項 援助の実際と技術 (p.189-194) 在宅療養を支える技術 3章1節3項 援助の技術と実際 (p.57-59), 5項 社会資源の活用 (p.61)	
		c 栄養を補う食品の種類と選択方法に関する援助	地域療養を支えるケア 6章1節2項 援助の実際と技術 (p.189-194) 在宅療養を支える技術 3章1節3項 援助の技術と実際 (p.57-59), 5項 社会資源の活用 (p.61)	
		d 食事摂取能力低下時の援助	地域療養を支えるケア 6章1節2項 援助の実際と技術 (p.189-194) 在宅療養を支える技術 3章1節2項 食に関するアセスメント (p.56-57), 3項 援助の技術と実際 (p.57-59) / 4章4節4項 援助の実際 (p.103-105), 5節4項 援助の実際 (p.107-108)	
		e 口腔ケア	地域療養を支えるケア 6章1節2項 援助の実際と技術 (p.189-194), 2節2項 援助の実際と技術 (p.196-198) 在宅療養を支える技術 3章5節3項 清潔ケアの技術と実際 (p.76-77)	
		B 排泄	a 排泄の状況と障害	地域療養を支えるケア 6章4節1項 排泄のアセスメントと援助 (p.204-205) 在宅療養を支える技術 1章2節2項 情報収集の項目とアセスメントのポイント (p.19-22) / 3章3節2項 排泄のアセスメント (p.66-67)
			b 排泄補助用具の種類と選択方法	地域療養を支えるケア 6章4節2項 援助の実際と技術(1)(p.205-208) 在宅療養を支える技術 3章3節4項 社会資源の活用と調整 (p.70-71)
			c 尿失禁の予防と援助	地域療養を支えるケア 6章4節2項 援助の実際と技術(1)(p.205-208), 3項 援助の実際と技術(2) (p.209-210) 在宅療養を支える技術 3章3節3項 排泄援助の技術と実際 (p.68-70)
			d 便失禁の予防と援助	地域療養を支えるケア 6章4節2項 援助の実際と技術(1)(p.205-208) 在宅療養を支える技術 3章3節3項 排泄援助の技術と実際 (p.68-70)
			e 便秘の予防と援助	地域療養を支えるケア 6章4節2項 援助の実際と技術(1)(p.205-208), 3項 援助の実際と技術(2) (p.210-211) 在宅療養を支える技術 3章3節3項 排泄援助の技術と実際 (p.68-70)
	f ストーマケア		地域療養を支えるケア 6章4節3項 援助の実際と技術(2)(p.209-211) 在宅療養を支える技術 4章12節1項 在宅におけるストーマ管理の意義と目的 (p.131-132), 2項 ストーマ管理におけるアセスメント (p.132), 3項 リスクマネジメント (p.132-133), 4項 援助の実際 (p.133)	
	C 清潔	a 清潔の保持の状況	地域療養を支えるケア 6章2節1項 清潔のアセスメントと援助 (p.195) 在宅療養を支える技術 3章5節2項 清潔ケアと更衣のアセスメント (p.75)	



大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
4 在宅療養生活を支える看護	C 清潔	b 清潔の援助方法と自立支援	地域療養を支えるケア 6章2節2項 援助の実際と技術 (p.196-198) 在宅療養を支える技術 3章5節1項 在宅療養の場における清潔と更衣の特徴 (p.75), 3項 清潔ケアの技術と実際 (p.76-77)
		D 移動	a 日常生活動作(ADL)・手段的日常生活動作(IADL)のアセスメント
	b 日常生活動作(ADL)・手段的日常生活動作(IADL)の維持及び向上のための援助	地域療養を支えるケア 6章3節1項 移動のアセスメントと援助 (p.198-199), 2項 援助の実際と技術 (p.201) 在宅療養を支える技術 1章2節2項 情報収集の項目とアセスメントのポイント (p.19-22) / 2章3節3項 居住環境のアセスメント (p.38) / 3章6節3項 肢位の保持と移動の実際 (p.80-81) リハビリテーション看護 7章2節1項 ICFによる生活機能と障害のアセスメントの視点 (p.188-192)	
	c 移動時の安全確保	地域療養を支えるケア 6章3節2項 援助の実際と技術 (p.199-203) 在宅療養を支える技術 3章6節3項 肢位の保持と移動の実際 (p.80-81)	
5 在宅療養者の病期に応じた看護	A 日常生活動作(ADL)の低下及び疾病の再発の予防が必要な療養者	a 日常生活のアセスメントと環境整備	地域療養を支えるケア 3章3節2項 訪問看護過程の実際 (p.80-86) 在宅療養を支える技術 1章2節2項 情報収集の項目とアセスメントのポイント (p.19-22) / 2章3節3項 居住環境のアセスメント (p.38), 4項 住環境整備 (p.39-40)
		b 在宅療養者と家族のセルフマネジメント力の維持・向上のための支援	地域療養を支えるケア 2章4節2項 家族と看護 (p.58-60), 5節4項 介護力に応じた家族支援 (p.64) 在宅療養を支える技術 4章1節4項 療養者・家族へのセルフマネジメント力の維持・向上のための支援 (p.92-93)
		c 異常の早期発見と対応	地域療養を支えるケア 6章5節1項 呼吸のアセスメントと援助 (p.212) 在宅療養を支える技術 3章2節3項 呼吸ケアの実際 (p.64-65) / 4章11節5項 療養者・家族への支援 (p.131)
		d 社会資源の活用・調整	地域療養を支えるケア 5章 在宅ケアを支える制度と社会資源 (p.142-184) 在宅療養を支える技術 2章3節5項 福祉用具 (p.40), 6項 環境整備に活用できる社会資源 (p.41) / 4章1節7項 社会資源の活用・調整 (p.93) 臨床看護総論 2章3節5項 サービスを受けながらの在宅生活 (p.94-98)
	B 急性期にある療養者	a 緊急性と重症度のアセスメント	地域療養を支えるケア 7章4節2項 状況1 (緊急入院～退院まで) (p.255-256) 在宅療養を支える技術 4章1節3項 リスクマネジメント (トラブルや合併症の予防と対応) (p.92) 臨床看護総論 3章2節2項 急性期 (p.109-111)
		b 状態に合わせた対応・調整	地域療養を支えるケア 7章4節2項 状況1 (緊急入院～退院まで) (p.255-256) 在宅療養を支える技術 4章1節2項 観察とアセスメント (状態に合わせた対応・調整) (p.92) 臨床看護総論 3章2節2項 急性期 (p.109-111)
		c 急性症状への対応	地域療養を支えるケア 7章4節2項 状況1 (緊急入院～退院まで) (p.255-256) 在宅療養を支える技術 3章1節4項 トラブル時の対応 (p.60-61), 3節3項 排泄援助の技術と実際 (p.68-70) / 4章15節4項 援助の実際 (褥瘡のアセスメントと処置) (p.146-147) 臨床看護総論 3章2節2項 急性期 (p.109-111)
		d 感染症(肺炎等)への対応	地域療養を支えるケア 2章3節3項 病状・病態の予測と予防 (p.49-50) / 6章6節2項 感染症への対応 (p.222-223) 在宅療養を支える技術 2章5節4項 感染症発生時の対応 (p.47)

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
5 在宅療養者の病期に応じた看護	C 慢性期にある療養者	a 慢性期の特徴を踏まえた状態のアセスメント	地域療養を支えるケア 2章1節7項 状態別・状況別対象者 (p.43-45) 在宅療養を支える技術 4章9節2項 非侵襲的陽圧換気療法におけるアセスメント (p.123), 11節2項 排尿ケアにおけるアセスメント (p.127)
		b 状態に合わせた対応・調整	地域療養を支えるケア 2章1節7項 状態別・状況別対象者 (p.43-45) / 7章2節 被虐待が疑われる認知症高齢者 (p.247-250) 在宅療養を支える技術 4章1節2項 観察とアセスメント (状態に合わせた対応・調整) (p.92)
		c 急性増悪の早期発見と対応	地域療養を支えるケア 3章2節3項 対象者 (p.74-75) 在宅療養を支える技術 4章8節3項 在宅酸素療法の実践 (p.120-121)
		d 社会資源の活用・調整	地域療養を支えるケア 4章2節1項 在宅ケアにおける関係機関・関係職種 (p.118-120) / 5章3節3項 高齢者保健福祉施策 (p.149-151) / 7章2節 被虐待が疑われる認知症高齢者 (p.247-250), 3節 在宅での生活に不安を抱きつつ退院するALS療養者 (p.251-254) 在宅療養を支える技術 3章3節4項 社会資源の活用と調整 (p.70-71) / 4章1節7項 社会資源の活用・調整 (p.93)
	D 回復期(リハビリテーション期)にある療養者	a 在宅におけるリハビリテーション	地域療養を支えるケア 7章1節2項 退院1週間後の状況 (p.246-247) 在宅療養を支える技術 2章4節1項 生活リハビリテーションの基本 (p.42-43) 臨床看護総論 3章4節12項 リハビリテーション療法 (p.140-141)
		b 生活機能・日常生活動作(ADL)のアセスメント	地域療養を支えるケア 7章1節1項 Aさんの状況(退院前の合同カンファレンス) (p.244-245) 在宅療養を支える技術 2章4節1項 生活リハビリテーションの基本 (p.42-43)
		c 状態に合わせた対応・調整	地域療養を支えるケア 7章1節1項 Aさんの状況(退院前の合同カンファレンス) (p.244-245) 在宅療養を支える技術 2章4節2項 障害や状態に応じた生活リハビリテーション (p.43-44) / 4章1節2項 観察とアセスメント (状態に合わせた対応・調整) (p.92) リハビリテーション看護 1章5節3項 生活期(維持期)リハビリテーションにおける看護 (p.25)
		d 合併症の予防と対応	地域療養を支えるケア 7章1節1項 Aさんの状況(退院前の合同カンファレンス) (p.244-245) 在宅療養を支える技術 4章1節3項 リスクマネジメント(トラブルや合併症の予防と対応) (p.92)
		e 居住環境のアセスメントと対応・調整	地域療養を支えるケア 7章1節2項 退院1週間後の状況 (p.246-247) 在宅療養を支える技術 2章3節3項 居住環境のアセスメント (p.38), 4節3項 在宅移行に向けての環境整備 (p.44)
		f 社会資源の活用・調整	地域療養を支えるケア 7章1節2項 退院1週間後の状況 (p.246-247) 在宅療養を支える技術 4章1節7項 社会資源の活用・調整 (p.93)
	E 終末期にある療養者	a 症状マネジメント	地域療養を支えるケア 6章10節 ターミナル期の援助 (p.236-240) 在宅療養を支える技術 2章6節2項 症状マネジメント (p.48-49)
		b 終末期緩和ケアの実践	地域療養を支えるケア 6章10節 ターミナル期の援助 (p.236-240) 在宅療養を支える技術 2章6節7項 悪性新生物(がん)により死を迎える療養者へのケア (p.51-52) / 4章17節4項 援助の実践 (p.156), 7項 補完代替療法の活用 (p.157) 臨床看護総論 2章2節5項 在宅療養と在宅での看取り (p.68-72)
		c 看取りの援助	地域療養を支えるケア 7章4節4項 状況3(その後の経過) (p.257-258) 在宅療養を支える技術 1章2節1項 在宅療養における看護過程の特徴 (p.17-18) / 2章6節4項 医療・介護チームの連携 (p.49-50), 5項 家族へのケア (p.50) 臨床看護総論 2章2節5項 在宅療養と在宅での看取り (p.68-72)

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
5 在宅療養者の病期に応じた看護	E 終末期にある療養者	d 家族へのグリーフケア	<b>地域療養を支えるケア</b> 6章10節 ターミナル期の援助 (p.236-240)／7章4節4項 状況3 (その後の経過) (p.257-258) <b>在宅療養を支える技術</b> 2章6節5項 家族へのケア (p.50)／6章5節2項 退院後6カ月の状況 (p.188-190), 解答解説 問5-4 (p.208)
6 在宅療養において特徴的な疾病がある療養者への看護	A 小児の在宅療養者への看護	a 在宅療養継続のための療養者の健康危機管理	<b>地域療養を支えるケア</b> 2章1節7項 状態別・状況別対象者 (p.45)／4章2節1項 在宅ケアにおける関係機関・関係職種 (p.118-120) <b>在宅療養を支える技術</b> 6章9節1項 1ちゃんの状況 (p.201-203), 解答解説 問9-3 (p.212)
		b 療養者の自立支援とQOLの維持・向上 (尊厳保持、成長、権利擁護〈アドボカシー〉を含む)のための在宅療養支援	<b>地域療養を支えるケア</b> 5章6節 子どもの在宅療養を支える制度と社会資源 (p.178-180)／7章7節 重度心身障害をもちながら地域で生活をする小児 (p.266-271) <b>在宅療養を支える技術</b> 6章9節1項 1ちゃんの状況 (p.201-203), 解答解説 問9-2 (p.211) <b>小児の発達と看護</b> 3章8節5項 在宅療養の継続における看護 (p.281-283)
		c 在宅療養継続のための家族支援	<b>地域療養を支えるケア</b> 7章7節4項 状況3 (退院後3カ月～3年の様子) (p.270-271) <b>在宅療養を支える技術</b> 6章9節2項 退院後1カ月の状況 (p.203-204), 解答解説 問9-6 (p.212) <b>小児の発達と看護</b> 3章8節4項 在宅療養を行う子どもと家族への看護 (p.278-280), 5項 在宅療養の継続における看護 (p.281-283)
	B 認知症の在宅療養者への看護	a 在宅療養継続のための療養者の健康危機管理	<b>地域療養を支えるケア</b> 2章1節7項 状態別・状況別対象者 (p.43-45)／4章2節1項 在宅ケアにおける関係機関・関係職種 (p.118-120) <b>在宅療養を支える技術</b> 6章3節1項 Cさんの情報 (初回訪問) (p.181-182), 2項 退院後6カ月の状況 (p.183-184), 解答解説 問3-3 (p.206-207)
		b 療養者の自立支援とQOLの維持・向上 (尊厳保持、成長、権利擁護〈アドボカシー〉を含む)のための在宅療養支援	<b>地域療養を支えるケア</b> 5章3節3項 高齢者保健福祉施策 (p.149-151), 7節 在宅療養者の権利を擁護する制度と資源 (p.180-184)／7章2節 被虐待が疑われる認知症高齢者 (p.247-250) <b>在宅療養を支える技術</b> 6章3節1項 Cさんの情報 (初回訪問) (p.181-182), 2項 退院後6カ月の状況 (p.183-184)
		c 在宅療養継続のための家族支援	<b>地域療養を支えるケア</b> 7章2節3項 状況2 (その後の経過) (p.249-250) <b>在宅療養を支える技術</b> 6章3節2項 退院後6カ月の状況 (p.183-184), 解答解説 問3-5 (p.207)
	C 精神疾患がある在宅療養者への看護	a 在宅療養継続のための療養者の健康危機管理	<b>地域療養を支えるケア</b> 2章1節7項 状態別・状況別対象者 (p.43-45)／4章2節1項 在宅ケアにおける関係機関・関係職種 (p.118-120) <b>在宅療養を支える技術</b> 6章8節1項 Hさんの情報 (p.198-199)
		b 療養者の自立支援とQOLの維持・向上 (尊厳保持、成長、権利擁護〈アドボカシー〉を含む)のための在宅療養支援	<b>地域療養を支えるケア</b> 5章4節 障害者の在宅療養を支える制度と社会資源 (p.163-174)／7章6節 在宅での生活を希望する精神障害者 (p.263-265) <b>在宅療養を支える技術</b> 6章8節1項 Hさんの情報 (p.198-199), 2項 退院後4カ月の状況 (p.199-201), 解答解説 問8-5 (p.211) <b>情緒発達と精神看護の基本</b> 9章5節 地域生活における権利擁護 (p.136-139)
		c 在宅療養継続のための家族支援	<b>在宅療養を支える技術</b> 6章8節2項 退院後4カ月の状況 (p.199-201) <b>精神障害と看護の実践</b> 7章3節2項 在宅調整において留意すること (p.213)
	D 難病がある在宅療養者への看護	a 在宅療養継続のための療養者の健康危機管理	<b>地域療養を支えるケア</b> 2章1節7項 状態別・状況別対象者 (p.43-45)／4章2節1項 在宅ケアにおける関係機関・関係職種 (p.118-120) <b>在宅療養を支える技術</b> 6章6節1項 Fさんの情報 (p.191-192), 2項 在宅療養移行期の状況 (p.192-194)

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
6 在宅療養において特徴的な疾病がある療養者への看護	D 難病がある在宅療養者への看護	b 療養者の自立支援とQOLの維持・向上（尊厳保持・成長、権利擁護〈アドボカシー〉を含む）のための在宅療養支援	地域療養を支えるケア 5章5節 在宅難病療養者を支える制度と社会資源 (p.175-178)／7章3節 在宅での生活に不安を抱きつつ退院するALS療養者 (p.251-254) 在宅療養を支える技術 6章6節2項 在宅療養移行期の状況 (p.192-194)
		c 在宅療養継続のための家族支援	地域療養を支えるケア 7章3節 在宅での生活に不安を抱きつつ退院するALS療養者 (p.251-254) 在宅療養を支える技術 6章6節2項 在宅療養移行期の状況 (p.192-194), 解答解説 問6-3 (p.209)
7 在宅における医療管理を必要とする人と看護	A 薬物療法	a 服薬状況の把握と管理	地域療養を支えるケア 6章9節1項 服薬管理 (p.230-232) 在宅療養を支える技術 4章2節2項 薬物療法のアセスメント (p.94-95)
		b 医師および薬剤師との連携	地域療養を支えるケア 6章9節1項 服薬管理 (p.230-232), 10節 ターミナル期の援助 (p.236-240)／7章 解答解説 問6-8 (p.283) 在宅療養を支える技術 4章2節6項 多職種との連携・社会資源の活用 (p.97)
		c 糖尿病の管理	地域療養を支えるケア 6章9節1項 服薬管理 (p.230-232) 在宅療養を支える技術 4章13節3項 インスリン自己注射における援助の実際 (p.136-138)／6章1節1項, plus a 「糖尿病の管理 (服薬)」 (p.176-177)
	B 化学療法、放射線療法	a 外来通院中の在宅療養者に対する援助	地域療養を支えるケア 6章10節 ターミナル期の援助 (p.236-240) 在宅療養を支える技術 4章3節4項 外来通院中の在宅療養者に対する援助 (p.100) 臨床看護総論 2章2節3項 術後化学療法：外来化学療法中の看護 (p.59-63)
	C 酸素療法	a 対象の特徴	地域療養を支えるケア 6章5節 呼吸の援助 (p.212-221) 在宅療養を支える技術 4章8節1項 在宅酸素療法の意義と目的・対象の特徴 (p.119) 呼吸機能障害／循環機能障害 4章4節5項 在宅酸素療法 (HOT) (p.110-112) 基礎看護技術 15章5節4項 酸素療法 (p.331-336)
		b 機器の種類と原理	地域療養を支えるケア 6章5節2項 援助の実際と技術 (p.213-221) 在宅療養を支える技術 4章8節3項 在宅酸素療法の実際 (p.120-121) 呼吸機能障害／循環機能障害 4章4節5項 在宅酸素療法 (HOT) (p.110-112) 基礎看護技術 15章5節4項 酸素療法 (p.331-336)
		c 合併症の予防	地域療養を支えるケア 6章5節2項 援助の実際と技術 (p.213-221) 在宅療養を支える技術 4章8節3項 在宅酸素療法の実際 (p.120-121), 4項 安全管理と援助 (p.121-122) 呼吸機能障害／循環機能障害 4章4節5項 在宅酸素療法 (HOT) (p.110-112)
		d 安全管理と援助	地域療養を支えるケア 6章5節2項 援助の実際と技術 (p.213-221) 在宅療養を支える技術 4章8節3項 在宅酸素療法の実際 (p.120-121), 4項 安全管理と援助 (p.121-122) 呼吸機能障害／循環機能障害 4章4節5項 在宅酸素療法 (HOT) (p.110-112)
	D 人工呼吸療法（非侵襲的換気療法）	a 対象の特徴	地域療養を支えるケア 6章5節 呼吸の援助 (p.212-221) 在宅療養を支える技術 4章9節1項 在宅における非侵襲的陽圧換気療法の意義と目的 (p.123), 10節3項 リスクマネジメント (p.126), 5項 療養者・家族への支援 (p.126)
		b 人工呼吸器の原理・構造	地域療養を支えるケア 6章5節2項 援助の実際と技術 (p.219-220) 在宅療養を支える技術 4章9節4項 在宅における安全管理と援助 (p.124), 10節1項 気管切開下間欠的陽圧換気療法の意義と目的 (p.125), 4項 在宅における安全管理と援助 (p.126) 基礎看護技術 15章5節5項 人工呼吸 (p.336-337)

必  
修  
問  
題人  
体  
の  
構  
造  
と  
機  
能疾  
病  
の  
成  
り  
立  
ち  
と  
回  
復  
の  
促  
進健  
康  
支  
援  
と  
社  
会  
保  
障  
制  
度基  
礎  
看  
護  
学成  
人  
看  
護  
学老  
年  
看  
護  
学小  
児  
看  
護  
学母  
性  
看  
護  
学精  
神  
看  
護  
学在  
宅  
看  
護  
論看  
護  
の  
統  
合  
と  
実  
践

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
7 在宅における医療管理を必要とする人と看護	D 人工呼吸療法（非侵襲的換気療法）	c 気道浄化のケア	地域療養を支えるケア 6章5節2項 援助の実際と技術（p.213-221） 在宅療養を支える技術 4章6節3項 援助の実際（p.113-114）、7節3項 気管カニューレ管理における援助の実際（p.116-118）
		d 合併症の予防	地域療養を支えるケア 6章5節2項 援助の実際と技術（p.213-221） 在宅療養を支える技術 4章9節3項 リスクマネジメント（p.124）、4項 在宅における安全管理と援助（p.124）、10節3項 リスクマネジメント（p.126）、4項 在宅における安全管理と援助（p.126）
		e 在宅における安全管理と援助	地域療養を支えるケア 6章5節2項 援助の実際と技術（p.213-221） 在宅療養を支える技術 4章9節4項 在宅における安全管理と援助（p.124）、5項 療養者・家族への支援（p.125）、10節4項 在宅における安全管理と援助（p.126）、5項 療養者・家族への支援（p.126）、6項 社会資源の活用・調整（p.127） 医療安全 6章2節2項 在宅看護における医療事故とその対応（p.168-172）
	E 膀胱留置カテーテル法	a 対象の特徴	地域療養を支えるケア 6章4節3項 援助の実際と技術(2)(p.209-211) 在宅療養を支える技術 4章11節1項 在宅における排尿ケアの意義と目的（p.127）
		b 合併症の予防	地域療養を支えるケア 6章4節3項 援助の実際と技術(2)(p.209-211) 在宅療養を支える技術 4章11節3項 リスクマネジメント（p.127-128）
		c 在宅における安全管理と援助	地域療養を支えるケア 6章4節3項 援助の実際と技術(2)(p.209-211) 在宅療養を支える技術 4章11節3項 リスクマネジメント（p.127-128）、4項 在宅における安全管理と援助（p.129-130）、5項 療養者・家族への支援（p.131）
	F 胃瘻、経管・経腸栄養法	a 対象の特徴	地域療養を支えるケア 6章1節2項 援助の実際と技術（p.190-191） 在宅療養を支える技術 4章4節1項 在宅における経管栄養法の意義と目的・対象の特徴（p.102）
		b 栄養剤の種類と特徴	地域療養を支えるケア 6章1節2項 援助の実際と技術（p.192） 在宅療養を支える技術 4章4節4項 援助の実際（p.103-105）
		c 栄養評価	地域療養を支えるケア 6章1節2項 援助の実際と技術（p.191-192） 在宅療養を支える技術 4章4節2項 経管栄養法のアセスメント（p.102）
		d 合併症の予防	地域療養を支えるケア 6章1節2項 援助の実際と技術（p.192） 在宅療養を支える技術 4章4節3項 リスクマネジメント（p.102-103）、5項 療養者・家族への支援（p.105）
		e 在宅における安全管理と援助	地域療養を支えるケア 6章1節2項 援助の実際と技術（p.191） 在宅療養を支える技術 4章4節3項 リスクマネジメント（p.102-103）、4項 援助の実際（p.103-105）、5項 療養者・家族への支援（p.105）
	G 中心静脈栄養法	a 対象の特徴	地域療養を支えるケア 6章1節2項 援助の実際と技術（p.193-194） 在宅療養を支える技術 4章5節1項 在宅における輸液管理の目的と対象の特徴（p.106）
b 栄養剤の注入方法		地域療養を支えるケア 6章1節2項 援助の実際と技術（p.193-194） 在宅療養を支える技術 4章5節3項 リスクマネジメント（p.106-107）、4項 援助の実際（p.107-108）	
c 栄養評価		地域療養を支えるケア 6章1節2項 援助の実際と技術（p.193-194） 在宅療養を支える技術 4章5節2項 輸液管理のアセスメント（p.106）	
d 合併症の予防		地域療養を支えるケア 6章1節2項 援助の実際と技術（p.194） 在宅療養を支える技術 4章5節3項 リスクマネジメント（p.106-107）	

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
7 在宅における医療管理を必要とする人と看護	G 中心静脈栄養法	e 在宅における安全管理と援助	地域療養を支えるケア 6章1節2項 援助の実際と技術 (p.193-194) 医療安全 6章2節2項 在宅看護における医療事故とその対応 (p.168-172) 在宅療養を支える技術 4章5節3項 リスクマネジメント (p.106-107), 5項 療養者・家族への支援 (p.109)
	H 褥瘡管理	a 褥瘡発生のリスクアセスメントと予防	地域療養を支えるケア 6章8節1項 褥瘡の予防とケア (p.225-227) 在宅療養を支える技術 4章15節2項 褥瘡発生のリスクアセスメントと予防 (p.145), 3項 リスクマネジメント (p.146), 4項 援助の実際 (褥瘡のアセスメントと処置) (p.146-147), 5項 療養者・家族への支援 (p.148)
		b 褥瘡のアセスメントと処置	地域療養を支えるケア 6章8節1項 褥瘡の予防とケア (p.225-227) 在宅療養を支える技術 4章15節4項 援助の実際 (褥瘡のアセスメントと処置) (p.146-147)
	c 除圧・体位変換に関する器具の種類と選択	地域療養を支えるケア 6章8節2項 良肢位の保持 (p.228-229) 在宅療養を支える技術 3章6節3項 肢位の保持と移動の実際 (p.80-81) / 4章15節4項 援助の実際 (褥瘡のアセスメントと処置) (p.146-147)	

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践

### 目標Ⅲ 地域包括ケアシステムにおける在宅看護の位置付けと看護の役割について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
8 療養の場の移行に伴う看護	A 医療機関との入退院時の連携	a 地域連携クリニカルパス	地域療養を支えるケア 4章1節1項 継続看護と退院調整 (p.94-101) リハビリテーション看護 4章3節2項 地域医療連携における情報共有 (p.68-74) 臨床看護総論 2章3節2項 病棟における日常生活動作再獲得のためのリハビリテーション (p.80-84)
		b 外来との連携	地域療養を支えるケア 4章1節1項 継続看護と退院調整 (p.94-101), 2節1項 在宅ケアにおける関係機関・関係職種 (p.118-120) 臨床看護総論 2章2節4項 再発時の看護：症状緩和 (p.64-67), 3節4項 再発からADL低下・認知機能低下による在宅調整 (p.89-92)
		c 病棟との連携	地域療養を支えるケア 4章1節1項 継続看護と退院調整 (p.94-101) 臨床看護総論 2章2節4項 再発時の看護：症状緩和 (p.64-67), 3節4項 再発からADL低下・認知機能低下による在宅調整 (p.89-92)
		d 退院支援部門との連携	地域療養を支えるケア 4章1節1項 継続看護と退院調整 (p.94-101), 2節1項 在宅ケアにおける関係機関・関係職種 (p.118-120) 臨床看護総論 2章2節4項 再発時の看護：症状緩和 (p.64-67), 5項 在宅療養と在宅での看取り (p.68-72), 3節4項 再発からADL低下・認知機能低下による在宅調整 (p.89-92) / 3章6節1項 多職種の連携と協働が必要なこと (p.153-154)
		e 診療所との連携	地域療養を支えるケア 4章1節1項 継続看護と退院調整 (p.94-101), 2節1項 在宅ケアにおける関係機関・関係職種 (p.118-120), 3節2項 地域包括ケアと保健・医療・福祉の連携 (p.126-129)
	B 施設との入退所時の連携	a 介護保険施設等の公的施設との連携	地域療養を支えるケア 4章2節1項 在宅ケアにおける関係機関・関係職種 (p.118-120)
		b サービス付き高齢者向け住宅等の民間施設との連携	地域療養を支えるケア 4章2節1項 在宅ケアにおける関係機関・関係職種 (p.118-120)
9 地域包括ケアシステムにおける多職種連携	A 行政との連携	a 機関・職種の役割	地域療養を支えるケア 4章2節1項 在宅ケアにおける関係機関・関係職種 (p.118-120) 高齢者の健康と障害 4章7節1項 チームアプローチとは (p.214-216)

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
9 地域包括ケアシステムにおける多職種連携	A 行政との連携	b 双方向で行う連携の目的と看護の役割	地域療養を支えるケア 1章4節5項 在宅ケアチームにおける訪問看護師と保健師の役割 (p.34) / 4章2節 在宅ケアにおける関連機関・関係職種との連携・協働 (p.118-123), 3節 地域包括ケアシステムと在宅ケア (p.123-133) 高齢者の健康と障害 3章4節3項 在宅療養を支える看護活動 (p.133-138) / 4章7節 高齢者看護におけるチームアプローチ (p.214-220)
		B 地域包括支援センターとの連携	a 機関・職種の役割
	C 居宅介護支援事業所との連携	b 双方向で行う連携の目的と看護の役割	地域療養を支えるケア 4章2節 在宅ケアにおける関連機関・関係職種との連携・協働 (p.118-123), 3節 地域包括ケアシステムと在宅ケア (p.123-133) 高齢者の健康と障害 3章4節3項 在宅療養を支える看護活動 (p.133-138) / 4章7節 高齢者看護におけるチームアプローチ (p.214-220)
		a 機関・職種の役割	地域療養を支えるケア 4章2節1項 在宅ケアにおける関係機関・関係職種 (p.118-120)
	D 介護サービス事業所との連携	b 双方向で行う連携の目的と看護の役割	地域療養を支えるケア 4章2節 在宅ケアにおける関連機関・関係職種との連携・協働 (p.118-123), 3節 地域包括ケアシステムと在宅ケア (p.123-133) 高齢者の健康と障害 3章4節3項 在宅療養を支える看護活動 (p.133-138) / 4章7節2項 チームアプローチと専門職連携 (p.216-221)
a 機関・職種の役割		地域療養を支えるケア 4章2節 在宅ケアにおける関連機関・関係職種との連携・協働 (p.118-123), 3節 地域包括ケアシステムと在宅ケア (p.123-133) 高齢者の健康と障害 3章4節3項 在宅療養を支える看護活動 (p.133-138) 臨床看護総論 3章1節3項 チーム医療の機会 (p.105-108)	
E 住民との連携	a ボランティア等の必要性和連携	地域療養を支えるケア 4章2節1項 在宅ケアにおける関係機関・関係職種 (p.118-120) / 5章1節1項 介護の人的資源 (p.142) 高齢者の健康と障害 2章5節1項 地域包括ケアシステムとは (p.102-104) / 4章7節2項 チームアプローチと専門職連携 (p.216-220) 災害看護 2章3節 災害サイクル (p.39-45) / 4章5節3項 災害ボランティア (p.96-97) / 7章1節 初動時(超急性期・急性期)における看護活動 (p.166-170), 5節3項 自宅避難者への看護の実際 (p.189-190)	
10 在宅看護におけるケースマネジメント/ケアマネジメント	A 看護が担うケースマネジメント/ケアマネジメントの概念	a サービスの統合、ケアの継続性	地域療養を支えるケア 4章1節2項 ケアマネジメントの展開 (p.101-103) 社会福祉と社会保障 3章1節5項 実践方法の中の諸技術 (p.62-65)
		b 残存機能の維持・向上	地域療養を支えるケア 2章3節2項 日常生活行動の自立支援 (p.49)
		c 多様化したニーズへの対応	地域療養を支えるケア 4章1節2項 ケアマネジメントの展開 (p.101-103) 社会福祉と社会保障 3章1節5項 実践方法の中の諸技術 (p.62-65)
		d 意思決定支援	地域療養を支えるケア 1章3節1項 療養者中心の医療・看護 (p.23)
	B ケースマネジメント/ケアマネジメントの過程	a ニーズのアセスメント	地域療養を支えるケア 4章1節2項 ケアマネジメントの展開 (p.106-108)
b ニーズに合わせたサービスの選択・計画		地域療養を支えるケア 4章1節2項 ケアマネジメントの展開 (p.108-114)	

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
10 在宅看護におけるケースマネジメント/ケアマネジメント	B ケースマネジメント/ケアマネジメントの過程	c サービスを結びつける調整	地域療養を支えるケア 4章1節2項 ケアマネジメントの展開 (p.103-105)
		d 実施、モニタリング、評価、フィードバック	地域療養を支えるケア 4章1節2項 ケアマネジメントの展開 (p.106-108)
	C 社会資源の理解と活用	a フォーマルサービスとインフォーマルサービス	地域療養を支えるケア 4章2節1項 在宅ケアにおける関係機関・関係職種 (p.118-120), 3節 地域包括ケアシステムと在宅ケア (p.123-133) / 5章 在宅ケアを支える制度と社会資源 (p.142-183) 社会福祉と社会保障 3章2節2項 社会資源の活用方法を理解する (p.68-76)

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践



# 看護の統合と実践

## 目標 I 看護におけるマネジメントの基本について理解を問う。

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
1 看護におけるマネジメント	A 看護マネジメントの概念	a 看護マネジメントの定義	看護管理 2章1節3項 看護管理の三つのレベル (p.29-31) / 3章1節2項 マネジメントとは何か (p.64-65)
		b 看護組織と職務	看護学概論 15章2節 専門職としての看護組織 (p.273-275) 看護管理 2章2節1項 組織の理解 (p.34-37)
		c 組織経営と看護	看護学概論 15章1節 看護に求められる教育 (p.272-273) 看護管理 7章3節1項 組織決定と病院経営 (p.194)
	B 医療・看護の質保証	a 医療・看護の質と指標	看護学概論 12章2節3項 看護サービスの質保証の考え方 (p.239) 看護管理 4章3節1項 医療の質とは (p.129-131) 医療安全 2章5節 医療の質の評価 (p.57-59)
		b 病院機能評価	看護学概論 10章5節3項 医療機関の第三者評価 (p.218) 看護管理 4章3節4項 第三者による評価 (p.133-135) 医療安全 2章5節2項 医療の質の評価への取り組み (p.58-59)
		c 医療・看護の標準化とクリニカルパス	看護学概論 12章2節4項 クリニカルパス (p.239-240) 看護管理 3章2節1項 看護管理にとっての効率性と効果性 (p.70-72)
		d 看護業務管理、看護の交代勤務	看護学概論 12章1節3項 看護のマネジメント・プロセス (p.232-237) 看護管理 3章3節2項 労働の管理 (p.80-83)
		e 看護業務基準、看護手順	看護学概論 1章3節2項 看護業務基準 (p.31) 看護管理 2章3節2項 看護管理システム (p.44-47), 4節3項, plus α [看護業務基準] (p.53) / 4章1節2項 経営倫理 (p.114-117)
		f 看護制度、看護提供システム	看護学概論 1章4節3項 現代の看護 (p.41-47) 看護管理 3章7節2項 看護サービスの提供 (p.104-107)
		g 診療報酬制度	看護学概論 10章5節2項 診療報酬による評価 (p.213-217) 看護管理 7章2節2項 診療報酬制度 (p.192-193)
		h 重症度、医療・看護必要度	看護学概論 12章1節2項 マネジメントの対象となる資源 (p.230-232) 看護管理 7章3節 コラム「重症度、医療・看護必要度」 (p.196)
	C 保健医療の機能分化と連携	a 看護の専門性と多職種連携	看護学概論 11章1節1項 チームアプローチ (p.222-223) 看護管理 2章5節 市民・多職種との連携・協働 (p.54-61) / 3章2節2項 多職種連携の中での看護管理 (p.72-73) 臨床看護総論 3章1節3項 チーム医療の機会 (p.105-108)
		b 病床機能報告	医療関係法規 12章2節 医療法 (p.250) 看護管理 8章2節4項 医療政策・介護政策分野 (p.207-210)
		c 医療計画	医療関係法規 12章2節 医療法 (p.249-250) 看護管理 7章2節5項 医療制度改革と医療計画 (p.193-194)
		d 継続看護、入・退院調整	地域療養を支えるケア 4章1節1項 継続看護と退院調整 (p.94-101) 看護管理 3章3節2項 労働の管理 (p.80-83)
		e 地域包括ケアシステム	医療関係法規 12章2節 図12-1 (p.251) 地域療養を支えるケア 4章3節1項 地域包括ケアシステム (p.123-126) 看護管理 1章1節4項 看護が行われる場と活動 (p.14-15)
	D 情報のマネジメント	a 医療情報の利活用	看護学概論 12章1節2項 マネジメントの対象となる資源 (p.230-232) 看護管理 3章5節 情報の管理 (p.94-98)

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
1 看護におけるマネジメント	D 情報のマネジメント	b 情報の公開	看護学概論 1章3節4項 指針・ガイドライン (p.35-36) 看護管理 3章5節4項 医療情報に関する倫理的側面 (p.98)
		c 個人情報の保護と管理、診療情報等の開示	医療関係法規 17章4節 個人情報の保護に関する法律 (p.330-331) 看護学概論 12章1節2項 マネジメントの対象となる資源 (p.230-232) 看護管理 3章5節4項 医療情報に関する倫理的側面 (p.98)
		d 診療記録等の電子化と医療情報システム	看護学概論 12章1節2項 マネジメントの対象となる資源 (p.230-232) 看護管理 3章5節3項 看護ケアに必要な患者の医療情報 (p.95-97)
	E 医療安全のマネジメント	a 安全管理体制整備と医療安全文化の醸成	医療関係法規 12章2節 医療法 (p.247), 3節 医療法施行規則 (p.251-252) 医療安全 4章3節 全員参加の医療安全：安全文化の醸成 (p.114-119) 看護学概論 12章3節4項 事故防止に役立つチェックシステム (p.242-243) 看護管理 4章2節 医療安全 (p.119-128)
		b 医療事故・インシデントレポートの分析と活用	医療安全 2章4節 医療事故の報告制度 (p.55-57) / 3章2節2項 事故分析に重要なこと (p.80-82), 3項 具体的な分析手法の特徴 (p.82-86) 看護学概論 12章3節3項 ヒヤリ・ハットレポートの重要性 (p.241-242) 看護管理 4章2節4項 組織で取り組む医療安全 (p.120-125)
		c 多重課題の特徴と対応	医療安全 3章1節3項 エラーを誘発しやすい環境 (p.72-74) 看護学概論 12章3節4項 事故防止に役立つチェックシステム (p.242-243) 看護管理 4章2節4項 コラム「多重課題」(p.128) / 5章1節2項 社会の一員としてのセルフマネジメント (p.138-140)
	F 人材育成・活用	a 継続教育、キャリア開発	看護管理 6章2節2項 継続教育 (p.175-178), 3節1項 看護職のキャリア (p.179-180), 3項 専門職として生涯成長し、学び続ける (p.184-186)
		b 認定・専門看護師の資格と活動	看護管理 6章2節2項 継続教育 (p.175-178)
		c 特定行為に係る看護師の研修制度	医療関係法規 3章1節 保健師助産師看護師法 (p.31-33) 医療安全 1章2節3項 看護業務の変遷と安全管理 (p.22-26) 看護管理 1章2節4項 看護師等の人材確保の促進に関する法律から今日まで (p.22-24) / 8章1節3項 保健師助産師看護師法 (p.200-203), 2節6項 看護職員の量の確保および質の向上のための政策 (p.211-215) 看護学概論 9章2節1項 保健師助産師看護師法 (p.179-183)
		d 看護師等の確保、就業継続、看護師等の届出制度	医療関係法規 3章3節 看護師等の人材確保の促進に関する法律 (p.35-36) 看護学概論 9章2節2項 主な関連法規 (p.183-184) 看護管理 8章1節4項 看護師等の人材確保の促進に関する法律 (p.203-204), 2節6項 看護職員の量の確保および質の向上のための政策 (p.211-215)
		e 看護師等の労働安全衛生	看護管理 3章3節3項 労働環境管理 (p.83-88)
	G 看護政策と行政	a 看護政策立案の過程	看護管理 8章2節 保健医療福祉政策と最近の動向 (p.205)
		b 看護行政の組織と役割	看護管理 8章2節1項 政策・制度と看護サービス (p.205-206)

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践

**目標Ⅱ 災害看護について基本的な理解を問う。**

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
2 災害と看護	A 災害医療	a 災害の特徴	災害看護 1章1節1項 災害とは (p.14)
		b 災害と法制度	災害看護 3章2節 災害医療に関する法律 (p.54-65) 看護学概論 13章8節 災害と法律 (p.256-257)
		c 災害時の支援体制と医療体制	災害看護 3章1節 災害医療に関する国の政策 (p.50-53) 看護学概論 13章6節 災害サイクルと必要とされる看護 (p.253-254)
	B 災害の種類と特徴	a 自然災害	災害看護 2章1節2項 自然災害 (p.27-31)
		b 人為的災害	災害看護 2章1節3項 人為災害 (p.31-32)
		c 特殊災害	災害看護 2章1節4項 特殊災害 (p.32-33)
		d 複合災害	災害看護 2章1節5項 複合災害 (p.33-34)
	C 災害各期の看護	a 災害看護の特徴	災害看護 2章3節 災害サイクル (p.39-45) / 7章 災害初期から中長期における看護活動 (p.165-192) 看護学概論 13章5節 災害看護とは (p.252)
		b 災害各期(超急性期・急性期・慢性期・静穏期)の特徴	災害看護 7章 災害初期から中長期における看護活動 (p.165-192) 看護学概論 13章6節 災害サイクルと必要とされる看護 (p.253-254)
		c 各期における保健医療の役割と看護	災害看護 7章 災害初期から中長期における看護活動 (p.165-192) 看護学概論 13章6節 災害サイクルと必要とされる看護 (p.253-254)
		d 各期における要援護者への看護	災害看護 5章 配慮を必要とする人への支援と看護 (p.105-146) 在宅療養を支える技術 5章1節2項 災害サイクルと在宅療養者支援 (p.164-167)

**目標Ⅲ グローバル化を視野に入れた国際社会における看護について基本的な理解を問う。**

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
3 国際化と看護	A 看護における国際化の視点	a グローバル化と世界共通の健康目標	災害看護 10章3節1項 グローバリゼーションと国際看護 (p.234-235), 2項 日本の国際協力活動 (p.235-239)
		b グローバル化と人間の安全保障	災害看護 10章3節1項 グローバリゼーションと国際看護 (p.234-235)
		c 国家・地域間の健康格差	看護学概論 3章2節4項 医療と政策 (p.85-86)
		d 国際保健における日本の役割	災害看護 10章3節2項 日本の国際協力活動 (p.235-239)
		e 諸外国の看護制度	看護学概論 1章3節5項 米国における看護の基準 (p.36-37)
	B 国際社会における看護の対象	a 在留外国人	看護管理 1章1節5項 看護の対象の多様化と看護活動 (p.15-16), 6項 看護職者の多様化と看護活動 (p.16-17) 災害看護 10章2節1項 増え続ける外国人患者 (p.228), 4項 災害時要援護者と支援者としての在留外国人 (p.231-233)
		b 在外日本人	災害看護 10章1節3項 異文化への配慮 (p.225-226)
		c 帰国日本人	災害看護 6章2節5項 医療者のストレスマネジメント (p.160-162)
		d 国際協力活動を必要とする人々・地域・組織	災害看護 10章3節3項 世界で期待される災害看護とは (p.240)

大項目	中項目	小項目	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
3 国際化と看護	C 多様な文化と看護	a 文化を考慮した看護	看護学概論 14章1節 国際保健・看護とは何か (p.262-264), 5節 国際協力を行う看護職に求められるもの (p.268-269) 看護管理 1章1節5項 看護の対象の多様化と看護活動 (p.15-16) 災害看護 10章1節3項 異文化への配慮 (p.225-226), 2節3項 グローバル化社会における多文化共生の地域ケア (p.229-231)
		b 在留外国人の保健医療課題と看護	看護学概論 14章1節 国際保健・看護とは何か (p.262-264) 看護管理 1章1節5項 看護の対象の多様化と看護活動 (p.15-16) 災害看護 10章2節2項 国際化に向けた医療機関の体制整備 (p.228-229)
	D 国際協力活動と看護	a 国際機関の役割	災害看護 10章3節2項 日本の国際協力活動 (p.235-239) 看護学概論 14章3節 国際機関の動き (p.267-268), 4節 日本の実施する国際協力活動 (p.268)
		b 国際協力活動において看護が果たす役割	災害看護 10章3節1項 グローバリゼーションと国際看護 (p.234-235), 2項 日本の国際協力活動 (p.235-239) 看護学概論 14章1節 国際保健・看護とは何か (p.262-264), 4節 日本の実施する国際協力活動 (p.268)
		c 政府開発援助(ODA)を通じた開発途上国援助	災害看護 10章3節2項 日本の国際協力活動 (p.235-239) 看護学概論 14章2節 開発途上国の健康問題 (p.264-266), 4節 日本の実施する国際協力活動 (p.268)

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践

#### 目標Ⅳ 複合的な事象において看護の知識を統合し活用できる判断能力を問う。

大項目	中項目		ナーシング・グラフィカ 該当箇所
4 各領域(A~J)の看護の統合	A 基礎看護学	※ A~Jの中項目を2項目以上含む、臨地の状況に近い複合的な事象における統合的な問題として出題する。	看護学概論
	B 成人看護学		ヘルスアセスメント
	C 老年看護学		基礎看護技術
	D 母性看護学		看護研究
	E 小児看護学		臨床看護総論
	F 精神看護学		成人看護学概論
	G 在宅看護論		健康危機状況/セルフケアの再獲得
	H 看護におけるマネジメントの基本		セルフマネジメント
	I 災害と看護		周術期看護
	J 国際化と看護		リハビリテーション看護
			緩和ケア
			高齢者の健康と障害
			高齢者看護の実践
			小児の発達と看護
			小児看護技術
			小児の疾患と看護
			母性看護実践の基本
			母性看護技術
			情緒発達と精神看護の基本
			精神障害と看護の実践
			地域療養を支えるケア
			看護管理
			医療安全
			災害看護